

市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (追浜中学校・鷹取中学校)

図面リスト

図面No	図面名称	図面No	図面名称	図面No	図面名称	図面No	図面名称
A-01	工事タイトル・図面リスト	A-31	追浜中学校 1階倉庫2 平面詳細図(既存・改修)	A-61	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 展開図-1(既存)	-11	鷹取中学校 基礎、1階床、2階床、3階床、4階床、巻上機設置部、R階床伏図
-02	特記仕様書-1	-32	追浜中学校 1階倉庫2 展開図-1(既存・改修)	-62	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 展開図-2(改修)	-12	鷹取中学校 断面図
-03	特記仕様書-2	-33	追浜中学校 1階倉庫2 展開図-2(既存・改修)	-63	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-1(既存)	-13	鷹取中学校 構造詳細図(大梁、鉄骨リスト)
-04	特記仕様書-3	-34	追浜中学校 1階倉庫2 天井伏図(既存・改修)	-64	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-2(改修)	S-14	鷹取中学校 基礎配筋図
-05	特記仕様書-4	-35	追浜中学校 配膳室 矩計図(改修)	-65	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-3(既存・改修)		
-06	特記仕様書-5	-36	追浜中学校 建具表	-66	鷹取中学校 1階第1理科室 展開図(既存・改修)	M-01	器具表・凡例
-07	特記仕様書-6	-37	追浜中学校 雑詳細図-1	-67	鷹取中学校 2階特別支援教室(知的) 展開図(既存・改修)	-02	追浜中学校 1階衛生設備撤去改修図
-08	追浜中学校 付近見取り図・配置図	-38	追浜中学校 雑詳細図-2	-68	鷹取中学校 3階教育相談室(前室・相談室2) 展開図(既存・改修)	-03	追浜中学校 2~4階衛生設備撤去改修図
-09	追浜中学校 工事概要・仕上表	-39	追浜中学校 1階外部 プラットホーム改修図(既存・改修)	-69	鷹取中学校 4階第1美術室 展開図(既存・改修)	-04	追浜中学校 1・2階空調設備撤去新設平面図
-10	追浜中学校 1階平面図(既存・改修)	-40	追浜中学校 A棟 外部建具ガラス改修図	-70	鷹取中学校 1階荷受・配膳室、2~4階配膳室 矩計図(既存)	-05	追浜中学校 3・4階空調設備新設平面図
-11	追浜中学校 2階平面図(既存・改修)	-41	追浜中学校 仮設計計画図 ※参考図	-71	鷹取中学校 建具表	-06	鷹取中学校 1階衛生設備撤去改修図
-12	追浜中学校 3階平面図(既存・改修)	-42	鷹取中学校 付近見取り図・配置図	-72	鷹取中学校 雑詳細図-1	-07	鷹取中学校 2~4階衛生設備改修図
-13	追浜中学校 4階平面図(既存・改修)	-43	鷹取中学校 工事概要・仕上表	-73	鷹取中学校 雑詳細図-2	M-08	鷹取中学校 各階空調設備撤去改修図
-14	追浜中学校 1階配膳室 平面詳細図(既存・改修)	-44	鷹取中学校 1階平面図(既存・改修)	-74	鷹取中学校 1階外部 プラットホーム改修図(既存・改修)		
-15	追浜中学校 2階配膳室 平面詳細図(既存・改修)	-45	鷹取中学校 2階平面図(既存・改修)	-75	鷹取中学校 灯油庫 屋根改修図(既存・改修)		
-16	追浜中学校 3階配膳室 平面詳細図(既存・改修)	-46	鷹取中学校 3階平面図(既存・改修)	-76	鷹取中学校 技術科室棟 ゴミ集積庫・渡り廊下 改修図(既存・改修)		
-17	追浜中学校 4階配膳室 平面詳細図(既存・改修)	-47	鷹取中学校 4階平面図(既存・改修)	-77	鷹取中学校 B・C棟 外部建具ガラス改修図		
-18	追浜中学校 1階配膳室 展開図-1(既存・改修)	-48	鷹取中学校 1階荷受・配膳室・廊下 平面詳細図(既存・改修)	-78	鷹取中学校 仮設計計画図-1(全体計画図ほか) ※参考図		
-19	追浜中学校 1階配膳室 展開図-2(既存・改修)	-49	鷹取中学校 1階荷受・配膳室・廊下 床伏図(既存・改修)	A-79	鷹取中学校 仮設計計画図-2(昇降機設置建築工事) ※参考図		
-20	追浜中学校 2・4階配膳室 展開図-1(既存・改修)	-50	鷹取中学校 1階荷受・配膳室・廊下 天井伏図(既存・改修)				
-21	追浜中学校 2・4階配膳室 展開図-2(既存・改修)	-51	鷹取中学校 1階荷受・配膳室・廊下 展開図-1(既存)	S-01	構造設計標準仕様書		
-22	追浜中学校 3階配膳室 展開図-1(既存・改修)	-52	鷹取中学校 1階荷受・配膳室・廊下 展開図-2(改修)	-02	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(1)		
-23	追浜中学校 3階配膳室 展開図-2(既存・改修)	-53	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 平面詳細図(既存・改修)	-03	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(2)		
-24	追浜中学校 1階配膳室 天井伏図(既存・改修)	-54	鷹取中学校 3階配膳室・廊下 平面詳細図(既存・改修)	-04	鉄骨構造標準図(1)		
-25	追浜中学校 2階配膳室 天井伏図(既存・改修)	-55	鷹取中学校 4階配膳室・廊下 平面詳細図(既存・改修)	-05	鉄骨構造標準図(2)		
-26	追浜中学校 3・4階配膳室 天井伏図(既存・改修)	-56	鷹取中学校 2・3・4階配膳室・廊下、2階特別支援教室(知的) 床伏図(既存・改修)	-06	追浜中学校 基礎、1階床、2階床、3階床伏図		
-27	追浜中学校 1階荷受室 平面詳細図(既存・改修)	-57	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 天井伏図(既存・改修)	-07	追浜中学校 4階床、巻上機設置部、R階床伏図		
-28	追浜中学校 1階荷受室 展開図-1(既存・改修)	-58	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 天井伏図(既存・改修)	-08	追浜中学校 断面図		
-29	追浜中学校 1階荷受室 展開図-2(既存・改修)	-59	鷹取中学校 3階教育相談室、4階第1美術室 床伏図(既存・改修)	-09	追浜中学校 構造詳細図(大梁、鉄骨リスト)		
A-30	追浜中学校 1階荷受室 天井伏図(既存・改修)	A-60	鷹取中学校 2階特別支援室(知的)、3階教育相談室 天井改修図(既存・改修)	-10	追浜中学校 基礎配筋図		

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 工事タイトル・図面リスト	—
				A-01	
				No.	

Table with 6 columns: Item, Particular Items, Item, Particular Items, Item, Particular Items. Each column contains detailed construction specifications and standards.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 7. シーリング (Sealing), 7.3 目地寸法 (Joint Dimensions), 7.8 シーリング材の試験 (Sealing Material Testing), 8.2 材料 (Materials), 8.3 工法 (Methods), 9.6.3 種別 (Types), 4 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 1.4 外壁改修工法の種類 (Types of Exterior Wall Renovation Methods).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 1.5 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 2.2 工法別仕様材料 (Material Specifications by Method), 2.2 工法別仕様材料 (Material Specifications by Method), 2.2 工法別仕様材料 (Material Specifications by Method), 2.2 工法別仕様材料 (Material Specifications by Method).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 2.2 工法別仕様材料 (Material Specifications by Method), 3.4 樹脂注入工法 (Resin Injection Method), 3.5 ユーティリティ材充填工法 (Utility Material Filling Method), 3.7 充填工法 (Filling Method), 4.4 樹脂注入工法 (Resin Injection Method), 4.6 ユーティリティ材充填工法 (Utility Material Filling Method), 4.8 充填工法 (Filling Method), 4.10~4.15 アーカーベニング工法 (Anker Boring Method), 5.5 樹脂注入工法 (Resin Injection Method), 5.6 ユーティリティ材充填工法 (Utility Material Filling Method).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 5.7 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 5.8 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 5.9~5.15 アーカーベニング工法 (Anker Boring Method), 6.2 一般事項 (General Matters), 6.3 既存塗膜等の除去 (Removal of Existing Coatings), 7.2 マスチック塗料塗り (Mastic Coating), 5 1.3 改修工法 (Renovation Methods), 1.4 防火戸 (Fire Door), 1.5 見本の制作等 (Sample Preparation, etc.), 2.2 性能及び構造 (Performance and Structure), 2.3 材料 (Materials), 2.4 形状及び仕上げ (Shape and Finishing).

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31 年 2 月

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 特記仕様書-2
縮尺
A-03
No.

Main table with 6 columns containing project details, specifications, and materials for construction work. Each column includes a '項目' (Item) and '特記事項' (Remarks/Specifications) section.

Administrative header table with columns for '公共建築課長' (Public Building Section Chief), '主査等' (Supervisor), and '担当者' (Responsible Person).

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 特記仕様書-3

8.2 材料	・視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せっ器質タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ①耐動荷重性床シート張り： 種類（抗菌）厚さ（t=2.0） ・ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ビニル幅木の長さ： ※60mm ○100mm ○300mm 下地の工法： ○貼付用下地 ※木造下地 ○図示 熱溶接工法： ○適用する ・適用しない
9.3 材料	9. カーペット敷き ①織じゅうたん 種別： ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状： ・カットパイル ・テープパイル ・カット/テープ併用 色柄： ・無地 ・柄物 帯電性の適用： ・適用しない ・適用する【人体帯電圧： ※3kV以下】 ②タフテッドカーペット パイル形状： ・テープ ・カット パイル長： ・図示 ・mm ③ニードルパンチカーペット 厚さ： ・4mm ・7mm ④タイルカーペット（鷹取中学校のみ） パイル形状 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) ※第1種テープパイル ※第1種 500x500 6.5 ※第2種テープパイル ※第2種 ・カットパイル ・カット/テープ併用
9.4 工法	⑤下敷き材 下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号（厚8mm） 接着剤のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ タフテッドカーペットの工法： ・グリッド工法 ・全面接着工法 タイルカーペットの敷き方（平場）： ※市松敷き （階段部分）： ※横溝流し
10.2 材料	10. 合成樹脂床 種類 仕上げ種類 備考 ・弾性タイル床材 ※平滑 ・防汚 ・つや消し ・球状樹脂床材 ・弾力流し層 ・厚膜流し層： ※平滑 ・防汚 ・樹脂床材： ※平滑 ・防汚 材料のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
10.3 工法	11. フローリング張り（鷹取中学校のみ） 種類 材種 工法 形式寸法等(mm) LxWx t ・フローリング材等 ※付 ・釘留め工法(従太) ・500(L)750(W)x15(H)以上 ・ 釘留め工法(直張り) ・ 養生工法
11.2 材料	①フローリング材等 ※付 ・釘留め工法(従太) ・303x303(L)x15(H)以上 1階 第1種床材 3階 教育相談室2 4階 第1種床材 ・モザイクカーペット等 ※付 ・釘留め工法(従太) 厚さ： ・6 ・7 ・8 ・弾性モザイクカーペット ・釘留め工法(直張り) ・養生工法
11.3~11.5 工法	②複合フローリング ※付 ・釘留め工法(従太) ・A種 ・B種 ※C種 2階 特別支援教室(知的) ・カラ ・釘留め工法(直張り) ・A種 ・B種 ※C種 ・協議 ○接着工法 ○表層 単板厚 3.0mm 材料のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 接着剤のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
11.6 現場塗装仕上げ	仕上げ： ※タイル樹脂ワニス塗り ○既製仕上げ（塗装品）
12.2 材料	12. 畳敷き 種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）
13.2 材料	13. セッコウボードその他ボード及び合板張り 規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 木質系セッコウボード ・木毛セッコウボード HW NW 25・50 ・木片セッコウボード HF NF セッコウボード製品 ・セッコウボード GB-R 9.5・12.5 ・シーリングセッコウボード GB-S 9.5・12.5 ○強化セッコウボード GB-F 12.0・21.0 ・セッコウボード GB-L ※9.5・7 ○強化セッコウボード(防カビ) GB-D 9.5・12.5 ・化粧セッコウボード 9.5・12.5

13.3 工法	規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 繊維強化セメント板 ○ハイ酸カルシウム板(9.2) ○0.8FK 6・6・10 ○化粧ハイ酸カルシウム板 ○1.0FK 6・8・10 ハイ酸カルシウム繊維板 RS・VS DV・DO・DC 火山性ハイ酸カルシウム板(VSA*ド) 材料のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ①合板 材種 樹種など 厚さ(mm) 工法 ・難燃合板 生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・4 ・5.5 ・A種 ・ラワン ・6 ・※B種 不透明塗料塗りの場合 ・シタ【1級・2級】 ・普通合板 ○ラワン ○1級 ○4 ○5.5 ・A種 ○シタ ○2級 ○9 ○12 ※B種 (鷹取中学校のみ) 材種 樹種など 厚さ(mm) 工法 ・捨張り用合板 ・南洋材 ・型枠用 ・9 ・12 ・A種 ・針葉樹 ・構造用 ・※B種 ②有孔合板 ○ラワン ○1級 ○4 ○5.5 ・A種 4階 第1種床材 ○シタ ○2級 ・※B種 ・天然木化粧合板 化粧単板のそば包み ・4.2 ・A種 ・行う ※行わない ※B種 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・特殊加工化粧合板 表面仕上げの種類 ・4.0 ・3.0 ・A種 ・メッシュ ・タイル貼付 ※B種
14.2 材料	材料のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 普通合板の防虫処理： ○行わない ・行う 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う 接着剤のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ セッコウボードの目地処理： ○隠目処理工法 ○目透し工法 ○裏付け工法 遮音シート材： ・タイル系シーリング材 ・ジョイントシート
14.3 施工	14. 壁紙張り（鷹取中学校のみ） 防火性能の指定： ○下表による ・図示 品名 検定区分 施工箇所 ・セリウム系 ・1級 ・2級 ・織物系 ・1級 ・3級 ・4級 ・プラスチック系 ・1級 ・2級 ○セリウム系 ・1級 ○2級 3階 教育相談室 天井
15.3 材料	材料のタイル貼付放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ モルタル面及びプラスター面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 セッコウボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種
15.6 工法	15. モルタル塗り 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地
16.1 一般事項	16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※84mm(縦・横共) ・図示
16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類： ・図示 ・下表による 施工箇所 形式・形状寸法(mm) 用途による耐凍害性 色 輪葉 備考
16.4 接着剤による陶磁器質タイル張り	16.4 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類： ・図示 ・下表による 施工箇所 形式・形状寸法(mm) 用途による耐凍害性 色 輪葉 備考
17.2 材料	17. セルフレベリング材塗り 品質： ・セメント系 ・セッコウ系 厚さ： ・10mm ・図示

7.1 一般事項	7.1 一般事項 1. 一般事項 2. 下地調整 3. 鉄鋼面防錆止め塗料塗り 4. 合成樹脂顔料合ペイント塗り(SOP) 5. クリヤーラッカー塗り(CL) 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 7. 耐候性塗料塗り(DP) 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 9. 防火塗料塗り
7.2 材料	7.2 材料 1. 一般事項 2. 下地調整 3. 鉄鋼面防錆止め塗料塗り 4. 合成樹脂顔料合ペイント塗り(SOP) 5. クリヤーラッカー塗り(CL) 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 7. 耐候性塗料塗り(DP) 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 9. 防火塗料塗り
7.3 鉄鋼面の品質	7.3 鉄鋼面の品質 1. 一般事項 2. 下地調整 3. 鉄鋼面防錆止め塗料塗り 4. 合成樹脂顔料合ペイント塗り(SOP) 5. クリヤーラッカー塗り(CL) 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 7. 耐候性塗料塗り(DP) 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 9. 防火塗料塗り
7.4 鉄骨製作	7.4 鉄骨製作 1. 一般事項 2. 下地調整 3. 鉄鋼面防錆止め塗料塗り 4. 合成樹脂顔料合ペイント塗り(SOP) 5. クリヤーラッカー塗り(CL) 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 7. 耐候性塗料塗り(DP) 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 9. 防火塗料塗り
7.5 鉄骨製作	7.5 鉄骨製作 1. 一般事項 2. 下地調整 3. 鉄鋼面防錆止め塗料塗り 4. 合成樹脂顔料合ペイント塗り(SOP) 5. クリヤーラッカー塗り(CL) 6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 7. 耐候性塗料塗り(DP) 8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 9. 防火塗料塗り

10.2 EP塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 種別： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしきり： ○標準仕様書9.2(b)による ・図示 11. 合成樹脂エマルジョン横線塗料塗り(EP-T) エコー面及び外壁面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プラスター面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種 13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種 15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種 その他、耐火塗料塗り 場所： 部位： ・柱 ・梁 ・その他 耐火種別： ・1時間 ・2時間 耐火仕様： ・主材製造所の仕様による
11.2 EP-T塗料塗り	11.2 EP-T塗料塗り エコー面及び外壁面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プラスター面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種
12.2 UC塗料塗り	12.2 UC塗料塗り 種別： ・A種 ※B種 13.2 LE塗料塗り 種別： ・A種 ※B種 15.2 WP塗料塗り 種別： ・A種 ※B種
1.3 コンクリート工事	1.3 コンクリートの種類 使用資材による種別： ・普通コンクリート（下表による） ・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) 備考 ・構造躯体（基礎～階） 30 ・構造躯体（階～階） 24 ・構造躯体（1階～4階） 21 ○捨てコンクリート 18・21 ○土間コンクリート 21 使用資材による種別： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) 備考 ・18・21 ・18・21 ・18・21
1.4 コンクリートの品質	1.4 コンクリートの品質 スランブ： ○18cm ・図示 コンクリート部材の許容差及び測定方法： ・標準仕様書8.1.4(1)による 打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合） 施工部位 種別 備考 ・化粧打放し部 A種 ○打放し補修下部 A種 ○基礎部 C種 コンクリートの仕上りの平坦さ： ・標準仕様書 表8.1.4による 製作現場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工管理技術者： ・適用する ・適用しない
2.1 鉄筋	2.1 鉄筋 鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示
2.2 溶接金網	2.2 溶接金網 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示
2.4 あと施工アンカー	2.4 あと施工アンカー あと施工アンカーの種類： ○金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ○金属系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカー本体の径： ・図示 アンカー本体の埋込深さ： ・図示 アンカー本体のセット方式： ・図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ： ・図示 ○接着系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカーの種類： ・図示 ・かみ型 アンカーの径： ・図示 アンカーの埋込深さ： ・図示 アンカーの種類： ・図示 ※異形棒鋼 アンカー筋の新設設置内への定着長さ： ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験： ・行う ○行わない ○あと施工アンカー使用材料は監督員の承諾を得たものとする

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
2.5 8章 耐震改修工事 コンクリートの材料 及び調査	セメントの種類：普通ポルトランドセメント ※混合ポルトランドセメント ※高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケル系スラグ細骨材の使用：使用する・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A・B 鋼スラグ細骨材の使用：使用する・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用：使用する・使用しない 混和剤：AE剤・AE減水剤・高性能AE減水剤 混和材：フライアッシュ・高炉スラグ微粉末・膨張剤	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用：使用する【使用箇所：図示】 水に接する軽量コンクリートの使用：使用する【使用箇所：図示】 軽量コンクリート種類：下表による・図示	21.9 8章 耐震改修工事 既存との取合い	既存構造体と増設壁との取合い：※標準仕様書8.19.9による・図示 増設後の仕上げ：図示	28.3 土工事	・他現場に搬入（ ） ・指定処分地（ ） ◎山留めの撤去 ・撤去・存置
2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 3.4 3.5 3.7 3.8 4.2 4.3 7.8	2.6 構造体用モルタルの材料及び調査 モルタルの圧縮強度：図示 ・18N/mm ² モルタルのフロー値：図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上 2.7 型枠の材料 型枠の材料等：下表による・図示 種類 種別・厚さ 材質 ◎合板 ◎コンクリート型枠用合板のJAS・12mm※複合 ・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm※南洋材 ・床型枠用鋼製デッキプレート 針葉材 スリプ：※標準仕様書8.2.6(i,ii)による・図示 ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管 ・つば付き鋼管 ・つば付き鋼管 ・紙チューブ 2.8 鋼材 鋼材の材質：下表による・図示 ・構造図による 施工部位 材質(種類の記号) 備考 ・構造躯体 SS400 SSC400 ・構造躯体(階～階) SM490A ・構造躯体(階～階) STKR400 BGR295 SN400C SN400A 2.9 高力ボルト 鋼材の形状及び寸法：図示 種類：M17型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(FBT相当) 高力ボルトの径：図示 2.10 溶接材料 溶接棒等(標準仕様書8.2.7)及びガス以外の溶接材料：図示 2.11 柱底均しモルタル及びグラウト材 モルタルの種類：図示 ◎無収縮モルタル 無収縮モルタルの調査：※標準仕様書8.2.10(b)(1)～(4)による・図示 2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等 材料：図示 工法：図示 引張強度、ヤング係数等：図示 2.13 鋼材の材料試験等 引張りを受ける鋼材の試験：適用する・適用しない・図示 2.14 基礎工事に用いる材料 杭の材料：構造特記仕様書による・図示 杭の継手、工法等：構造特記仕様書による・図示 3. 鉄筋の加工及び組立 3.4 継手及び定着 継手の種類：重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・図示 継手の位置：図示 主筋の重ね継手長さ：※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ：※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 先組み工法等の継手の位置：図示 柱への梁引張り鉄筋の定着長さ：※標準仕様書5.3.4(d)(1)による・図示 3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)： 図示 ・40mm ・50mm ◎60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ：図示 特殊な鉄筋継手のあき寸法：図示 3.7 壁の配筋及び補強 壁の配筋：◎図示 開口部の補強筋：図示 3.8 ガス圧接 抜取試験の方法：※超音波探傷試験 ・引張試験 4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 4.2 機械式継手 機械式継手の種類：図示 機械式継手の工法及び品質の確認方法等：図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法：図示 品質の確認方法：図示 不良継手部の修正方法：図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による 7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 7.8 型枠工事 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ：25mm ◎20mm ・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用：適用する・適用しない	10.2 材料及び調査 10. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S)：※6 N/mm ² 11.1 一般事項 適用箇所：※標準仕様書6.14.1(d)による・下表による・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) スランプ ※18 ・21 ※15以下 ※18以下 12.2 穿孔 埋込配管等の調査方法：図示 施工試験：※引張試験機による引張試験・図示 確認強度：図示 12.5 施工確認試験 13.10 仮組 仮組の実施：行わない・行う 14.2 摩擦面の性能及び処理 試験の方法、試験片の摩擦面の状態：図示 14.7 締付け 締付け長さの呼びの5倍をJIS型枠の1/10回転法の回転量：120° 15.3 技能資格 溶接技能者の技量付加試験：行わない・行う 15.4 材料準備 開先の形状：図示 15.7 溶接施工 エンドタブの切除の有無：有り・無し 【エンドタブの切除の適用箇所：図示】 スクラップの形状：図示 15.11 溶接部の試験 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験：適用する・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査：行わない ※行う(全数検査を行い試験結果報告書を提出) 第三者機関による検査：※行う・行わない A O Q L：2.5% ※4.0% 検査水準：第1水準 第2水準 第3水準 第4水準 第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査：※行う・行わない A O Q L：2.5% ※4.0% 放射線透過試験：適用する・適用しない 17.3 塗料の種類 S R C造の鋼製スリプ(鉄骨に溶接されたもの)の内面： 図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種・B種・C種】 耐火被覆材の接着面：図示 標準仕様書表7.3.1【A種・B種・C種】 18.2 種別及び性能 耐火被覆材の種別及び性能：※図示 20.4 溶融亜鉛めっき 摩擦面の処理：構造特記仕様書による ・プラスト処理・図示 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施：行わない・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態：構造特記仕様書による・図示 21.2 既存部分の撤去等 21.3 既存部分の処理 21.6 鉄筋の加工、組立 21.8 コンクリートの打込み	20. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理：構造特記仕様書による ・プラスト処理・図示 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施：行わない・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態：構造特記仕様書による・図示 21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 21.2 既存部分の撤去等 既存仕上げの撤去範囲：※標準仕様書8.19.2(a)(1)による・協議による 設備配管等の撤去範囲：※標準仕様書8.19.2(a)(2)による 設備配管等の移設範囲等：※標準仕様書8.19.2(a)(2)による 既存構造体の撤去範囲：図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置：図示 21.3 既存部分の処理 既存部分の目荒しの程度：図示 21.6 鉄筋の加工、組立 21.8 コンクリートの打込み 打込み工法：流込み工法 ・圧入工法 ・図示	21.9 8章 耐震改修工事 既存との取合い	既存構造体と増設壁との取合い：※標準仕様書8.19.9による・図示 増設後の仕上げ：図示	28.3 土工事	・他現場に搬入（ ） ・指定処分地（ ） ◎山留めの撤去 ・撤去・存置

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

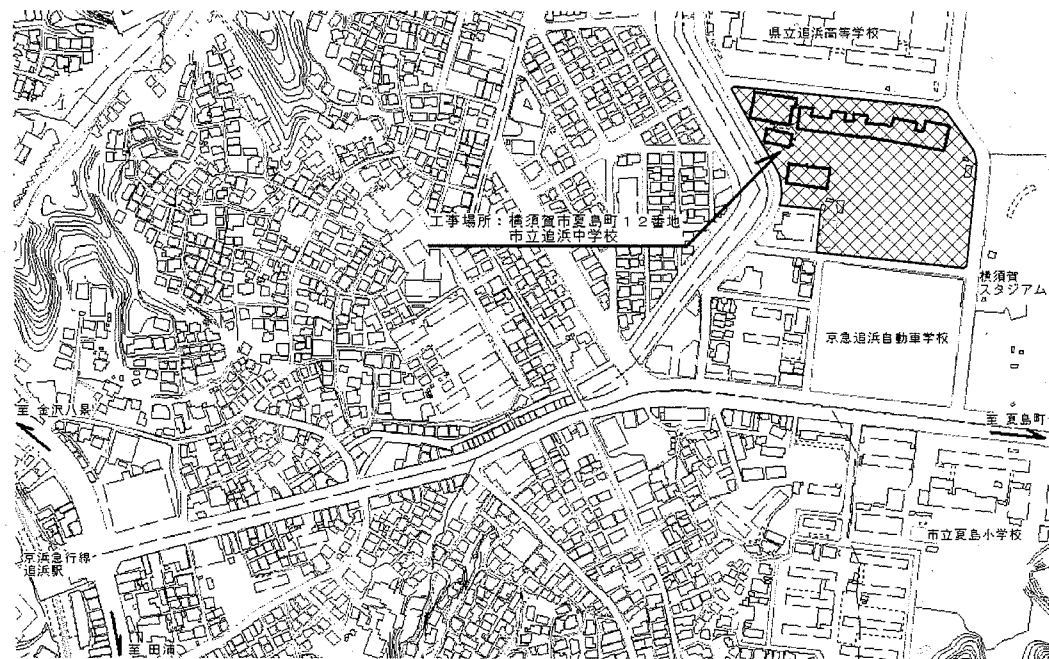
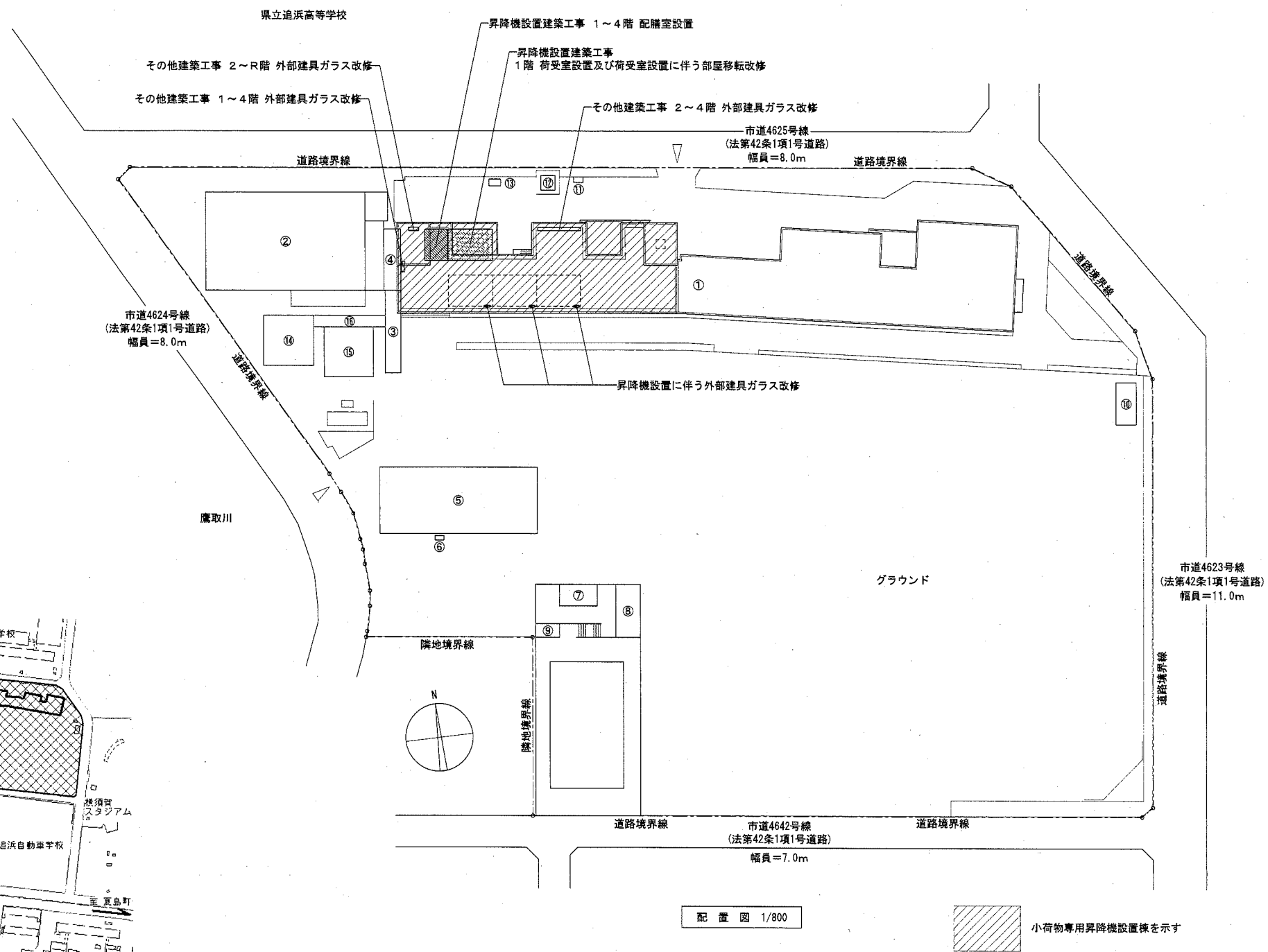
工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	—
図面名称	特記仕様書-5		

項目	特記事項																					
9章 環境配慮改修工事																						
1.1 一般事項	1. アスベスト含有建材の除去工事 封じ込め処理: 適用しない 適用する【処理方法: 図示】 囲い込み処理: 適用しない 適用する【処理方法: 図示】 アスベスト含有建材除去後の仕上げ: 図示 分析によるアスベスト含有の調査: JIS A 1481-2・JIS A 1481-3 アスベスト粉塵濃度測定: 行わない・行う 図示 除去工法: 現場説明書による																					
1.3 アスベスト含有吹付材の除去																						
1.5 アスベスト含有成形板の除去	除去工法: ※標準仕様書9.1.5(b)(1)による 図示 除去物の処理: ※密封処理・セメント固化 図示																					
2.3 改修工法の種類及び工程	2. 断熱アスファルト防水改修工事																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1R階屋上</td> <td>・P1BI/BI-1・BI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P2AI/AI-1・AI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・PODI/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1BI/BI-1・BI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3DI/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4DI/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・P1R階屋上	・P1BI/BI-1・BI-2	断熱材: t=	・R階屋上	・P2AI/AI-1・AI-2	断熱材: t=		・PODI/DI-1・DI-2	断熱材: t=		・T1BI/BI-1・BI-2	断熱材: t=		・M3DI/DI-1・DI-2	断熱材: t=		・M4DI/DI-1・DI-2	断熱材: t=
施工部位	工法/種別	備考																				
・P1R階屋上	・P1BI/BI-1・BI-2	断熱材: t=																				
・R階屋上	・P2AI/AI-1・AI-2	断熱材: t=																				
	・PODI/DI-1・DI-2	断熱材: t=																				
	・T1BI/BI-1・BI-2	断熱材: t=																				
	・M3DI/DI-1・DI-2	断熱材: t=																				
	・M4DI/DI-1・DI-2	断熱材: t=																				
3.2 材料	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ: 図示 外装材の種類及び防火性能: 図示																					
3.3 既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去: 図示 全面撤去・部分撤去 既存外壁下地の清掃: 図示 既存外壁下地欠損部の改修方法: 図示																					
3.4 工法	断熱材の施工方法: ※メーカー仕様による 図示 外装材の施工: 図示																					
4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ: 図示 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分: ※U3-1・U3-2																					
5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法[※]ポリウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ポリウレタンフォーム</td> <td>・3種: 土間コンクリート下端</td> <td>・25・50 図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 [※] ポリウレタンフォーム	・	・25	・押出法 [※] ポリウレタンフォーム	・3種: 土間コンクリート下端	・25・50 図示	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・						
種類	種別	厚さ(mm)																				
・ビーズ法 [※] ポリウレタンフォーム	・	・25																				
・押出法 [※] ポリウレタンフォーム	・3種: 土間コンクリート下端	・25・50 図示																				
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																				
・フェノールフォーム	・	・																				
5.3 現場吹付発砲断熱材	接着剤の [※] M7A [※] 放散量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 材料: 吹付け硬質ウレタンフォーム 種類: A種1 難燃材: 1級・2級・3級 吹付け厚さ(mm): 図示 25・30・20																					
5.4 断熱材後張り工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法[※]ポリウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ポリウレタンフォーム</td> <td>・3種: 土間コンクリート下端</td> <td>・25・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 [※] ポリウレタンフォーム	・	・25	・押出法 [※] ポリウレタンフォーム	・3種: 土間コンクリート下端	・25・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・						
種類	種別	厚さ(mm)																				
・ビーズ法 [※] ポリウレタンフォーム	・	・25																				
・押出法 [※] ポリウレタンフォーム	・3種: 土間コンクリート下端	・25・50																				
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																				
・フェノールフォーム	・	・																				
6.2 材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類: コウライ [※] ・ノハ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数: 図示 縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等: 図示																					
6.3 工法	建設省告示第1458号に対応した工法: 灌水装置の設置/種類: 設置しない・設置する【種類: 図示】 既存保護層等の撤去: 撤去しない・撤去する																					
6.4 枯補償	新植芝、地被類の枯保証期間: 1年・半年																					
7.2 既存舗装の撤去及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去: 撤去しない 撤去する【範囲等: 図示 改修部分全面】 既存舗装の再利用: 再利用しない 再利用する【範囲等: 図示 改修部分全面】																					
7.3 路床	凍上抑制層の適用: 適用しない・適用する 厚さ: 車道部 mm・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用: 適用しない・適用する 厚さ: 車道部【150mm mm】 歩道部【50mm mm】																					

項目	特記事項
7.3 路床	路床安定処理の適用: 適用しない・適用する 路床安定処理の方法: 添加材料による処理 図示 処理内容: 【厚さ: 300mm】 【目標CBR: 5以上】
7.4 路盤	盛土の種類: A種・B種・C種・D種 フィルター層の材料: 砂 図示 砂の品質: 75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料: 普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種 フライアッシュセメント・生石灰【特号 1号】 消石灰【特号 1号】 ジオテキスタイルの適用: 適用しない・適用する 路床土のCBR試験: 行わない・行う【乱した土・乱さない土】 路床締め度試験: 行う 行わない
7.5 舗装の構成及び仕上り	車道部の路盤の厚さ: 図示 150mm 200mm(鷹取中学校のみ) 歩道部の路盤の厚さ: 図示 100mm 路盤の材料: ※砕石【クワックラン】 粒度調整砕石 ※再生材 ※クワックラン ※クワックラン鉄鋼スラグ 粒度調整砕石 舗装の厚さ(mm): 車道部【60mm mm】 歩道部【30mm mm】 舗装の平坦性: 図示 ※標準仕様書による アスファルトの種類(車道部): 図示 ※再生密粒 アスファルトの種類(歩道部): 図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験: 行う 行わない
7.9 試験	

No	工事内容	建築	電気(別途工事)	機械	備考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き		○		
2	仮設足場(脚立を除く)	○			
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付		○		
9	ステンレス製(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水目皿廻りシーリング	○			
15	排水溝・樹蓋設置及び配管敷設工事			○	
16	側溝・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設備工事)	○			
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
20	給気口及び室内レジスター			○	
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン			○	
23	空調屋外機・屋内機廻り配線(冷媒管共巻き)			○	
24	空調機器一次側電源供給		○		
25	昇降路の築造工事及び仕上げ工事	○			
26	昇降路ピット防水	○			
27	昇降路頂部機器揚重用ビームの設置工事	○			
28	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
29	出入口三方枠、敷居、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
30	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
31	ルームエアコン取外し			○	学校へ返納(追浜中学校 2階 旧応接室)

番号	建物名称	建築面積	延床面積	構造	階数	最高高さ
①	校舎 (昇降機設置棟)	2,085.05	7,766.87	RC造	4階	18.30 m
②	体育館	783.78	806.28	S造	1階	10.00 m
③	渡り廊下	100.53	100.53	S造	1階	2.75 m
④	渡り廊下	78.03	78.03	S造	1階	3.40 m
⑤	格技室	523.87	835.87	RC造	2階	13.00 m
⑥	プロバン庫	2.28	2.28	CB造	1階	2.00 m
⑦	便所	15.08	15.08	CB造	1階	3.20 m
⑧	プール管理棟	52.05	52.05	S造	1階	4.40 m
⑨	ポンプ室	22.47	22.47	CB造	1階	4.30 m
⑩	体育倉庫	47.47	47.47	S造	1階	3.40 m
⑪	灯油庫	1.56	1.56	CB造	1階	2.10 m
⑫	倉庫	6.41	6.41	CB造	1階	3.50 m
⑬	倉庫	4.42	4.42	CB造	1階	2.10 m
⑭	金工室	121.88	121.88	S造	1階	6.40 m
⑮	木工室	121.88	121.88	S造	1階	6.40 m
⑯	渡り廊下	0.00	0.00	S造	1階	3.49 m
合計		3,966.76	9,983.08			



付近見取り図 NS

配置図 1/800

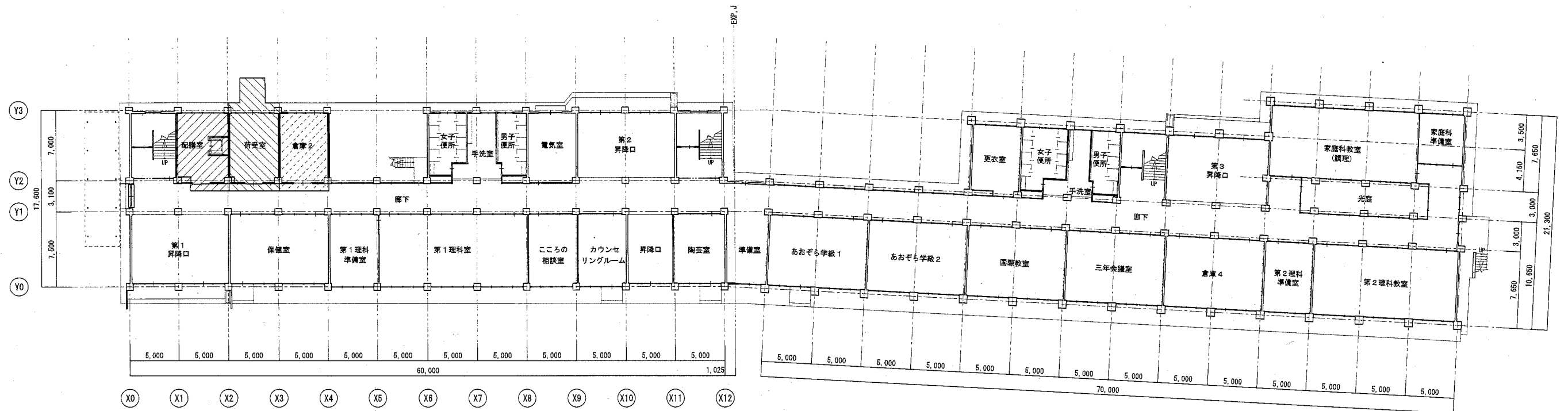
小荷物専用昇降機設置棟を示す

工 事 概 要	追浜中学校 昇降機設置建築工事	その他建築工事（既存建物改修工事）
	<ul style="list-style-type: none"> 小荷物専用昇降機（電気別途工事）を設置するため、1階倉庫1、2階応接室、3階展示倉庫4階演劇部室を配膳室に改修する。 同上の改修室に面する廊下も改修（解体撤去工事）に影響する部分を一部改修する。 1階倉庫2を荷受室に改修をする。これに伴い外部にはプラットホームを新設し、周辺の外構（舗装等）の改修をする。 荷受室設置により消滅する倉庫2の機能をバンコーナーに移転改修をする。 昇降機設置に伴う教室空調機設置のため、外部建具の一部ガラスをアルミパネルに改修する。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記に伴う機械設備工事 左記に伴う電気設備工事（別途工事）

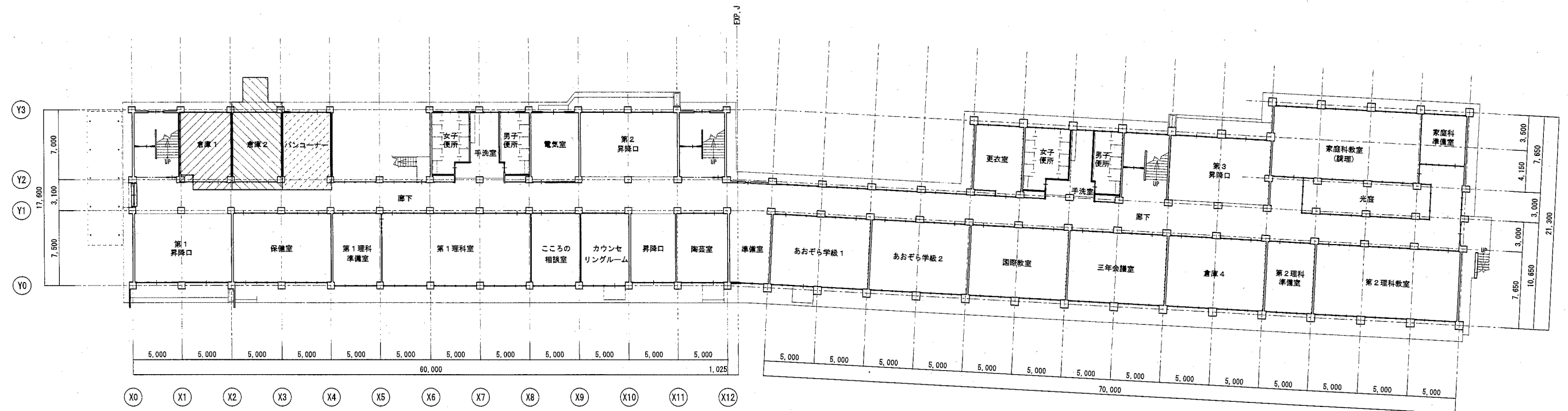
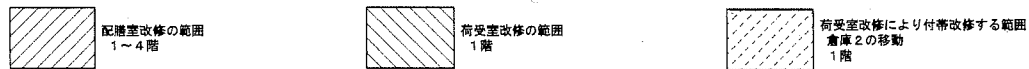
内 部 仕 上 表										
階	既 存 改 修	室 名	床	巾 木 下地・仕上	高 さ	壁	天 井	廻 縁	天 井 高	備 考
1 階	既 存	倉庫 1	土間コンクリートt120 モルタル下地t27.5、ビニルシートt2.5(コイン) 土間コンクリート(仕上・下地共)全面撤去 ※小荷物専用昇降機ビット設置のため全面撤去する	塗り巾木 モルタル金コテEP-G ※既存のまま	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	内部アルミ製パーテーション部分撤去 外部アルミ製建具ガラス撤去、同左上部木製ボックス天井見切撤去 PSカバー(下地共)撤去、木製造作流し台(ライニング共)撤去 鋼製棚撤去
	改 修	配膳室	土間コンクリートt120新設(防湿シートt0.15敷込共) モルタル下地t28、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌) 小荷物専用昇降機ビット(RC) コンクリート打放し、けい酸系防水塗布	ラワン合板t9.0増張 ビニル巾木	300	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による 珪酸カルシウム板t8.0上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナー部は7M製ジョイントを使用	LGS(19型)@225 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ製 復旧	2,500	ライニング壁、SUS製流し台 外部建具改修 アルミ製天井点検口(450角) アルミ製カーテンボックス 室名札
	既 存	倉庫 2	土間コンクリートt120 モルタル下地t35、フローリングブロックt15 下地仕上は全面撤去	木製巾木EP-G 全面撤去	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	内部アルミ製パーテーション全面撤去 外部アルミ製建具(木製ボックス天井見切共)撤去
	改 修	荷受室	土間コンクリートt120 モルタル下地t48、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	ラワン合板t9.0増張 ビニル巾木	300	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による 珪酸カルシウム板t8.0上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナー部は7M製ジョイントを使用	LGS(19型)@225 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ製 復旧	2,500	アルミ製両引きドアを新設 ライニング壁、SUS製流し台、天井吊りカーテンレール(コーナーR付) アルミ製天井点検口(450角) 室名札
	既 存	バンコーナー	モルタル下地t27.5、ビニルシートt2.5(コイン) 仕上全面撤去 一部モルタル金コテ(踏込・ドレーン受床) ※既存のまま	塗り巾木 モルタル金コテEP-G ※既存のまま	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	木製配膳カウンター、木製シンク付配膳台撤去 真鍮製ノンスリップ金物撤去(踏込・ドレーン受床) 造作流し台(PSカバー共)既存のまま
	改 修	倉庫 2	下地調整のうえビニルシートt2.5復旧 ドレーン水受床 モルタル金コテビニルシートt2.5(コイン) ※既存床までモルタルt30~50程度で嵩上げる ※踏込は既存のまま	既存壁部 下地調整のうえEP-G (B種) 新設壁部 ビニル巾木	100 100	既存壁部：下地調整のうえEP-G (B種) 新設壁部：LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面 EP-G (B種)	LGS(19型)@225 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ製 復旧	2,500	SUS製ノンスリップ金物W35(踏込端部) アルミ製天井点検口(450角) 室名札
2 階 ~ 4 階	既 存	応接室(2階)	コンクリートスラブt120 モルタル下地t35、フローリングブロックt15 ※小荷物専用昇降機昇降路の設置部のスラブを解体撤去する 上記以外は下地仕上撤去	木製巾木EP-G 全面撤去	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	内部アルミ製パーテーション部分撤去 外部アルミ製建具ガラスほか一部撤去、同左上部木製ボックス天井見切撤去 PSカバー(下地共)撤去
	既 存	展示倉庫(3階)	コンクリートスラブt120 モルタル下地t27.5、ビニルシートt2.5(コイン) ※小荷物専用昇降機昇降路の設置部のスラブを解体撤去する 上記以外は仕上撤去	塗り巾木 モルタル金コテEP-G ※既存のまま	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	内部アルミ製パーテーション部分撤去 外部アルミ製建具ガラスほか一部撤去、同左上部木製ボックス見切撤去 PSカバー(下地共)撤去、木製造作流し台(ライニング共)撤去 鋼製棚撤去
	既 存	演劇部室(4階)	コンクリートスラブt120 モルタル下地t35、フローリングブロックt15 ※小荷物専用昇降機昇降路の設置部のスラブを解体撤去する 上記以外は下地仕上撤去	木製巾木EP-G 全面撤去	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP 下地仕上全面撤去	塩ビ製 撤去	2,500	内部アルミ製パーテーション部分撤去 外部アルミ製建具ガラスほか一部撤去、同左上部木製ボックス見切撤去 PSカバー(下地共)、掲示板(木下地共)撤去 鋼製棚撤去
	改 修	配膳室(2-4階)	2・4階モルタル下地t48、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌) 3階下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌) ※小荷物専用昇降機昇降路内は除く	ラワン合板t9.0増張 ビニル巾木	300	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による 珪酸カルシウム板t8.0上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナー部は7M製ジョイントを使用	LGS(19型)@225 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ製 復旧	2,500	ライニング壁、SUS製流し台 外部アルミ製建具改修 アルミ製カーテンボックス アルミ製天井点検口(450角) 室名札
1-4 階 共 通	既 存	廊下	コンクリートスラブt120 モルタル下地t27.5、ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ部分撤去	塗り巾木 モルタル金コテEP-G ※既存のまま	100	コンクリート モルタル下地EP-G ※既存のまま	LGS(19型)@300 石膏ボードt9.5EP(タテ目地のみ目透し張) 下地仕上部分撤去	塩ビ製	2,500	1~4階 配膳室改修面 内部アルミ製パーテーション部分撤去 1階 荷受室改修面 内部アルミ製パーテーション全面撤去
	改 修	廊下	仕上撤去部 下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	既存壁部 下地調整のうえEP-G (B種) 新設壁面 ビニル巾木	100 100	既存壁部：下地調整のうえEP-G (B種) 新設壁部：LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面 EP-G (B種)	下地仕上撤去部 既存に復旧 (※-)面(B種)	塩ビ製 復旧	2,500	

外 部 仕 上 表			
外 壁	・仕上塗材：建築用塗膜防水材塗り JIS6021(ローラーさざ波模様 シリコン仕上) ・下地調整：C-1	参考資料 床下地調整材 荷受室外部建具	ポリマーセメントペースト塗り 豊和工業株式会社 HAA-100-GII-K 同等品 [性能] 耐風圧性：S-6、気密性：A-4、水密性：W-5 フラットレール
プラットホーム	・立ち上がりコンクリート打放し補修 ・床コンクリート金コテ仕上げ(水勾配) ・荷卸角部-65×65 垂鉛メッキアングル取り付け ・W-150グレーチング(SUS製細目ノンスリップ)付排水側溝 ・アスファルト舗装改修		

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 図面名称 追浜中学校 工事概要、仕上表	縮尺 A-09 No.
--------	-----	-----	-----------------------------------	---	-------------------

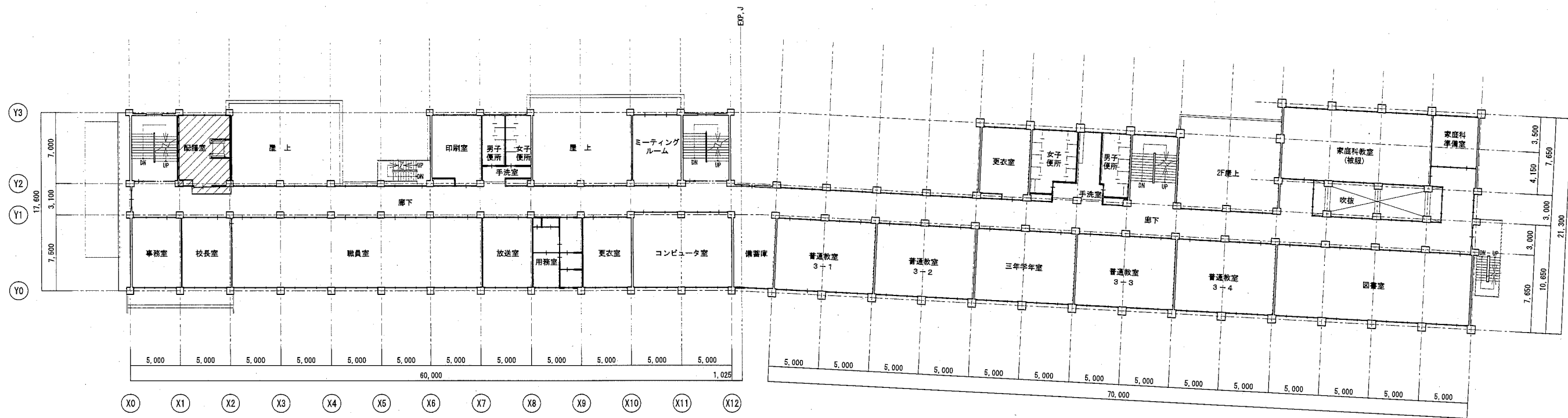


1階平面図(改修) 1/300



1階平面図(既存) 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-10
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 追浜中学校 1階平面図(既存・改修)	1/300	



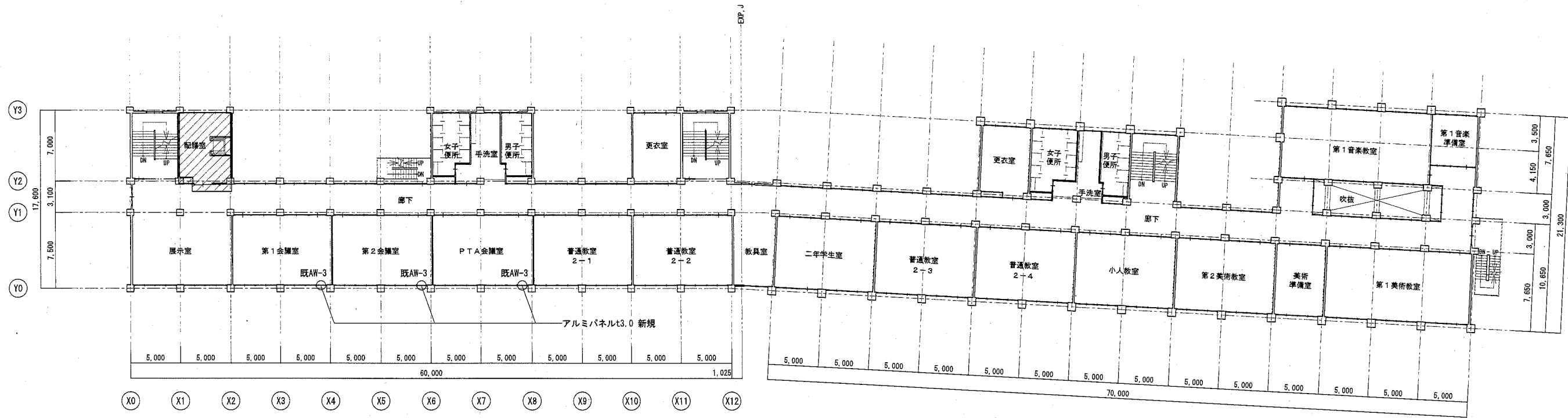
2階平面図 (改修) 1/300


 配膳室改修の範囲
 1~4階



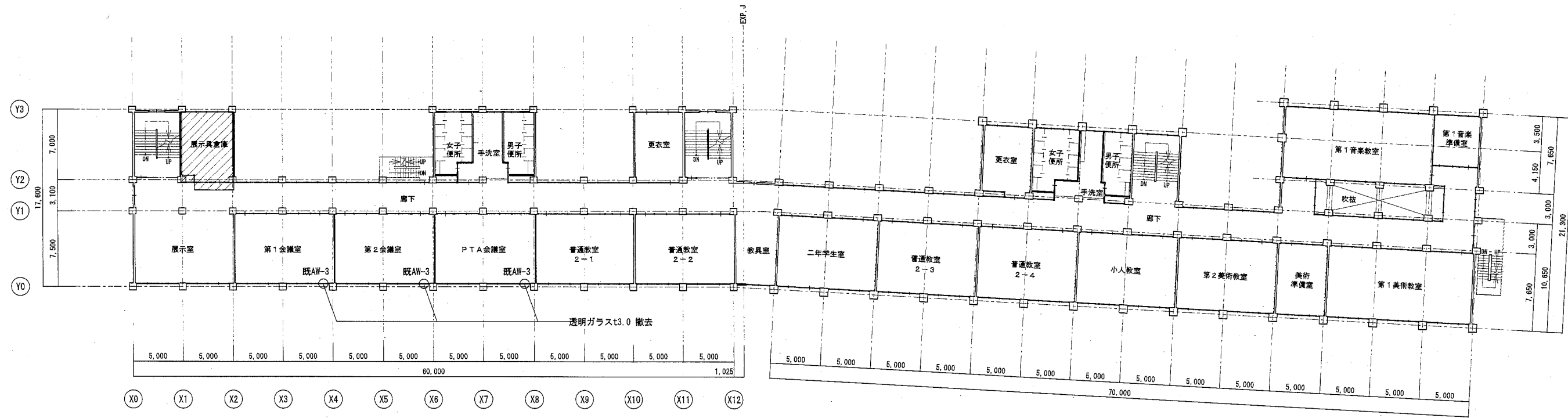
2階平面図 (既存) 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 追浜中学校 2階平面図 (既存・改修)	1/300
					A-11
					No.



3階平面図 (改修) 1/300

配膳室改修の範囲
1~4階



3階平面図 (既存) 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-12
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 追浜中学校 3階平面図 (既存・改修)	1/300	



4階平面図(改修) 1/300

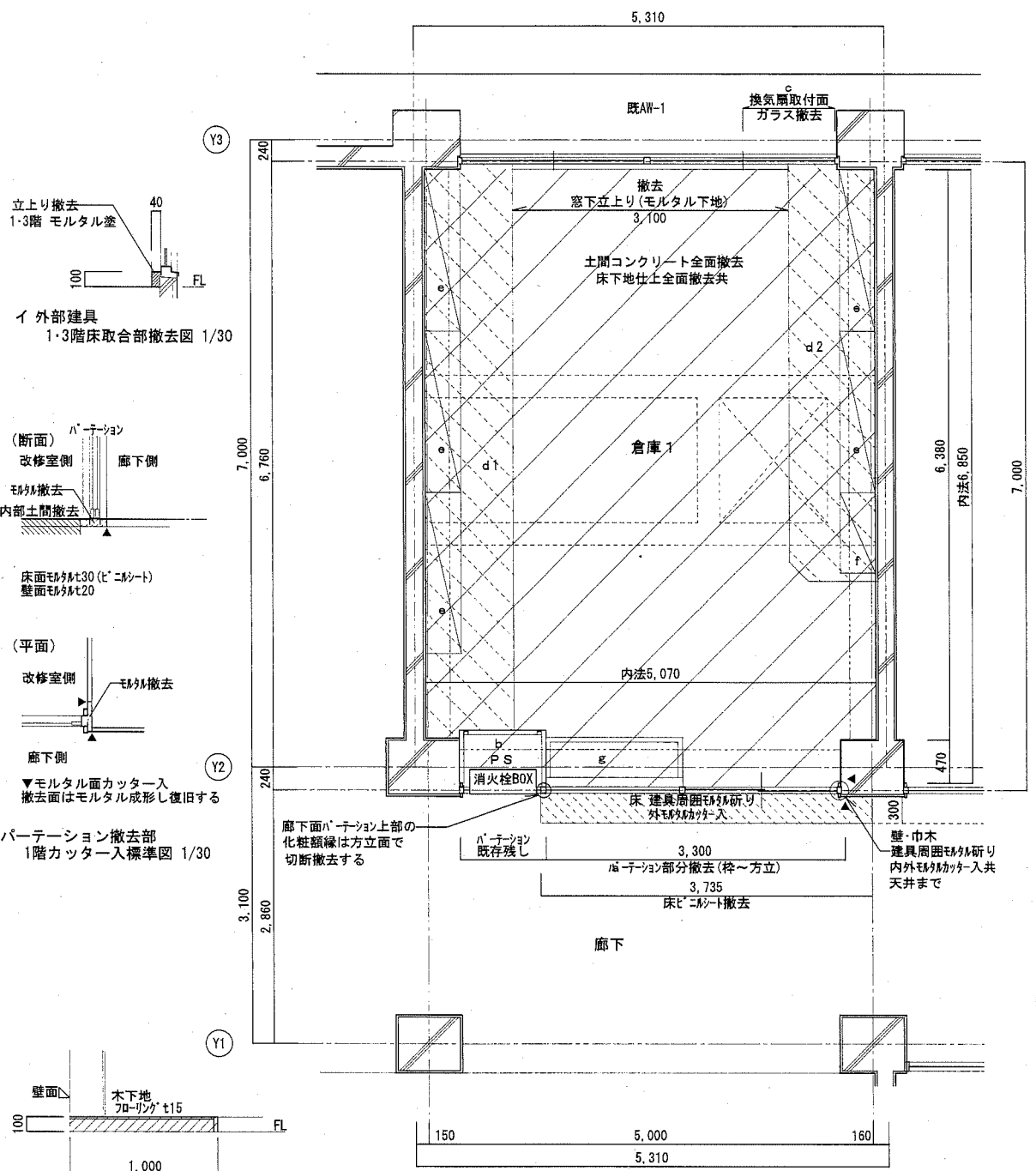
配膳室改修の範囲
1~4階



4階平面図(既存) 1/300

配膳室改修の範囲
1~4階

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-13
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 追浜中学校 4階平面図(既存・改修)	1/300	



その他の撤去内容

a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
d1	木製踏み台-1 6300*1000 H100	1	撤去
d2	木製踏み台-2 4650*1000 H100	1	撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	5	撤去
f1	鋼製棚 900*400*1800	1	撤去
g	木製造作流し 1550*1100*550 流し部分 1550*650*400	1	撤去

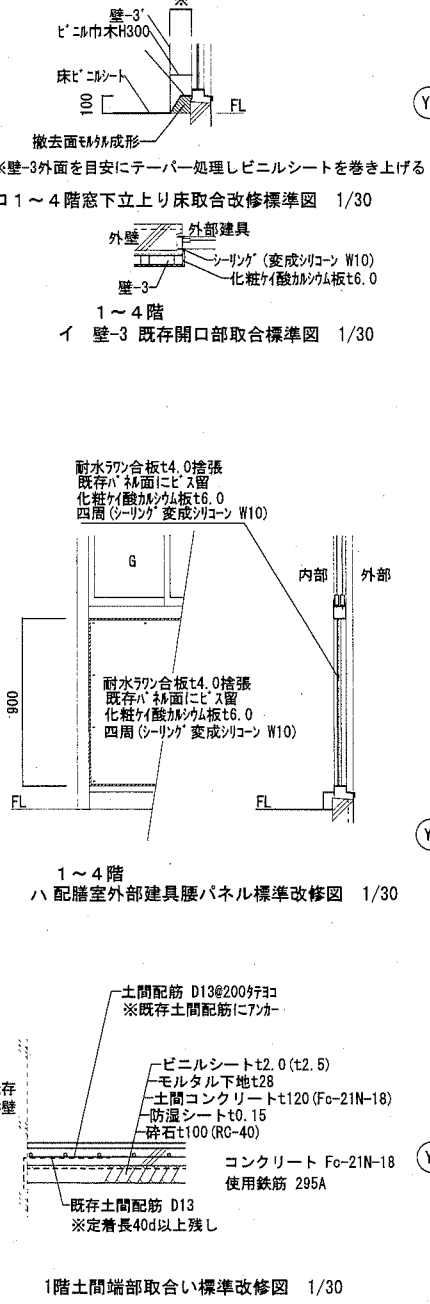
既存室(倉庫1)内部仕上表

部位	仕上	
床	土間コンクリート t120	全面撤去
	モルタル t27.5 下地ビニルシート t2.5(コイン)	全面撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボード t9.5 EP	全面撤去

土間コンクリート撤去は消火栓及びその配管等に支障のない範囲とする

廊下 既存内部仕上表

部位	仕上	
床	モルタル t27.5 下地、ビニルシート t2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボード t9.5 EP(目透し)	一部撤去



配膳室 改修内部仕上表

部位	仕上
床	モルタル t28 下地、ビニルシート t2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板 t9.0 増強、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボード t21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボード t12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-3:LGS(50)下地、化粧珪酸カルシウム板 t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 PS壁:LGS(65)下地、化粧珪酸カルシウム板 t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板 t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボード t9.5 廻縁塩ビ製
備考	ライニング壁、SUS製流し台、7mm製カネボウツカ 外部建具面改修:床取合部、腰パネル部、障子・ガラス面(建具表による) HD-1新設、壁点検口7mm額縁47'300角1ヶ所 壁-1、壁-2は耐火認定構造(1時間)梁下・57'下まで施工する

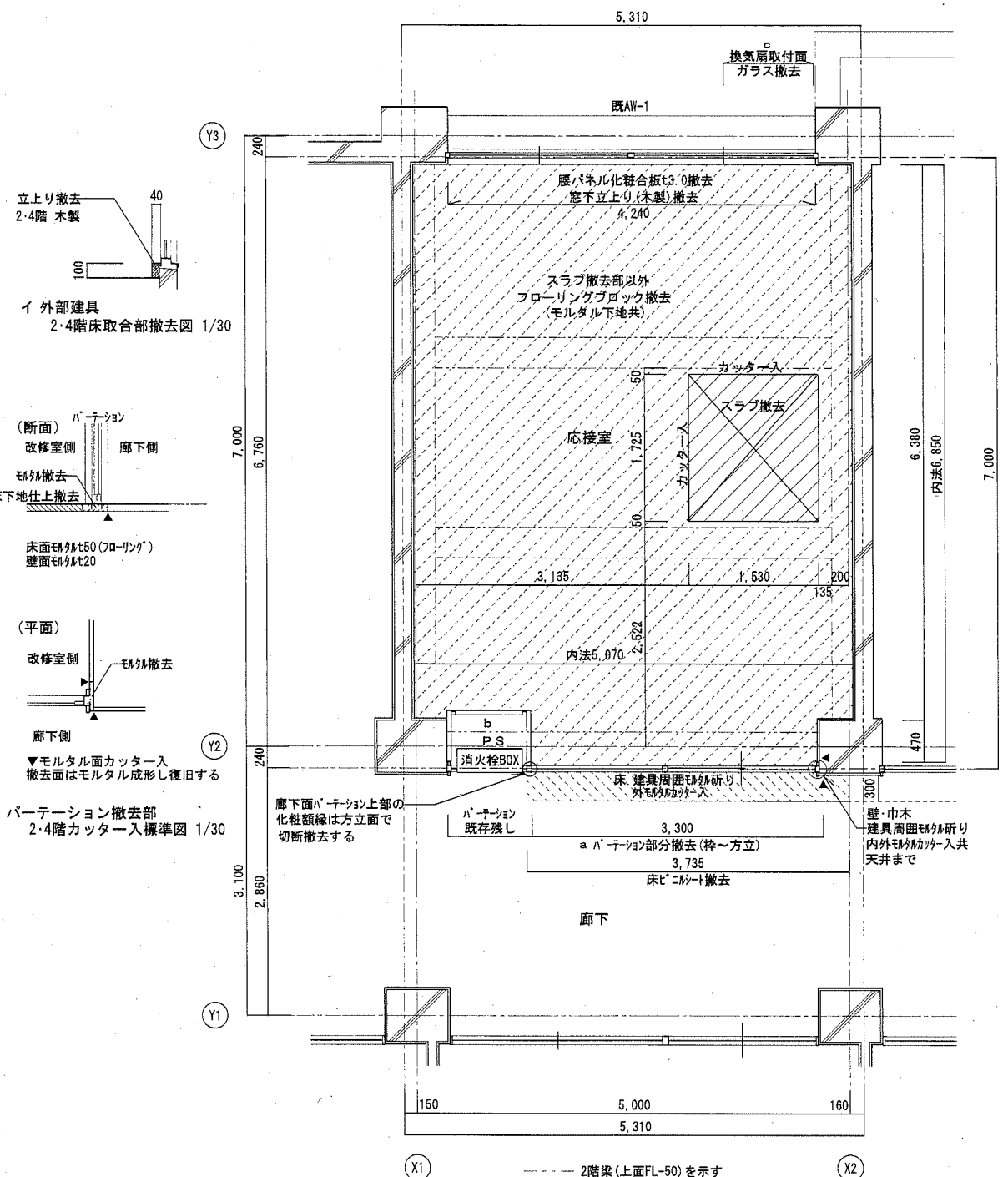
廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)

部位	仕上
床	下地調整うえビニルシート t2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボード t12.5*2/両面(目透し)、EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボード t9.5(目透し) EP(新規面) 廻縁塩ビ製
備考	消火栓上既存パーテーション上部除根塞ぎ(梁下間H100程度)ラスタル t30 ※配膳室側より施工

配膳室 設備・備品

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考



その他の撤去内容

a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去

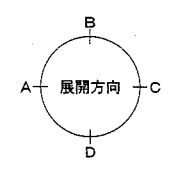
既存室(応接室)内部仕上表

部位	仕上	撤去
床	コンクリートスラブt120	部分撤去
	モルタルt35下地フローリングブロックt15	全面撤去
巾木	モルタル下地EP-G	全面撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

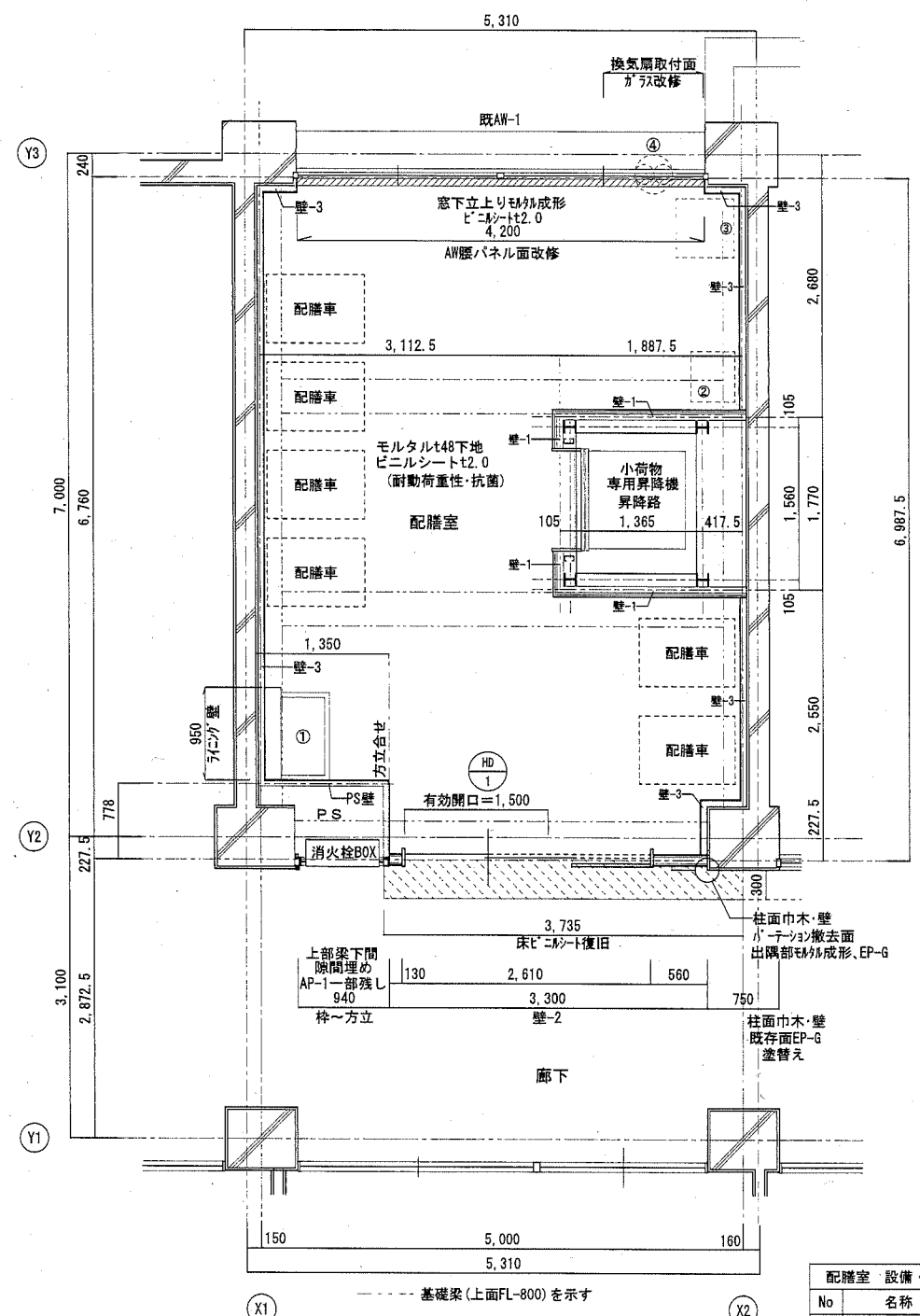
昇降路のスラブを解体する

廊下 既存内部仕上表

部位	仕上	撤去
床	モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去



E面は廊下改修面を示す



配膳室 改修内部仕上表

部位	仕上
床	モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪藻土t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪藻土t6.0 壁-3:LGS(50)下地、化粧珪藻土t8.0/片面、化粧珪藻土t6.0 PS壁:LGS(65)下地、化粧珪藻土t8.0/片面、化粧珪藻土t6.0 ライオン壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪藻土t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 珪藻土製
備考	ライオン壁、SUS製流し台、7mm製カテンボックス 外部建具面改修:床取合部、腰パネル部、障子・ガラス面(建具表による) HD-1新設、壁点検口7mm額縁47°300角1ヶ所 壁-1、壁-2は耐火認定構造(1時間)梁下「スラ」下まで施工する

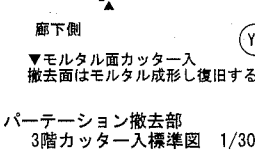
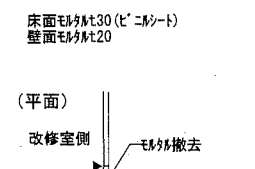
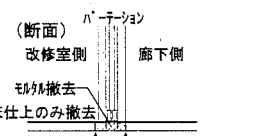
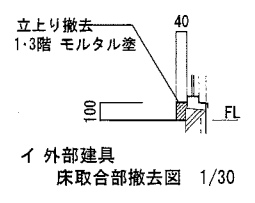
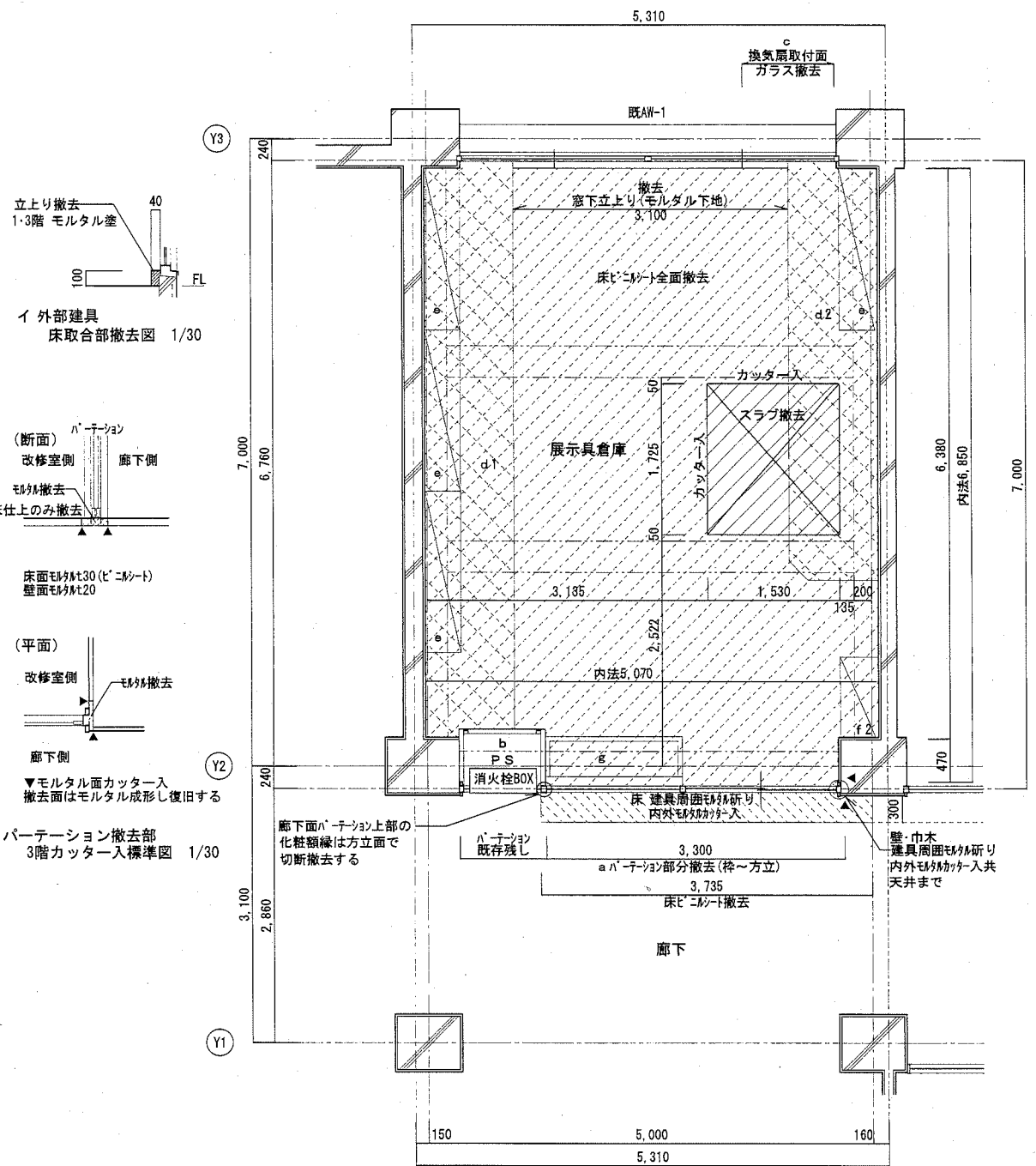
廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 珪藻土製
備考	消火栓上既存パーテーション上部隙間塞ぎ(梁下間H100程度)ラスタt30 ※配膳室側より施工

配膳室 設備・備品

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考



その他の撤去内容

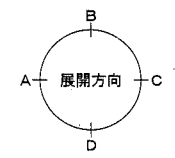
a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
d1	木製踏み台-1 6300*1000 H100	1	撤去
d2	木製踏み台-2 4650*1000 H100	1	撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	4	撤去
f1	鋼製棚 900*400*1800	1	撤去
g	木製造作流し 1550*1100*550 流し部分 1550*650*400	1	撤去

部位	仕上	撤去内容
床	コンクリートスラブ t120	部分撤去
	モルタル t27.5 下地ビニルシート t2.5 (コイン)	仕上のみ撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS 下地石膏ボード t9.5 EP	全面撤去

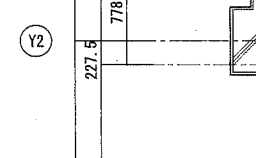
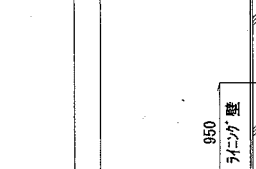
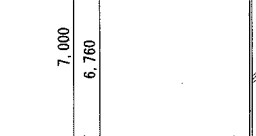
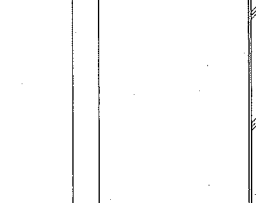
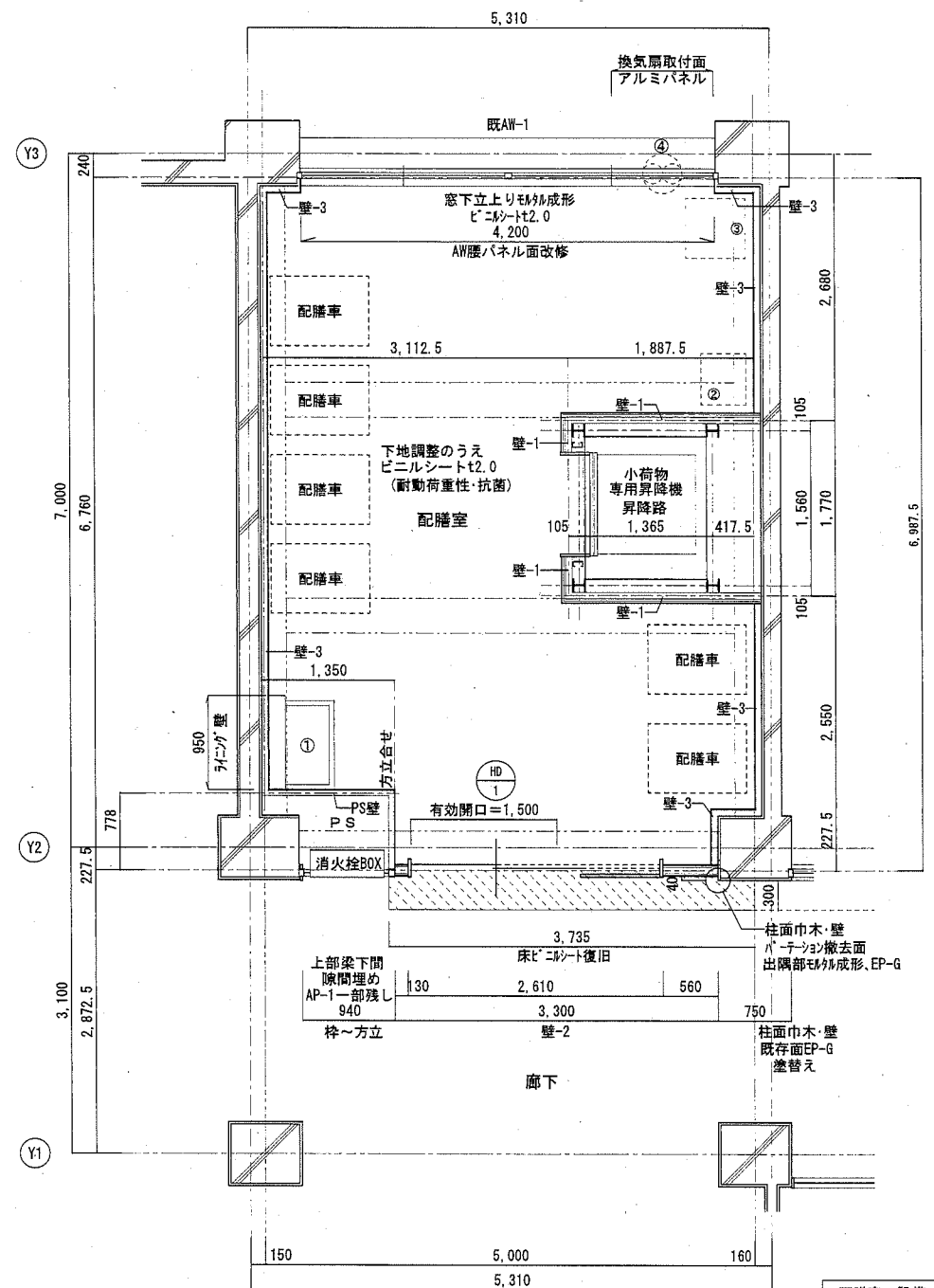
昇降路のスラブを解体する

部位	仕上	撤去内容
床	モルタル t27.5 下地、ビニルシート t2.5 (コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS (19) 下地、石膏ボード t9.5 EP (目透し)	一部撤去

3階 既存平面図 1/50



E面は廊下改修面を示す



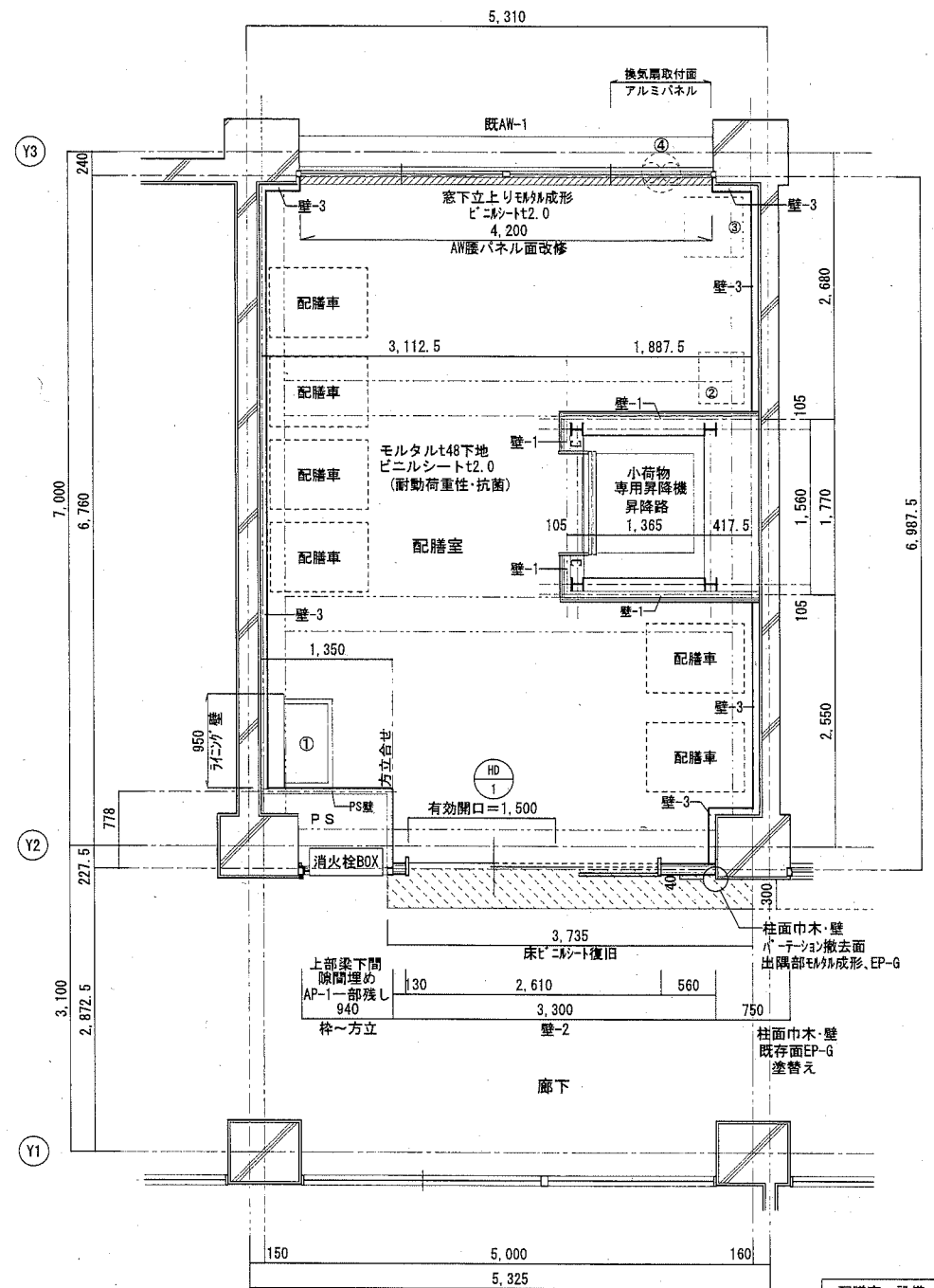
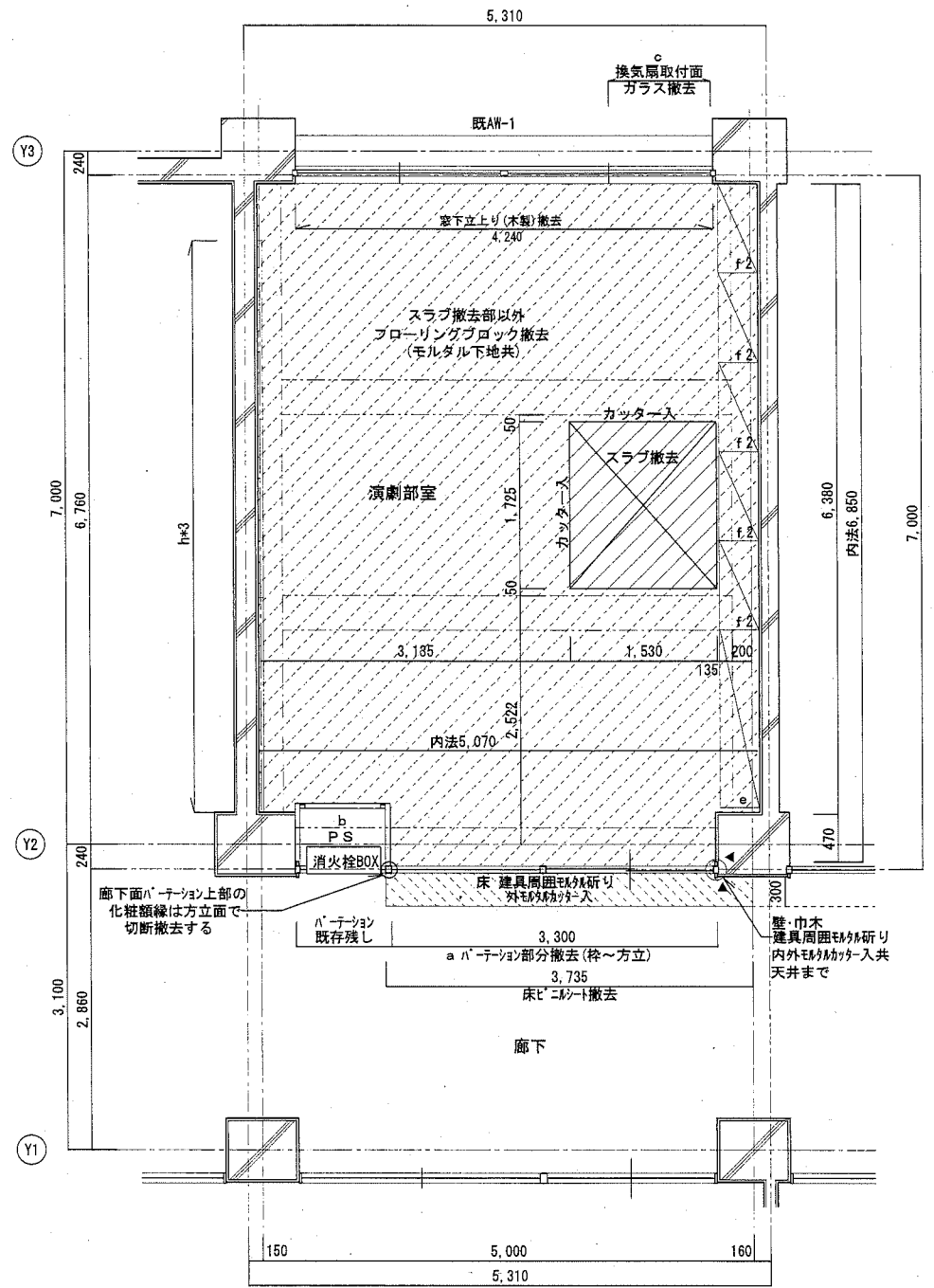
3階 改修平面図 1/50

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート t2.0 (耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板 t9.0 増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-2: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-3: LGS (50) 下地、珪酸カルシウム板 t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 PS壁: LGS (65) 下地、珪酸カルシウム板 t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 ラインガ壁: LGS (50) 下地、耐水ラワン合板 t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0
天井	LGS (19) 下地、化粧石膏ボード t9.5 廻縁塩ビ製
備考	ラインガ壁、SUS製流し台、7M製カテナボックス 外部建具面改修: 床取合部、壁パネル部、障子・ガラス面(建具表による) HD-1新設、壁点検口700x700 300角1ヶ所 壁-1・壁-2は耐火認定構造(1時間) 梁下・スラブ下まで施工する

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート t2.5 (コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)
壁	壁-2面: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)
天井	LGS (19) 下地、石膏ボード t9.5 (目透し) EP (新規面) 廻縁塩ビ製
備考	消火栓上既存パーテーション上部隙間塞ぎ(梁下間H100程度) スス抵抗 t30 ※配膳室側より施工

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考



その他の撤去内容

a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	1	撤去
f2	鋼製棚 900*400*1600	5	撤去
h	掲示用ラワン合板張 1800*900	3	撤去

既存室(演劇部室)内部仕上表

部位	仕上	
床	コンクリートスラブ t120	部分撤去
	モルタルt35下地フローリングブロックt15	全面撤去
巾木	木製巾木EP-G	全面撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

昇降路のスラブを解体する

廊下 既存内部仕上表

部位	仕上	
床	モルタル t27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去

配膳室 改修内部仕上表

部位	仕上
床	モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライオン壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製
備考	ライオン壁、SUS製流し台、7mm製カテナボック 外部建具面改修:床取合部、腰パネル部、障子・ガラス面(建具表による) HD-1新設、壁点検口7mm廻縁47°300角2ヶ所 壁-1・壁-2は耐火認定構造(1時間)梁下・37°下まで施工する

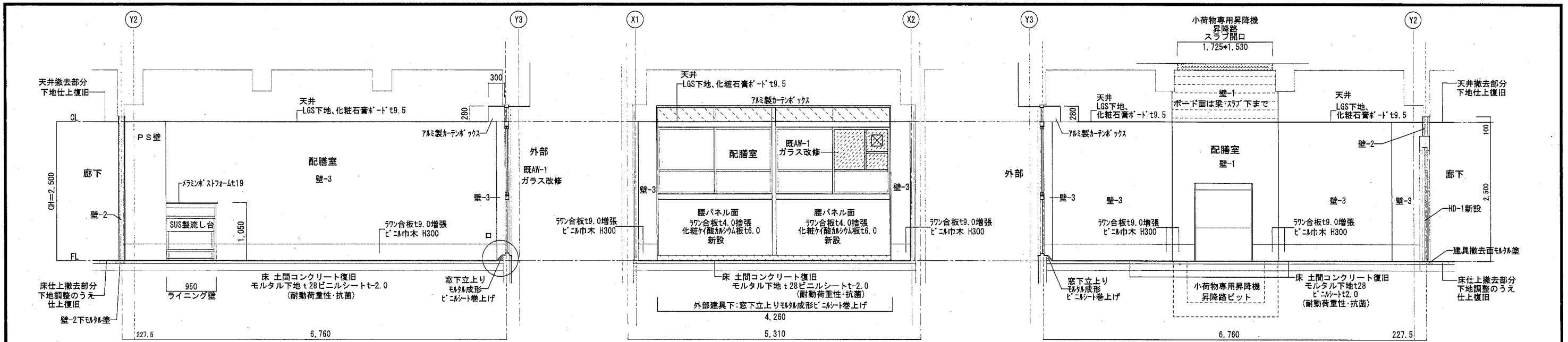
廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製
備考	消火栓上既存パーテーション上部隙間塞ぎ(梁下間H100程度)ラスカルt30 ※配膳室側より施工

配膳室 設備・備品

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考

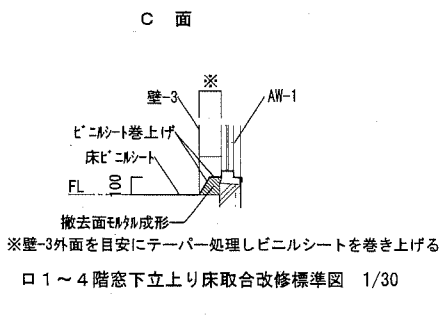


配膳室 改修内部仕上表

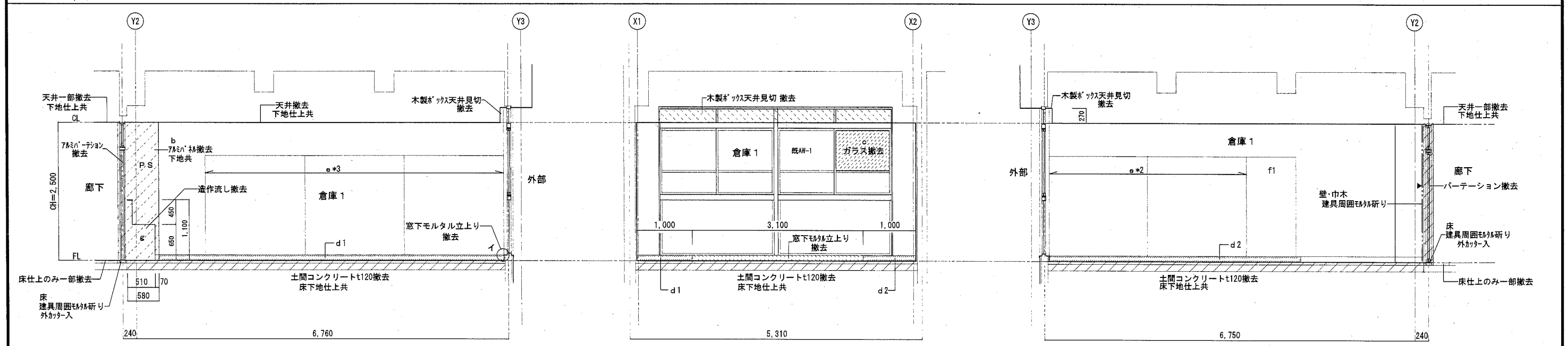
部位	仕上
床	モルタルt28下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
	壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
PS壁	LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
ライニング壁	LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5

廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し) EP(新規面) 珪藻土ビ製



1階 改修展開図-1 1/50



既存室(倉庫1)内部仕上表

部位	仕上	撤去内容
床	土間コンクリートt120	全面撤去
	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)	全面撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

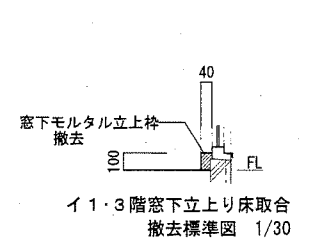
土間コンクリート撤去は消火栓及びその配管等に支障のない範囲とする

その他の撤去内容

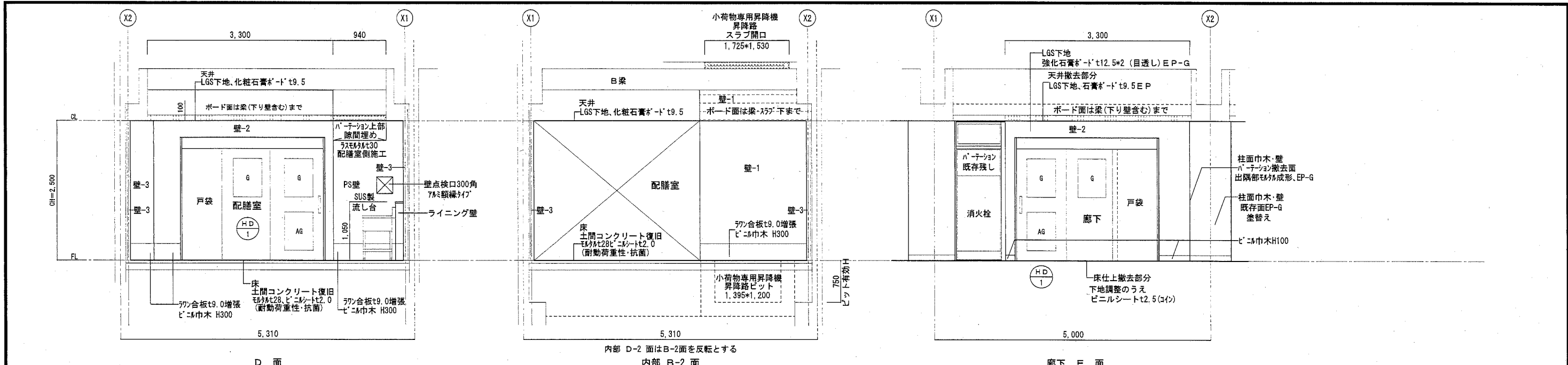
a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
d1	木製踏み台-1 6300*1000 H100	1	撤去
d2	木製踏み台-2 4650*1000 H100	1	撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	5	撤去
f1	鋼製棚 900*400*1800	1	撤去
g	木製造作流し 1550*1100*650 流し部分 1550*650*400	1	撤去

廊下 既存内部仕上表

部位	仕上	撤去内容
床	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去



1階 既存展開図-1 1/50



D面

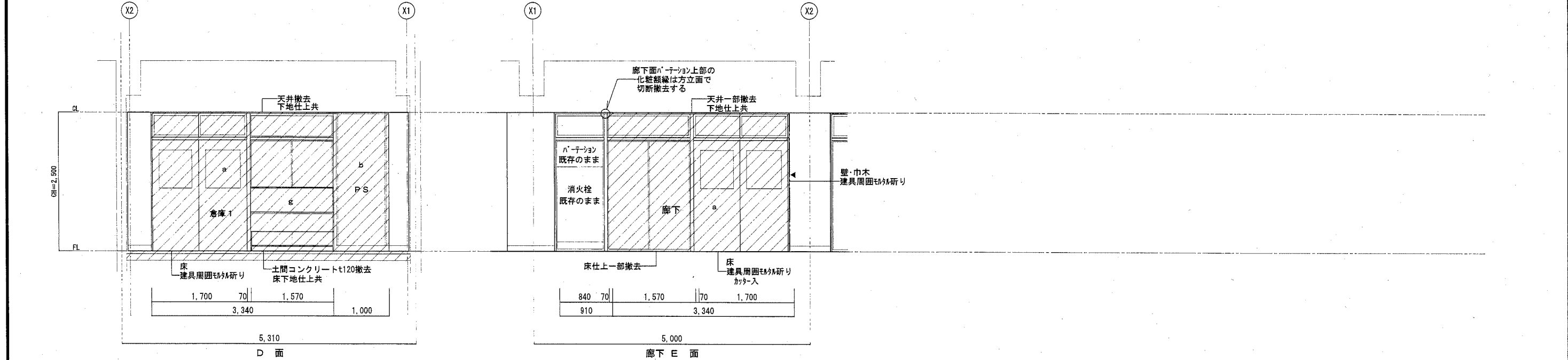
内部 B-2面

廊下 E面

1階 改修展開図-2 1/50

部位	仕上
床	モルタルt28下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、ケイ酸カルシウム板t8.0/片面、化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、ケイ酸カルシウム板t8.0/片面、化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧ケイ酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP (新規面) 廻縁塩ビ製



D面

廊下 E面

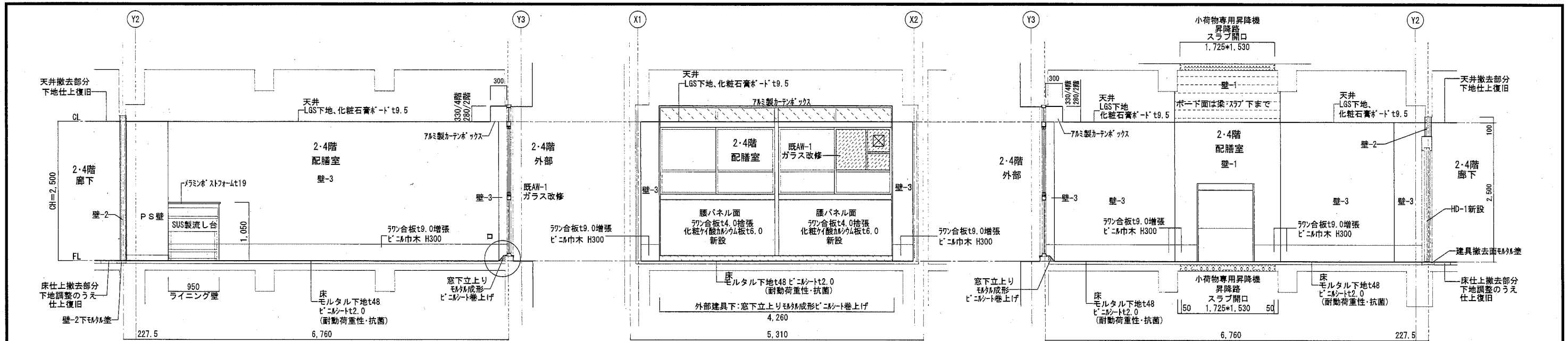
1階 既存展開図-2 1/50

部位	仕上
床	土間コンクリートt120 全面撤去 モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 全面撤去

土間コンクリート撤去は消火栓及びその配管等に支障のない範囲とする

記号	内容	数量	撤去方法
a	アルミ製パーテーション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
d1	木製踏み台-1 6300*1000 H100	1	撤去
d2	木製踏み台-2 4650*1000 H100	1	撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	5	撤去
f1	鋼製棚 900*400*1800	1	撤去
g	木製造作流し 1550*1100*550 流し部分 1550*650*400	1	撤去

部位	仕上
床	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)



A 面

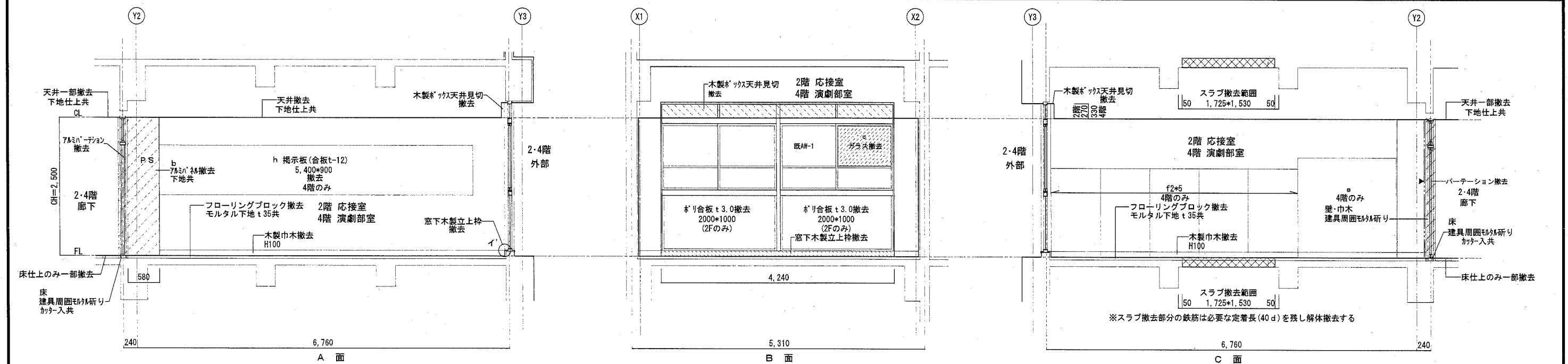
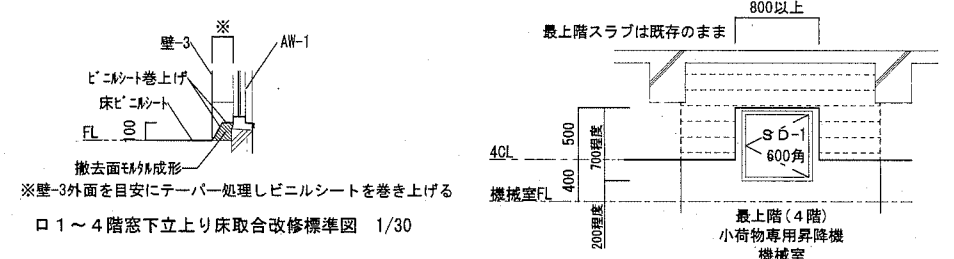
B 面

C 面

2・4階 改修展開図-1 1/50

部位	仕上
床	モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パネーション撤去面 モルタル成形、E-P-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえE-P-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)、E-P-G(新規面) パネーション撤去面 モルタル成形、E-P-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえE-P-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)E-P(新規面) 廻縁塩ビ製



A 面

B 面

C 面

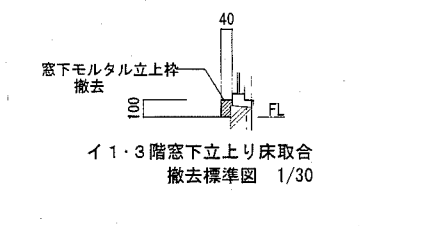
2・4階 既存展開図-1 1/50

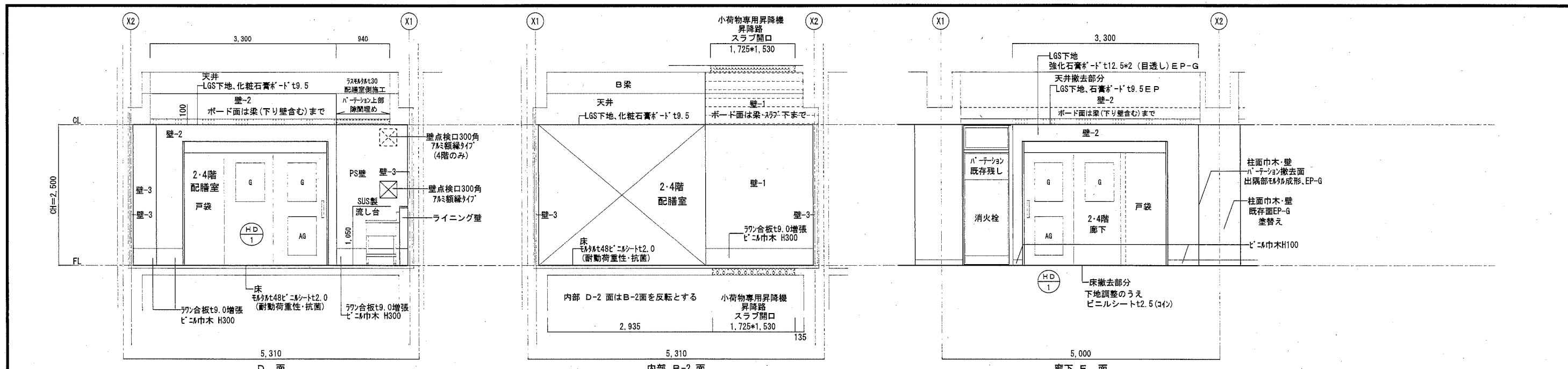
部位	仕上	撤去内容
床	コンクリートスラブt120	部分撤去
モルタル	t35下地フローリングブロックt15	全面撤去
巾木	木製巾木E-P-G	全面撤去
壁	モルタル下地E-P-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5E-P	全面撤去

昇降路部分のスラブを解体撤去する

記号	内容	数量	撤去内容
a	アルミ製パネーション	1+1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1+1	撤去
c	外部建具ガラス	1+1	一部撤去
d	4階のみ		
e	鋼製欄	1800*400*1800	1 撤去
f2	鋼製欄	900*400*1600	5 撤去
h	揭示用ラワン合板張	1800*900	3 撤去

部位	仕上	撤去内容
床	モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地E-P-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地E-P-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5E-P(目透し)	一部撤去

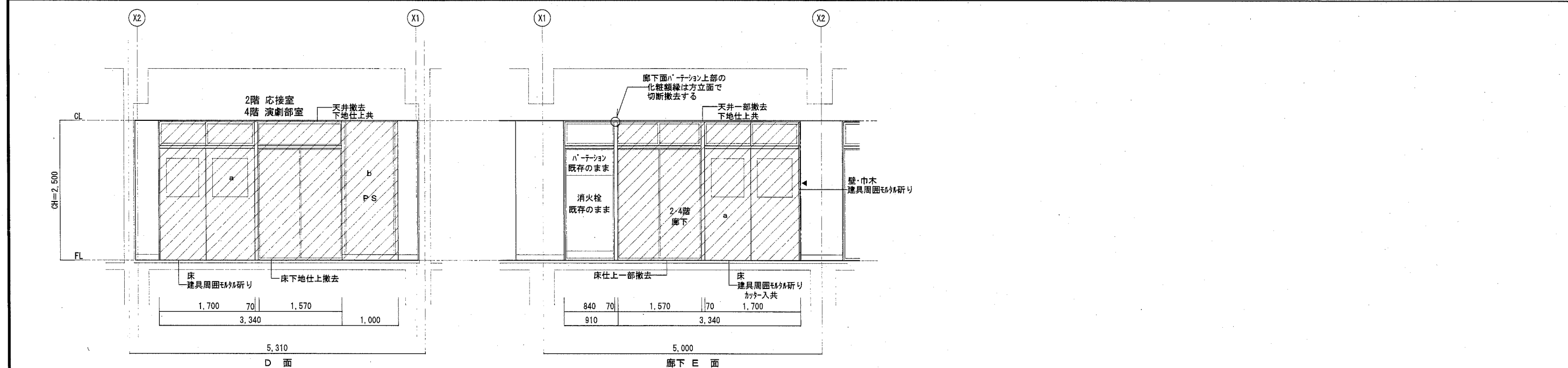




2階 改修展開図-2 1/50

部位	仕上
床	モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 珪藻土ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP (新規面) 珪藻土ビ製



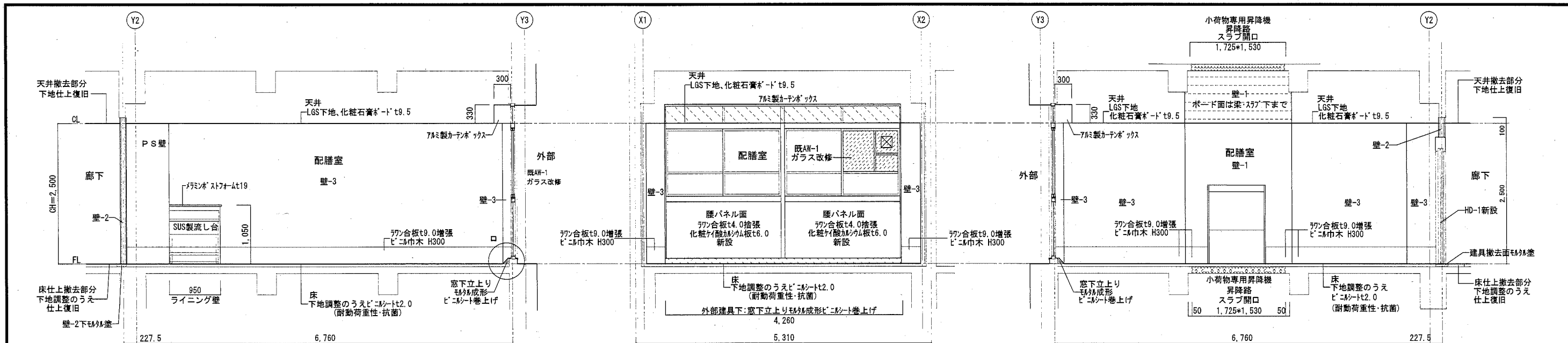
2・4階 既存展開図-2 1/50

部位	仕上	撤去
床	コンクリートスラブt120	部分撤去
床	モルタルt35下地フローリングブロックt15	全面撤去
巾木	木製巾木EP-G	全面撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

昇降路部分のスラブを解体撤去する

記号	内容	数量	撤去
a	アルミ製パーティション	1+1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1+1	撤去
c	外部建具ガラス	1+1	一部撤去
4階のみ			
e	鋼製棚 1800*400*1800	1	撤去
f2	鋼製棚 900*400*1600	5	撤去
h	揭示用ラワン合板張 1800*900	3	撤去

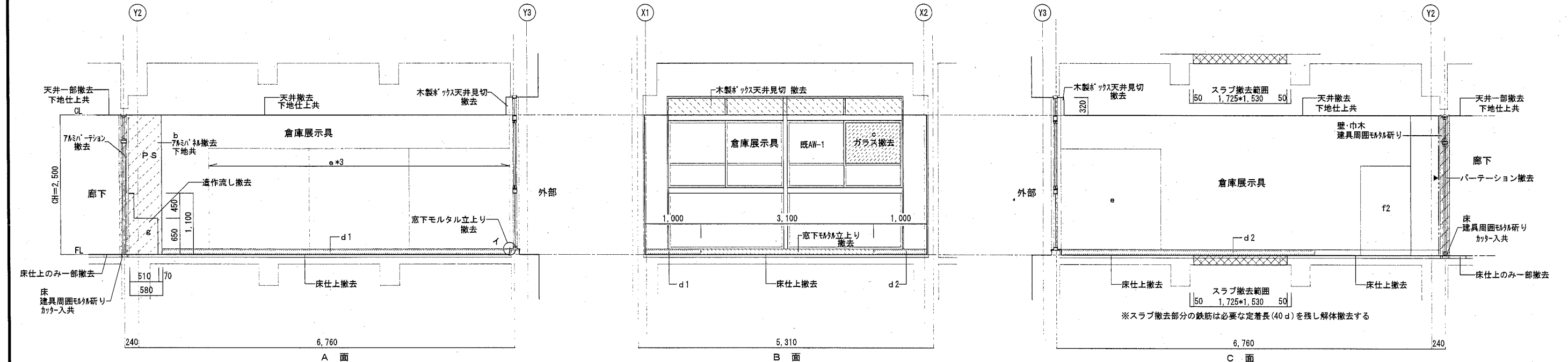
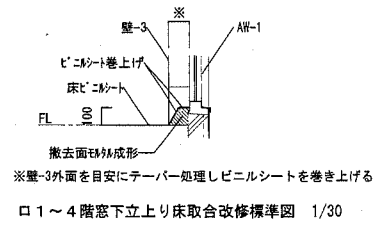
部位	仕上	撤去
床	モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去



3階 改修展開図-1 1/50

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 珪藻土ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)、EP-G(新規面) パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し) EP(新規面) 珪藻土ビ製



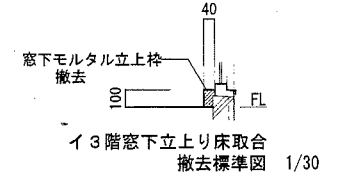
3階 既存展開図-1 1/50

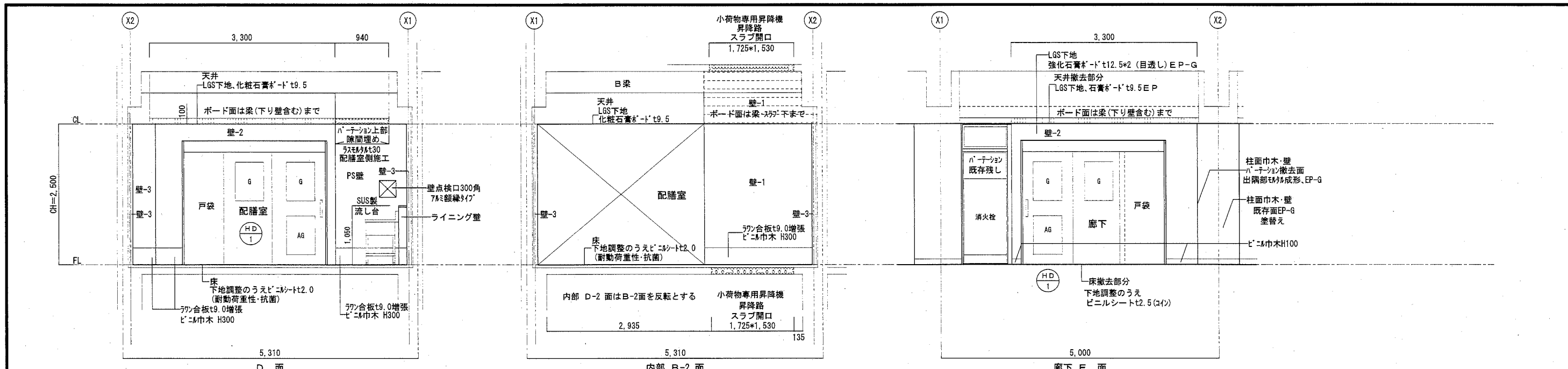
部位	仕上
床	コンクリートスラブt120 部分撤去 モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ撤去
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 全面撤去

昇降路のスラブを解体する

記号	内容	数量	撤去方法
a	アルミ製パーティション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	1	撤去
f2	鋼製棚 900*400*1600	5	撤去
h	掲示用ラワン合板張 1800*900	3	撤去

部位	仕上
床	モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し) 一部撤去

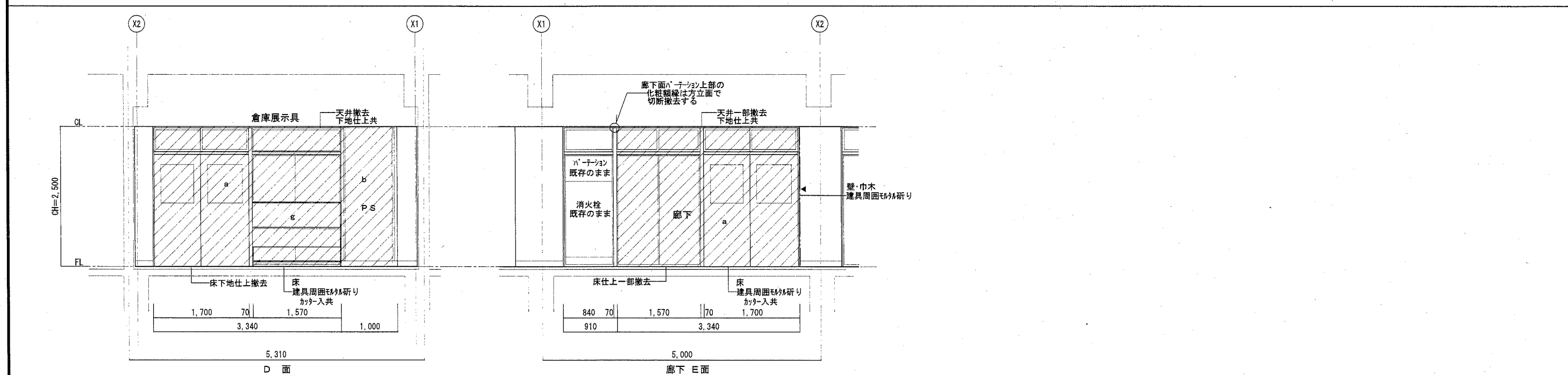




3階 改修展開図-2 1/50

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増強、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水ラワン合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)、EP-G (新規面) パーティション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し) EP (新規面) 廻縁塩ビ製



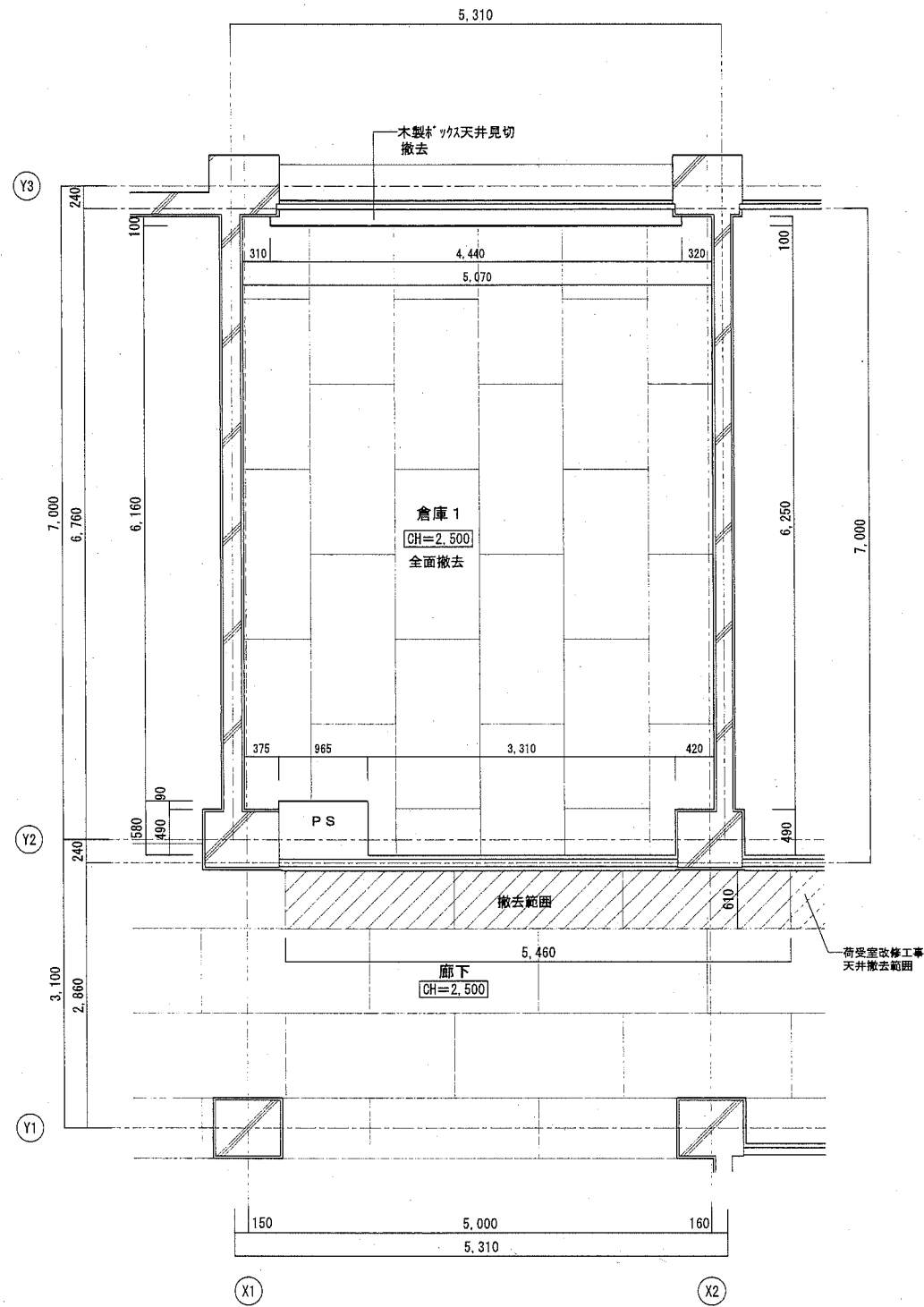
3階 既存展開図-2 1/50

部位	仕上
床	コンクリートスラブt120 部分撤去 モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 全面撤去
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 全面撤去

昇降路部分のスラブを解体撤去する

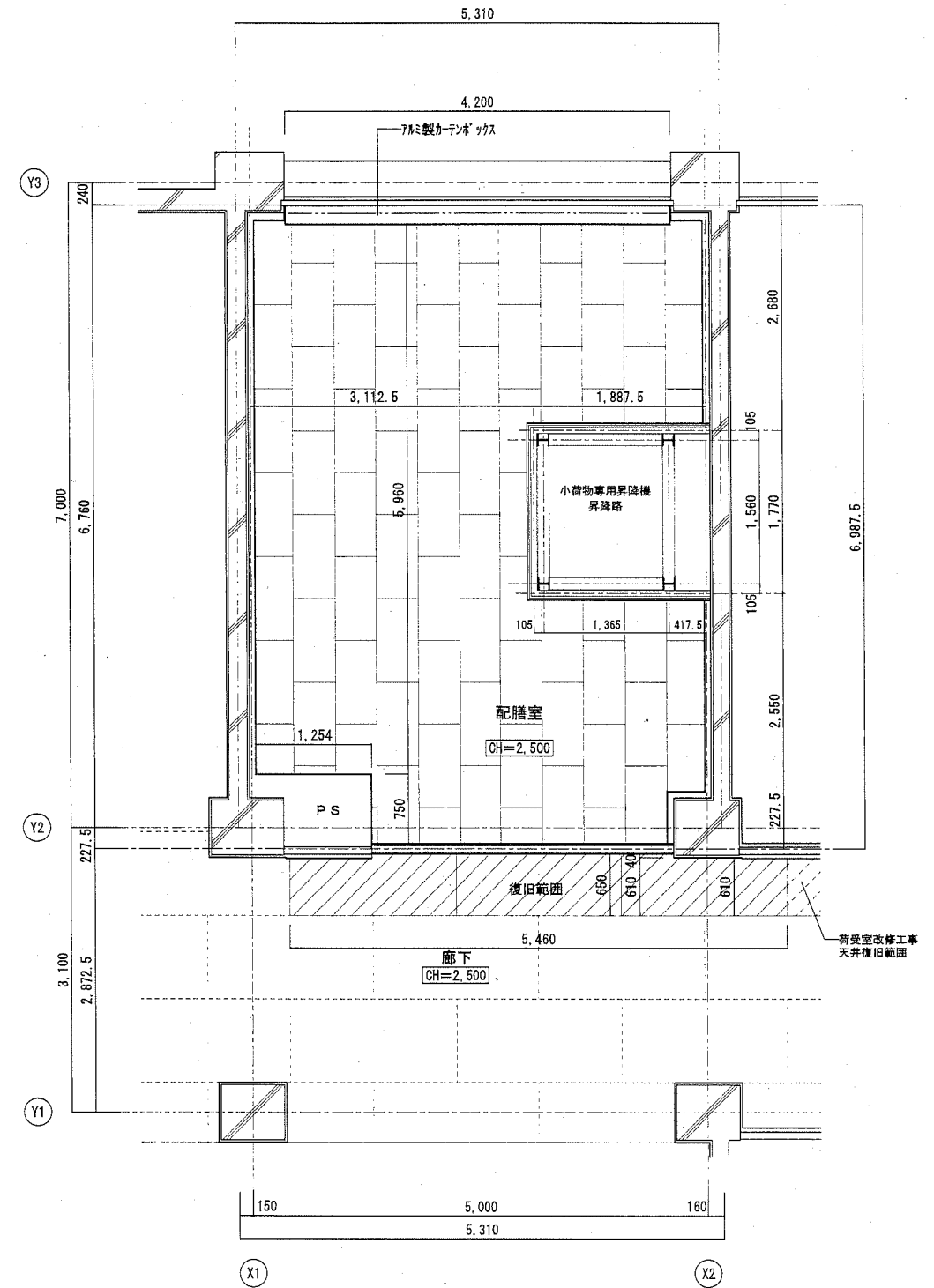
記号	内容	数量	撤去方法
a	アルミ製パーティション	1	一部撤去
b	アルミ製PSパネル(下地共)	1	撤去
c	外部建具ガラス	1	一部撤去
e	鋼製棚 1800*400*1800	1	撤去
f2	鋼製棚 900*400*1600	5	撤去
h	掲示用ラワン合板張 1800*900	3	撤去

部位	仕上
床	モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し) 一部撤去



1階 既存天井伏図 1/50

既存室（倉庫1）既設天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボード t-9.5 EP	全面撤去
備考	外部建具上部:木製'ツツ'天井	全面撤去
廊下 既設天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボード t-9.5 EP	一部撤去
備考		



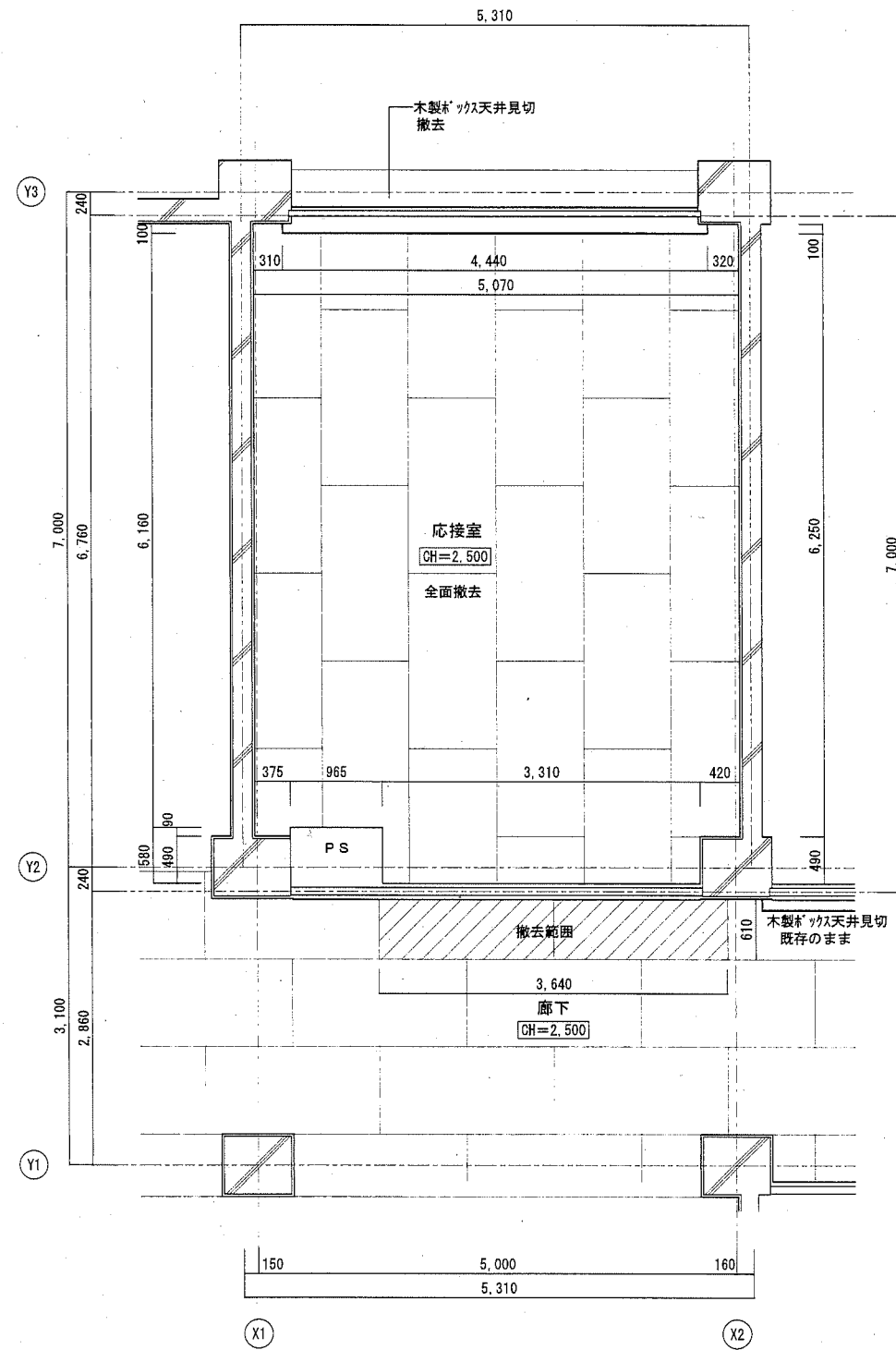
1階 改修天井伏図 1/50

配膳室 改修天井仕上		
天井	LGS下地:化粧石膏ボード t-9.5	
廻縁	塩ビ製	
備考	7'角製'ツツ'天井 天井点検口450角7'角額縁'ツツ'1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボード t-9.5 EP	
廻縁	塩ビ製	
備考		

公共建築課長	主査等	担当者

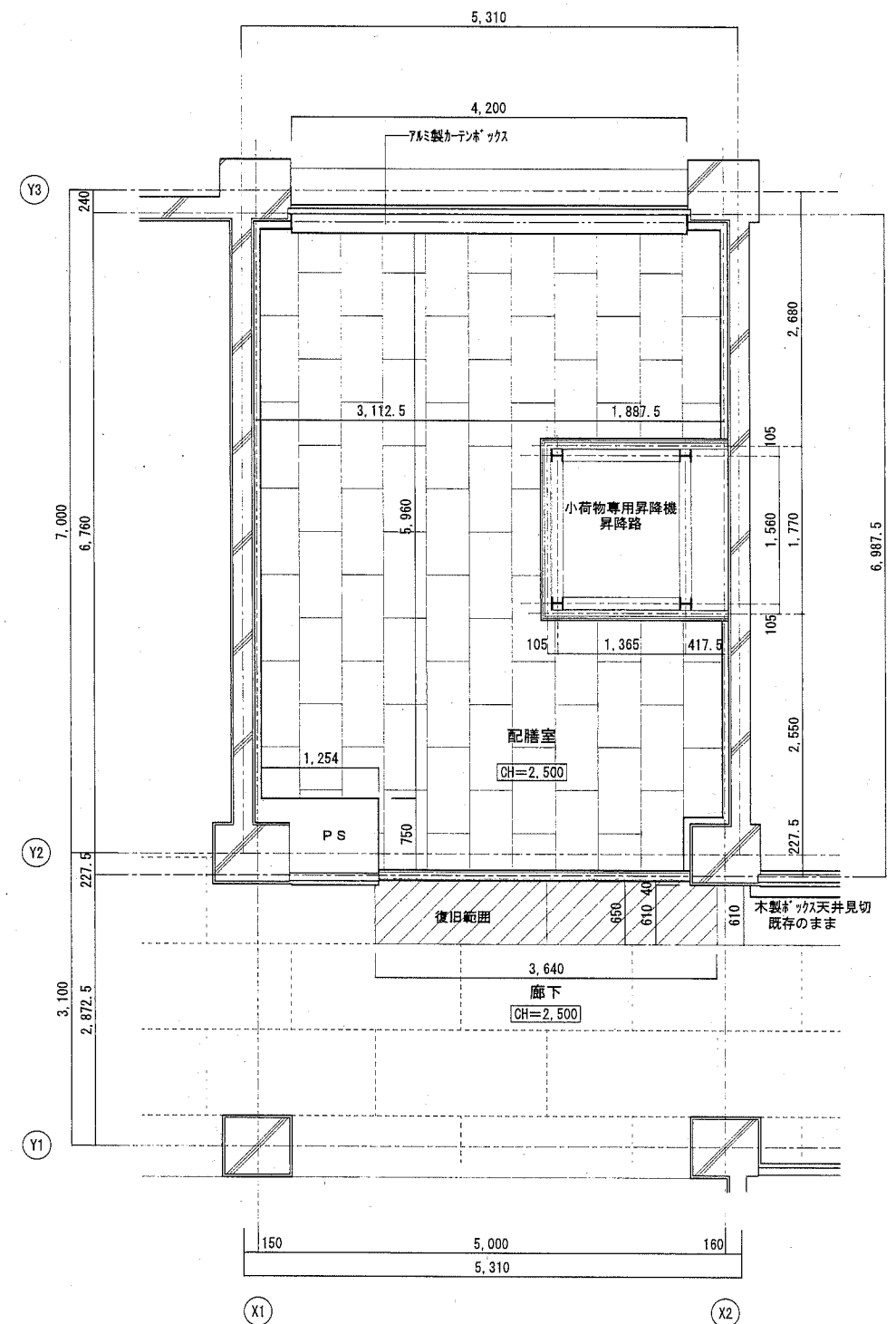
工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
 図面名称 追浜中学校 1階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)

縮尺
1/50



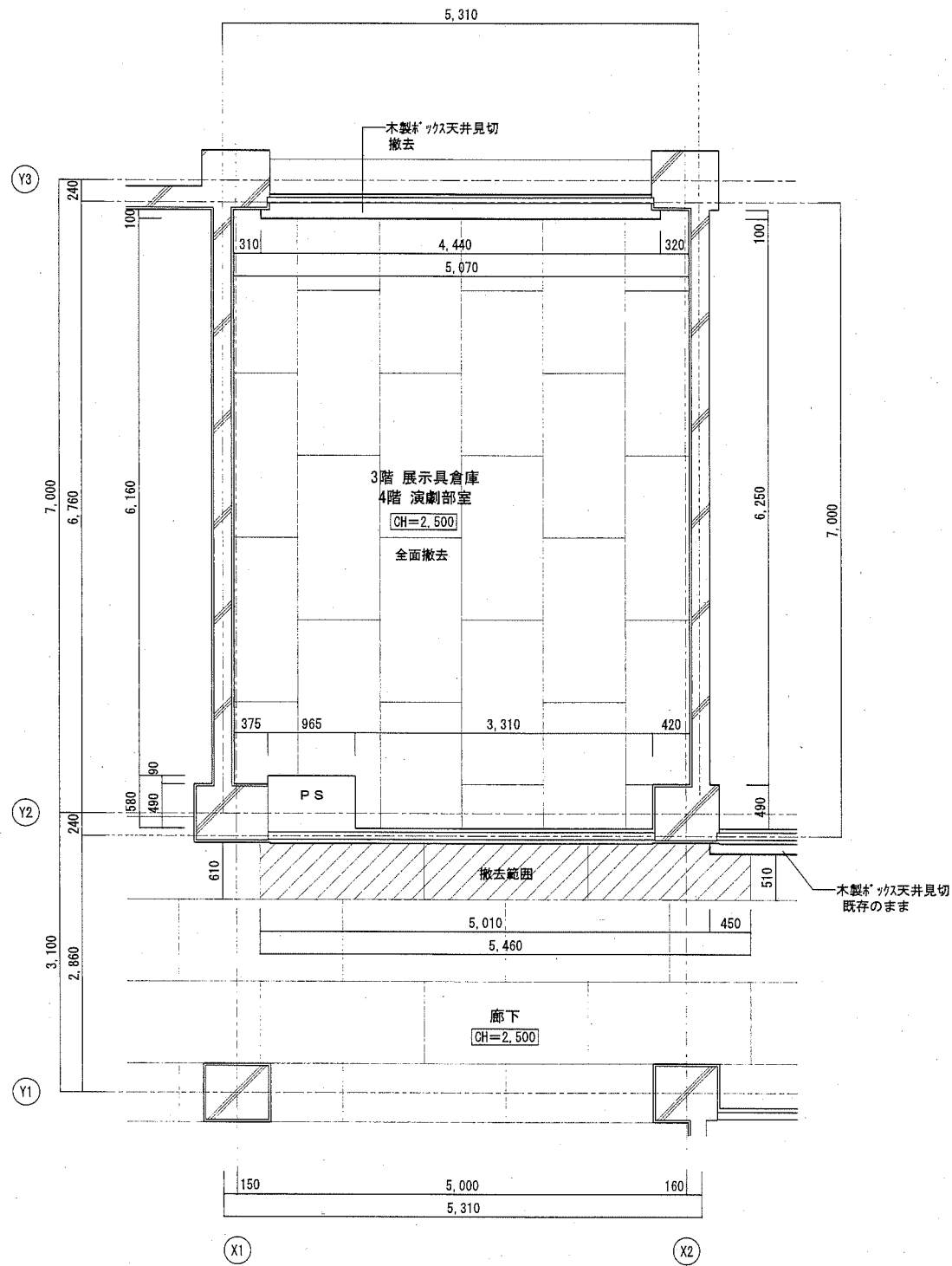
2階 既存天井伏図 1/50

既存室（倉庫1）既設天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	全面撤去
備考	外部建具上部：木製格子天井見切	全面撤去
廊下 既設天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	一部撤去
備考	外部建具上部：木製格子天井見切	既存のまま



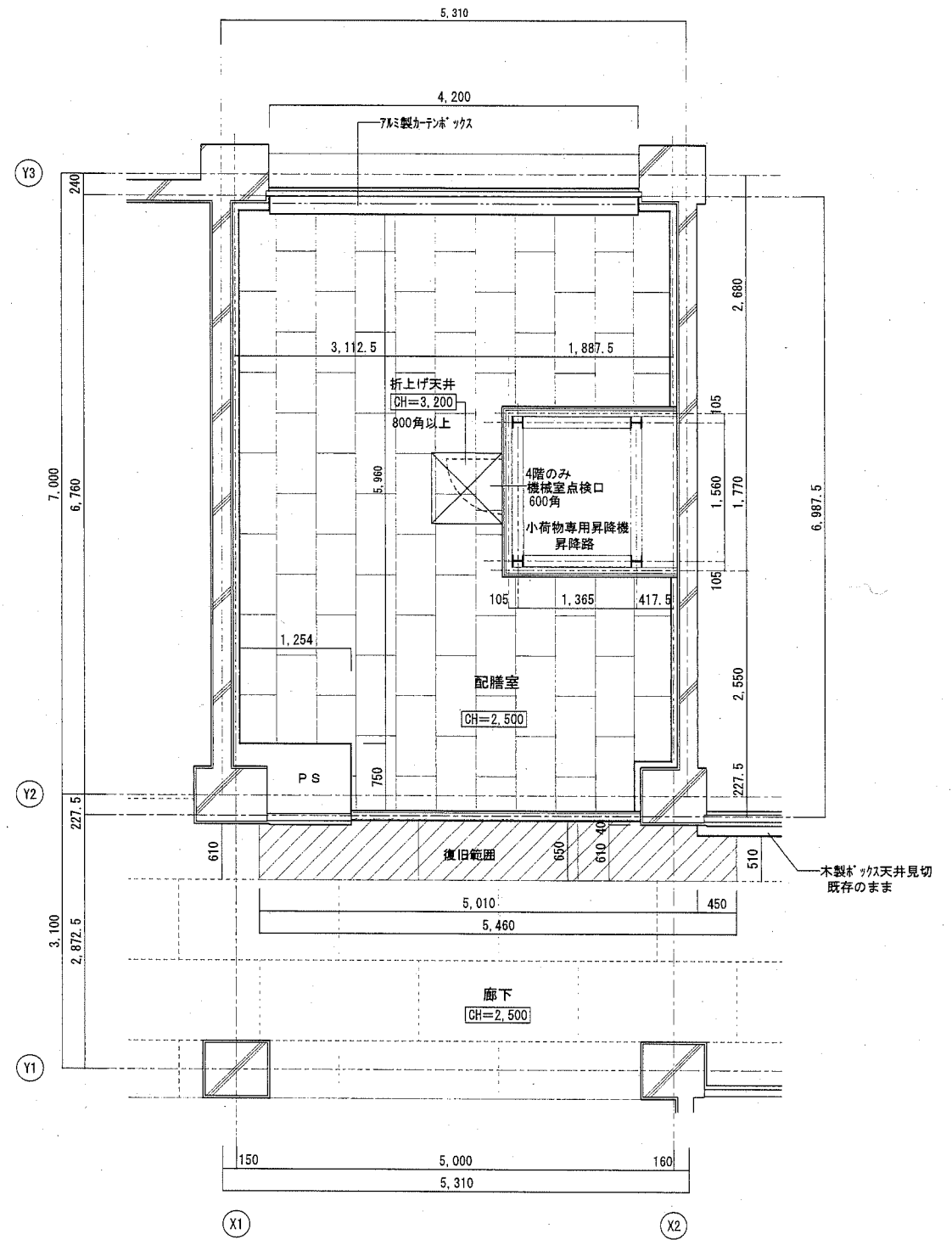
2階 改修天井伏図 1/50

配膳室 改修天井仕上		
天井	LGS下地：化粧石膏ボード t-9.5	
廻縁	塩ビ製	
備考	7ミリ製カーテンボックス 天井点検口450角7ミリ額縁が1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	
廻縁	塩ビ製	
備考		



3・4階 既存天井伏図 1/50

既存室（倉庫1）既設天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	全面撤去
備考	外部建具上部：木製'ツル'天井見切	全面撤去
廊下 既設天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	一部撤去
備考	外部建具上部：木製'ツル'天井見切	既存のまま



3・4階 改修天井伏図 1/50

配膳室 改修天井仕上		
天井	LGS下地：化粧石膏ボード t-9.5	
廻縁	塩ビ製	
備考	7M製'ツル'ツル	
	天井点検口450角7M製'額縁タイプ'1ヶ所	
	取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地：石膏ボード t-9.5 EP	
廻縁	塩ビ製	
備考		

公共建築課長	主査等	担当者

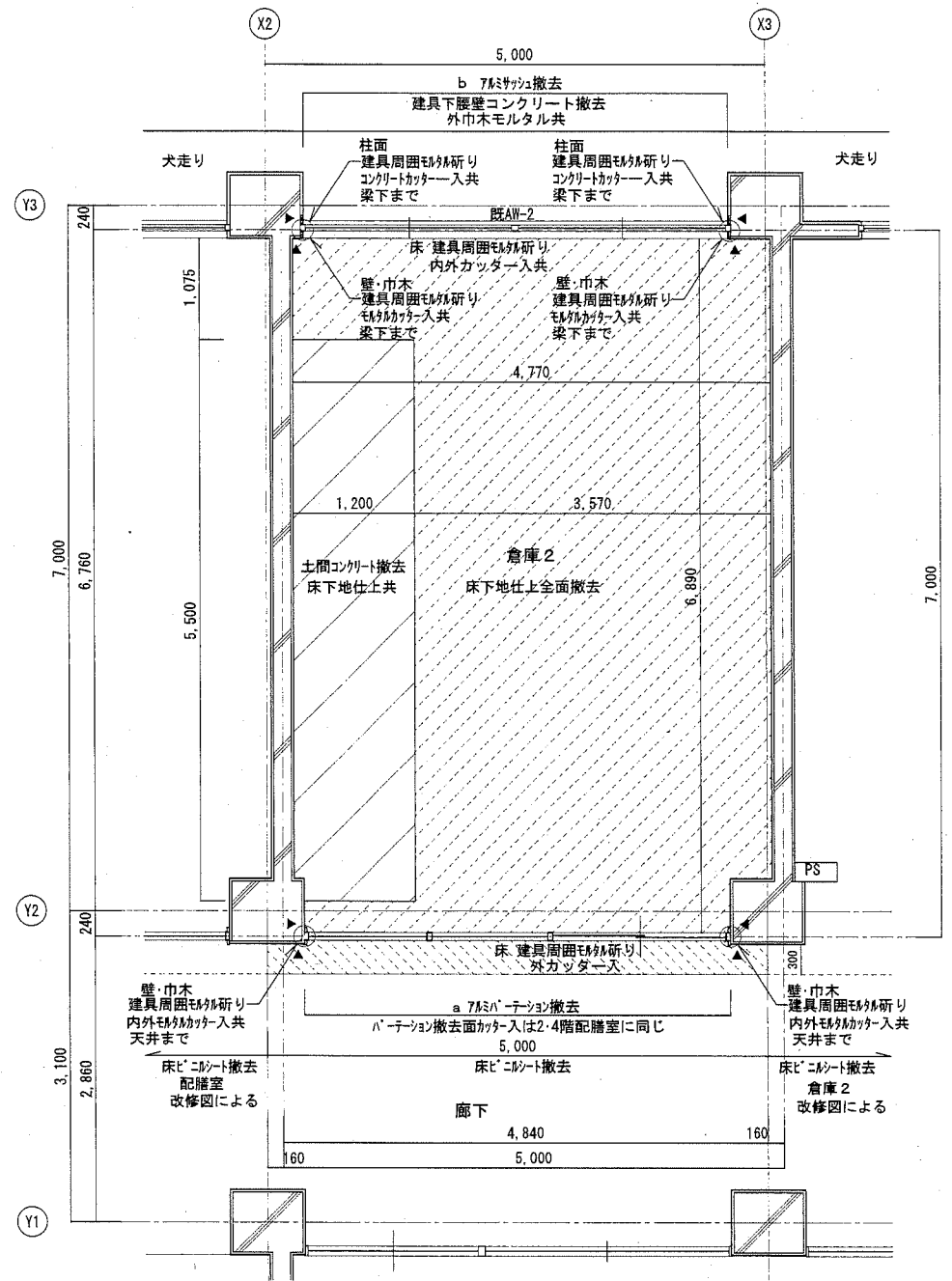
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 追浜中学校 3・4階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)

縮尺
1/50

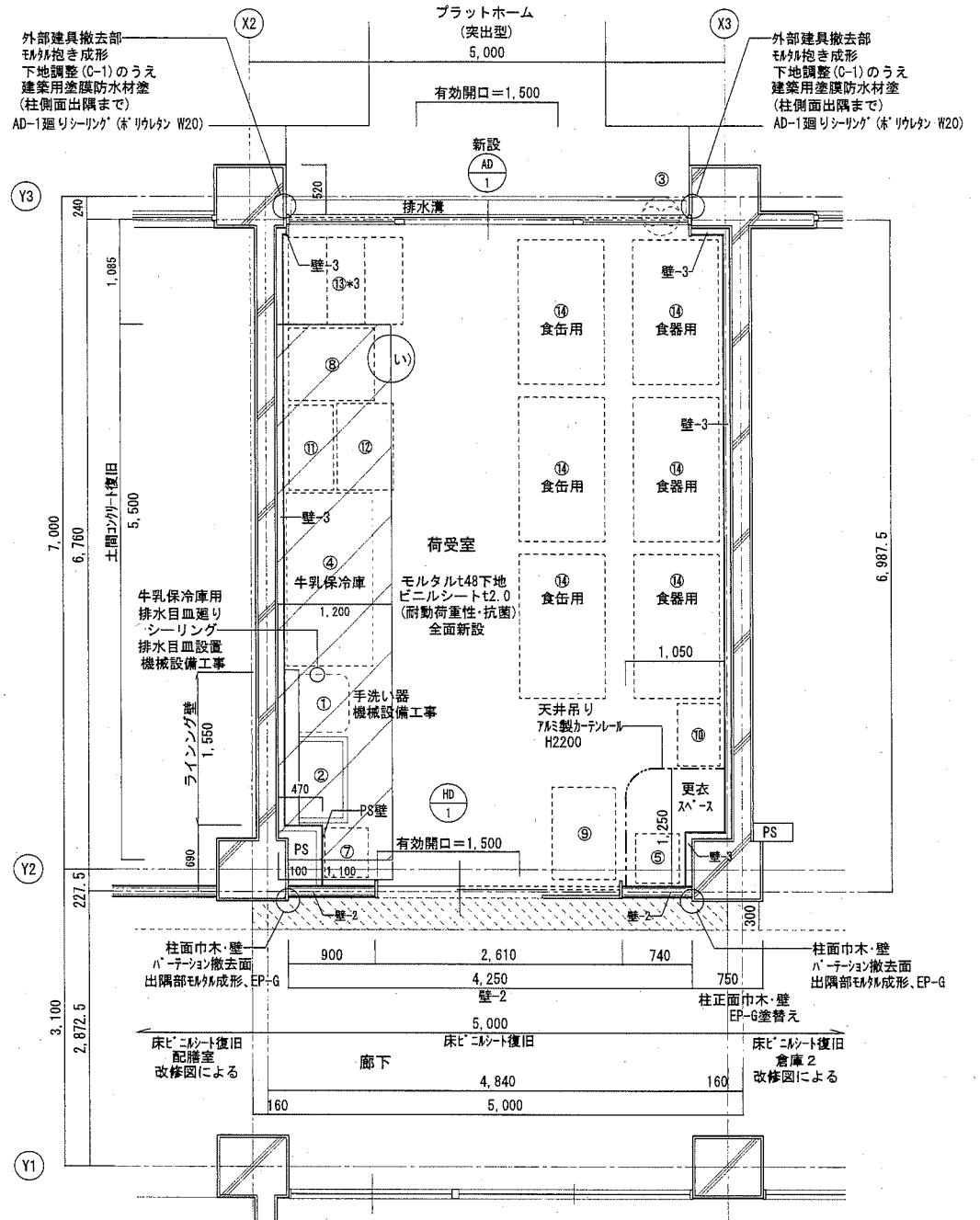
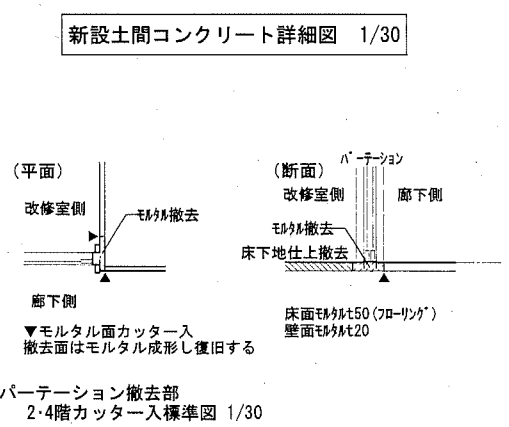
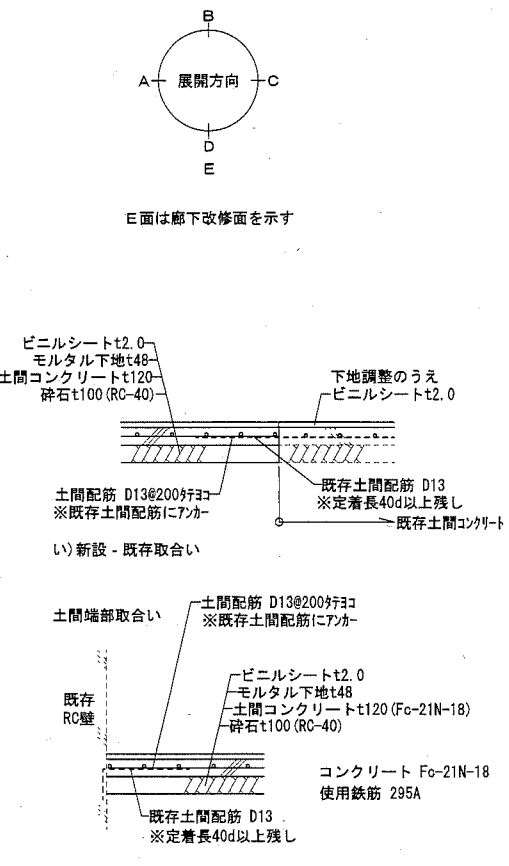
A-26

No.



▲ 壁面カッター入
建具撤去面は内外の壁面にカッターを入れる

1階 既存平面図 1/50



1階 荷受室 改修平面図 1/50

部位	仕上	
床	土間コンクリート t120	一部撤去
	モルタル下地 t35 フローリングブロック t15	全面撤去
巾木	木製巾木 EP-G	全面撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボード t9.5 EP	全面撤去

土間コンクリート撤去部分は下地仕上共撤去する

外部建具(既存AW-2)撤去

部位	仕上	
床	モルタル t27.5下地, ビニルシート t2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地, 石膏ボード t9.5 EP(目透し)	一部撤去

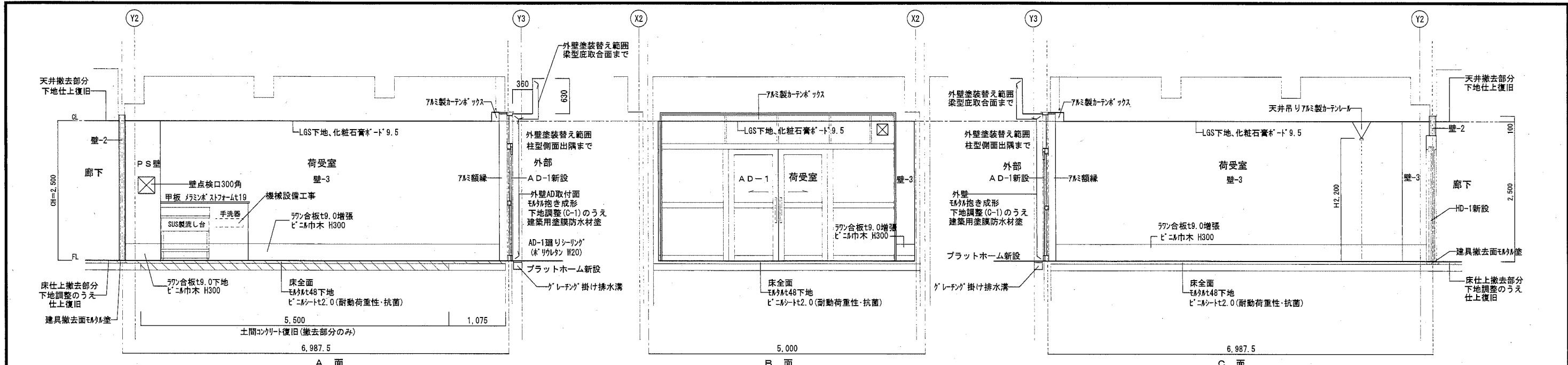
部位	仕上	数量	備考
a	アルミ製ハーション	1	撤去
b	アルミ製サッシュ	1	撤去

部位	仕上
床	土間コンクリート t120撤去面復旧 モルタル t48下地, ビニルシート t2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板 t9.0増強, ビニル巾木 H300
壁	壁-2:LGS(65)下地, 強化石膏ボード t12.5*2/両面, 化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-3:LGS(50)下地, 珪酸カルシウム板 t8.0/片面, 化粧珪酸カルシウム板 t6.0 PS壁:LGS(65)下地, 珪酸カルシウム板 t8.0/片面, 化粧珪酸カルシウム板 t6.0 ライオン壁:LGS(50)下地, 耐水ラワン合板 t12*2/片面, 化粧珪酸カルシウム板 t6.0
天井	LGS(19)下地, 化粧石膏ボード t9.5 廻縁塩ビ製
備考	ライオン壁, SUS製流し台, 7M3製カーテンレール, 天井吊りカーテンレール 外部 AD-1新設, プラットホーム新設 牛乳保冷库用排水目皿廻りシーリング(排水目皿設置は機械設備工事) 壁-2は耐火認定構造(1時間)梁下・スツ下まで施工する

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート t2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 ハーション撤去面 モルタル成形, EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地, 強化石膏ボード t12.5*2/両面(目透し), EP-G(新規面) ハーション撤去面 モルタル成形, EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地, 石膏ボード t9.5(目透し) EP(新規面) 廻縁塩ビ製
備考	天井点検口 7M3廻縁塩ビ 450角1か所

No	名称	数量	備考
①	手洗い	1	機械設備工事
②	シンク	1	建築工事
③	換気扇	1	機械設備工事
④	牛乳保冷库	1	工事対象外
⑤	更衣ロッカー	1	
⑥	カーテンレール(S)	1	建築工事
⑦	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
⑧	移動式作業台	1	
⑨	リフト用運搬車	1	
⑩	作業机	1	
⑪	簡易棚	1	
⑫	L型台車	1	
⑬	スノコ	2~3	
⑭	運搬コンテナ	6	

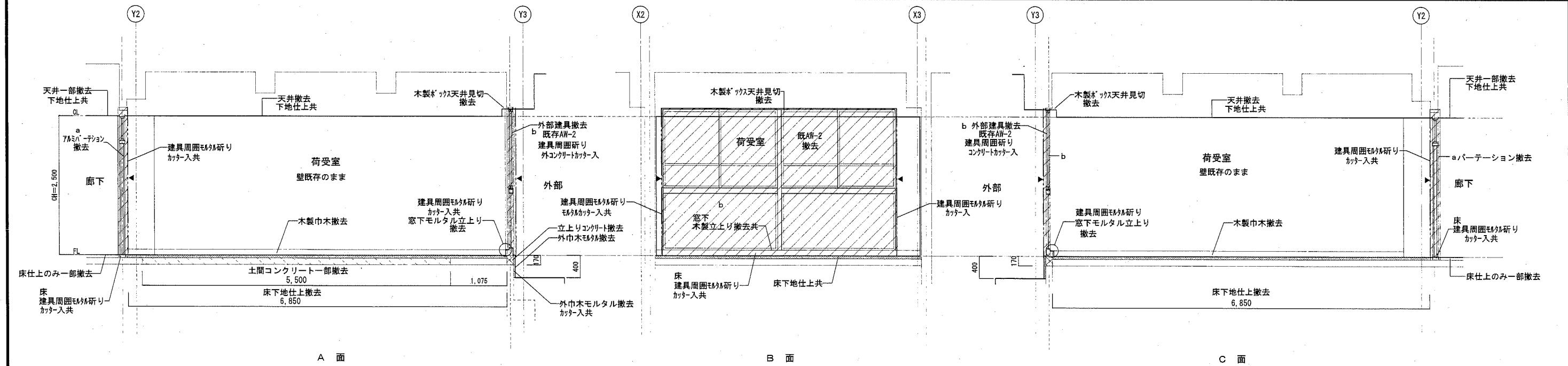
牛乳保冷库を除く備品の配置は参考



1階 改修展開図-1 1/50

荷受室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	土間コンクリートt120撤去面復旧 モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)全面新設
巾木	ラワン合板t9.0増強、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 5イオン壁:LGS(50)下地、耐水珪酸カルシウム板t12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製
備考	新設する土間の配筋、既存土間及び躯体との定着方法はA-27図による

廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)	
部位	仕上
床	下地調整うえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製
備考	



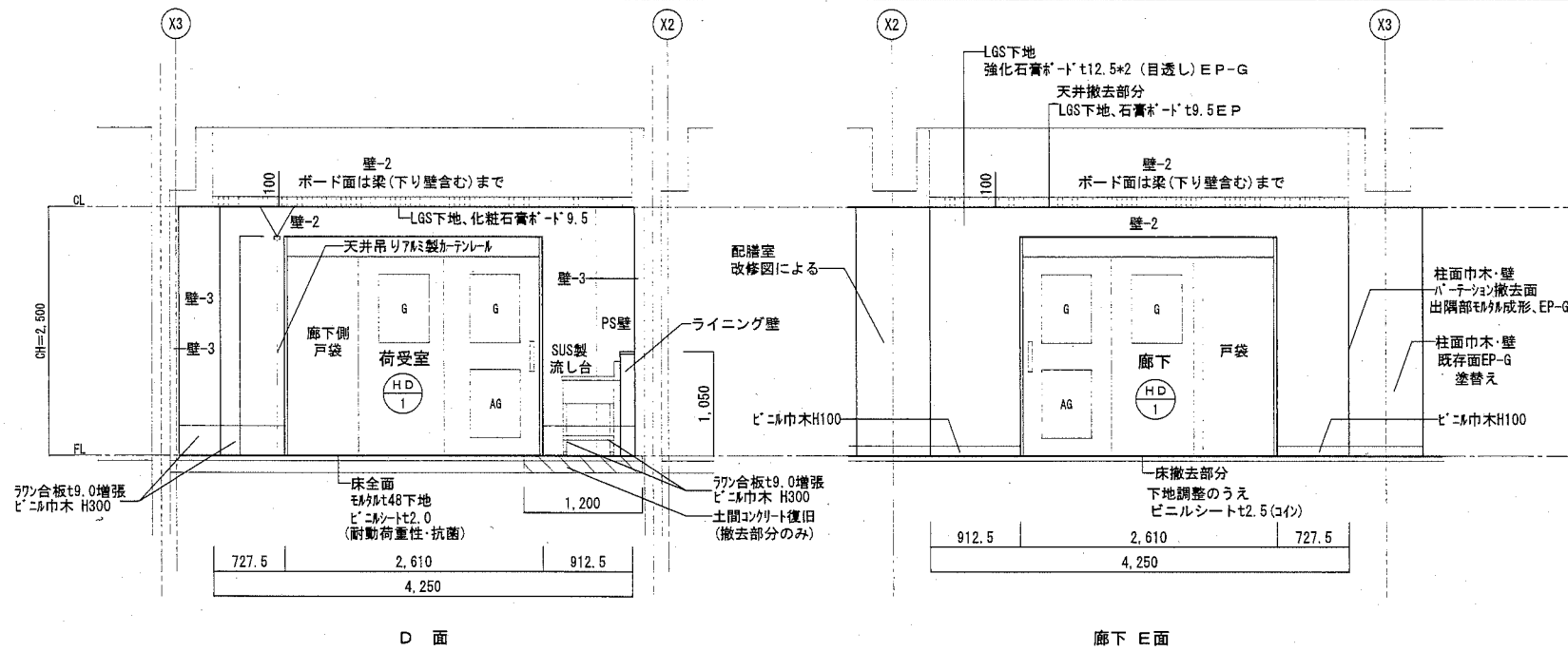
1階 既存展開図-1 1/50

既存室(倉庫2) 内部仕上表	
部位	仕上
床	土間コンクリートt120 一部撤去 モルタルt35下地フローリングブロックt15 全面撤去
巾木	木製巾木EP-G 全面撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 全面撤去

土間コンクリート撤去部分は下地仕上共撤去する
外部建具(既存AW-2)撤去

その他の撤去内容		
a アルミ製パーテーション	1	撤去
b アルミ製サッシ	1	撤去

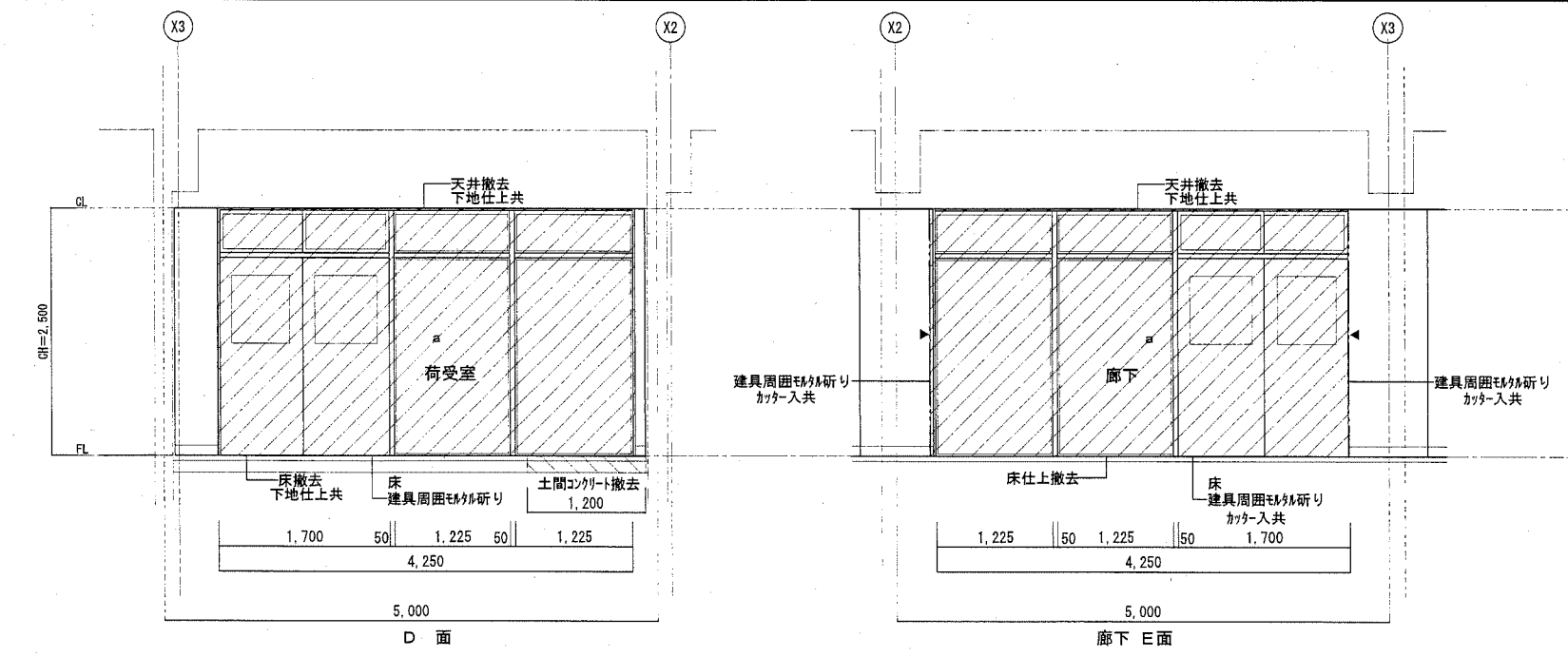
廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G 建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し) 一部撤去



1階 改修展開図-2 1/50

部位	仕上
床	土間コンクリートt120撤去面復旧 モルタルt48下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)全面新設
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 ライニング壁:LGS(50)下地、耐水珪酸合板t12*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製
備考	新設する土間の配筋、既存土間及び躯体との定着方法はA-27図による

部位	仕上
床	下地調整うえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 パネーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)、EP-G(新規面) パネーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製
備考	



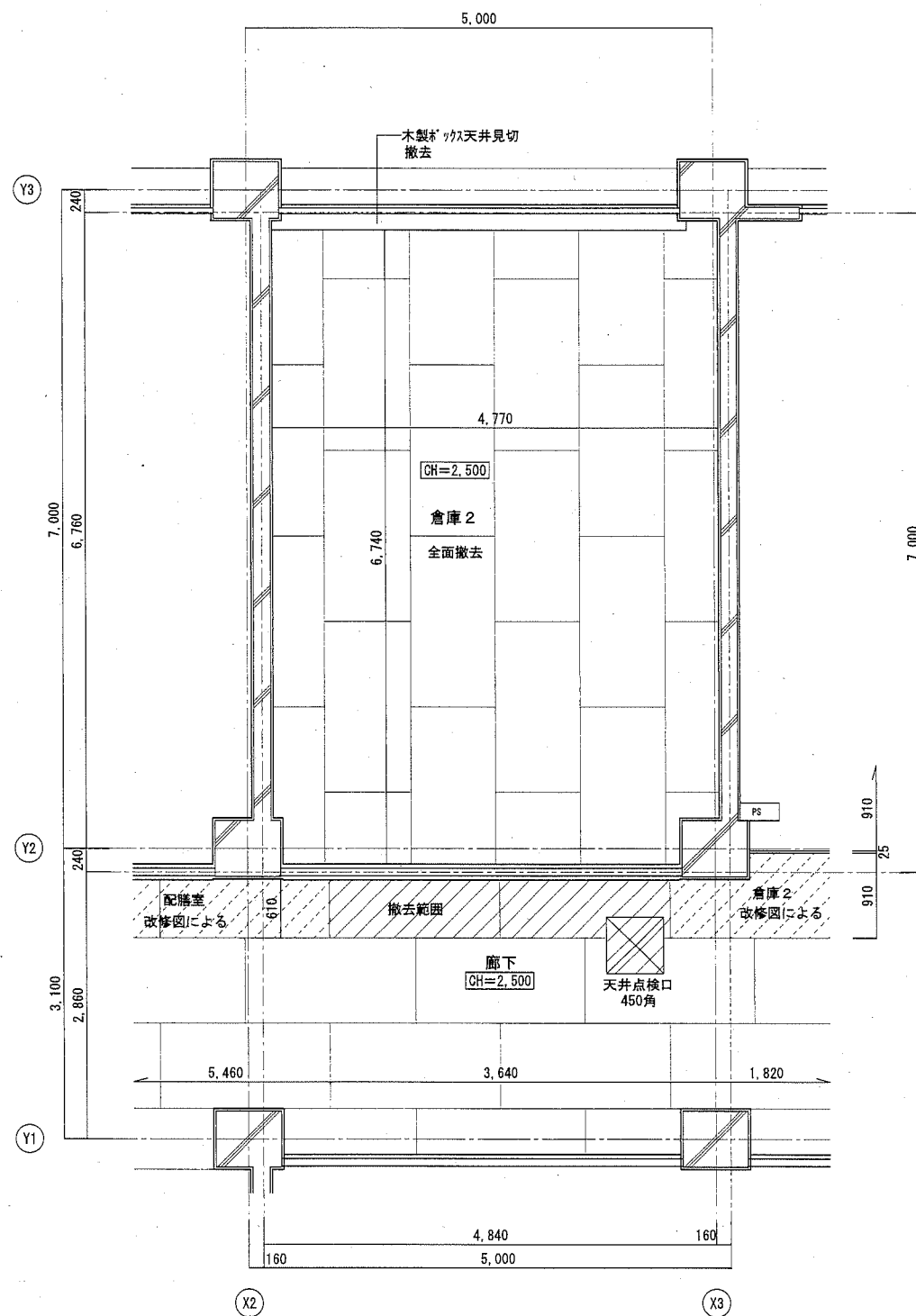
1階 既存展開図-2 1/50

部位	仕上	撤去内容
床	土間コンクリートt120	一部撤去
	モルタルt35下地フローリングブロックt15	全面撤去
巾木	木製巾木EP-G	全面撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

土間コンクリート撤去部分は下地仕上共撤去する
外部建具(既存AW-2)撤去

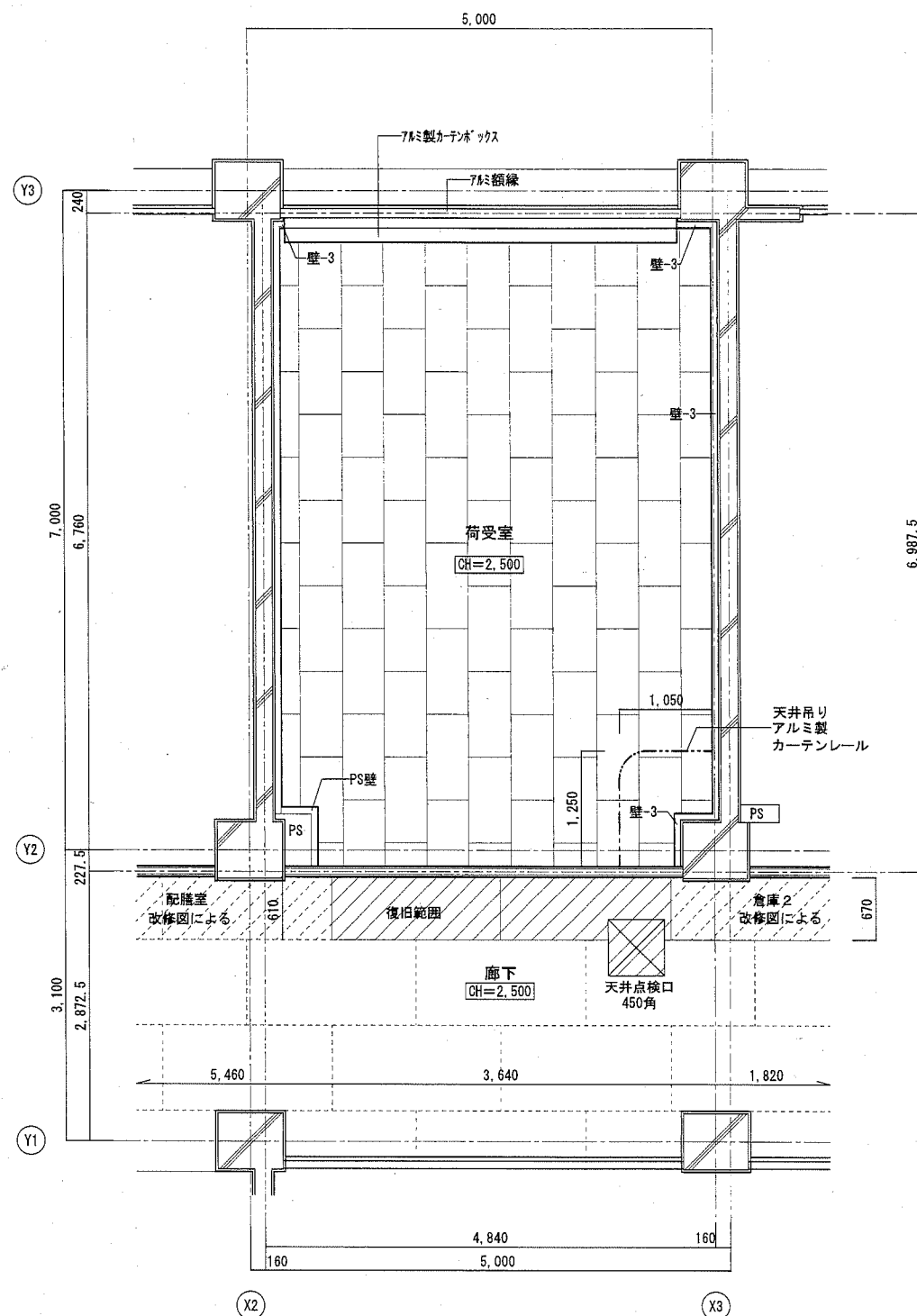
記号	内容	数量	撤去
a	アルミ製パネーション	1	撤去
b	アルミ製サッシ	1	撤去

部位	仕上	撤去内容
床	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去



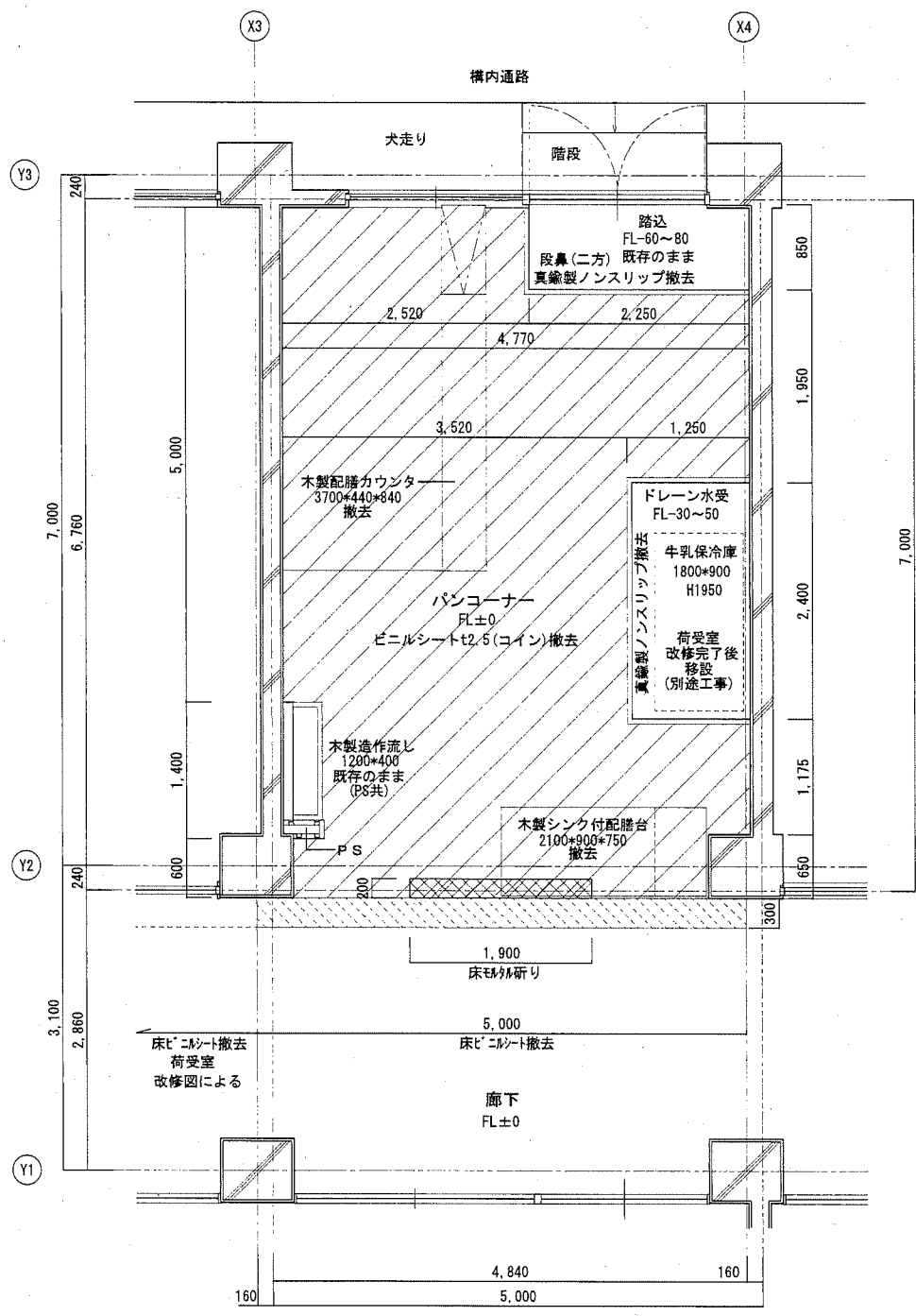
1階 既存天井伏図 1/50

既存室（倉庫1）既設天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去
備考	外部建具上部：木製*ツル天井見切	全面撤去
廊下 既設天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	一部撤去
備考	天井点検口450角	撤去



1階 改修天井伏図 1/50

荷受室 改修天井仕上		
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5	
廻縁	塩ビ製	
備考	アルミ製カーテンボックス 天井付けアルミ製カーテンレール 天井点検口450角7分額縁タイプ1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上（撤去部分の復旧）		
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	
廻縁	塩ビ製	
備考	天井点検口450角	

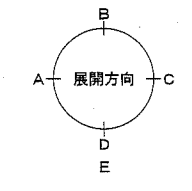


1階 既存平面図 1/50

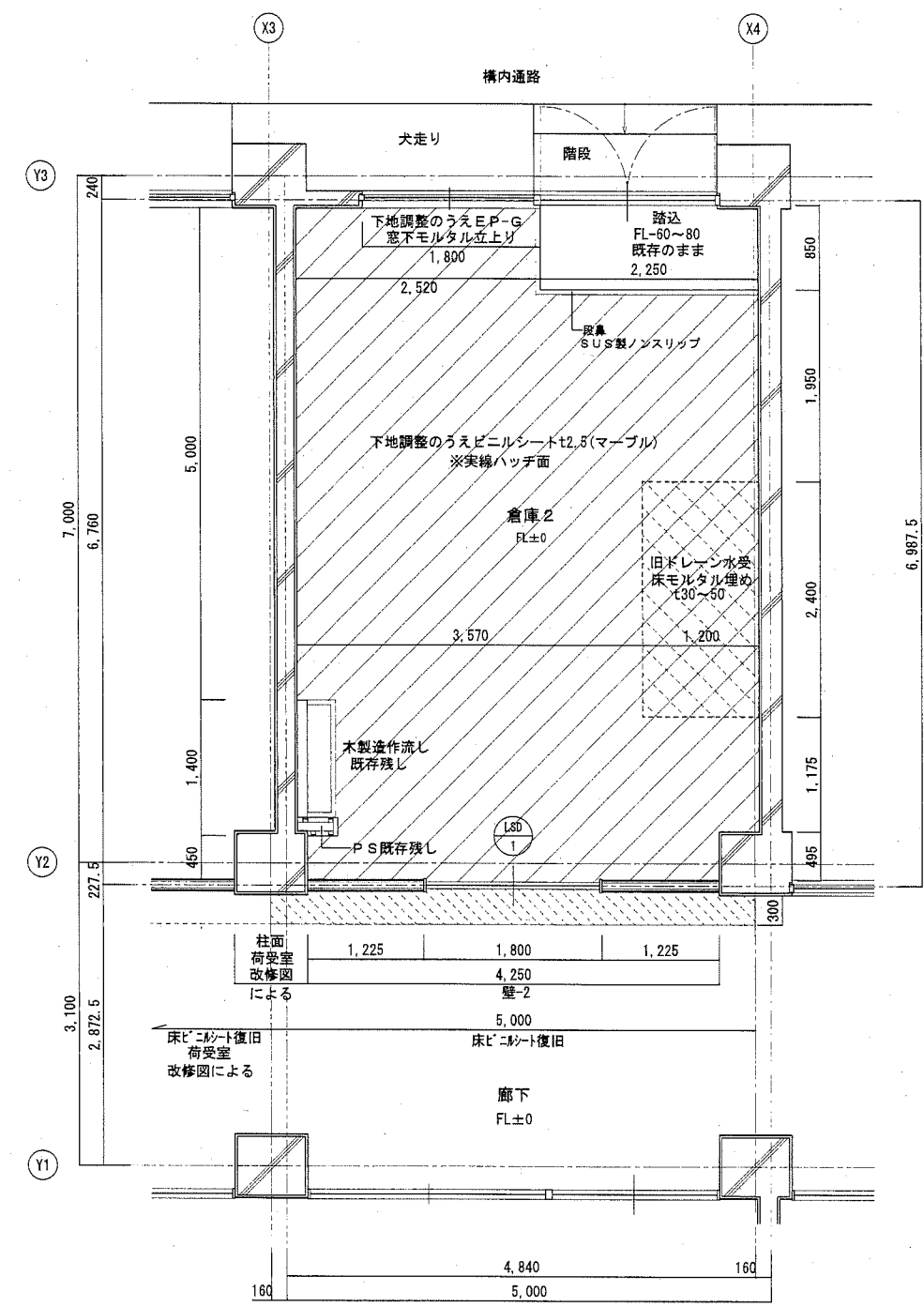
部位	仕上	備考
床	土間コンクリートt120	既存のまま
	ビニルシート t2.5 コイン (実線ハッチ部)	全面撤去
	モルタル金コテ (踏込・ドレン水受)	下記による
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

木製配膳カウンター、木製シンク付配膳台撤去
 踏込・牛乳保冷庫用のドレン水受け床面は既存のままとし
 床取合端部押え金物のみ撤去する

部位	仕上	備考
床	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)	一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	一部撤去



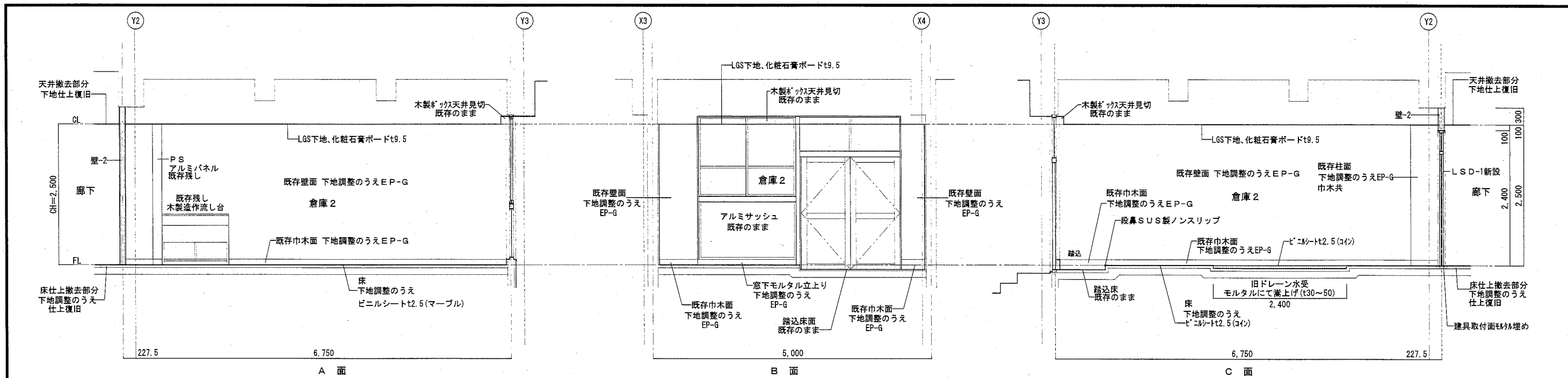
E面は廊下改修面を示す



1階 改修平面図 1/50

部位	仕上	備考
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(マーブル)	
	旧ドレン水受 嵩上げモルタルt30~50下地ビニルシートt2.5(マーブル)	
巾木	壁-2:ビニル巾木 H100	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
壁	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
天井	LGS(19)下地化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製	
備考	旧ドレン水受はモルタルで嵩上げし既存下地面と同一に仕上げる LSD-1新設 壁-2は耐火認定構造(1時間)梁下まで施工する	

部位	仕上	備考
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製	
備考		

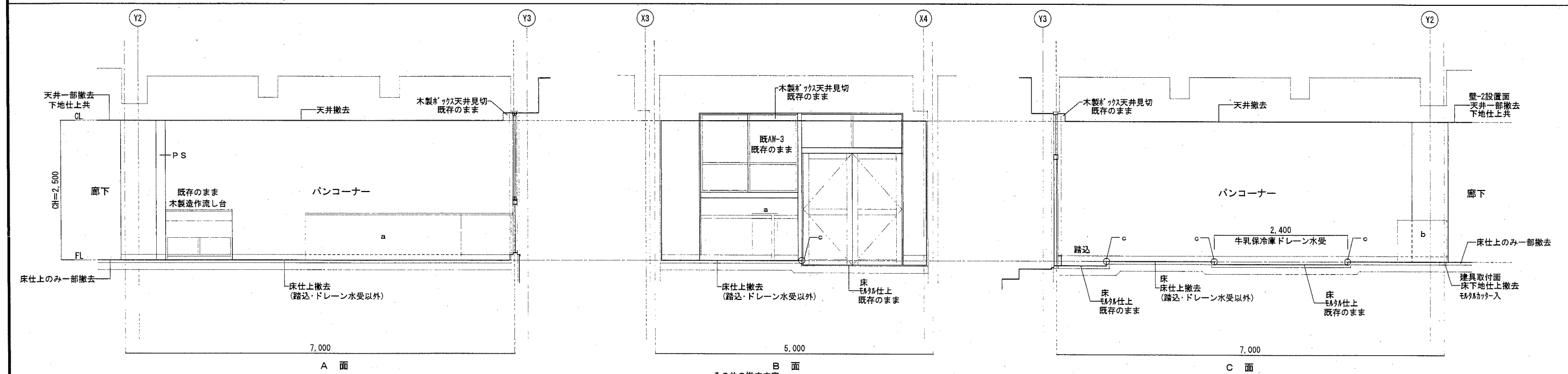


部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(マール) 旧ドレン水受 嵩上げモルタルt30~50下地ビニルシートt2.5(マール)
巾木	壁-2: ビニル巾木 H100 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2: LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、強化石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製

部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
壁	壁-2面: LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP (新規面) 廻縁塩ビ製

廊下柱面の既存面は荷受室改修図による

1階 倉庫2 改修展開図-1 1/50

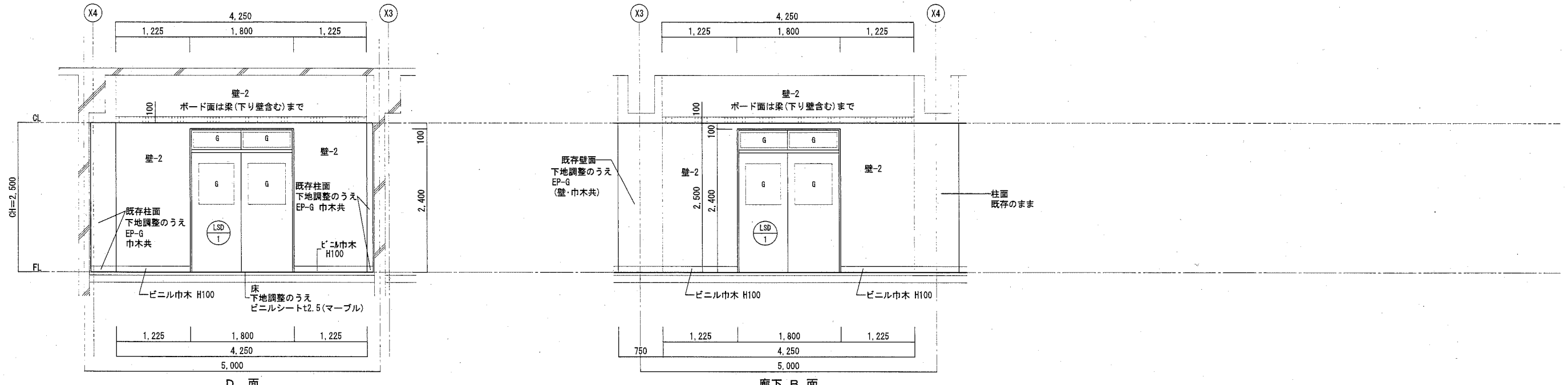


部位	仕上	備考
床	土間コンクリートt120	既存のまま
	ビニルシート t-2.5 コイン	全面撤去
	モルタル金コテ(踏込・ドレン水受)	既存のまま
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

記号	内容	数量	備考
a	木製配膳カウンター	1	撤去
b	木製シンク付配膳台	1	撤去
c	真鍮製ノンスリップ		撤去

部位	仕上	備考
床	ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去

1階 倉庫2 既存展開図-1 1/50

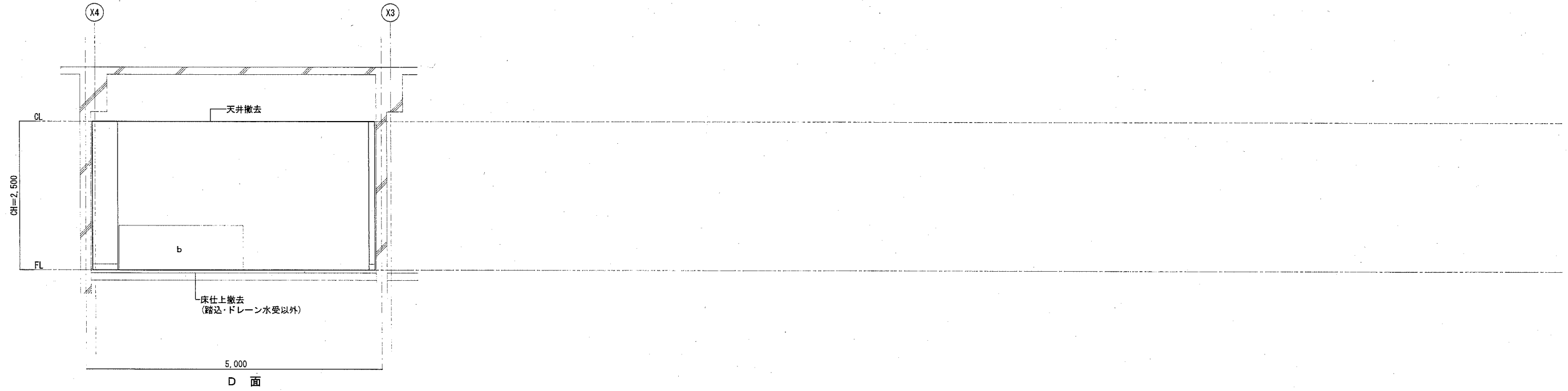


1階 倉庫2 改修展開図-2 1/50

倉庫2 改修内部仕上表		
部位	仕上	
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(大理石) (新規面)	
	旧ドレン水受 嵩上げモルタルt30~50下地ビニルシートt2.5(大理石)	
巾木	壁-2:ビニル巾木 H100 (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
壁	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製	

廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)		
部位	仕上	
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G (新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G (塗替え面)	
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製	

廊下柱面の既存面は荷受室改修図による

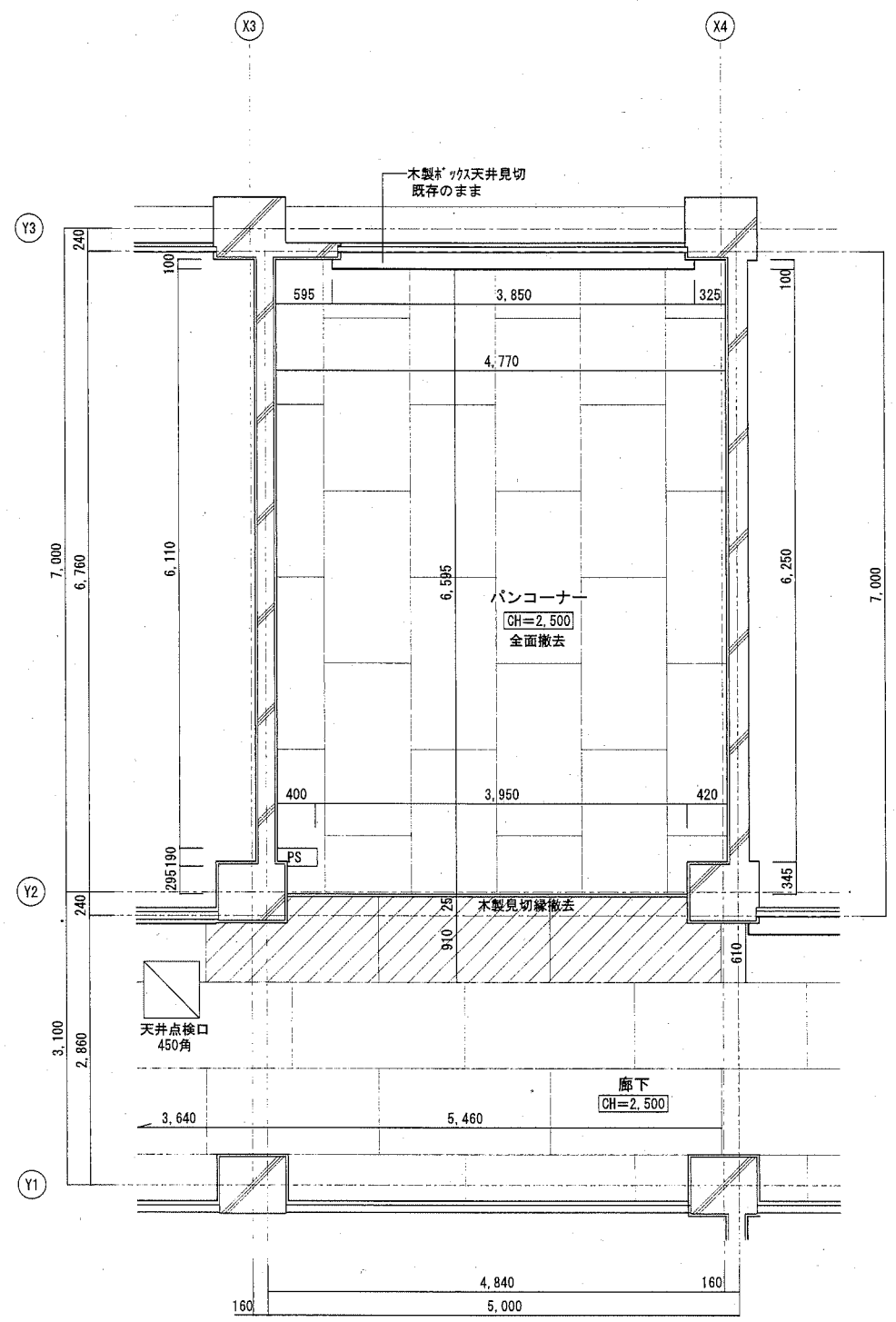


1階 倉庫2 既存展開図-2 1/50

既存室(バンコーナー)内部仕上表		
部位	仕上	
床	土間コンクリートt120	既存のまま
	ビニルシート t-2.5 コイン	全面撤去
	モルタル金コテ(踏込・ドレン水受)	既存のまま
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	全面撤去

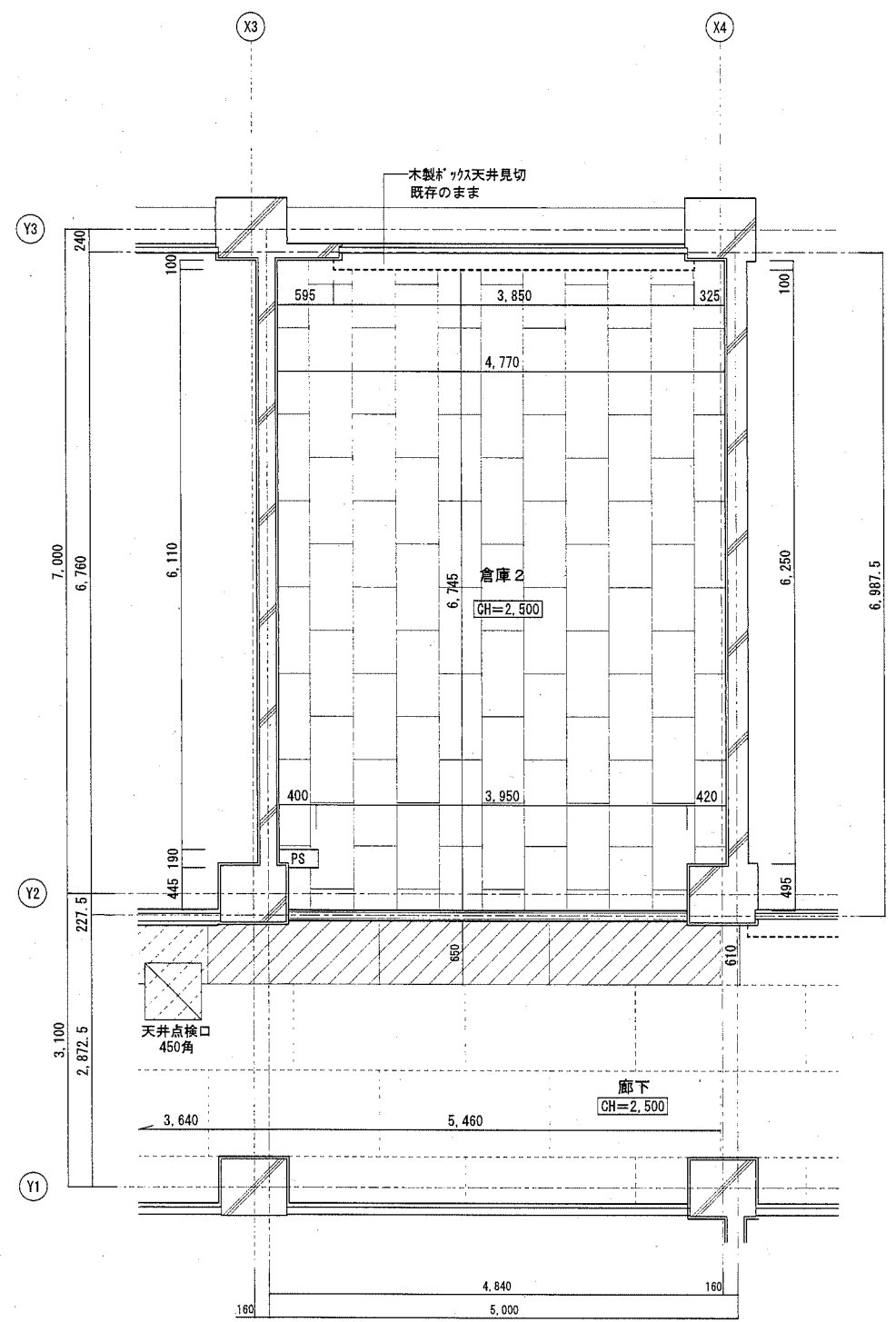
その他の撤去内容		
a	木製配膳カウンター	1 撤去
b	木製シンク付配膳台	1 撤去
c	真鍮製ノンスリップ	撤去

廊下 既存内部仕上表		
部位	仕上	
床	ビニルシートt2.5(コイン)	仕上のみ一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5EP(目透し)	一部撤去



1階 既存天井伏図 1/50

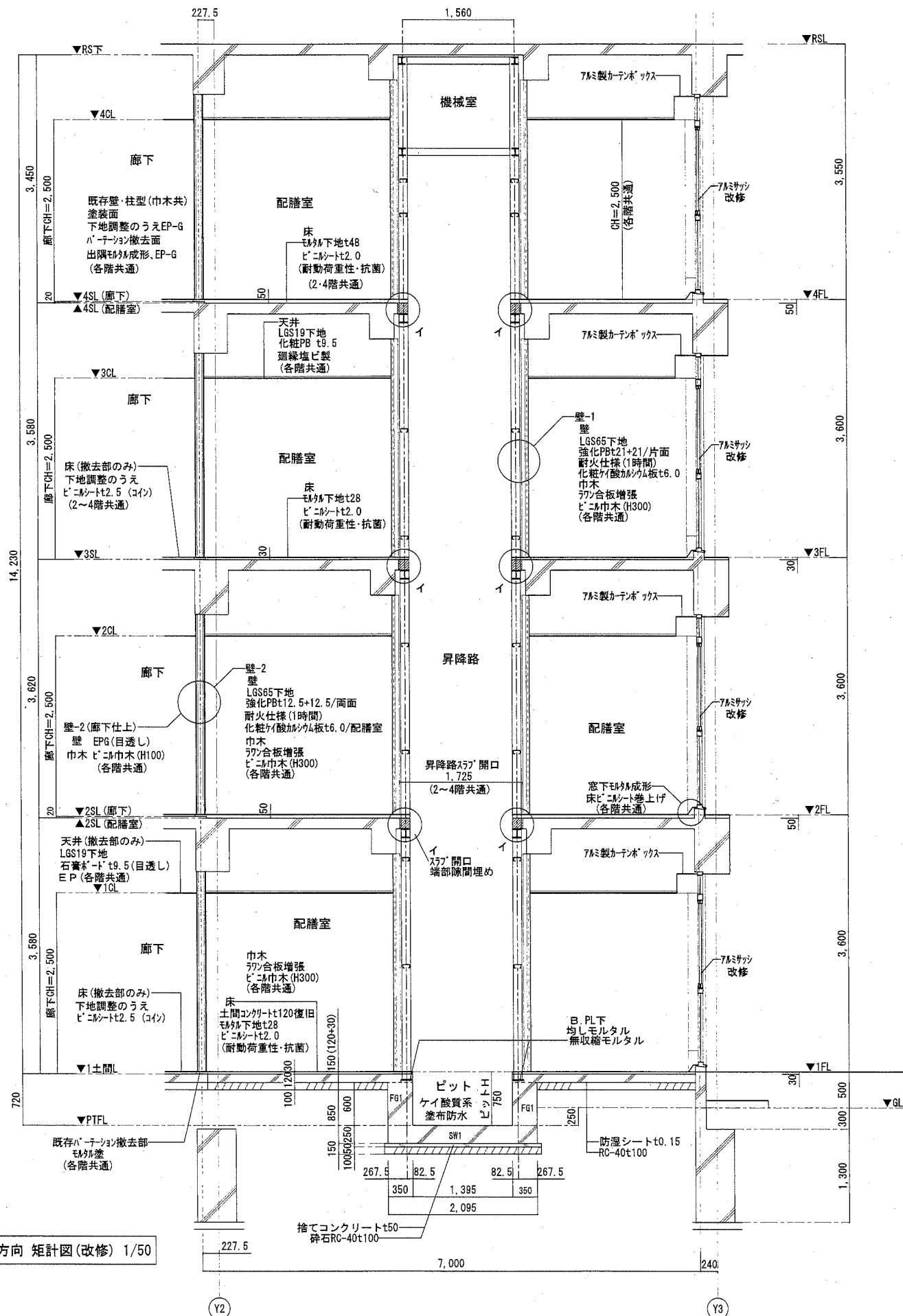
既存室 (バンコナー・廊下) 既設天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボードt9.5 EP	全面撤去
廻縁	塩ビ製	
既存室 (廊下) 既設天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボードt9.5 EP	一部撤去
廻縁	塩ビ製	



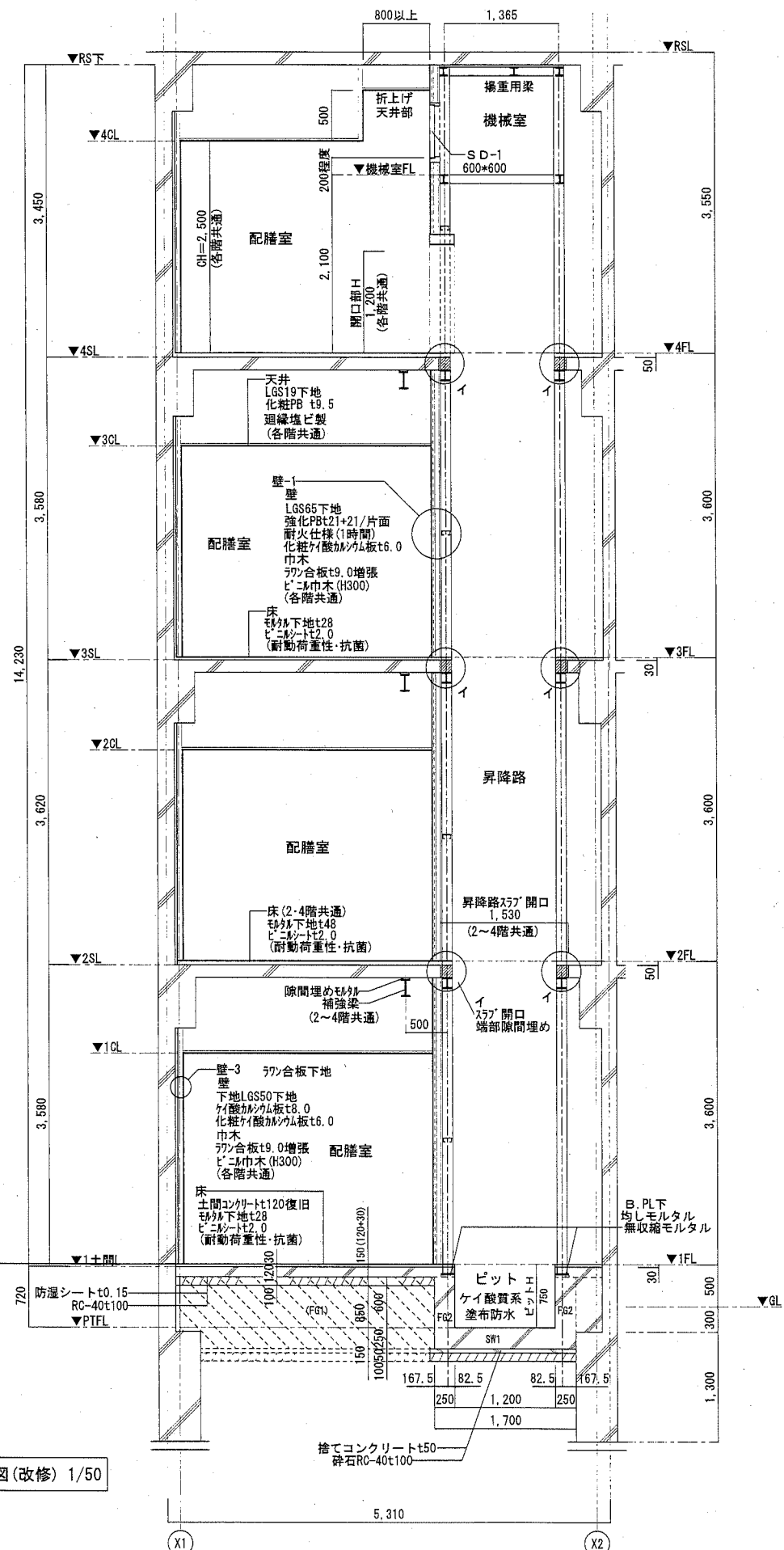
1階 改修天井伏図 1/50

倉庫2 改修天井仕上		
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5	全面復旧
廻縁	塩ビ製	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地1石膏ボードt9.5(目透し)EP (新規面)	撤去部復旧
廻縁	塩ビ製	

天井点検口450角7ヶ所
取付位置は監督員と協議のうえ決定する



Y方向 矩計図(改修) 1/50

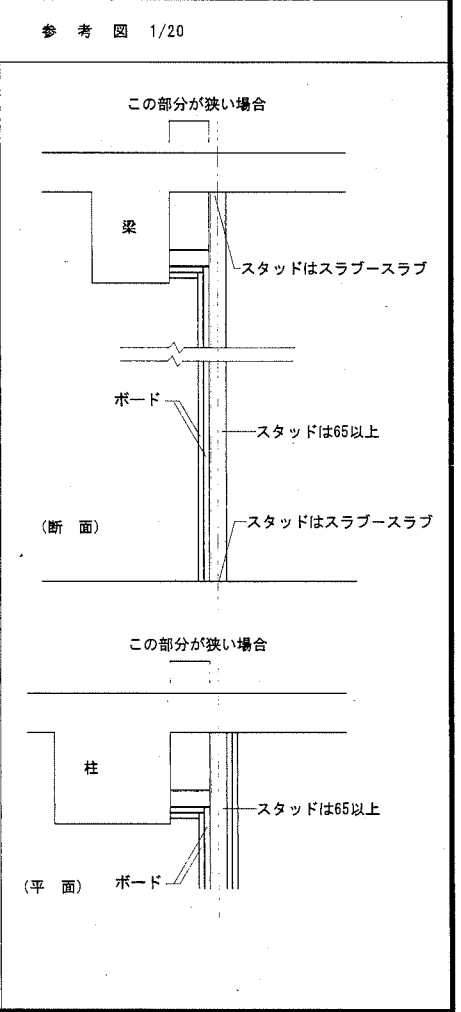
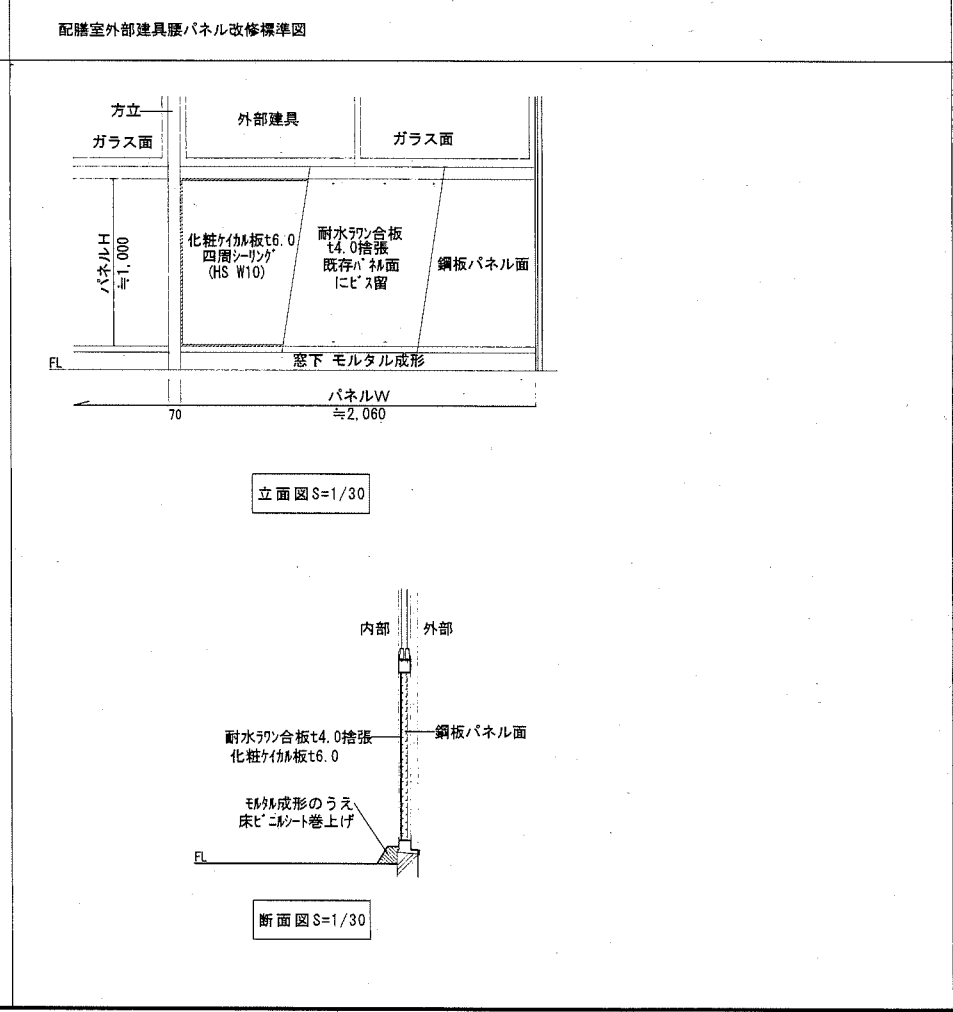
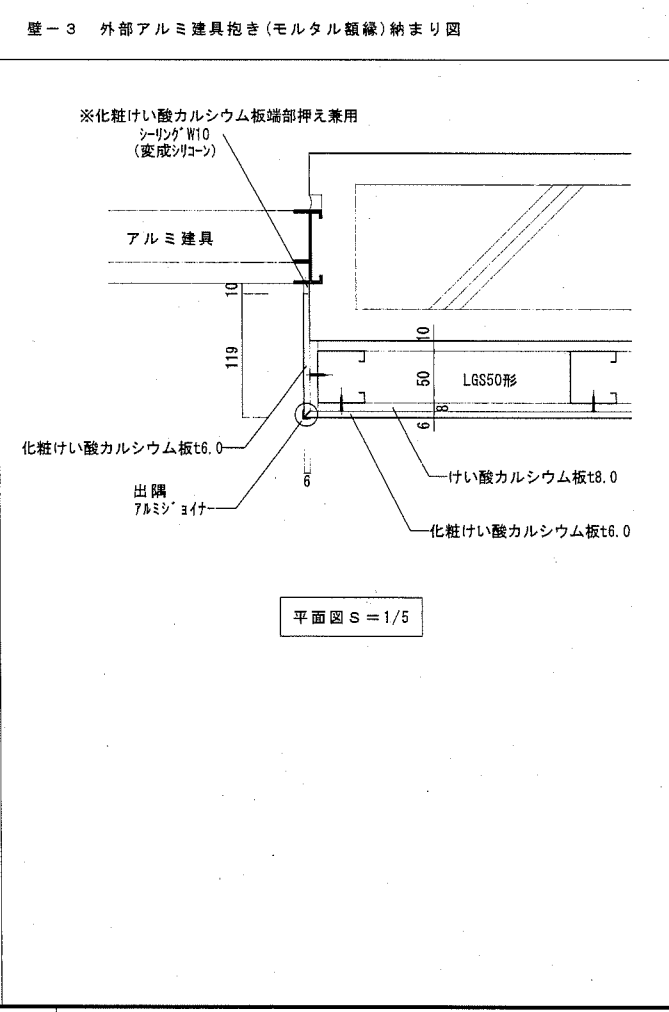
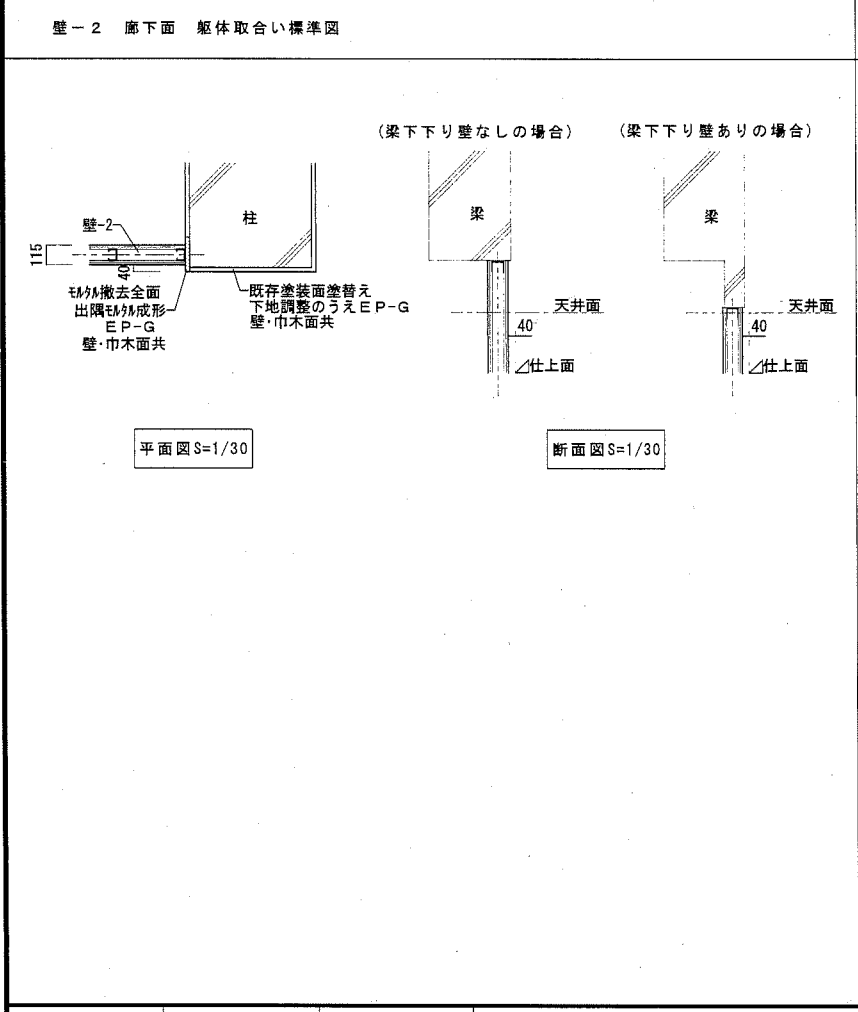
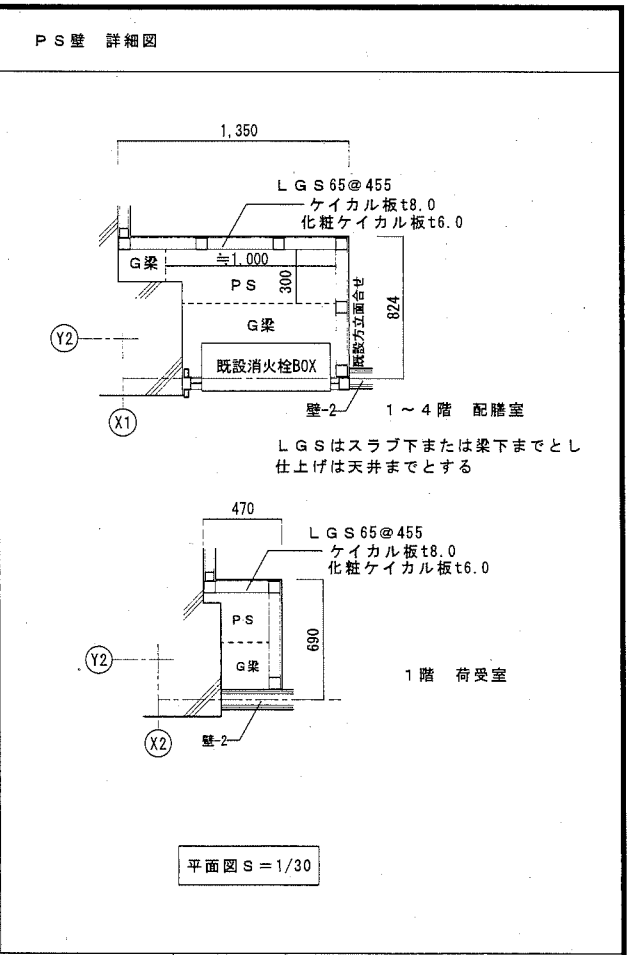
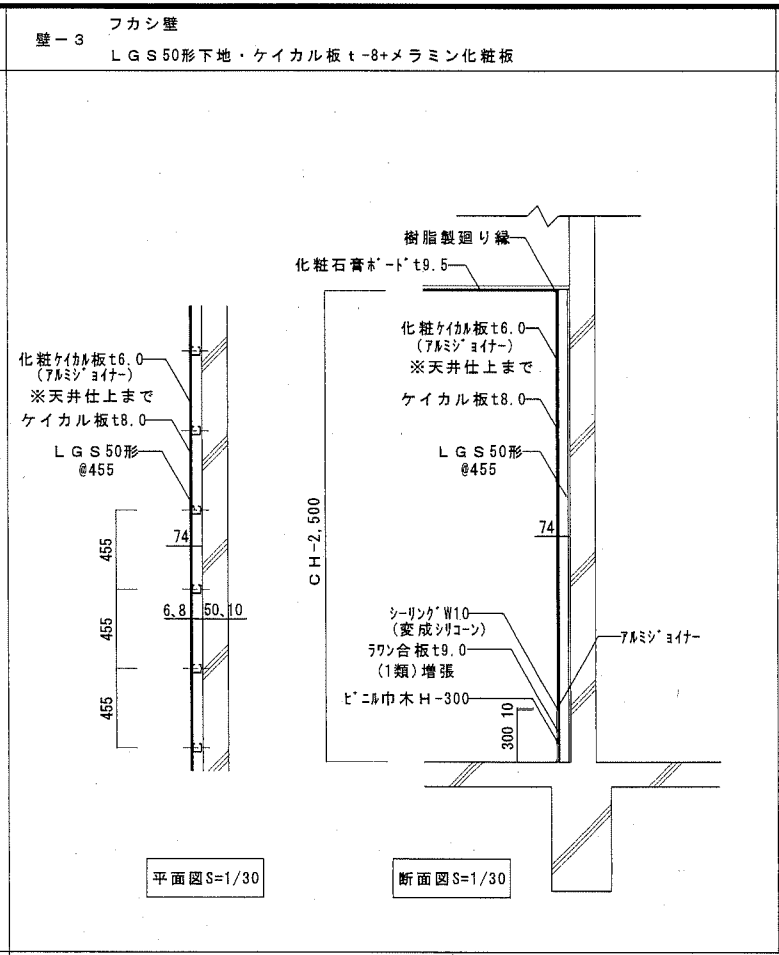
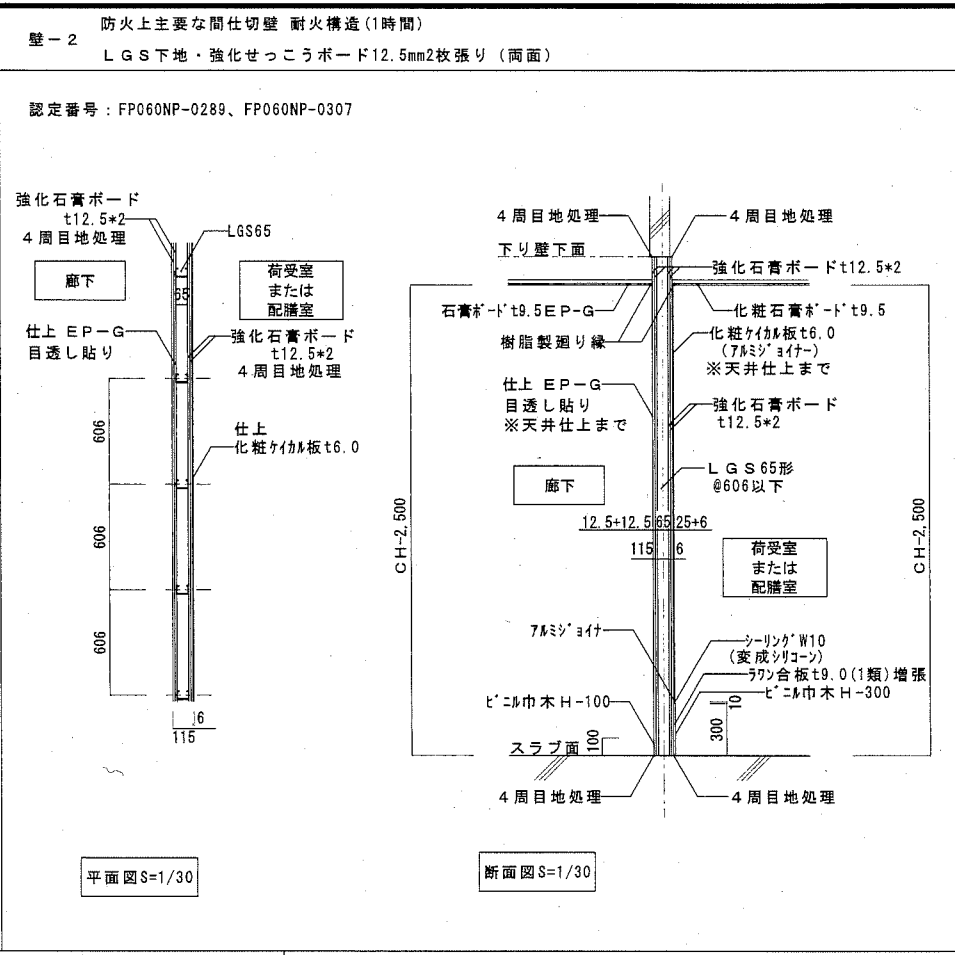
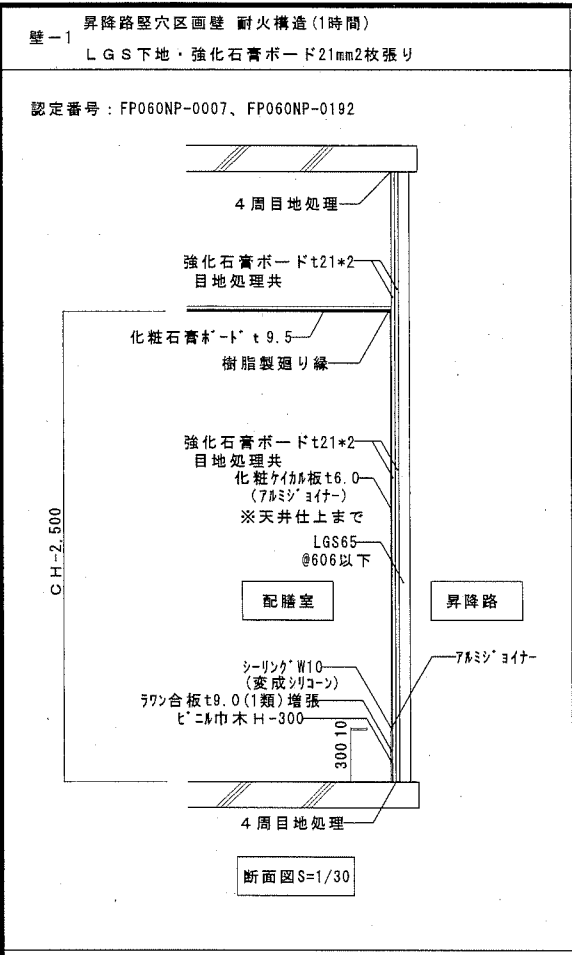


X方向 矩計図(改修) 1/50

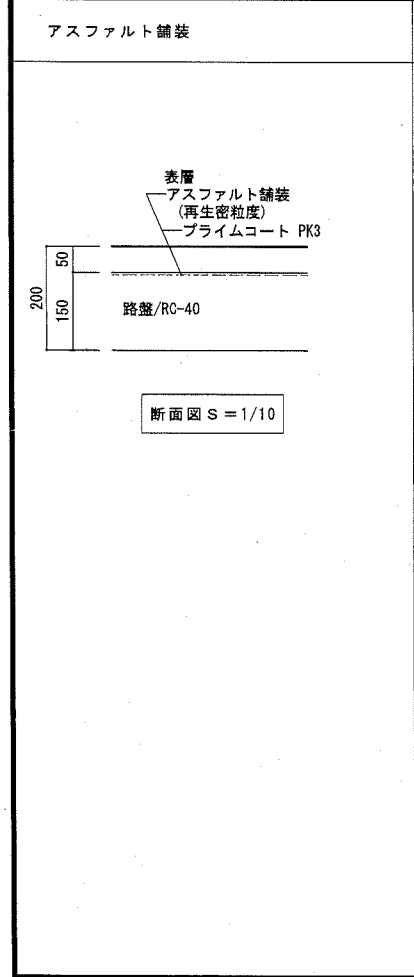
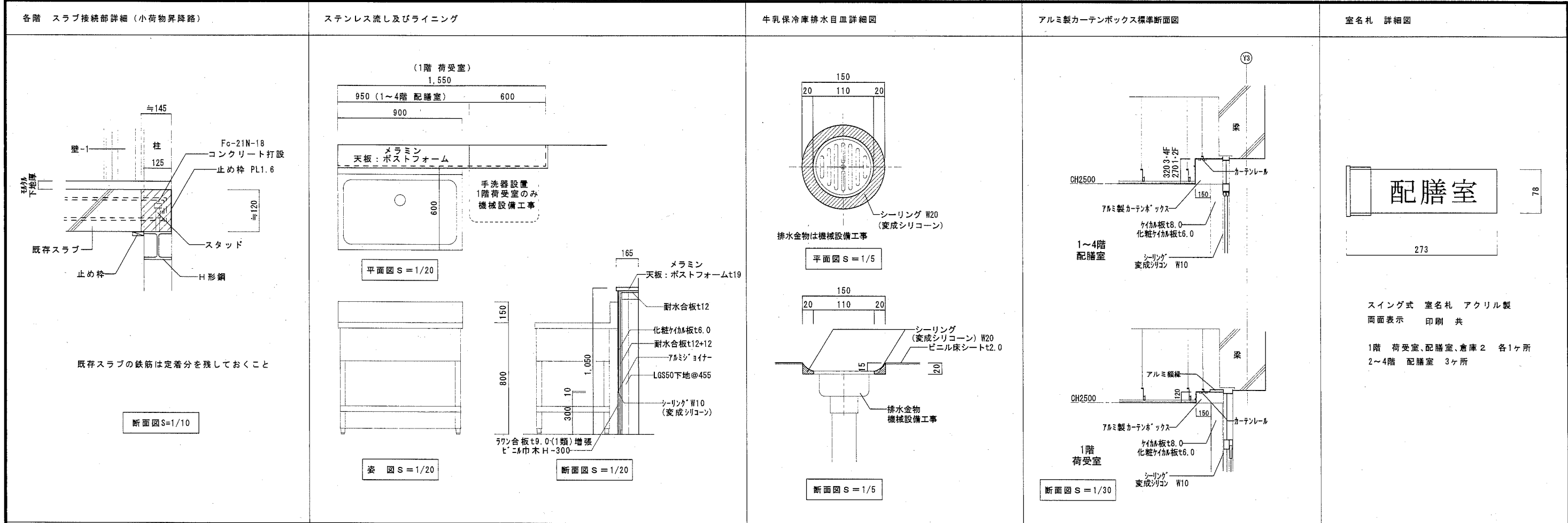
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-35
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 矩計図(改修)			No.

記号・数	AD-1 1ヶ所	HD-1 5ヶ所	LSD-1 1ヶ所	SD-1 1ヶ所	PS壁点検口 6ヶ所
図法子	<p>ガラス ①透明ガラスt3.0+透明フィルムt30mil+透明ガラスt3.0 ②アルミパネルt=5.0 ③アルミパネルt=3.0</p>	<p>ガラス ④網入り型板ガラスt6.8(シリング共)</p>	<p>ガラス ④網入り型板ガラスt6.8(シリング共) ⑤網入り透明ガラスt6.8(シリング共)</p>		
	見込	100	183	135	
取付場所	1階 荷受室	1階 荷受室、1~4階 配膳室	1階 倉庫2	4階 配膳室(昇降路機械室)	PS壁面
種別方法	FIX付引き分戸	片面戸袋付二重引き分戸(戸袋面 廊下側)	引き違いランマ窓付引き違い戸	特定防火設備扉	点検口
材質・仕上	アルミ シルバー	軽量スチール 焼付塗装	スチール製焼付塗装仕上	鉄製 t=1.6 自閉式 焼付塗装	アルミ製額縁タイプ
取付金物	引戸錠、押し棒、アルミ額縁L=80	引戸錠、押し棒、床見切り(SUS製100×20)	引手、引違い戸錠、戸車、付属金物一式(両面三方額縁共)	鍵付	鍵付
備考	下枠レール内ステンレス水抜きパイプ3箇所設置 AW-2(既設撤去)	額入り窓、ガラリ(ガラリの室内側にSUS製24メッシュの防虫網を取り付け) 連動自閉装置、エンドストッパー付 扉下部:ゴムでほこり対策をする	額入り窓		仕上げは壁と同じにする 最上階は2ヶ所設置する

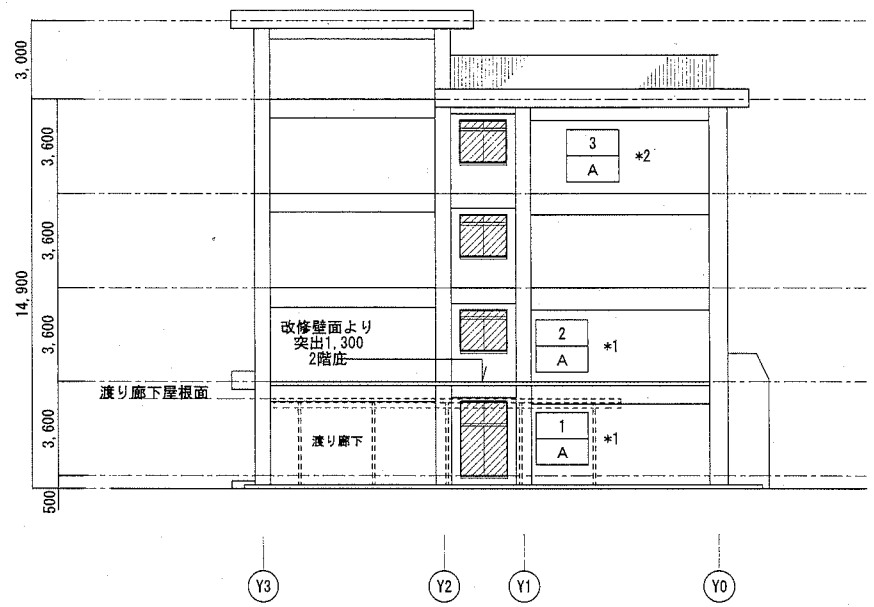
記号・数	AW-1(既設改修) 4ヶ所	AW-3(既設改修) 3ヶ所
図法子	<p>○ アルミパネルt3.0 換気扇取付用切欠き位置 G: 既設ガラス面 1・3階: 全面型板ガラスt4.0 2・4階: 全面学校強化透明ガラスt5.0 P: 既設パネル面</p>	<p>○ アルミパネルt3.0 空調設備冷媒管取付用切欠き位置 G: 既設ガラス面 型板ガラスt4.0(ハッチ部分) 透明ガラスt3.0 P: 既設パネル面</p>
	見込	
取付場所	1~4階 配膳室	3階 第1会議室、第2会議室、PTA会議室
種別方法	換気扇取付用	空調冷媒管取付(貫通)用
材質・仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー
取付金物		
備考	アルミパネルt3.0切欠き加工共	アルミパネルt3.0切欠き加工共



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 雑詳細図-1	図示	A-37
							No.



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-38
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 追浜中学校 雑 詳細図 -2	図示	No.

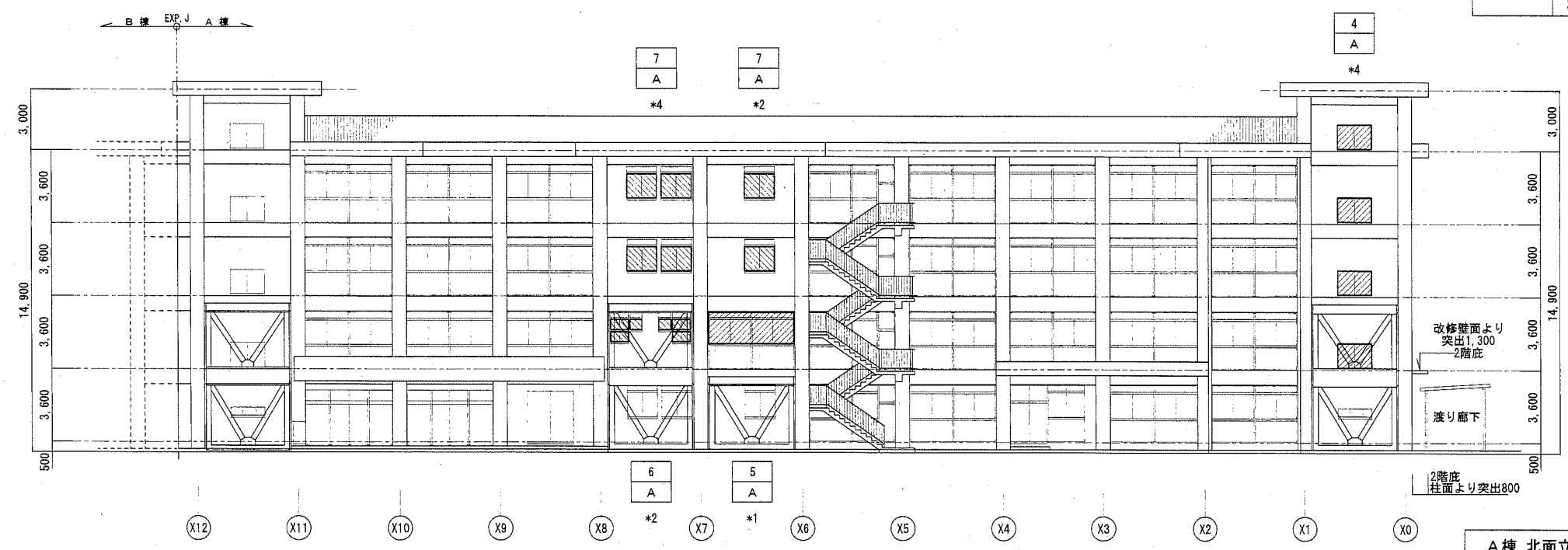


A棟 西面立面図 (既存) 1/200

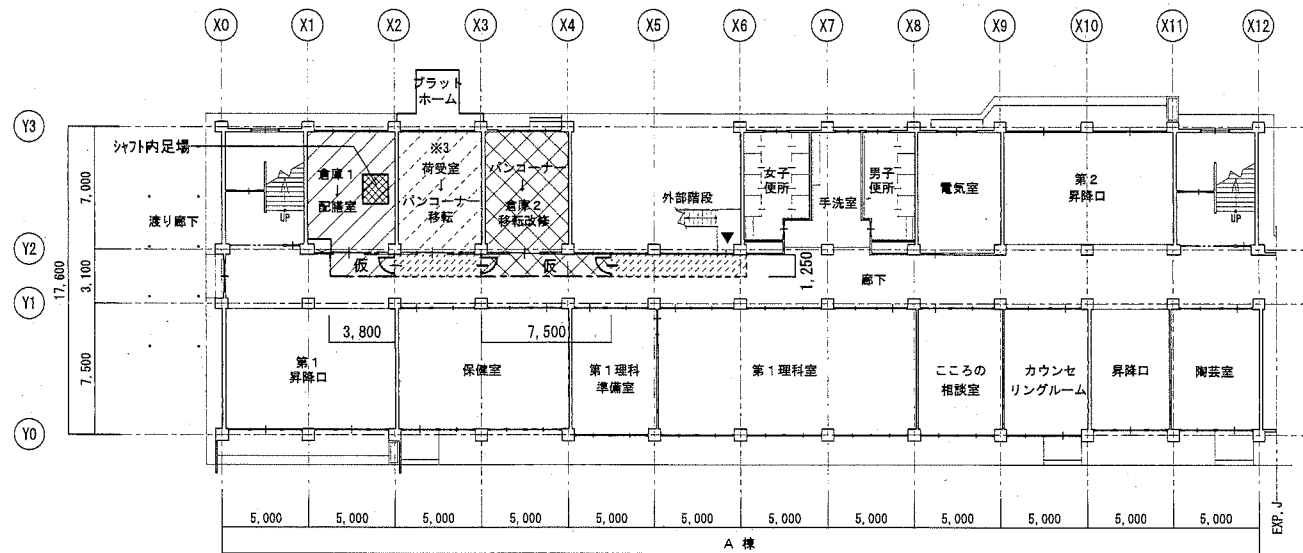
Item No.	Material / Description	Area (㎡)	Item No.	Material / Description	Area (㎡)
1	透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8 P アルミパネル 1,800 1,900 100,850 1,000 900	3.1500	5	透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8 P アルミパネル 2,065 2,065 1,200 250 100	5.9885
1	(0.90+0.85) × 1.80 3.1500 × 1	3.1500	1	(1.20+0.25) × 2.065 × 2 5.9885 × 1	5.9885
2	透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8 1,800 1,200 250 100	2.6100	6	スリ t 3.0 → 網入り型板 t 6.8 G G 500 500 100 600 900 70	1.2000
1	(1.20+0.25) × 1.80 2.6100 × 1	2.6100	2	(0.50+0.50) × 0.90 + 0.50 × 0.60 1.2000 × 2	2.4000
3	透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8 1,800 1,200 300 100	2.7000	7	スリ t 3.0 → 網入り型板 t 6.8 G 1,200 1,500	1.8000
2	(1.20+0.30) × 1.80 2.700 × 2	5.4000	6	1.20 × 1.50 1.800 × 6	10.8000
4	透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8 1,700 1,200	2.1600			
4	1.20 × 1.80 2.160 × 4	8.6400			

P: パネル面, G: ガラリ面
特記のなき面はガラス面を示す

- 既存透明ガラスt=3.0mm撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設 (防火設備用シーリング共)
- 既存摺りガラスt=3.0mm撤去し、t=6.8mm網入り型板ガラス新設 (防火設備用シーリング共)



A棟 北面立面図 (既存) 1/200

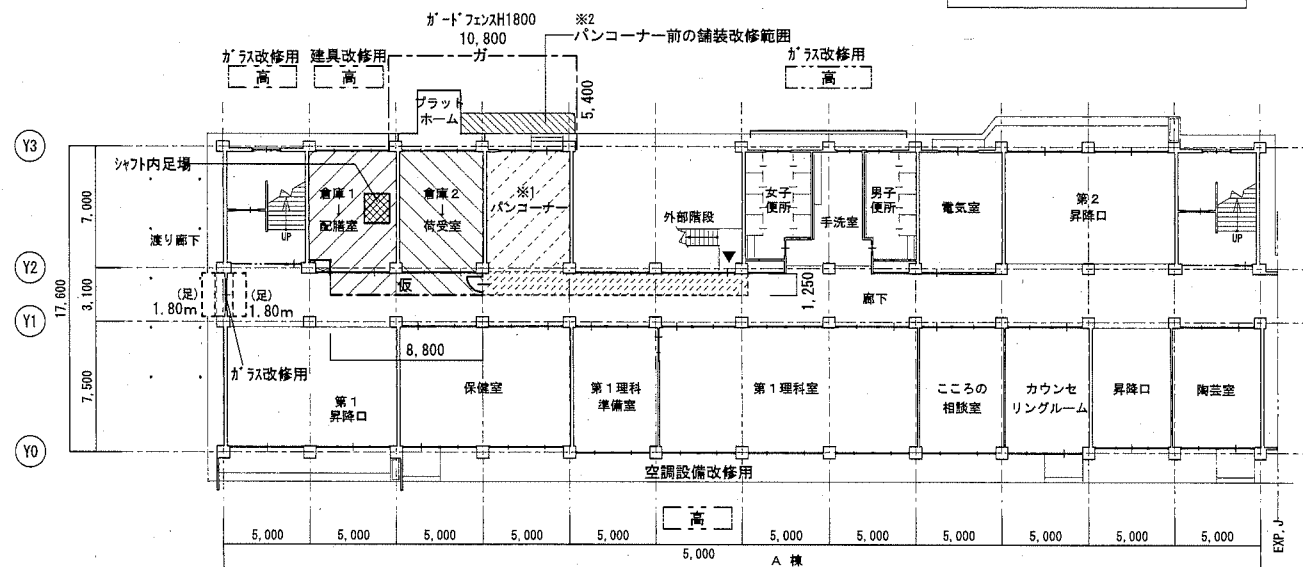


荷受室改修工事完了後の仮設計画

※3 荷受室改修工事完了後は速やかに検査を受ける。
検査合格後、荷受室前は廊下養生に切り替え既設バンコナー前に仮設間仕切りを移設する。
(改修した荷受室は仮設バンコナーとして部分使用をする。)
既設バンコナー前に仮設間仕切り移設後、倉庫2の移設改修工事に着手する。

荷受室改修工事後

1階 仮設計画図-2 1/300



配膳室及び荷受室改修工事中の仮設計画

※1 荷受室改修工事完了までバンコナーを通常利用するため、バンコナー前は通路床養生にとどめる
※2 プラットホーム工事期間中のバンコナーへの配達業者の出入りは第2昇降口を使用する
(工事着手前・完了後は外部出入口を従来通り利用する。学校関係者・監督員と密に調整を図ること)

荷受室改修工事完了まで

1階 仮設計画図-1 1/300

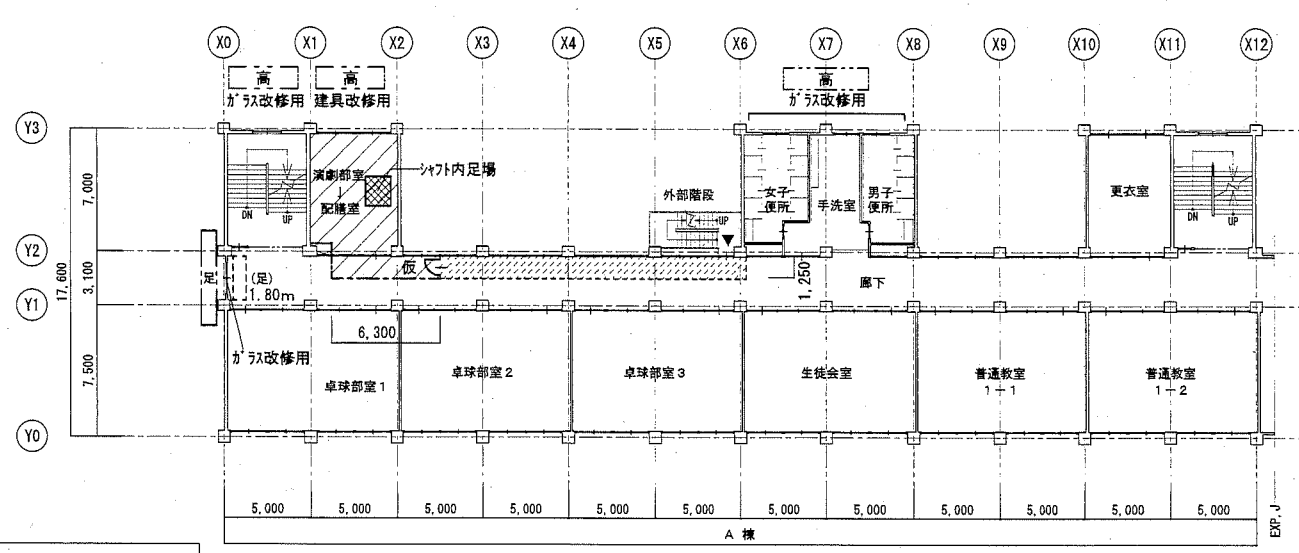
- 1～4階 配膳室 改修工事エリア 養生共
- 1階 荷受室 改修工事エリア 養生共
- 荷受室改修工事完了後(バンコナー移転後)の倉庫2の移設改修工事エリア 養生共
- 改修工事期間中のバンコナーエリア 荷受室改修工事完了まで現バンコナーを使用する 荷受室改修工事完了後、荷受室にバンコナーを移動する
- 空調設備改修工事エリア (機械設備工事)

仮設計画凡例

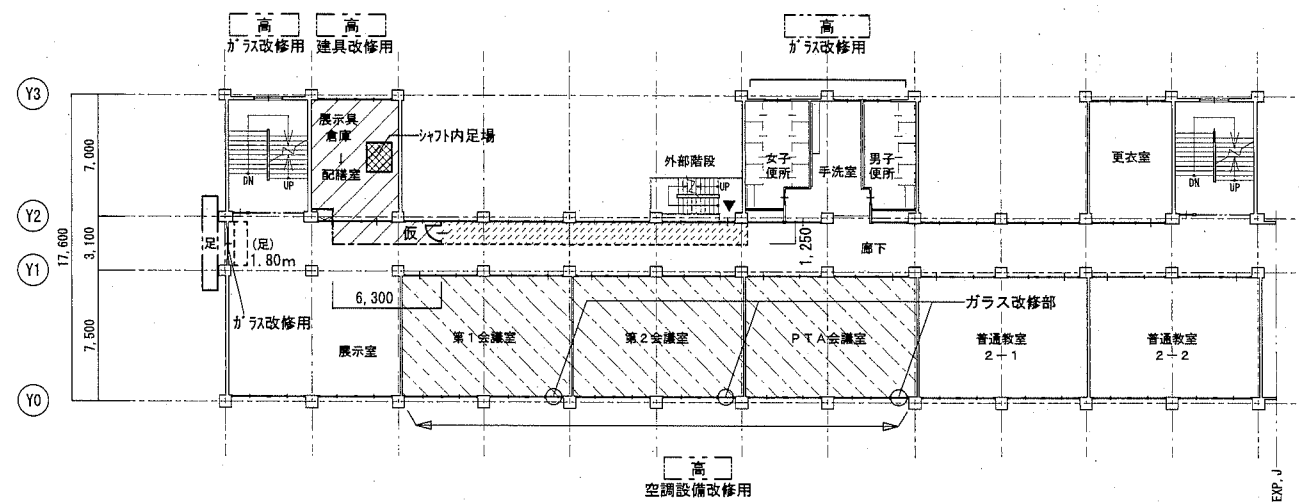
- 工事関係者専用の出入口位置
- 改修室 シャフト内足場 (1,700*1,500 14.95M)
- 仮設間仕切り(B種) H=2,500
- 床養生(通路)
- 改修室外部作業用 高所作業車位置 作業5日
- 外部ガードフェンス設置範囲
- 枠組足場(900枠 手摺り先行 足場下養生共)
- 脚立足場

その他事項

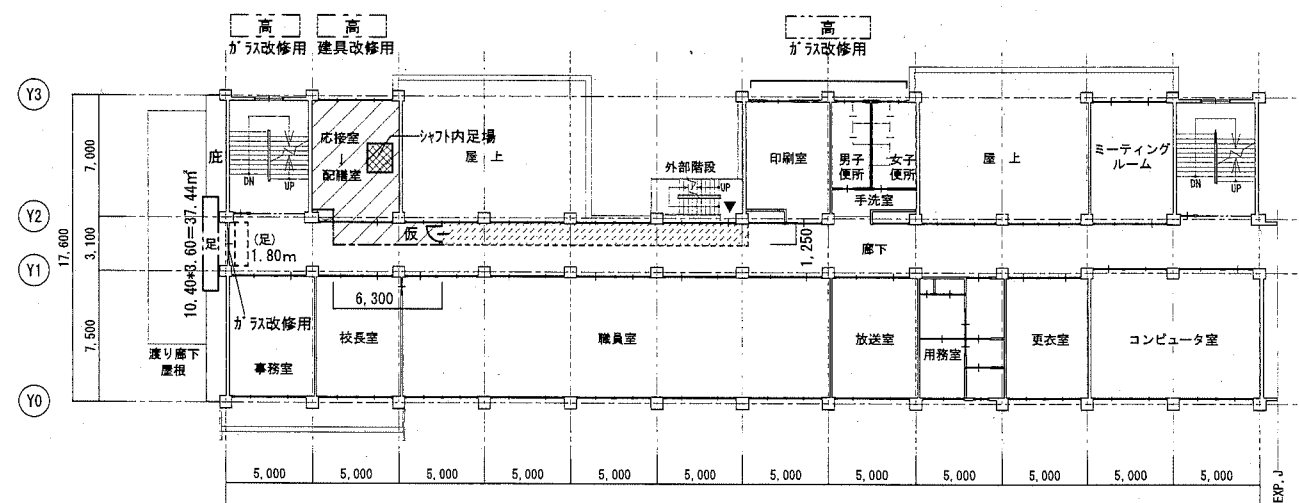
- ・工事期間中は▼印のある外部階段を作業通路として使用する
- ・仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
- ・1階は上図の通り、工事の進捗に応じて仮設間仕切りの設置位置を変更する
- ・その際、工事完了した改修場所の仮設間仕切りは順次縮小する
- ・枠組足場は2階底より設置する
- ・空調設備改修の外部工事も高所作業車により工事を行う



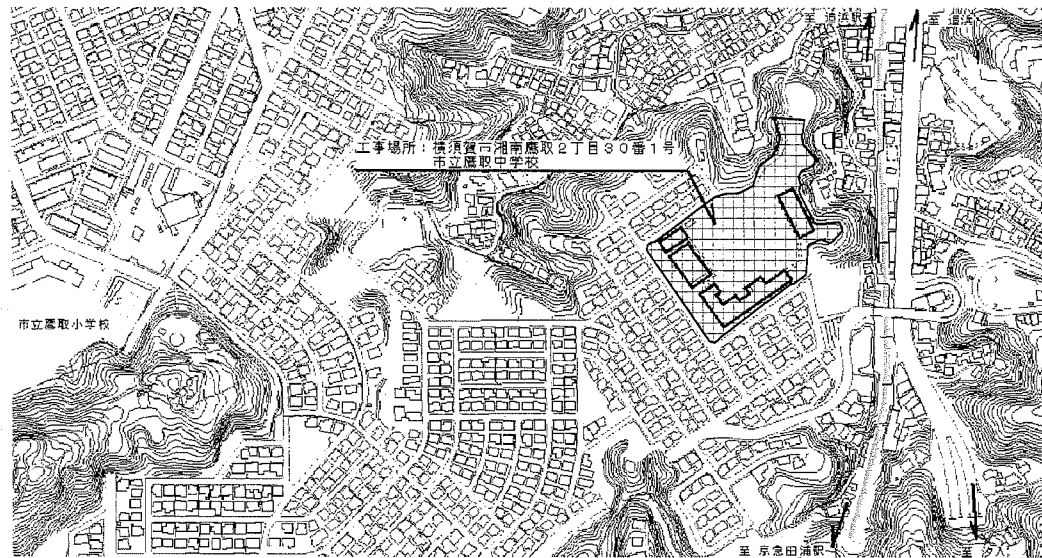
4階 仮設計画図 1/300



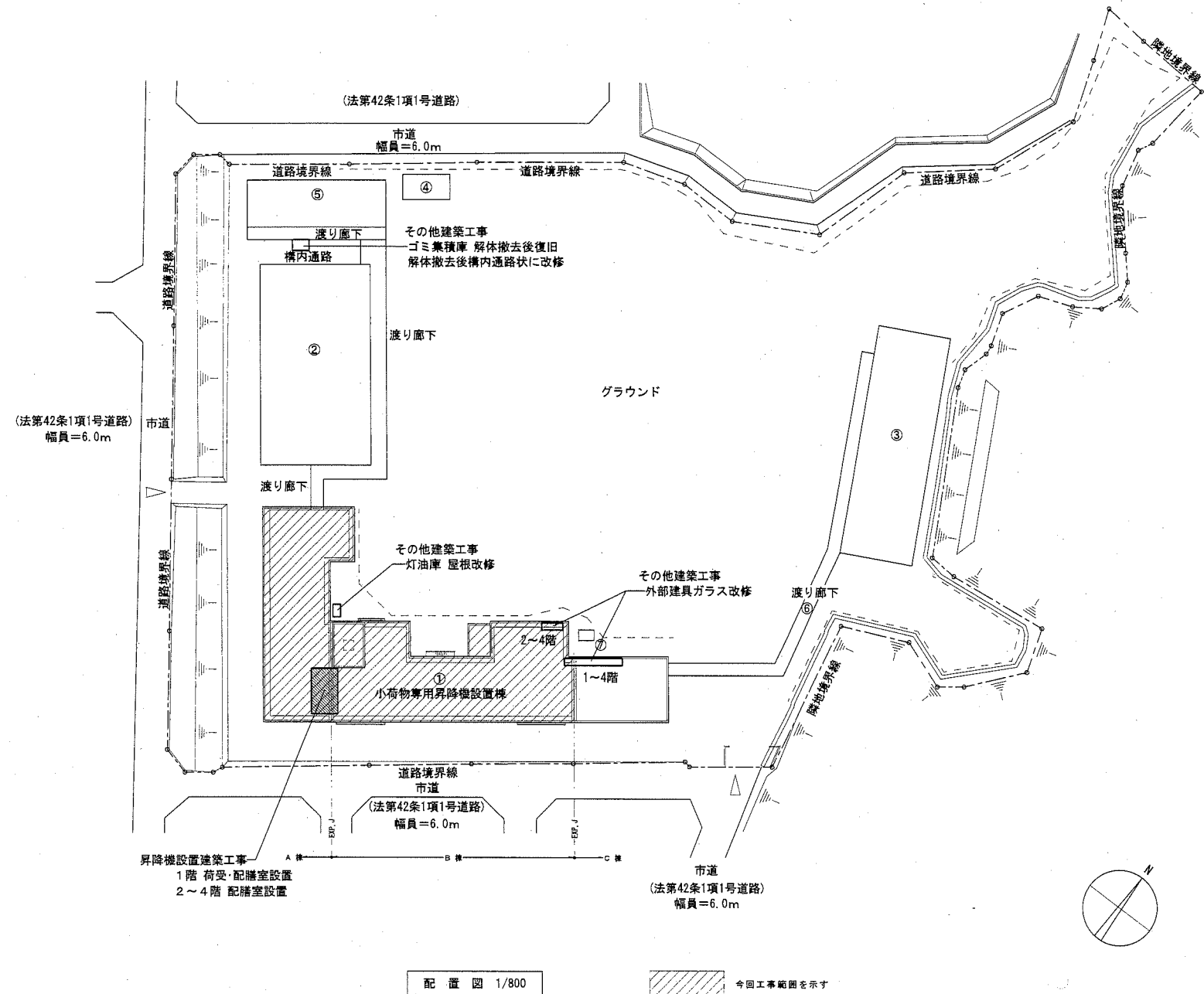
3階 仮設計画図 1/300



2階 仮設計画図 1/300



付近見取り図 NS



配置図 1/800

今回工事範囲を示す

建物別面積表 (単位 m ²)						
番号	建物名称	建築面積	延床面積	構造	階数	最高高さ
①	校舎 (昇降機設置棟)	1,452.18 m ²	5,610.78 m ²	RC造	4階	18.21 m
②	体育館	1,000.85 m ²	1,032.18 m ²	S造	1階	11.25 m
③	武道館	700.72 m ²	811.30 m ²	RC造	2階	9.85 m
④	体育倉庫	44.55 m ²	44.55 m ²	S造	1階	3.30 m
⑤	技術科室	323.59 m ²	323.59 m ²	S造	1階	5.40 m
⑥	渡り廊下	219.88 m ²	217.76 m ²	S造	1階	4.70 m
⑦	倉庫	6.51 m ²	6.51 m ²	CB造	1階	2.95 m
合計		3,748.28 m ²	8,046.67 m ²			

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 鷹取中学校 付近見取り図・配置図

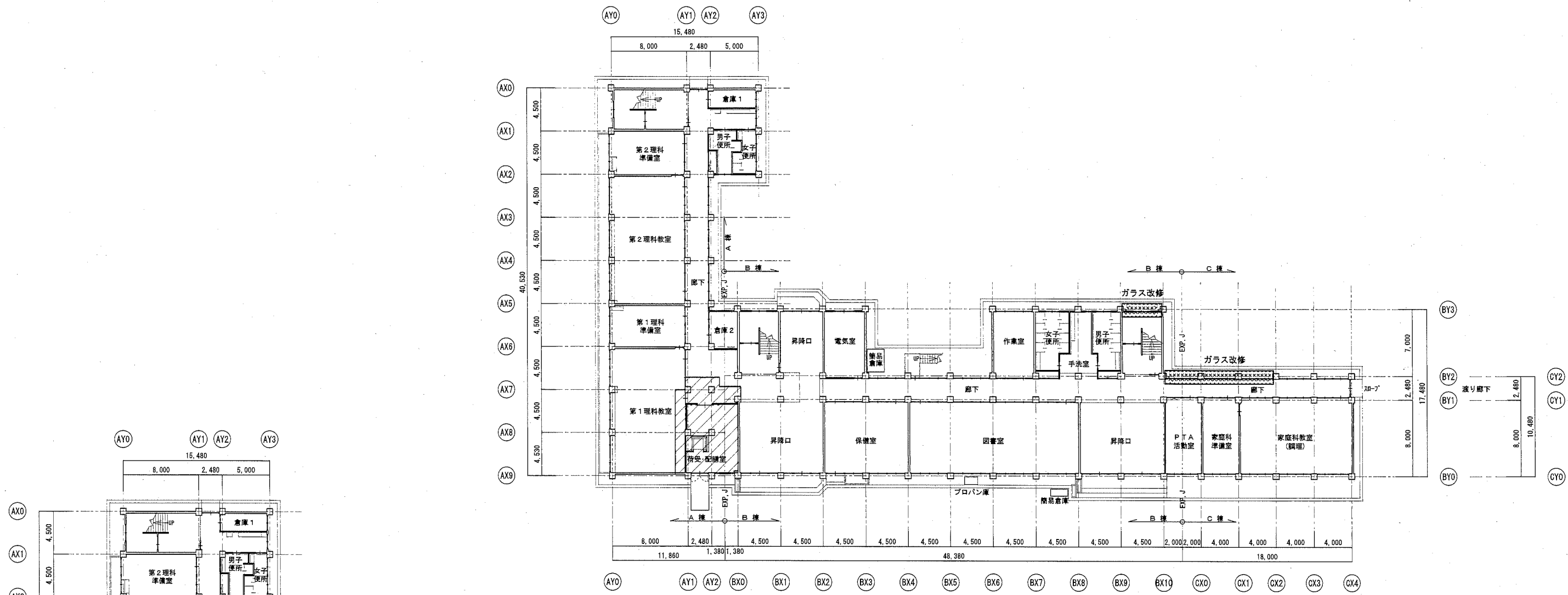
縮尺 NS・1/800
A-42
No.

工 事 概 要	鷹取中学校 昇降機設置建築工事	その他建築工事（既存建物改修工事）
	・ 小荷物専用昇降機（電気別途工事）を設置するため、1階バンコナー、2更衣室・廊下の一部・3・4階倉庫・廊下の一部を配膳室に改修する。	・ 左記に伴う機械設備工事 ・ 左記に伴う電気設備工事（別途工事）
	・ 各階の同上の改修室に隣接教室及び廊下も解体撤去工事に影響する部分のみを一部改修する。	・ 既存透明ガラスを撤去しt6.8mm網入り（透明・型板）ガラス取り付け 防火設備用耐火シーリング共 ・ 灯油庫（ブロック造）の柱・屋根（母屋・垂木共）解体・撤去し、撤去した母屋・垂木・屋根を含め折板葺きに改修する ・ 技術科室棟渡り廊下に隣接するゴミ集積庫（ブロック造）を解体・撤去し、構内通路状に復旧する
	・ 1階バンコナー外部出入口に荷受・配膳室のプラットフォームを新設する ・ 同上プラットフォーム新設により、その周辺の舗装の改修を行う。	

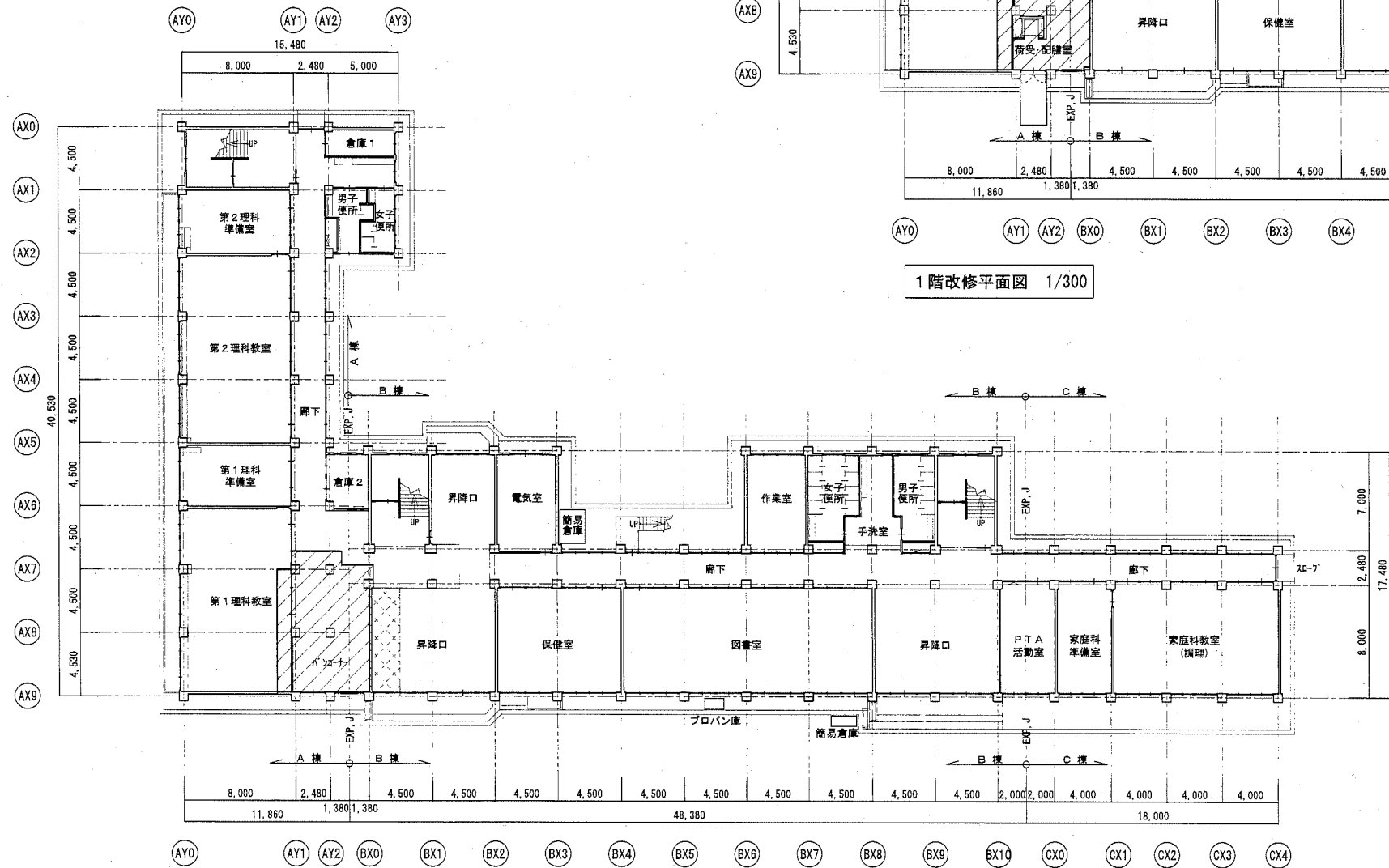
階		既存改修	室名	床	巾木 下地・仕上	高さ	壁	天井	廻縁	天井高	備考	
1階	既存	廊下 (バンコナー)	土間コンクリートt120	塗り巾木	100	コンクリート	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5EP (目透し張)	塩ビ製	2,700	アルミ製両開きドア撤去(三方枠は残す)		
			一般床 モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 一部撤去	モルタル金コテEP-G		モルタル下地EP-G	アルミ製EXP, J天井カバー 一部撤去(天井撤去面まで)				アルミ製パーテーション撤去(第1理科室1面)	
			踏込・牛乳保冷庫ドレーン受 モルタル金コテ アルミ製EXP, J床カバー 一部撤去			アルミ製EXP, J壁カバー 一部撤去					木製バンコナー、木製造作流し台(ライニング壁共)撤去 窓上部木製ボックス天井見切り撤去	
	改修	第1理科室	土間コンクリートt120	木製巾木t24 EP-G	100	モルタル下地EP-G	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5EP 梁型 内装用吹付	塩ビ製	3,000		アルミ製パーテーション撤去 同上上部暗幕用木製カーテンボックス撤去	
			モルタルt35下地300角フローリングブロックt15OSW 一部撤去									
	改修	荷受・配膳室	土間コンクリート撤去部	ラワン合板t9.0下地 ビニル巾木	300	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上に化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による ケイ酸カルシウム板t8.0上に化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナー部は7角製ジョイントを使用 アルミ製EXP, J壁カバー 新設	LGS (I9型) @225化粧石膏ボードt9.5 アルミ製EXP, J天井カバー 新設	塩ビ製	2,600		カバー工法によりアルミ製両開きドア新設、外部プラットフォーム新設 アルミ製天井吊りカーテンレール、SUS製流し台(ライニング壁共) アルミ製カーテンボックス 450角天井点検口(7角額縁タイプ) 両引きハンガードア (HD-1) 新設	
			土間コンクリート新設、モルタルt28下地ビニルシートt2.0 (抗菌・耐重耐動性) 上記以外の仕上げ撤去部									
			下地調整(ケイ酸カルシウム)のうえビニルシートt2.0 (抗菌・耐重耐動性) アルミ製EXP, J床カバー 一部新設									
	改修	廊下 ※撤去部を復旧	下地調整(ケイ酸カルシウム)のうえビニルシートt2.5(コイン) アルミ製EXP, J床カバー 既存のまま	新設LGS壁: ビニル巾木 既存面 新規 モルタル成形EP-G (B種) 塗替 下地調整のうえEP-G (B種)	100	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上にEP-G (B種) アルミ製EXP, J壁カバー 新設	LGS (I9型) @300石膏ボードt9.5EP (目透し張) アルミ製EXP, J天井カバー 既存撤去品一部再取付	塩ビ製	2,700		撤去したEXP, J天井カバーは廊下天井面の撤去部で一部再取付けする ※再取付したEXP, Jカバー材以外は処分する 塗替仕上げする壁ボード面は突合せV目地あらわし(7角)とする	
2階 ~ 4階	既存	廊下 (2-4階共通)	コンクリートスラブt120	塗り巾木	100	コンクリート	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5EP (目透し張)	塩ビ製	2,700	アルミ製パーテーション撤去 窓上部木製ボックス天井見切り撤去		
			AX8-9, AY1-2通り 昇降設備昇降路用にスラブを解体撤去する モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ一部撤去 アルミ製EXP, J床カバー 一部撤去	モルタル金コテEP-G		モルタル下地EP-G	アルミ製EXP, J壁カバー 一部撤去					
	改修	更衣室2 (2階) 倉庫 (3階) 倉庫2 (4階)	コンクリートスラブt120	塗り巾木	100	コンクリート	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5EP (目透し張)	塩ビ製	2,700	アルミ製パーテーション撤去 窓上部木製ボックス天井見切り撤去		
			モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン) 仕上のみ撤去 アルミ製EXP, J床カバー 一部取外し一部撤去 ※一部は受金物残したうえで改修後の廊下面に再取付けする	モルタル金コテEP-G		モルタル下地EP-G	アルミ製EXP, J壁カバー 全面撤去					
	改修	特別支援教室 (知的) (2階)	コンクリートスラブt120	木製巾木t24 EP-G	100	コンクリート モルタル下地EP-G	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5EP (目透し張) 梁型 天井と同じ(出隅見切縁 木製)	塩ビ製	3,000		既存木製掃除用具入 (W1100, H2000, D450) 取外し再取付 掲示板壁見切縁 木製 20*20 EP-G 一部撤去	
			モルタルt35下地フローリングボードt15(塗装品) 一部撤去									
	改修	教育相談室 (前室・相談室2) (3階)	コンクリートスラブt120	木製巾木t10 EP-G	100	コンクリート 木脚縁下地7角合板t5.5(木目)	LGS (I9型) 石膏ボードt9.5ビニルクロス パーテーション撤去部 下地仕上 一部撤去 上記以外 ビニルクロスのみ撤去	木製 EP-G	2,550		アルミ製パーテーション撤去(廊下2面) パーテーション上部木製ボックス天井見切り撤去 廻縁: スプ 20*30 (既存断面合せ) EP-G	
			前室 モルタル下地500角タイルカーベットt6.5 仕上全面撤去 相談室2 モルタル下地300角フローリングブロックt15(塗装品) 一部撤去									
改修	第1美術室 (4階)	コンクリートスラブt120	木製巾木t25 EP-G	100	コンクリート 木脚縁下地有孔7角合板t5.5EP-G 木下地以外撤去 掲示板壁 木脚縁下地7角合板t5.5(木目) 一部撤去	LGS (I9型) 有孔ラワン合板t4.0, EP LGS (I9型) @225化粧石膏ボードt9.5 アルミ製EXP, J天井カバー 新設	塩ビ製	3,000		アルミ製パーテーション撤去(廊下2面)		
		モルタル下地300角フローリングブロックt15OSW 一部撤去										
改修	配膳室 (2-4階共通)	スラブ撤去面 コンクリート新設(昇降機シャフト廻り) 下地調整(ケイ酸カルシウム)のうえビニルシートt2.0 (抗菌・耐重耐動性) アルミ製EXP, J床カバー 新設	ラワン合板t9.0下地 ビニル巾木	300	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上に化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による ケイ酸カルシウム板t8.0上に化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナー部は7角製ジョイントを使用 アルミ製EXP, J壁カバー 新設	LGS (I9型) @225化粧石膏ボードt9.5 アルミ製EXP, J天井カバー 新設	塩ビ製	2,600		SUS製流し台(ライニング壁共) アルミ製カーテンボックス 450角天井点検口(7角額縁タイプ) 両引きハンガードア (HD-1) 新設		
改修	廊下 (2-4階共通) ※撤去部を復旧	下地調整(ケイ酸カルシウム)のうえビニルシートt2.5(コイン) アルミ製EXP, J床カバー 一部既存品再取付け	新設LGS壁: ビニル巾木 既存面 新規 モルタル成形EP-G (B種) 塗替 下地調整のうえEP-G (B種)	100	LGS ※仕様は詳細図による 強化石膏ボードの上にEP-G (B種) アルミ製EXP, J壁カバー 新設	LGS (I9型) @300石膏ボードt9.5EP (目透し張) EP (B種) アルミ製EXP, J天井カバー 既存撤去品一部再取付	塩ビ製	2,700		撤去したEXP, J天井カバーは廊下天井面の撤去部で一部再取付けする ※再取付したEXP, Jカバー材以外は処分する		
改修	特別支援教室 (知的) (2階) ※撤去部を復旧	モルタルt35下地、複合7角ブロックt15(ケイ酸カルシウム、単板厚3、塗装品、クッション付) 新設 既存取合い部シーリング(変成シリコン/W10)	新規面 スプ t24, EP-G (A種) 塗替面 下地調整のうえEP-G (B種)	100	新設壁*ド面: EP-G (B種) モルタル 新規面 EP-G (B種)、塗替面 下地調整のうえEP-G (B種)	LGS (I9型) @255化粧石膏ボードt9.5 ※梁型のみ復旧	塩ビ製	3,000		ランマ付引違い戸(LSD-2) 既存木製掃除用具入 (W1100, H2000, D450) 取外し再取付 掲示板壁見切縁 木製 スプ 20*20 EP-G 復旧		
改修	教育相談室 (前室・相談室2) (3階) ※撤去部を復旧	コンクリートスラブt120	新規面 スプ t24, EP-G (A種) 塗替面 下地調整のうえEP-G (B種)	100	新設部: 強化石膏ボードt-12.5, *リ合板t5.5貼 既存部: 木下地, 7角合板t9.0, *リ合板(木目) t5.5貼	パーテーション撤去部 LGS (I9型) @300石膏ボードt9.5 復旧 ビニルクロス 全面貼替え	木製 既製品 20*30	2,550		ランマ付引違い戸(LSD-3) アルミ製カーテンボックス		
		前室: モルタル下地, 500角タイルカーベットt6.5 仕上のみ全面新設復旧 相談室2: モルタル下地t35, 300角フローリングブロックt15(ケイ酸カルシウム、単板厚3、塗装品、クッション付) 新設										
改修	第1美術室 (4階) ※撤去部を復旧	モルタル下地t35, 300角フローリングブロックt15(ケイ酸カルシウム、単板厚3、塗装品、クッション付) 新設 既存取合い部シーリング(変成シリコン/W10)	新規面 スプ t24, EP-G (A種) 塗替面 下地調整のうえEP-G (B種)	100	撤去部: 既存木下地の上に有孔7角合板t5.5 EP-G (A種) 新設部: 強化石膏ボードt12.5 木脚縁下地有孔7角合板t5.5 EP-G (A種) 掲示板壁 木脚縁下地7角合板t5.5 掲示クマ 復旧	LGS (I9型) @300有孔7角合板t4.0EP-G (A種) ※梁型も天井と同じ	塩ビ製	3,000		ランマ付引違い戸(LSD-4) 掲示板壁見切縁 木製 スプ 20*20 EP-G 復旧		

外 部 仕 上 表	
プラットフォーム	・ 立ち上がりコンクリート打放し補修 ・ 床コンクリート金コテ仕上げ(水勾配) ・ 荷卸角部-65×65 アングル取り付け(亜鉛メッキ品) ・ アスファルト舗装改修(プラットフォーム周囲)





公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 工事概要・仕上表		A-43
							No.



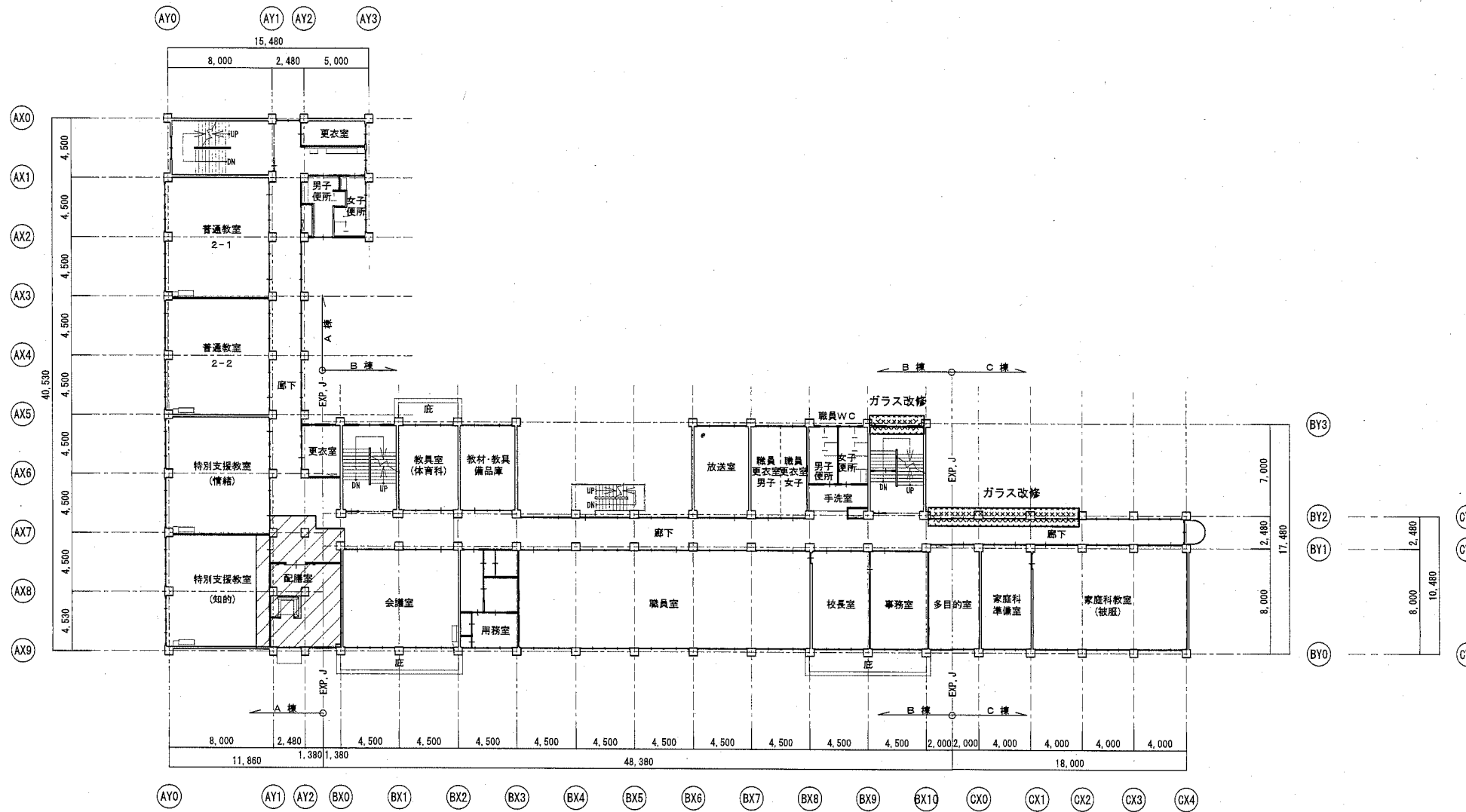
1階改修平面図 1/300



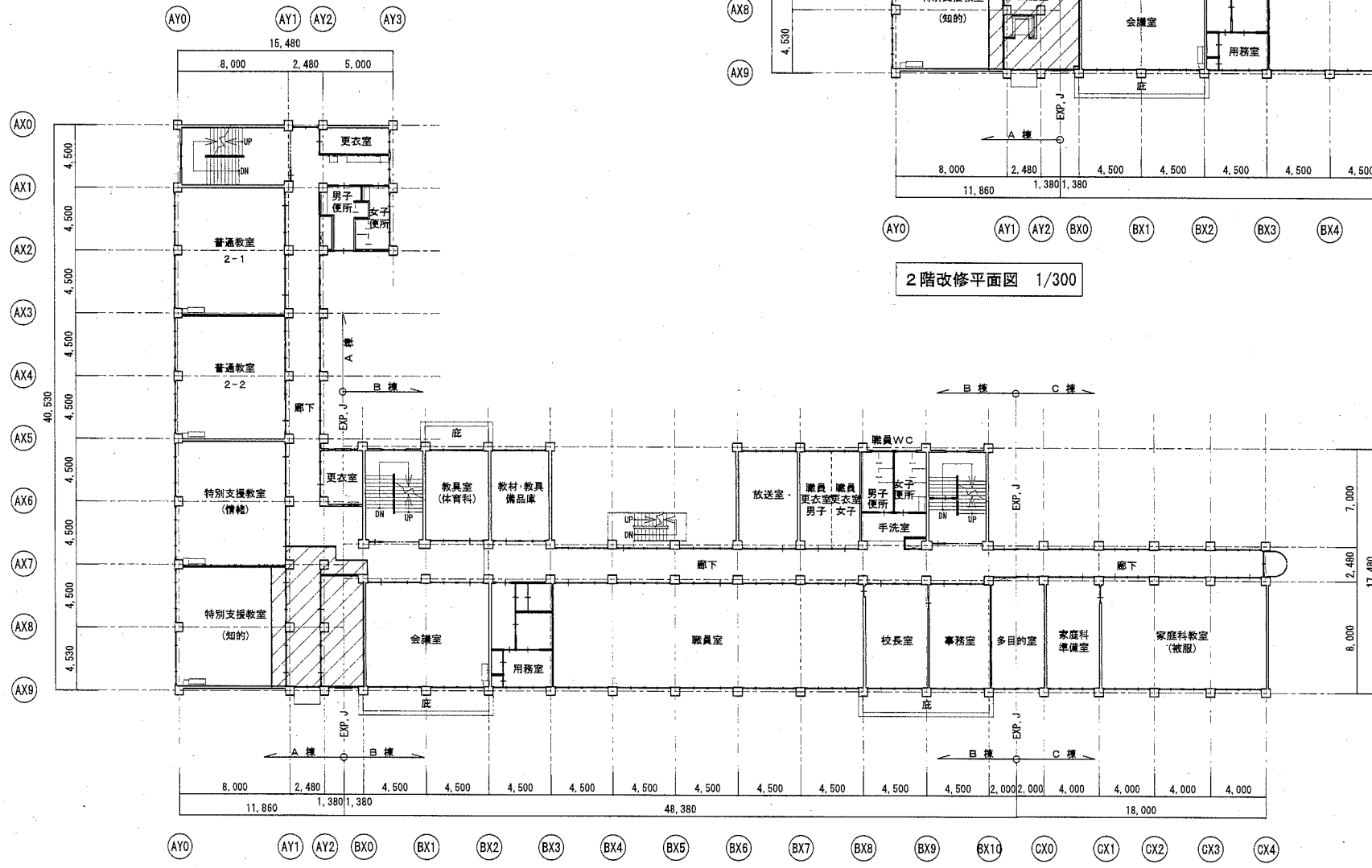
1階既存平面図 1/300

-  配膳室に改修 ※1階のみ 荷受・配膳室
-  配膳室に改修により部分改修する部分
-  工事期間中の仮設パンコーナ
-  その他工事：ガラス改修部分

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-44
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 鷹取中学校 1階平面図 (既存・改修)	1/300	No.

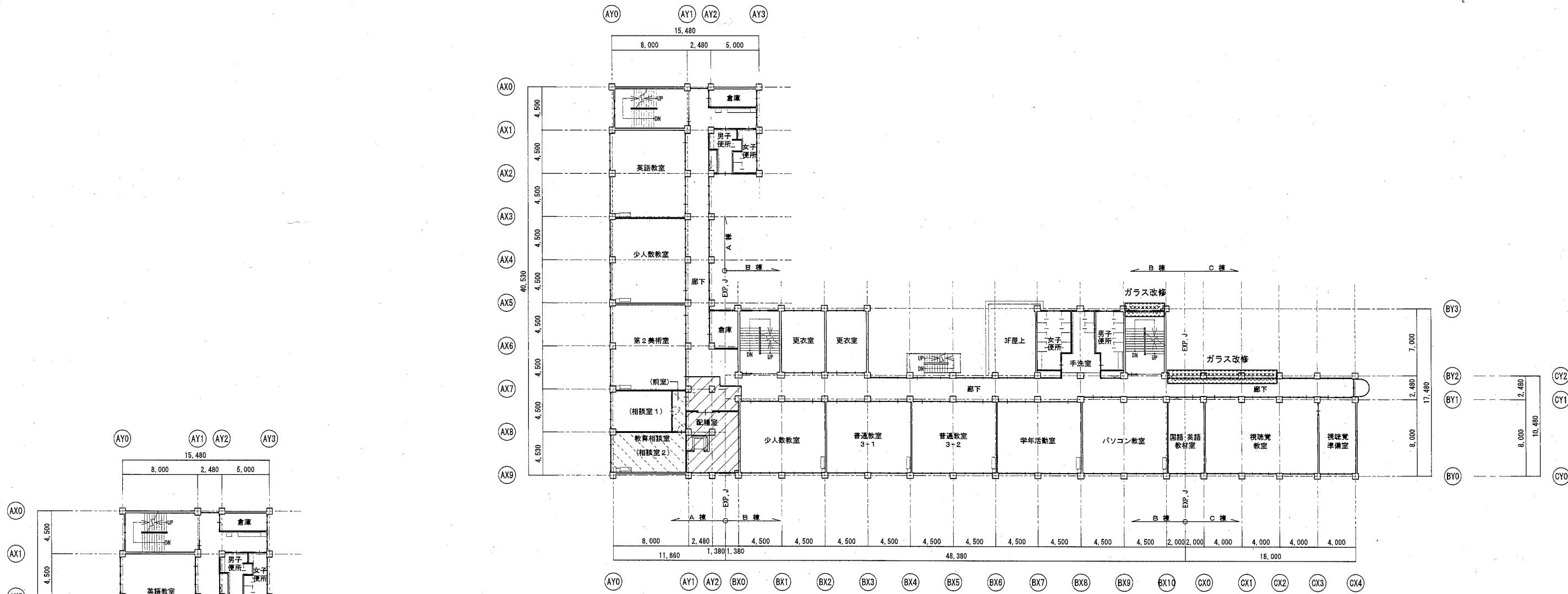


2階改修平面図 1/300

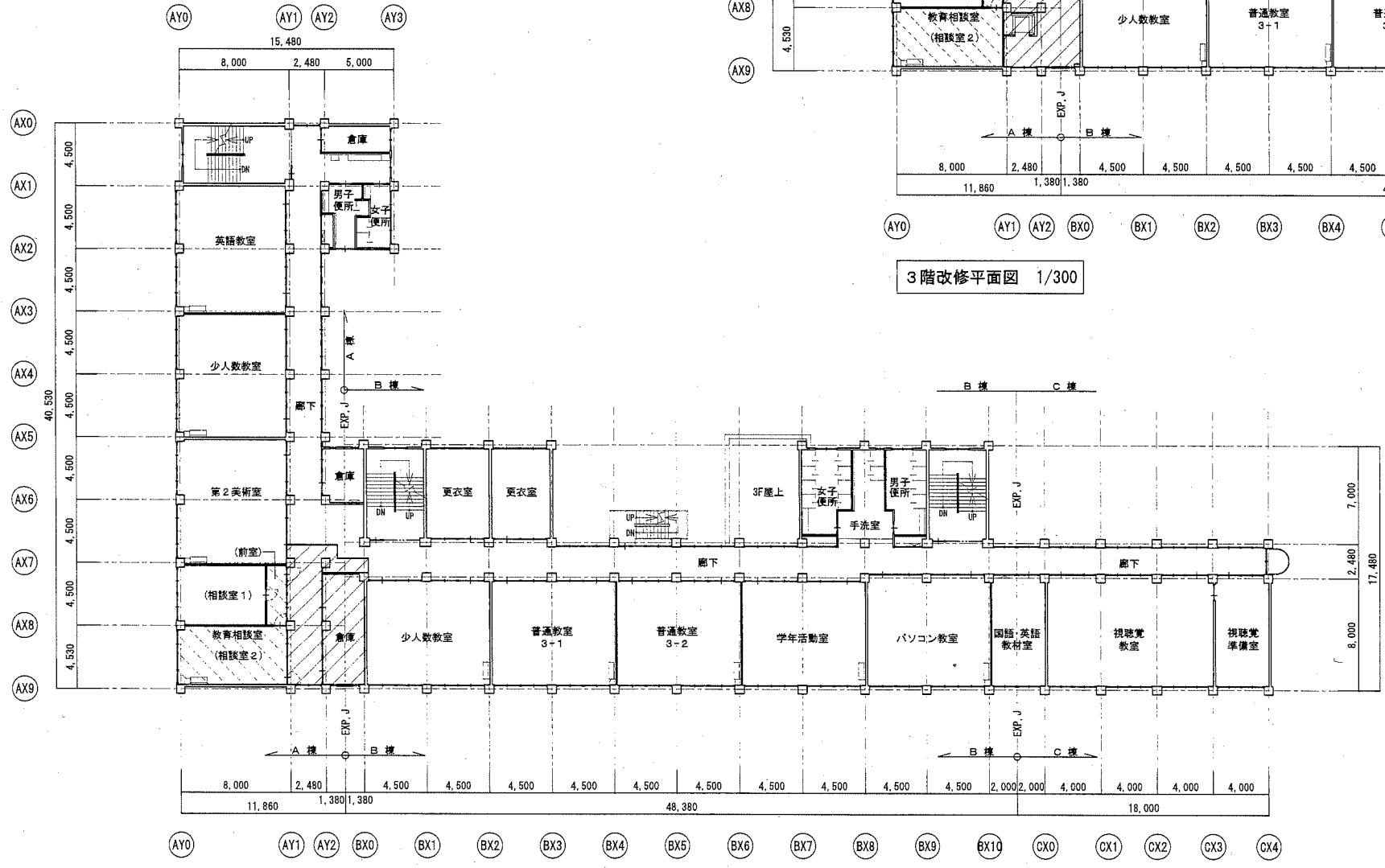


2階既存平面図 1/300




公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-45
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 鷹取中学校 2階平面図 (既存・改修)	1/300	No.



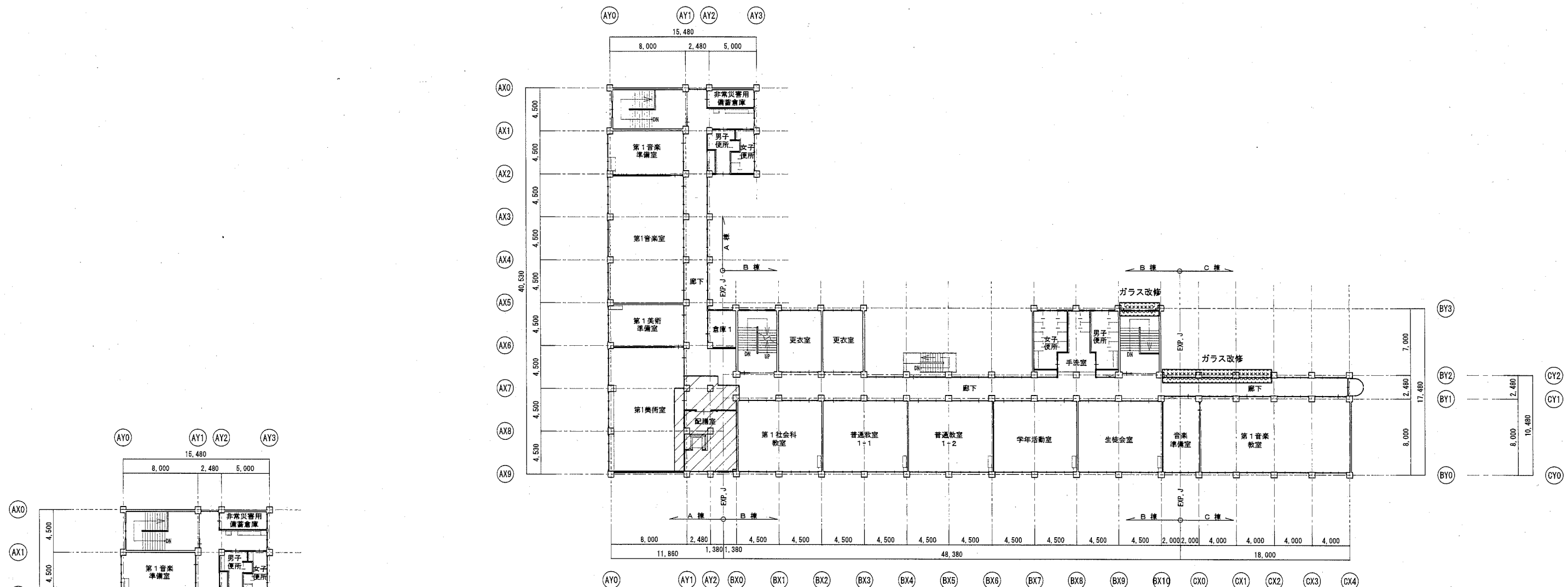
3階改修平面図 1/300



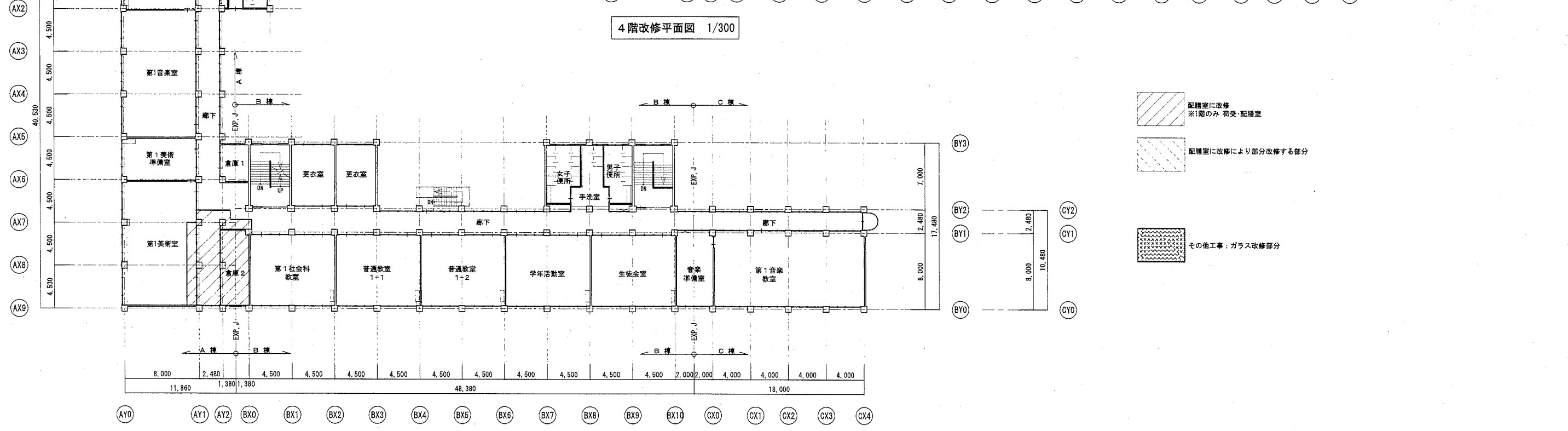
3階既存平面図 1/300

-  配膳室に改修
※1階のみ 荷受・配膳室
-  配膳室に改修により部分改修する部分
-  その他工事：ガラス改修部分

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-46
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 鷹取中学校 3階平面図 (既存・改修)	1/300	No.

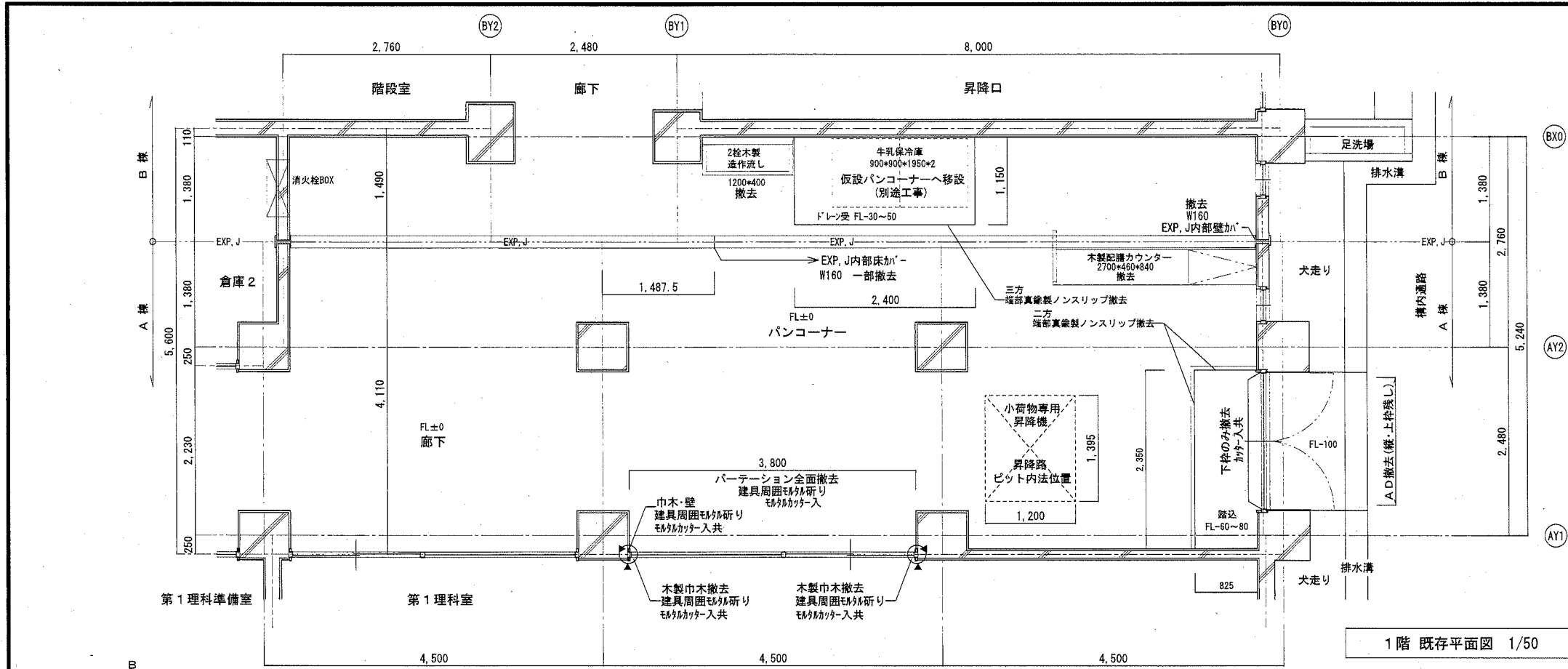


4階改修平面図 1/300

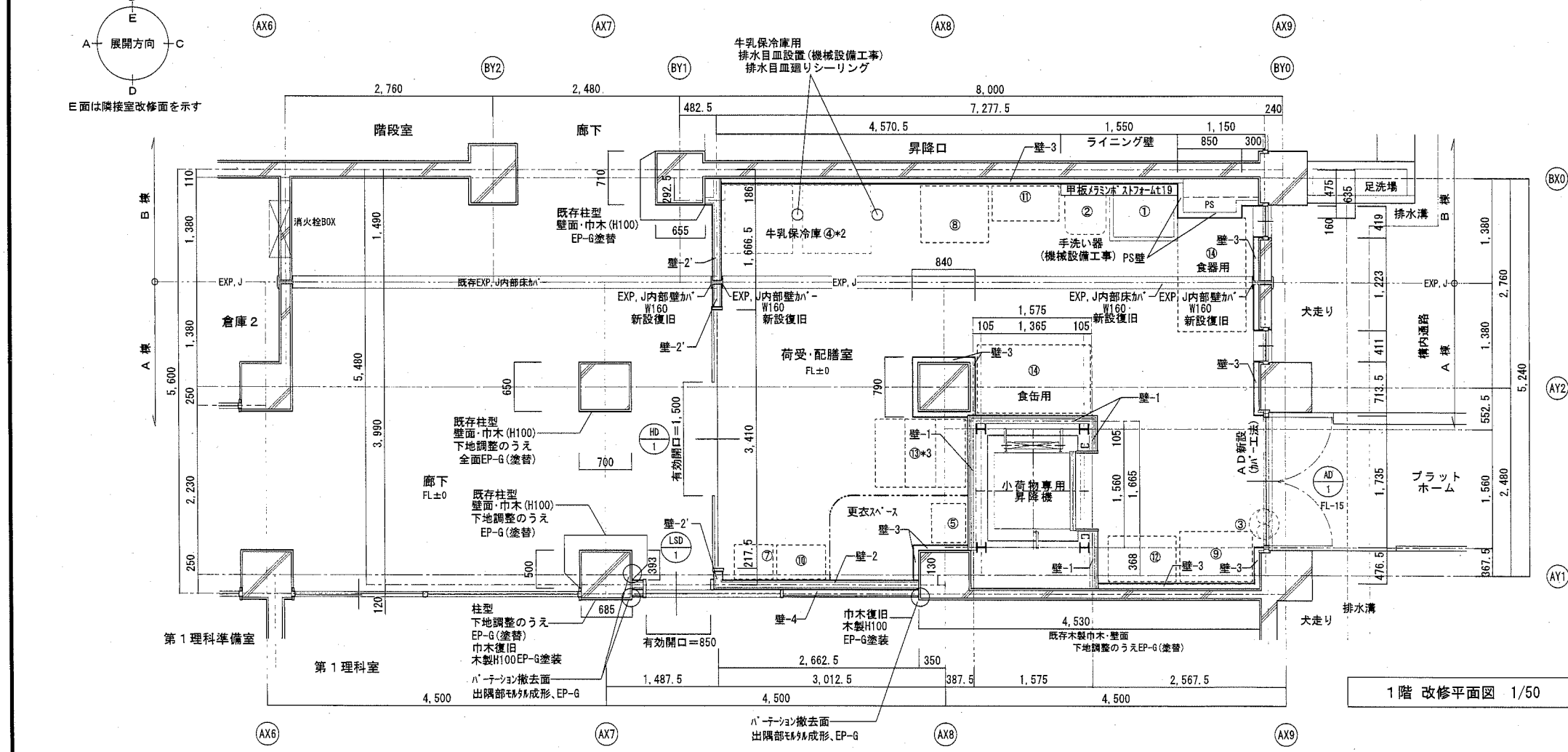


4階既存平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-47
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 鷹取中学校 4階平面図 (既存・改修)	1/300	No.



1階 既存平面図 1/50



1階 改修平面図 1/50

部位	仕上	備考
床	土間コンクリート t120 モルタル t27.5 下地ビニルシート t2.5 コイン モルタル t30~50 金コテ (踏込・ドレン受)	一部撤去 一部撤去 踏込部のみ撤去
巾木	モルタル下地 EP-G	建具撤去面廻り一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS 下地石膏ボード t-9.5 EP モルタル下地内装吹付	一部撤去 既存のまま
備考	EXP, J内部加へ 壁撤去、床・天井一部撤去・一部取外し (改修後の廊下にて再利用) パーテーション、木製配膳カウンター、流し台撤去 7M3製パイプ両開きドア一部三方枠残して撤去 土間コンクリート撤去部分は下地仕上共撤去する	

部位	仕上	備考
床	土間コンクリート t120 モルタル t35 下地フローリングブロック t15 OSW	既存のまま 一部撤去
巾木	木製 t24 (H100) EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地 EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS 下地石膏ボード t-9.5 EP 吹付仕上	既存のまま 既存のまま
備考	パーテーション上部カーテンボックス撤去 展開方向E面のみ撤去・改修をする	

「▲」: パーテーション撤去時の壁(巾木共)仕上取合部 カッター入れを示す
パーテーション撤去後は、仕上・下地を補修をする

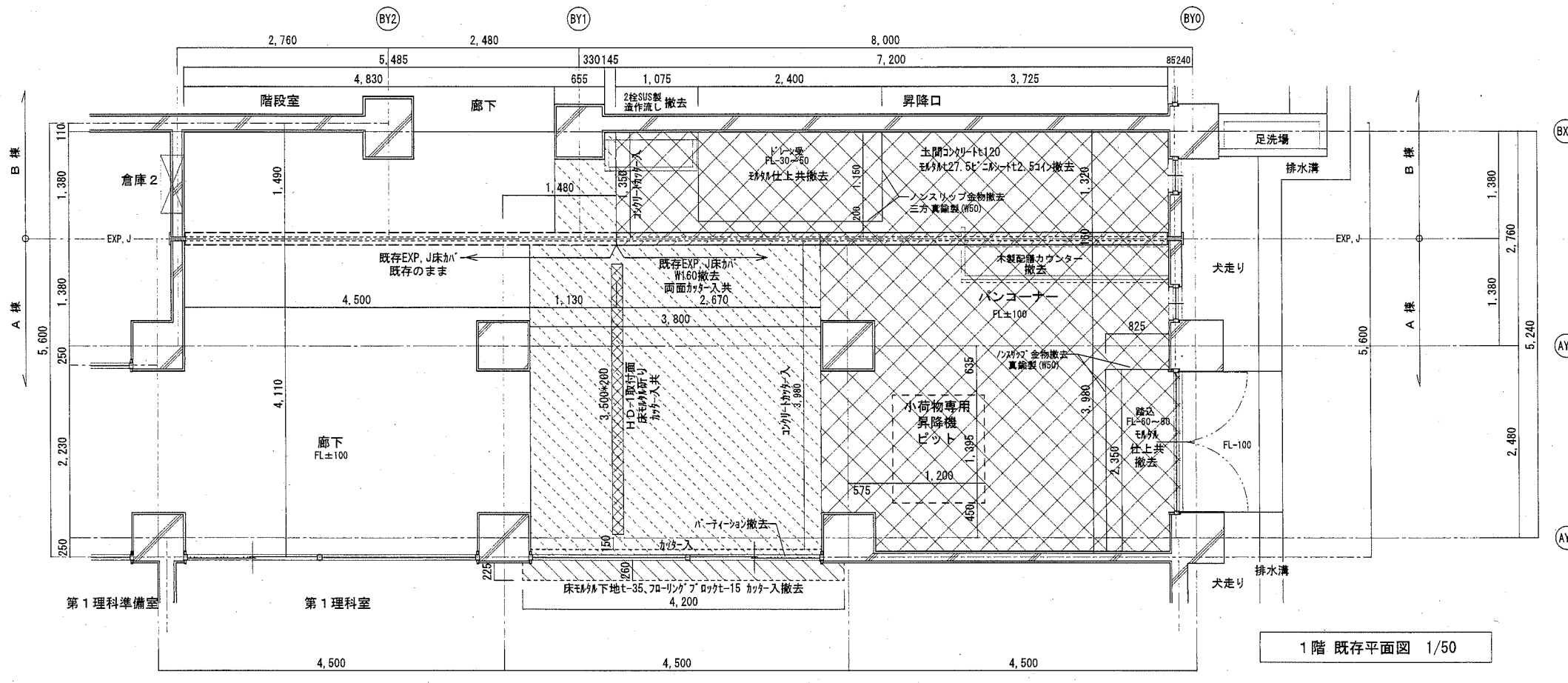
部位	仕上	備考
床	土間コンクリート新設部 モルタル t28 下地、ビニルシート t2.0 (耐動荷重性・抗菌) 上記以外 下地調整のうえビニルシート t2.0 (耐動荷重性・抗菌)	
巾木	ラワン合板 t9.0 増張、ビニル巾木 H300	
壁	壁-1: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t21.2*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-2: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 壁-3: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0 PS壁: LGS (65) 下地、珪酸カルシウム板 t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板 t6.0	
天井	LGS (19) 下地、化粧石膏ボード t-9.5 廻縁塩ビ製	
備考	ライニング壁、SUS製流し台、7M3製天井吊り金具、7M3製パイプボックス 外部 AD-1新設 (かへ工法)、フラットホーム新設 牛乳保冷庫用排水目皿廻りシーリング (排水目皿設置は機械設備工事) EXP, J内部加へ 床・壁・天井新設復旧 壁-1・2は耐火認定構造 (1時間) 梁下・スラブ下・下り壁まで施工する	

部位	仕上	備考
床	下地調整のうえビニルシート t2.5 (コイン)	
巾木	壁-2・2' 面 ビニル巾木 H100、既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)	
壁	壁-2: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t-12.5*2/片面、EP-G (新規面) 壁-2': LGS (65) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/片面、EP-G (新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)	
天井	LGS (19) 下地、石膏ボード t-9.5 (目透し) EP (新規面) 廻縁塩ビ製共	
備考	EXP, J内部加へ 壁新設、天井再取付 (既存再利用) 壁-2・2' は耐火認定構造 (1時間) 梁下・スラブ下・下り壁まで施工する	

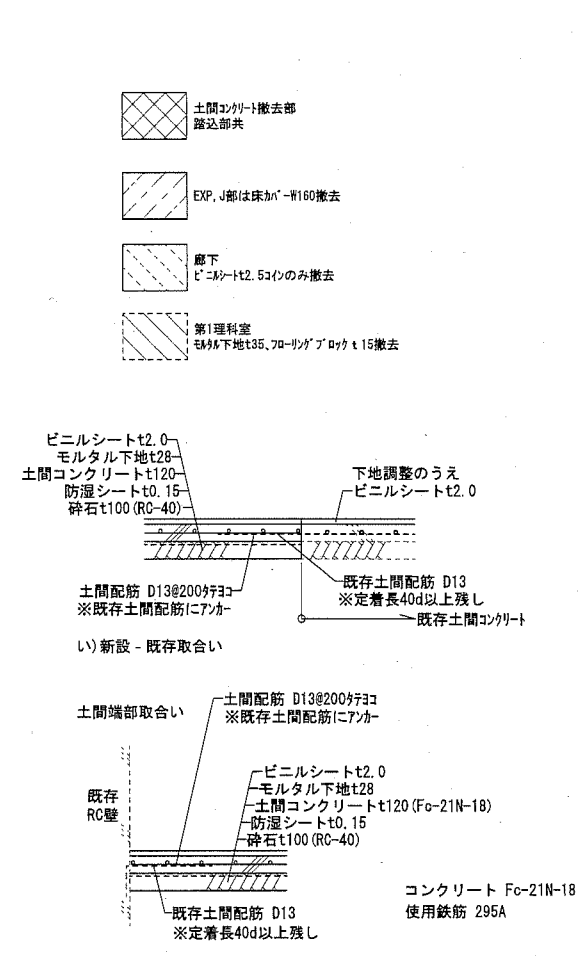
部位	仕上	備考
床	モルタル t35 下地フローリングブロック t15 塗装	
巾木	壁-2面 ビニル巾木 H100 撤去面 木製 t24 (H100) スラッシュ EP-G (新規面)、既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)	
壁	壁-4: LGS (65) 下地、強化石膏ボード t-12.5*2/片面 (突付V目地付) EP-G (新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G (新規面) 既存塗装面 下地調整のうえ EP-G (塗替え面)	
備考	LSD-1新設、同左上部 木製カーテンボックス (シグマスレー) EP-G新設	

No	名称	数量	備考
①	手洗い	1	機械設備工事
②	シンク	1	建築工事
③	換気扇	1	機械設備工事
④	牛乳保冷庫	2	工事対象外
⑤	更衣ロッカー	1	
⑥	カーテンレール(S)	1	建築工事
⑦	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
⑧	移動式作業台	1	
⑨	リフト用運搬車	1	
⑩	作業机	1	
⑪	簡易棚	1	
⑫	L型台車	1	
⑬	スノコ	2~3	
⑭	運搬コンテナ	6	

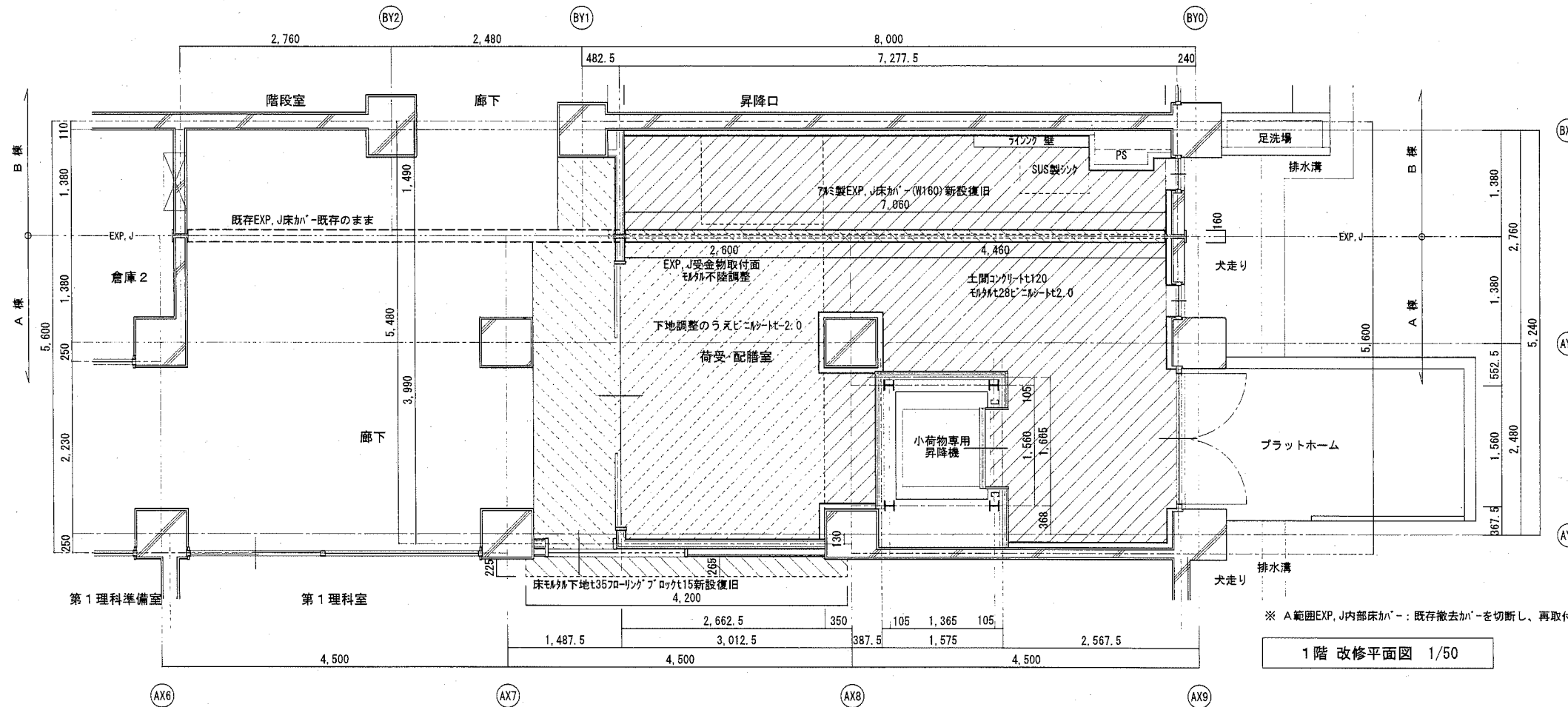
牛乳保冷庫を除く備品の配置は参考



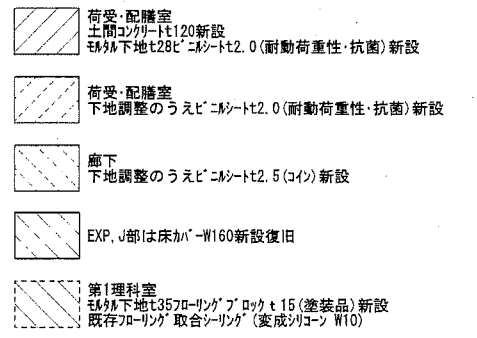
1階 既存平面図 1/50



新設土間コンクリート詳細図 1/30

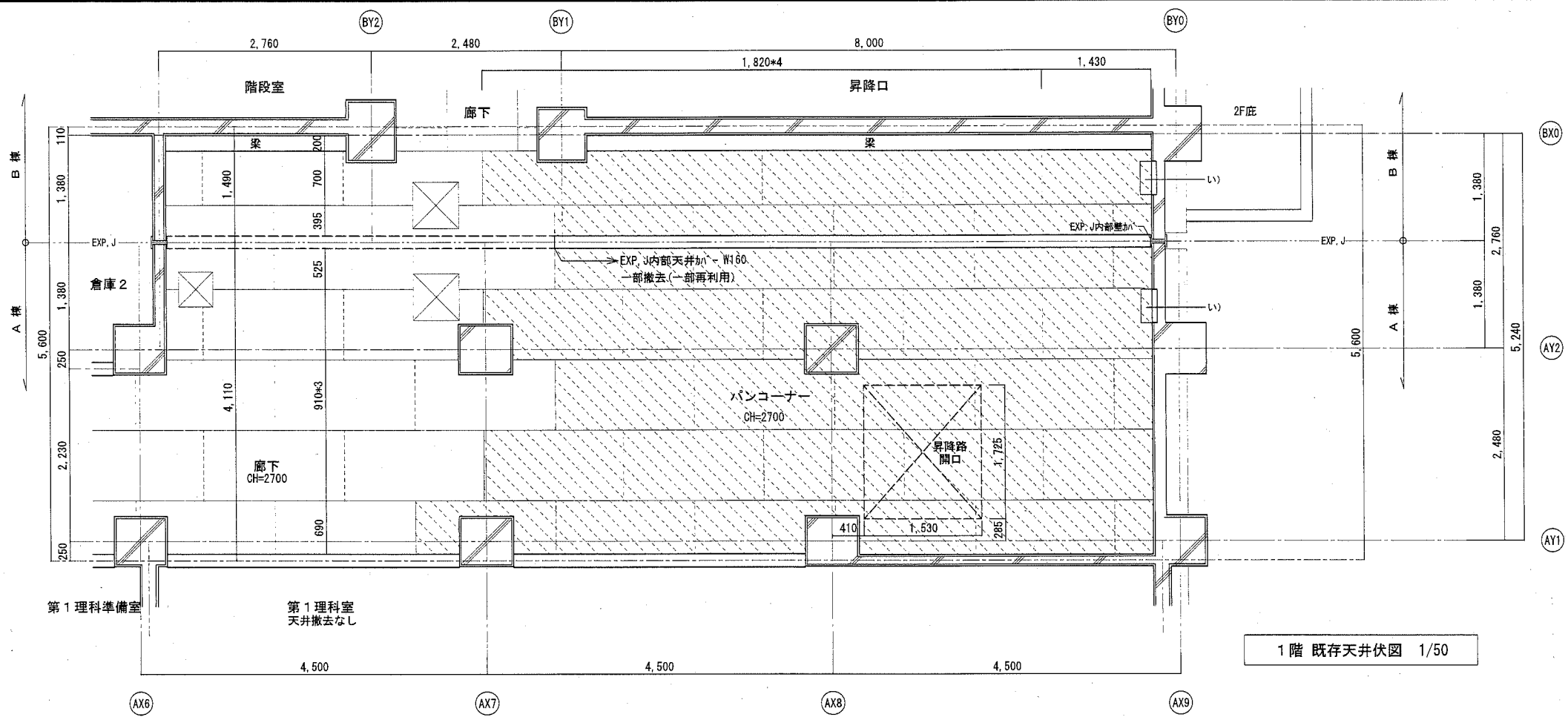


1階 改修平面図 1/50



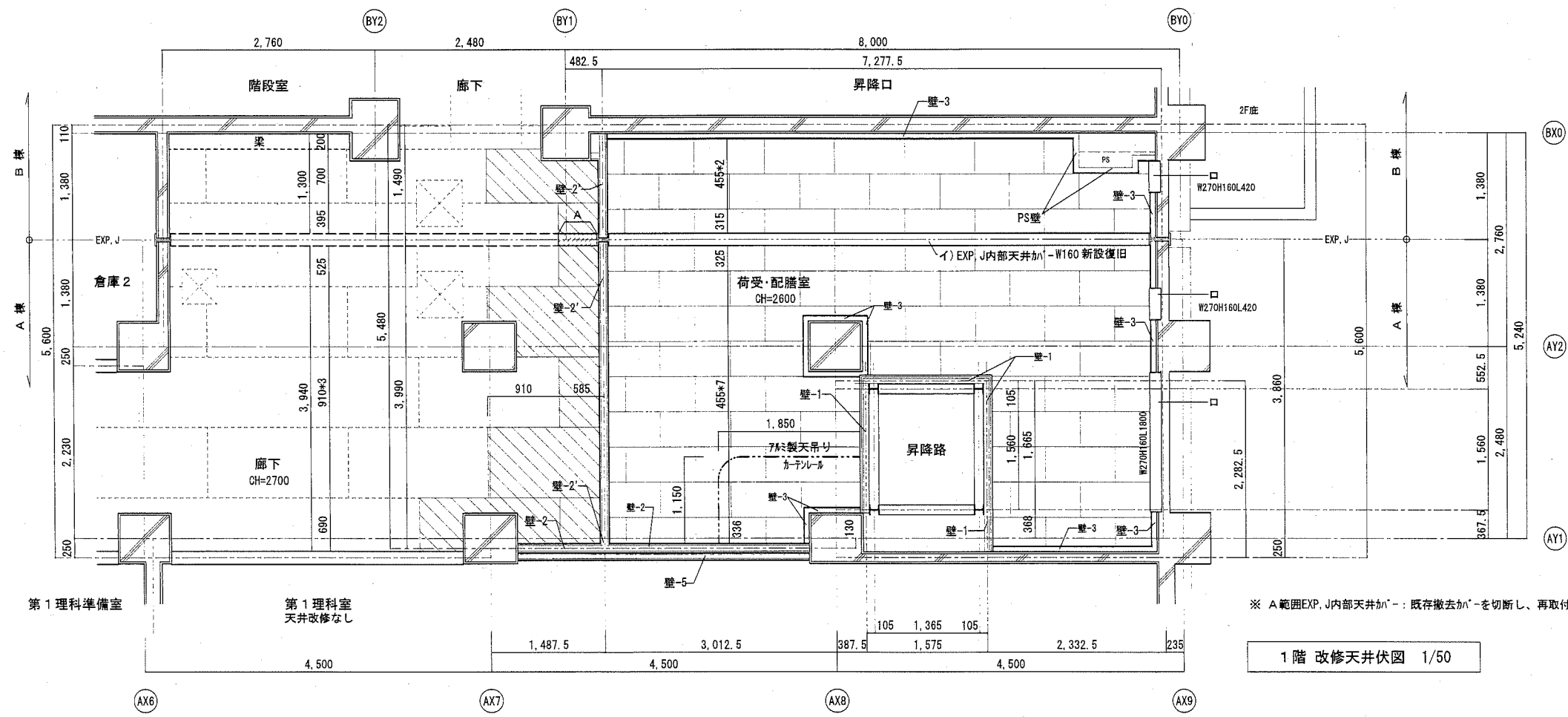
新設土間コンクリート詳細図 1/30

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-49
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 1階荷受・配膳室、廊下 床伏図 (既存・改修)			



1階 既存天井伏図 1/50

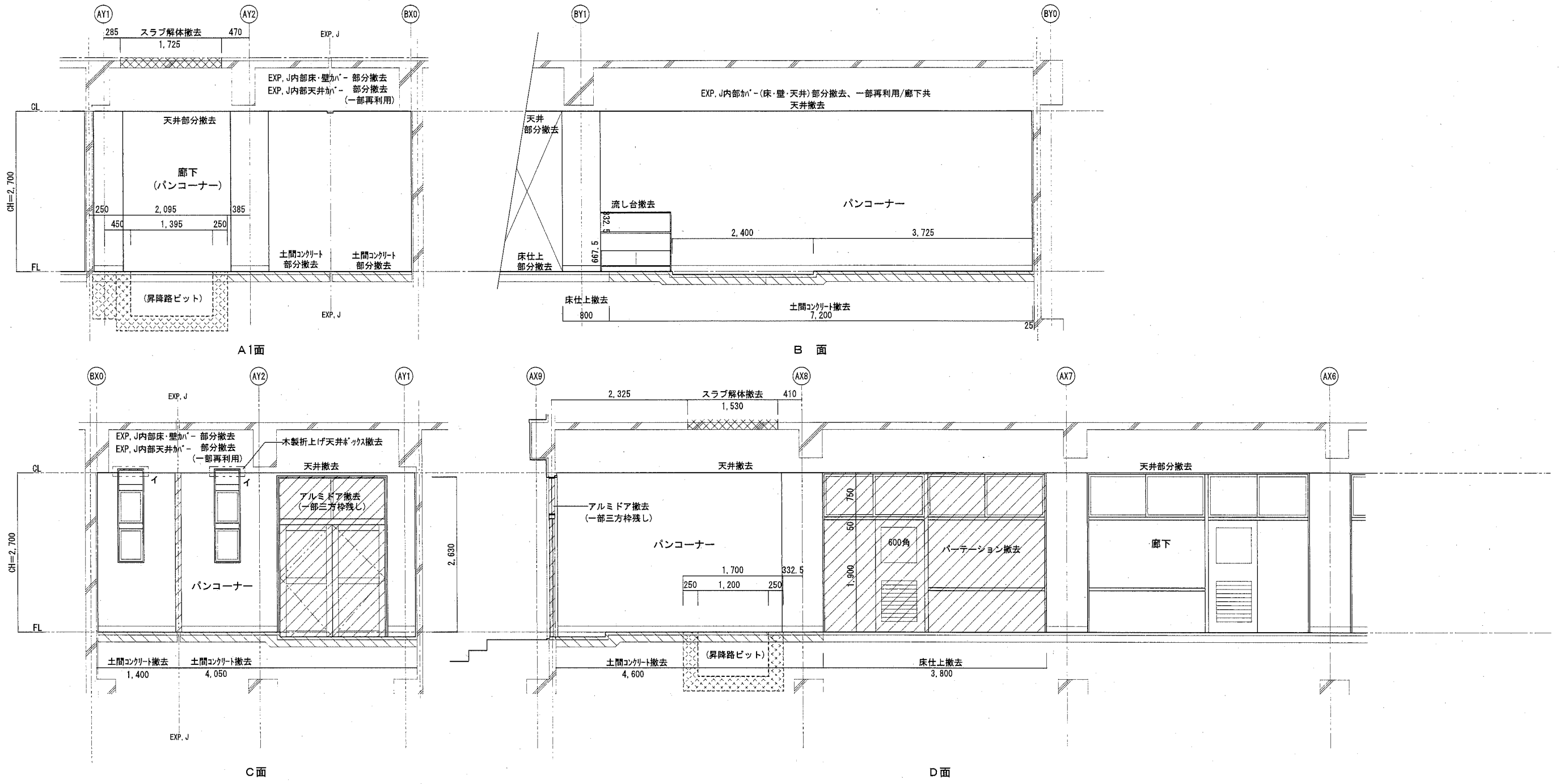
廊下・バンコーナー 既設天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	ハッチ部撤去
	梁型:内装用吹付仕上	既存のまま
備考	い) 外部建具上部木製折上げ天井ボックス撤去 EXP, J内部加'-(天井):一部撤去(一部再利用) 改修図のA範囲に必要なさを再取付する	



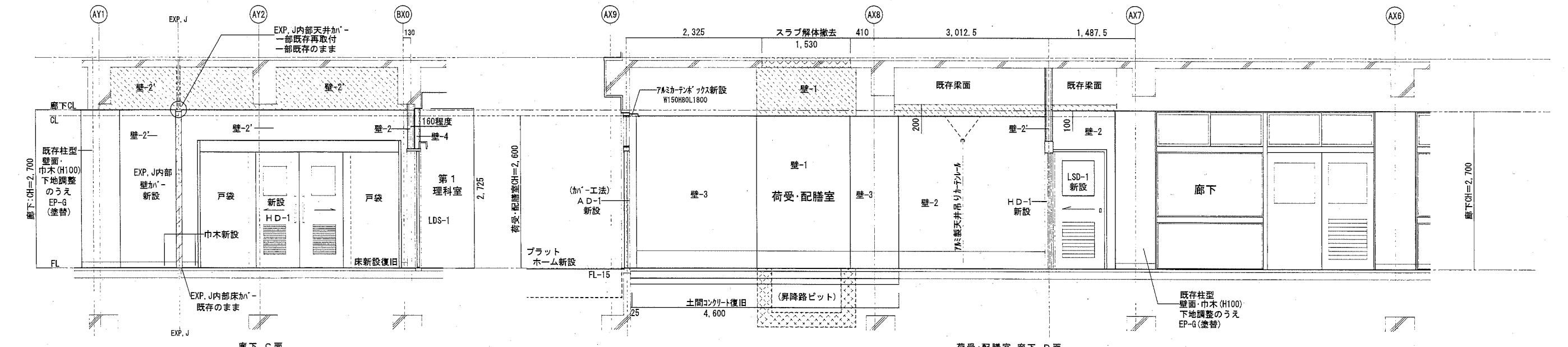
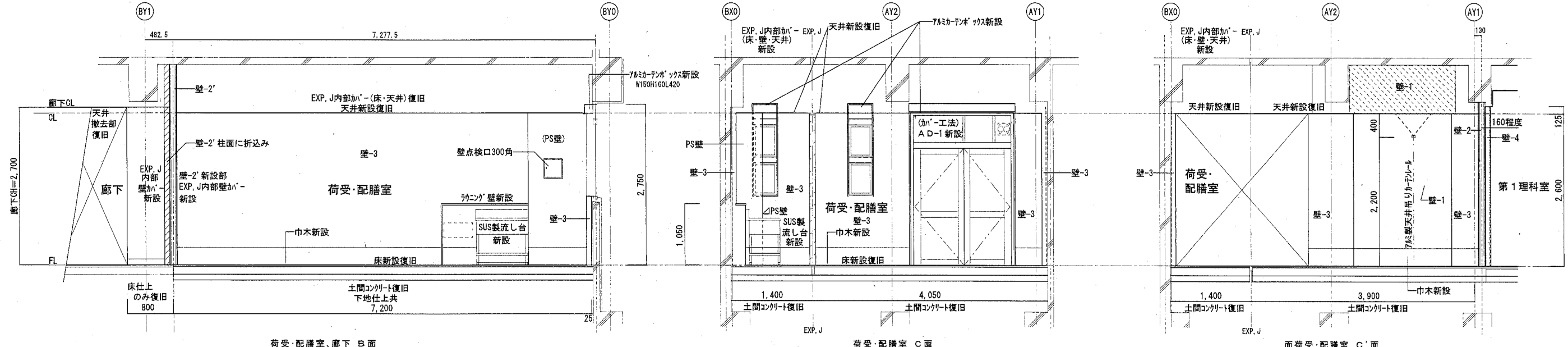
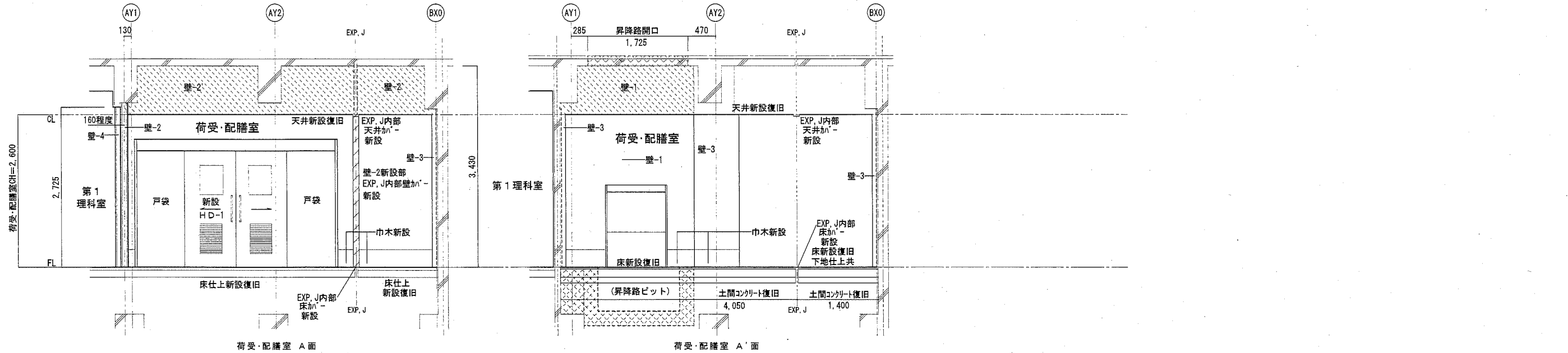
1階 改修天井伏図 1/50

荷受・配膳室 改修天井仕上		
天井	LGS下地:化粧石膏ボード t-9.5	全面新設
廻線	塩ビ製	全面新設
備考	い) EXP, J内部加'-(天井)新設復旧 ロ) アルミカーテンボックス新設 7A製天吊りカーテン 天井点検口450角7A製廻線1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地:石膏ボードt-9.5EP	撤去部復旧
備考	EXP, J内部カバー(天井):既存再利用(A範囲) 点検は既存のまま	

※ A範囲EXP, J内部天井加' - : 既存撤去加' - を切断し、再取付

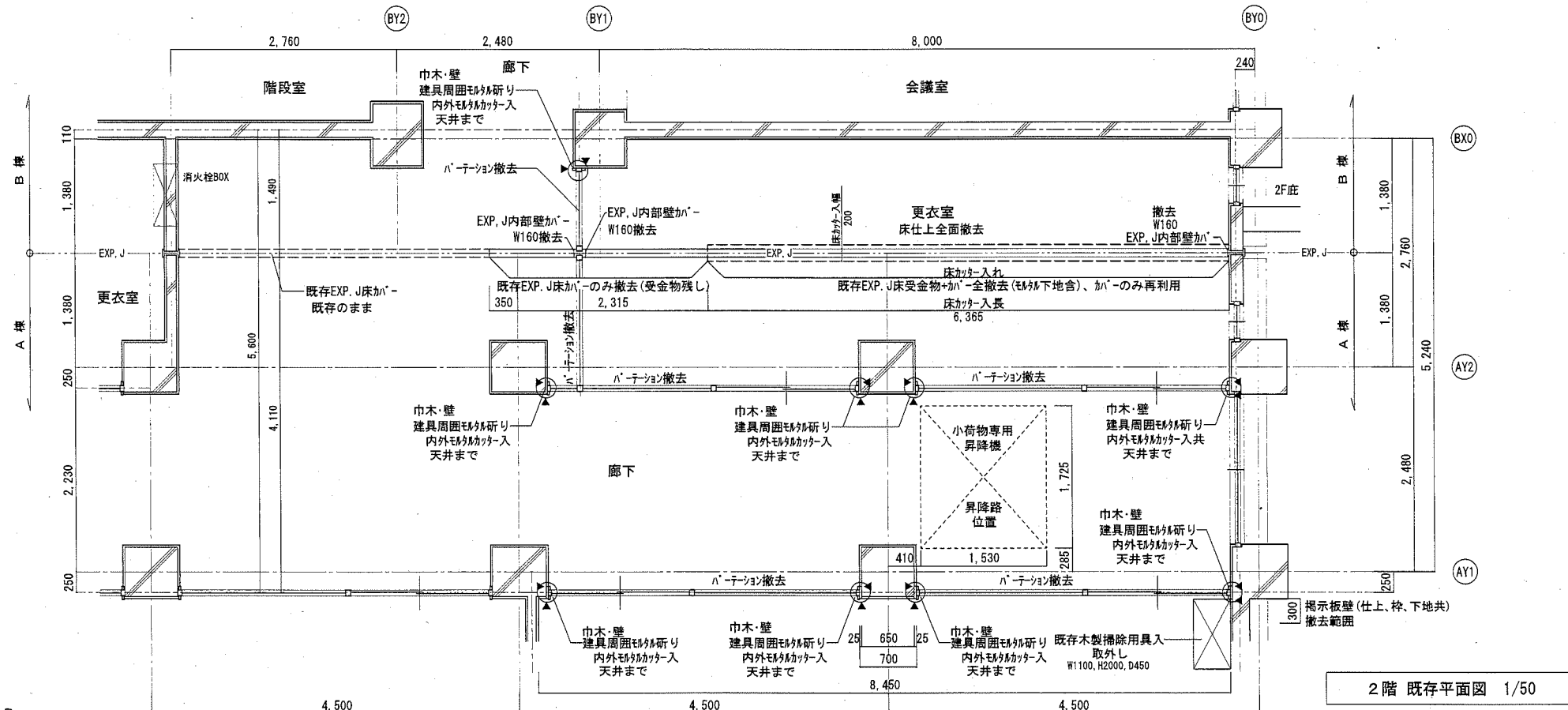


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-51 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 鷹取中学校 1階荷受・配膳室、パンコーナー 展開図-1 (既存)	1/50	



壁-2廊下面仕上: 突付けV目地(珪藻土) EP-G
 壁-2'廊下面仕上: 目透し EP-G

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-52
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 1階荷受・配膳室、廊下 展開図-2 (改修)			No.



2階 既存平面図 1/50

部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	一部撤去
	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5コイン	一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 廻線塩ビ製	一部撤去
梁型	モルタル下地内装用吹付	既存のまま
備考	EXP, J内部か' - 壁撤去, 床・天井一部撤去・一部取外し(改修後の廊下下面にて再利用) パーテーション, 建具上部木製か'が天井見切り撤去 スラブコンクリートt120撤去部分は下地仕上共撤去する	

「▲」: パーテーション撤去時の壁(巾木共)仕上取合部 カッター入れを示す
パーテーション撤去後は, 仕上・下地を補修する

部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	既存のまま
	モルタルt35下地フローリングボードt15PUC	一部撤去
巾木	木製t24(H100)EP-G	建具撤去面廻り一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地, 化粧石膏ボードt9.5 廻線塩ビ製	既存のまま
梁型	LGS下地, 化粧石膏ボードt9.5	一部撤去
備考	廻線塩ビ製, 出隅塩ビ製コーナー(20*10) パーテーション撤去, 既存木製掃除用具入(W1100, H2000, D450)取外し 掲示板壁(仕上, 枠, 下地共)一部撤去 同上撤去において障害となる既存下地は撤去する 天井付カテナール取外し	

部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	
	下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	
巾木	ラワン合板t9.0増強ビニル巾木 H300	
壁	壁-1:LGS(65)下地, 強化石膏ボードt21*2/片面, 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地, 強化石膏ボードt12.5*2/片面, 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(65)下地, 強化石膏ボードt12.5*2/片面, 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地, ケイ酸カルシウム板t8.0/片面, 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0	
天井	LGS(19)下地, 化粧石膏ボードt9.5 廻線塩ビ製	
備考	ライニング壁, SUS製流し台, 7段製カテナール 既設窓(AW-1): 換気扇取付による障子・ガラス改修 EXP, J内部か' - 床・壁・天井新設復旧 壁-1・2'は耐火認定構造(1時間)梁下・ｽﾌﾟﾗ'下・下り壁まで施工する	

部位	仕上	
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	壁-2'面 ビニル巾木H100, 撤去面 木製t24(H100)ｽﾌﾟﾗ'ｽ EP-G(新規面)	
壁	壁-2'LGS(65)下地, 強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)EP-G(新規面) 壁-2'LGS(65)下地, 強化石膏ボードt12.5*2/片面, EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形, EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
天井	LGS(19)下地石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 廻線塩ビ製共	
備考	EXP, J内部か' - 壁新設, 床・天井再取付(既存再利用) 壁-2'2'は耐火認定構造(1時間)梁下・ｽﾌﾟﾗ'下・下り壁まで施工する	

イ: 既存柱型(巾木共) 下地調整のうえEP-G塗替

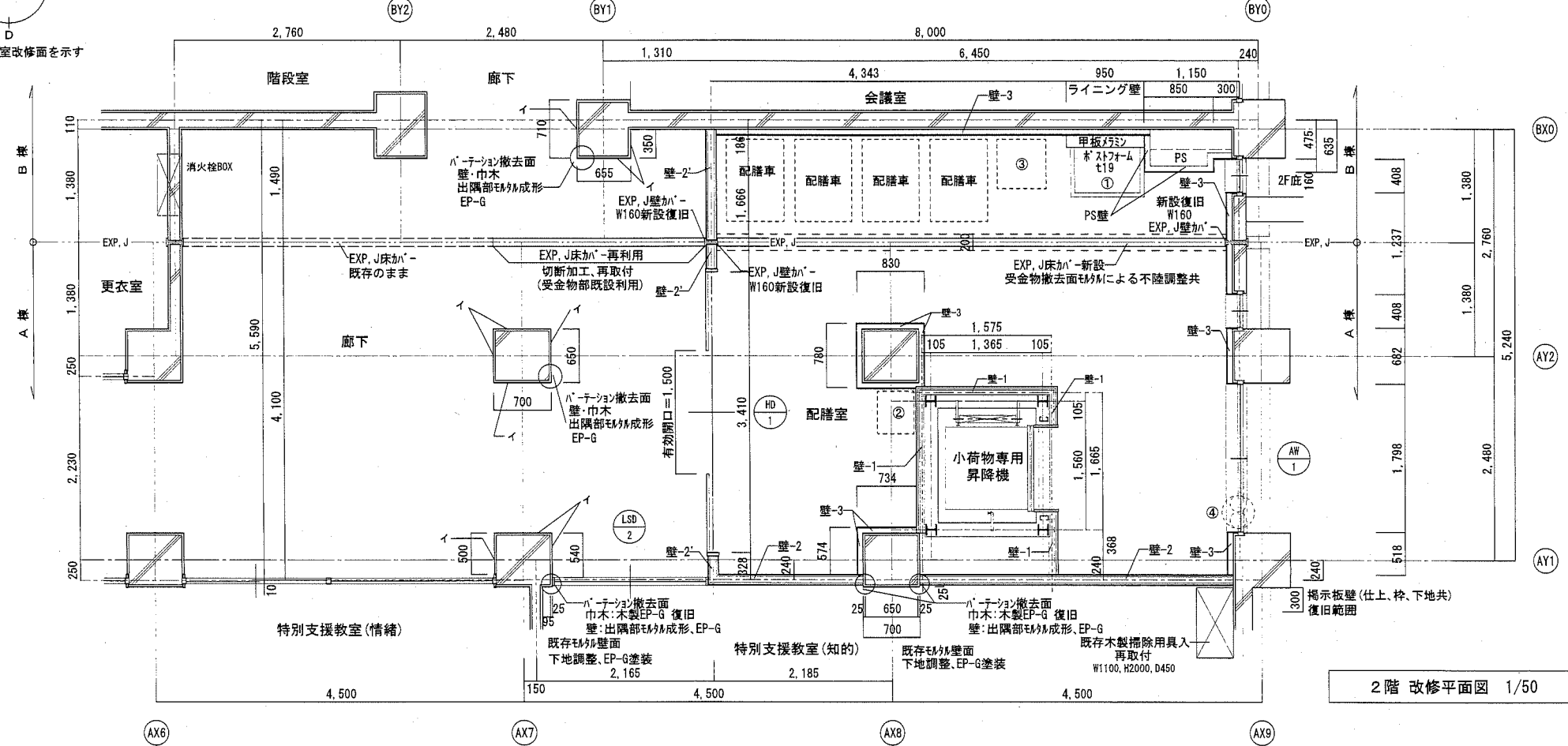
部位	仕上	
床	モルタルt35下地フローリングボードt15塗装品	
巾木	壁-2面 ビニル巾木H100, 撤去面 木製t24(H100)ｽﾌﾟﾗ'ｽ EP-G(新規面)	
壁	壁-2'LGS(65)下地, 強化石膏ボードt12.5*2/片面(目透し)EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形, EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5 廻線塩ビ製	
梁型	LGS下地化粧石膏ボードt9.5 廻線塩ビ製, 出隅塩ビ製コーナー(20*10)	
備考	LSD-2新設, 天井付カテナール再取付 既存木製掃除用具入(W1100, H2000, D450)取外し再取付 掲示板壁: 木脚縁下地ﾌｯﾌﾞ合板t5.5掲示架, 見切縁ｽﾌﾟﾗ'ｽ20*20EP-G 復旧	

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

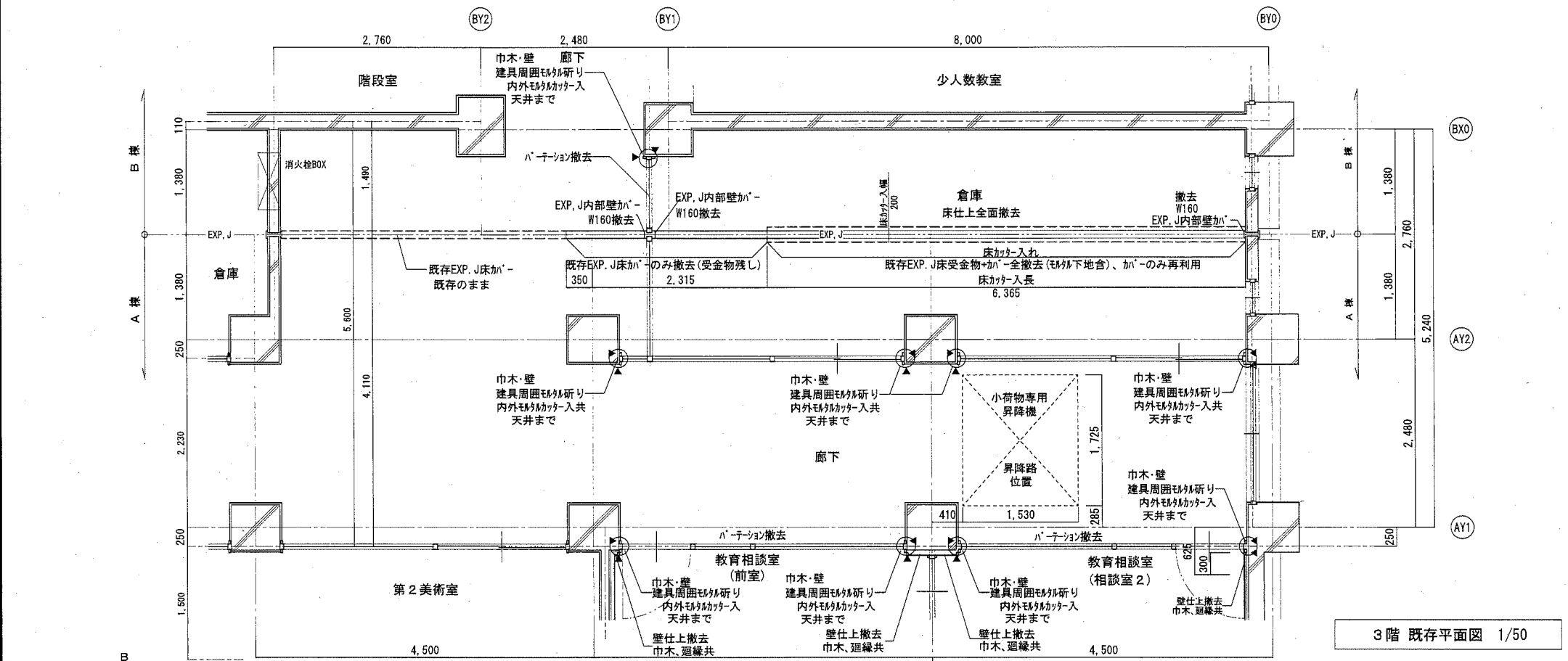
備品の配置は参考



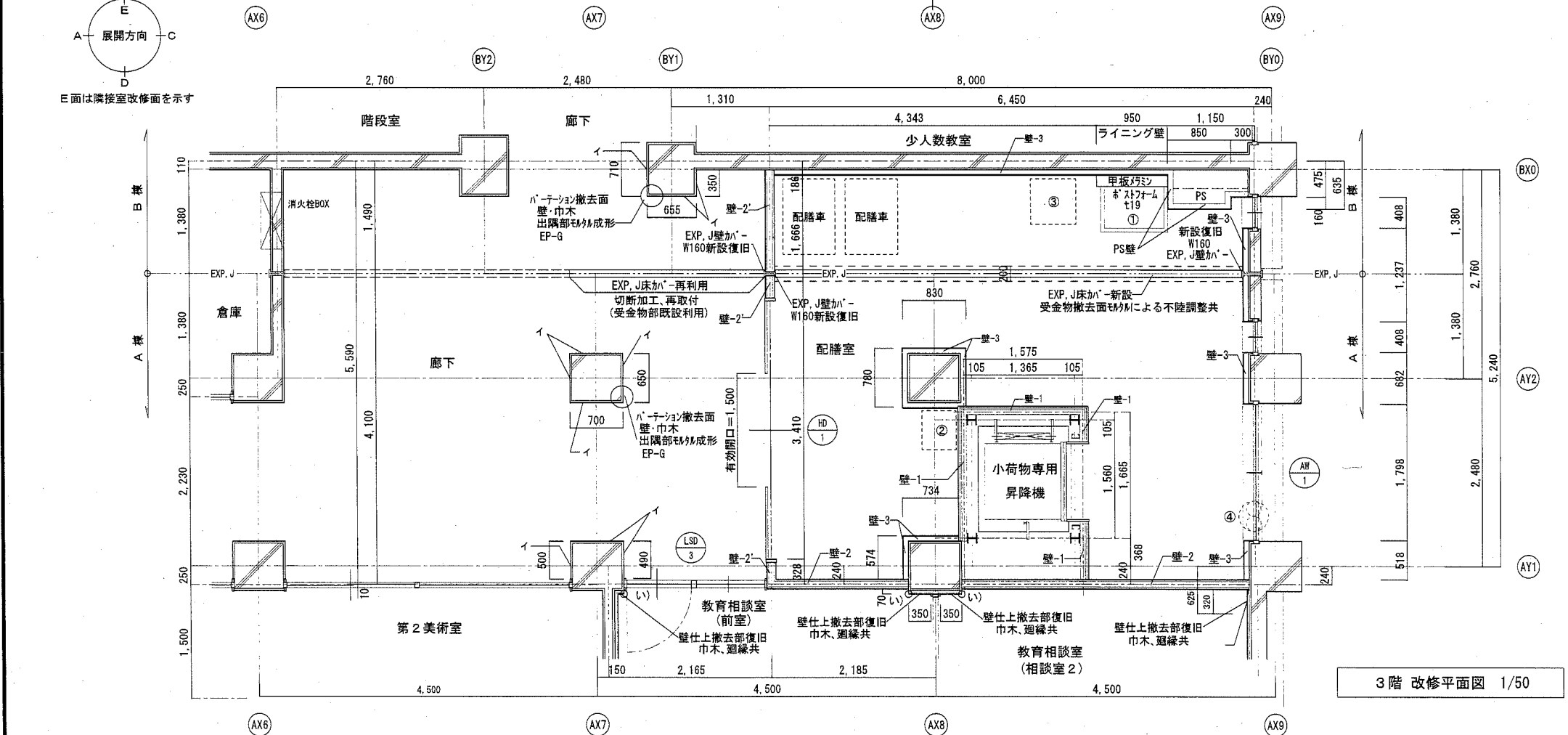
E面は隣接室改修面を示す



2階 改修平面図 1/50



3階 既存平面図 1/50



3階 改修平面図 1/50

部位	仕上	備考
床	スラブコンクリートt120	一部撤去
	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5コイン	一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	一部撤去

備考 EXP, J内部加-壁撤去、床・天井一部撤去一部取外し(改修後の廊下にて再利用) パーテーション、建具上部木製がっか天井見切り撤去
スラブコンクリートt120撤去部分は下地仕上共撤去する

部位	仕上	備考
床	スラブコンクリートt120	既存のまま
	前室 モルタルt43.5下地500角タイルカーペットt6.5	仕上のみ撤去
	相談室2 モルタルt35下地フローリングブロックt15PUC	一部撤去
巾木	木製t10(H100) EP-G	建具撤去面廻り一部撤去
壁	木脚線下地、珪藻土合板t9.0、がり合板t5.5(木目)	建具撤去面廻り一部撤去
天井	LGS下地、石膏ボードt9.5、ビニルクロス 廻縁木製(既成品)	下地のみ一部撤去

備考 パーテーション、同左上部木製がっか天井見切り撤去
廻縁は壁撤去範囲とする

部位	仕上	備考
床	スラブコンクリートt120	
	下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	
巾木	ラワン合板t9.0増強、ビニル巾木 H300	
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-3:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-4:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製	

備考 ライニング壁、SUS製流し台、7mm製ステンレス
既設窓(AW-1):換気扇取付による障子・ガラス改修
EXP, J内部加-床・壁・天井新設復旧
壁-1・2は耐火認定構造(1時間)梁下・ｽﾌﾟﾗ下・下り壁まで施工する

部位	仕上	備考
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	壁-2・2'面 ビニル巾木H100、既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
壁	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、EP-G(新規面)	
	壁-2':LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、EP-G(新規面)	
	パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面)	
	既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目隠し)EP(新規面) 廻縁塩ビ製共	

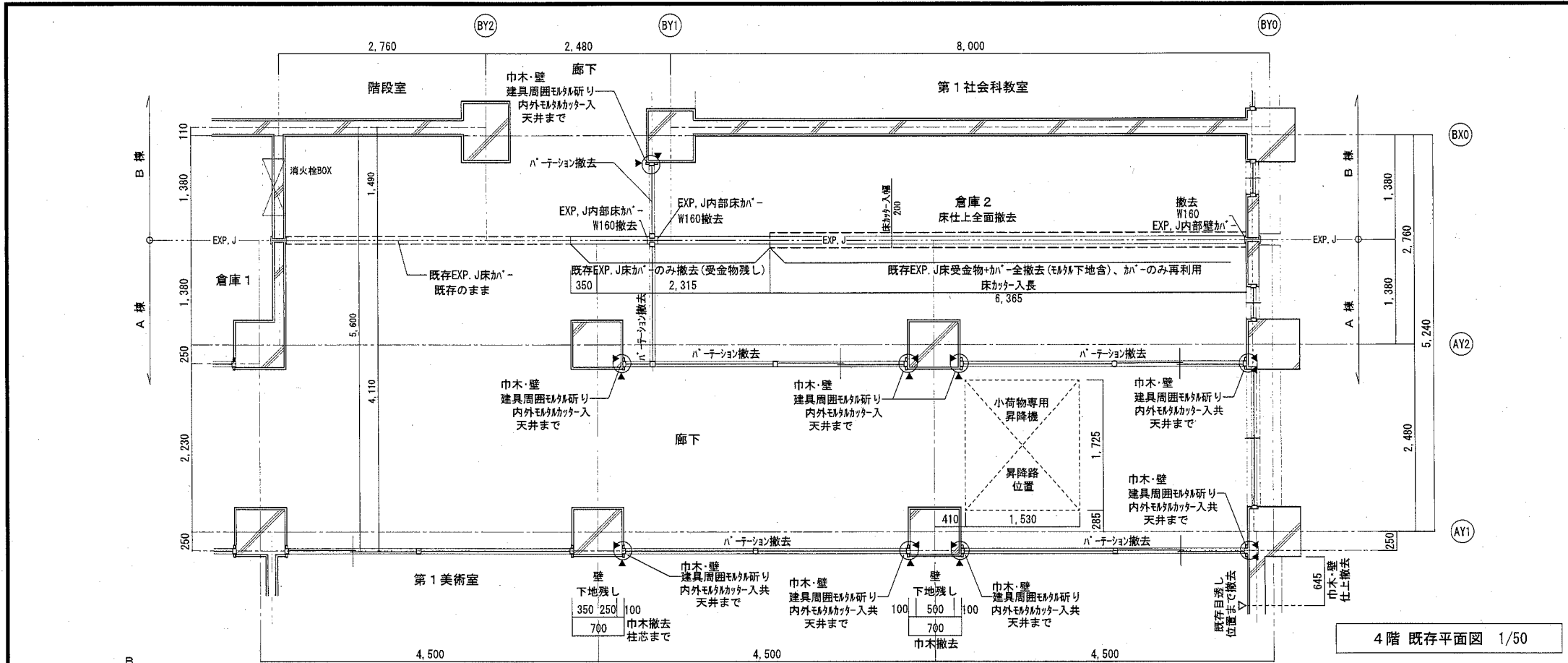
備考 EXP, J内部加-壁新設、床・天井再取付(既存再利用)
壁-2・2'は耐火認定構造(1時間)梁下・ｽﾌﾟﾗ下・下り壁まで施工する

部位	仕上	備考
床	前室 下地調整のうえ500角タイルカーペットt6.5	
	相談室2 モルタルt35下地フローリングブロックt15塗装品	
巾木	撤去面:木製t10(H100)ｽﾌﾟﾗ EP-G(新規面)	
壁	壁-2面:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/片面、がり合板t5.5(木目)貼	
	既存面:木脚線下地、珪藻土合板t9.0、がり合板(木目)t5.5貼	
天井	LGS下地、石膏ボードt9.5ビニルクロス 廻縁木製20*30ｽﾌﾟﾗEP-G(新規面)	

備考 前室 LSD-3新設、同左上部7mm製ステンレス取付
相談室2 出隅壁見切:木製20*20ｽﾌﾟﾗEP-G L-2550 3ヶ所(新規面)

No	名称	数量	備考
①	シンク	1	
②	掃除用具ロッカー	1	
③	SUS製作作業台	1	
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考



4階 既存平面図 1/50

配膳室 設備・備品			
No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

備品の配置は参考

倉庫・廊下 既存内部仕上表		
部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	一部撤去
	モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5コイン	一部撤去
巾木	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	建具撤去面のみ一部撤去
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	一部撤去

備考 EXP. J内部か'壁撤去、床・天井一部撤去・一部取外し(改修後の廊下にて再利用) パーテーション、建具上部木製が'天井見切り、木製付長押撤去 スラブコンクリートt120撤去部分は下地仕上共撤去する

「▲」: パーテーション撤去時の壁(巾木共)仕上取合部 カッター入れを示す
パーテーション撤去後は、仕上・下地を補修をする

第1美術室 内部仕上表		
部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	既存のまま
	モルタルt35下地フローリングブロックt15OSW	一部撤去
巾木	木製t24(H100)EP-G	建具撤去面廻り一部撤去
壁	木脚線下地有孔ラワン合板t5.5EP-G	建具撤去面廻り一部撤去
天井	LGS下地有孔ラワン合板t4.0EP-G、遮音塩ビ製	建具撤去面廻り一部撤去
梁型	天井と同じ、出隅木製見切りP-G	建具撤去面廻り一部撤去

備考 パーテーション撤去
掲示板壁: 木脚線下地有孔ラワン合板t5.5掲示カ、見切枠ス' #x20*20EP-G

配膳室 改修内部仕上表		
部位	仕上	
床	スラブコンクリートt120	
	下地調整のうえビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	
巾木	ラワン合板t9.0増強、ビニル巾木 H300	
壁	壁-1: LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧が'酸が'板t6.0 壁-2: LGS(65F')下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧が'酸が'板t6.0 壁-2': LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧が'酸が'板t6.0 壁-3: LGS(50)下地、化粧が'酸が'板t8.0/片面、化粧が'酸が'板t6.0 PS壁: LGS(65)下地、化粧が'酸が'板t8.0/片面、化粧が'酸が'板t6.0	
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 遮音塩ビ製	

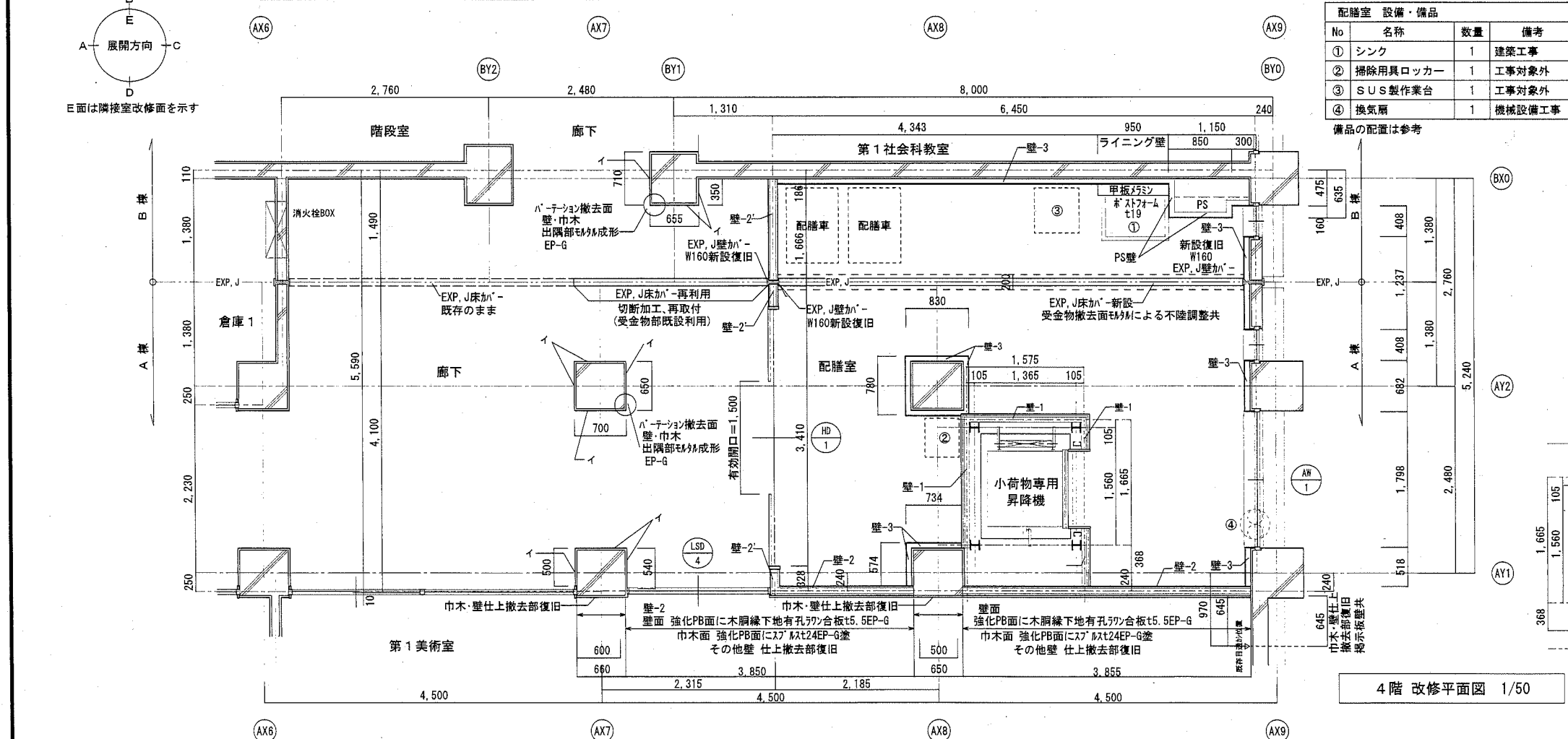
備考 ライニング壁、SUS製流し台、7&3製か'ン'が'ス
既設窓(AW-1): 換気扇取付による障子・ガラス改修
EXP. J内部か'床・壁・天井新設復旧
壁-1・2・2'は耐火認定構造(1時間)梁下・ス'下・下り壁まで施工する

廊下 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)		
部位	仕上	
床	下地調整のうえビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	壁-2・2'面 ビニル巾木H100、既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
壁	壁-2: LGS(65F')下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、EP-G(新規面) 壁-2': LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、EP-G(新規面) パーテーション撤去面 モルタル成形、EP-G(新規面) 既存塗装面 下地調整のうえEP-G(塗替え面)	
天井	LGS(19)下地、石膏ボードt9.5(目透し)EP(新規面) 遮音塩ビ製共	

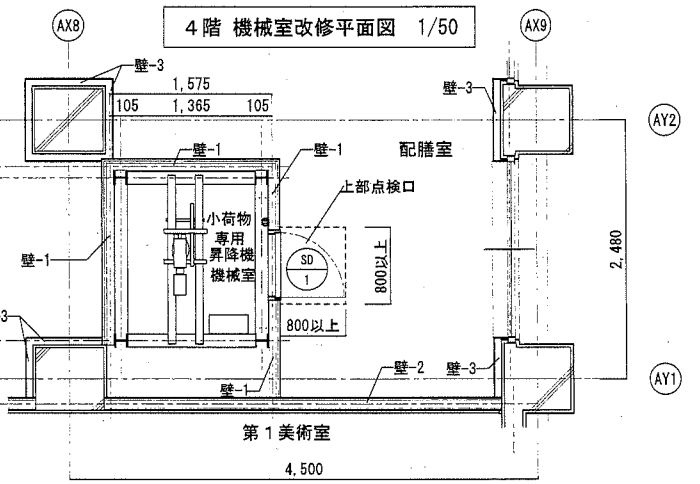
備考 EXP. J内部か'壁(壁-2・3面)新設、床・天井再取付(既存再利用)
壁-2・2'は耐火認定構造(1時間)梁下・ス'下・下り壁まで施工する

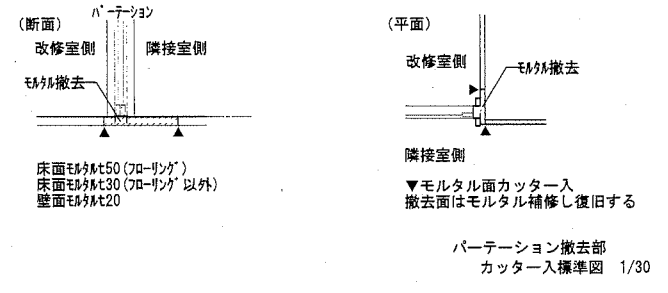
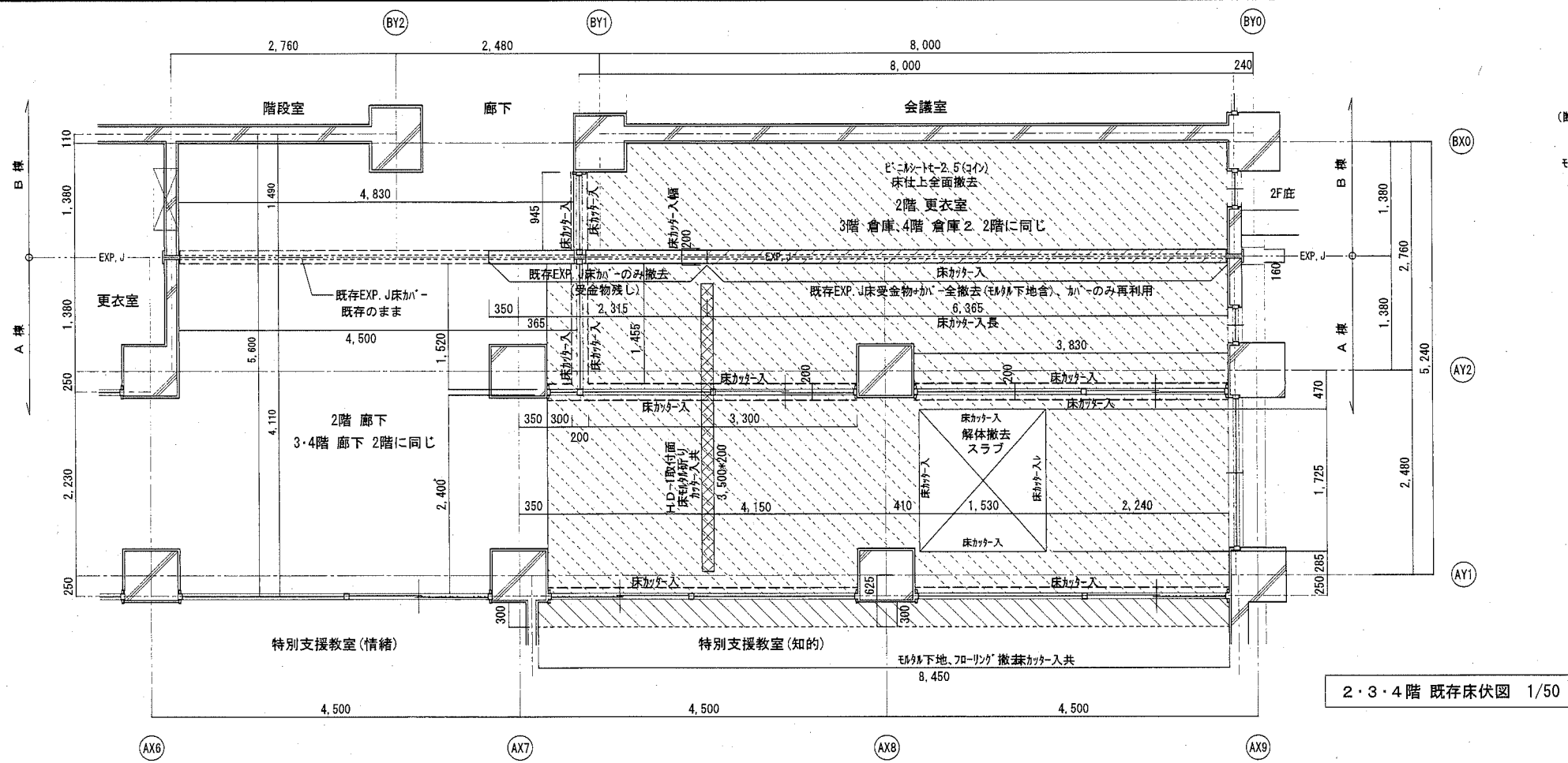
第1美術室 内部仕上表(撤去部の復旧のみ)		
部位	仕上	
床	モルタルt35下地、フローリングブロックt15(塗替え)	
巾木	壁-2面 ビニル巾木H100、撤去面 木製t24(H100)ス' #x EP-G(新規面)	
壁	壁-2面: LGS(65F')下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面 木脚線下地有孔ラワン合板t5.5EP-G (新規面)	
天井	LGS下地、有孔ラワン合板t4.0、EP-G 遮音塩ビ製	
梁型	天井と同じ(出隅見切縁 木製)	

備考 LSD-4新設、同左上部7&3製か'ン'が'ス取付
掲示板壁: 木脚線下地有孔ラワン合板t5.5掲示カ、見切枠ス' #x20*20EP-G (復旧)

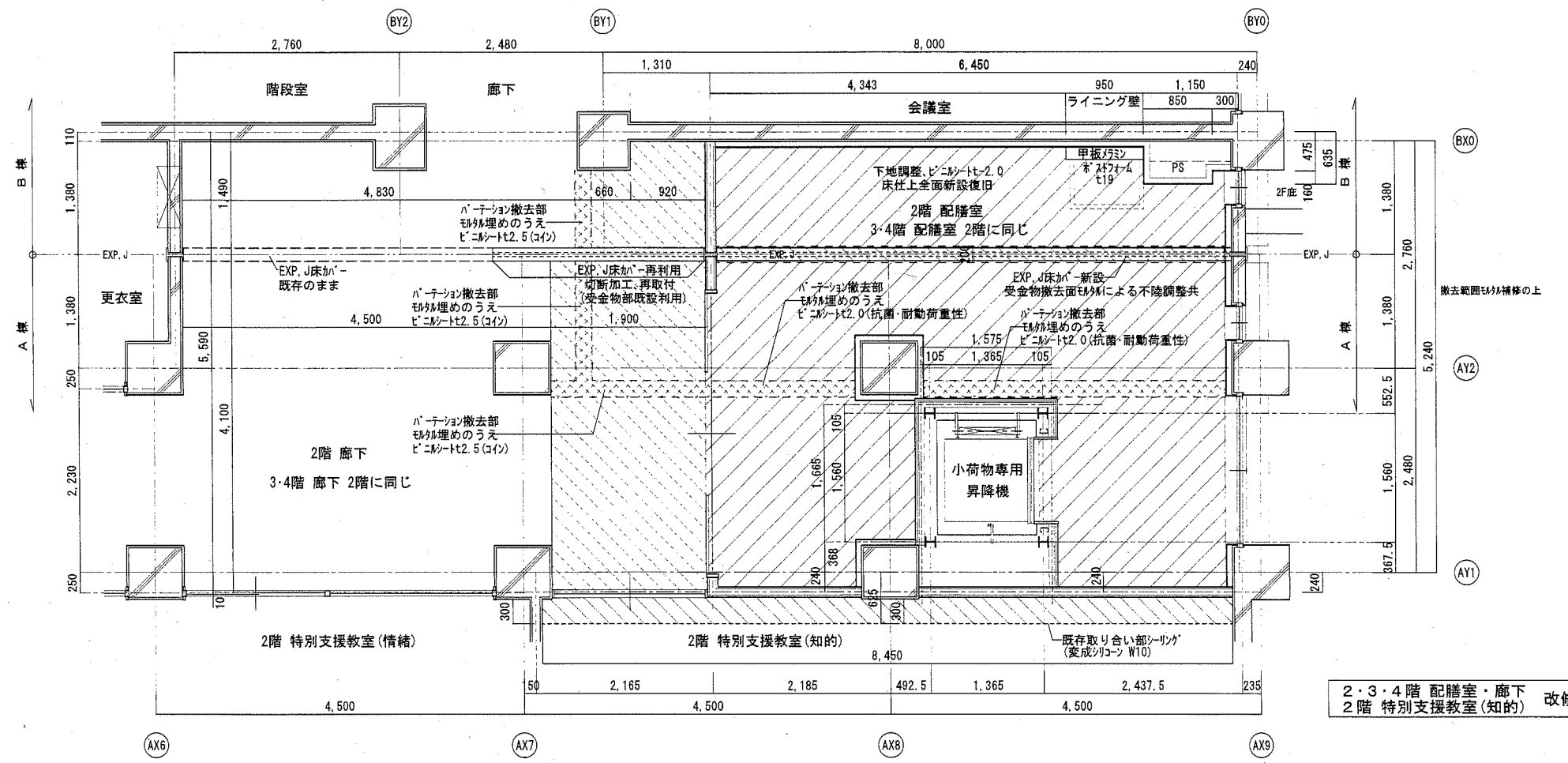


4階 改修平面図 1/50



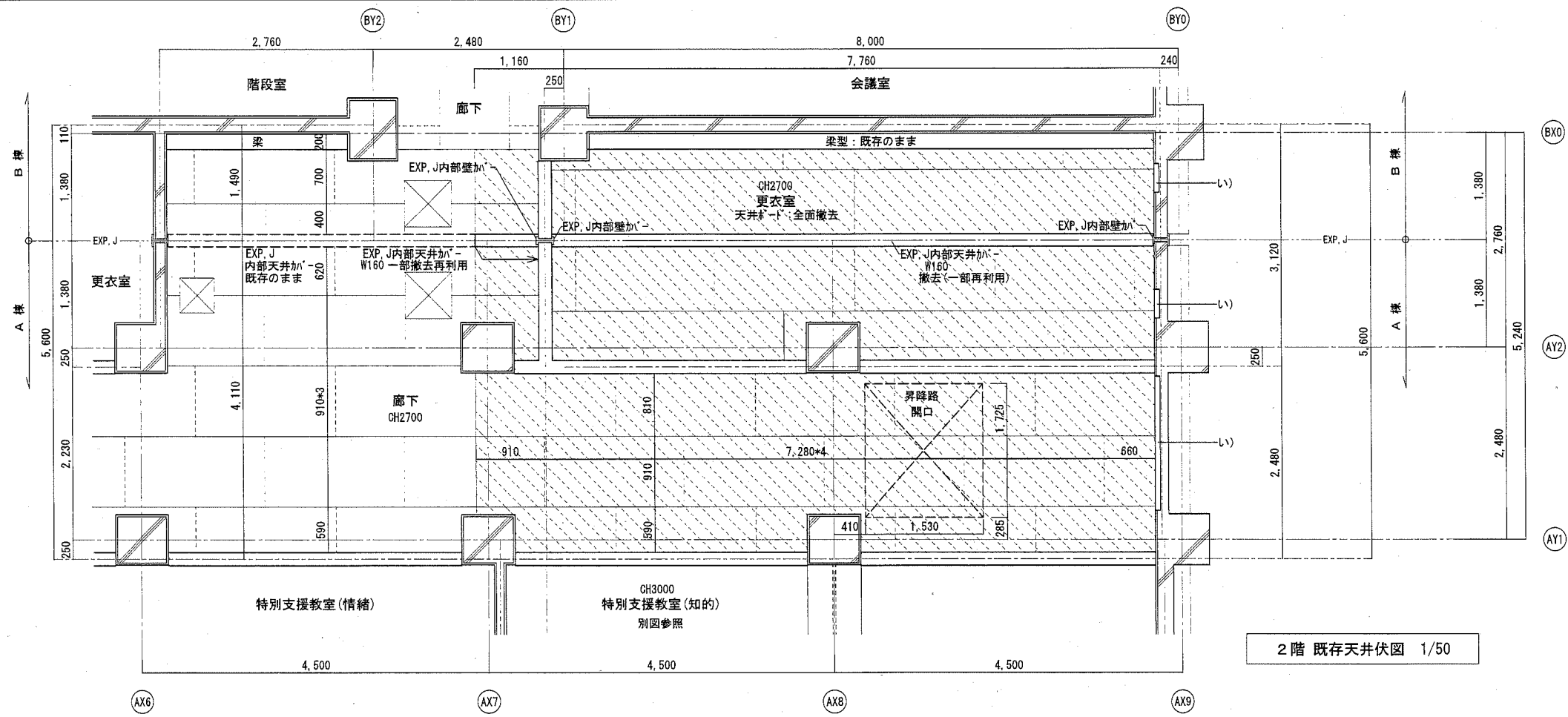


- ビニールt2.5撤去
- EXP, J部は床かゝ-W160撤去
- 特別支援教室(知的)モルタル下地t35、フローリング「ボート」t15撤去



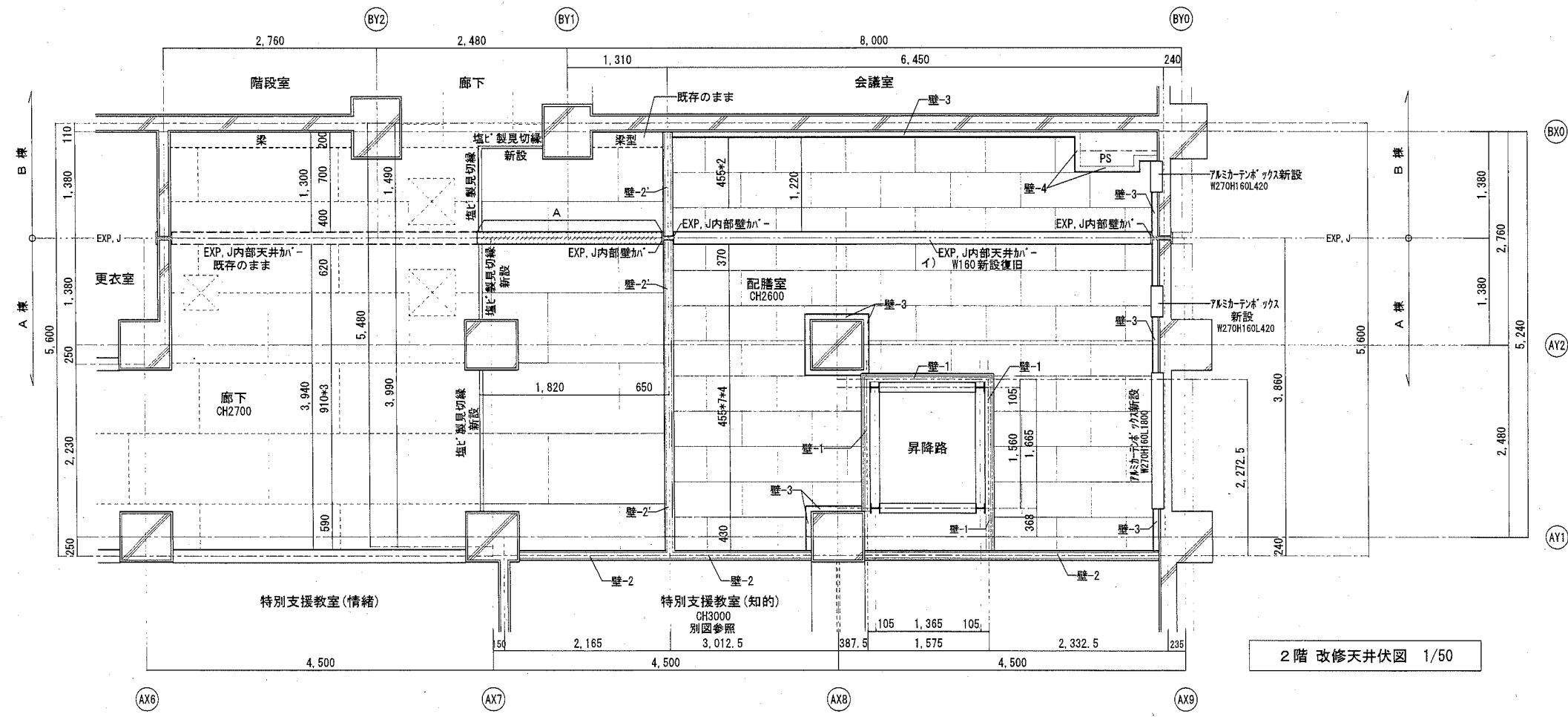
- 配膳室
下地調整、ビニールt2.0新設
- 廊下
下地調整、ビニールt2.5新設復旧
- EXP, J部は床かゝ-W160新設復旧
- 特別支援教室(知的)モルタル下地t35、フローリング「ボート」t15新設復旧

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-56
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 2階特別支援教室(知的)床伏図(既存・改修)			No.



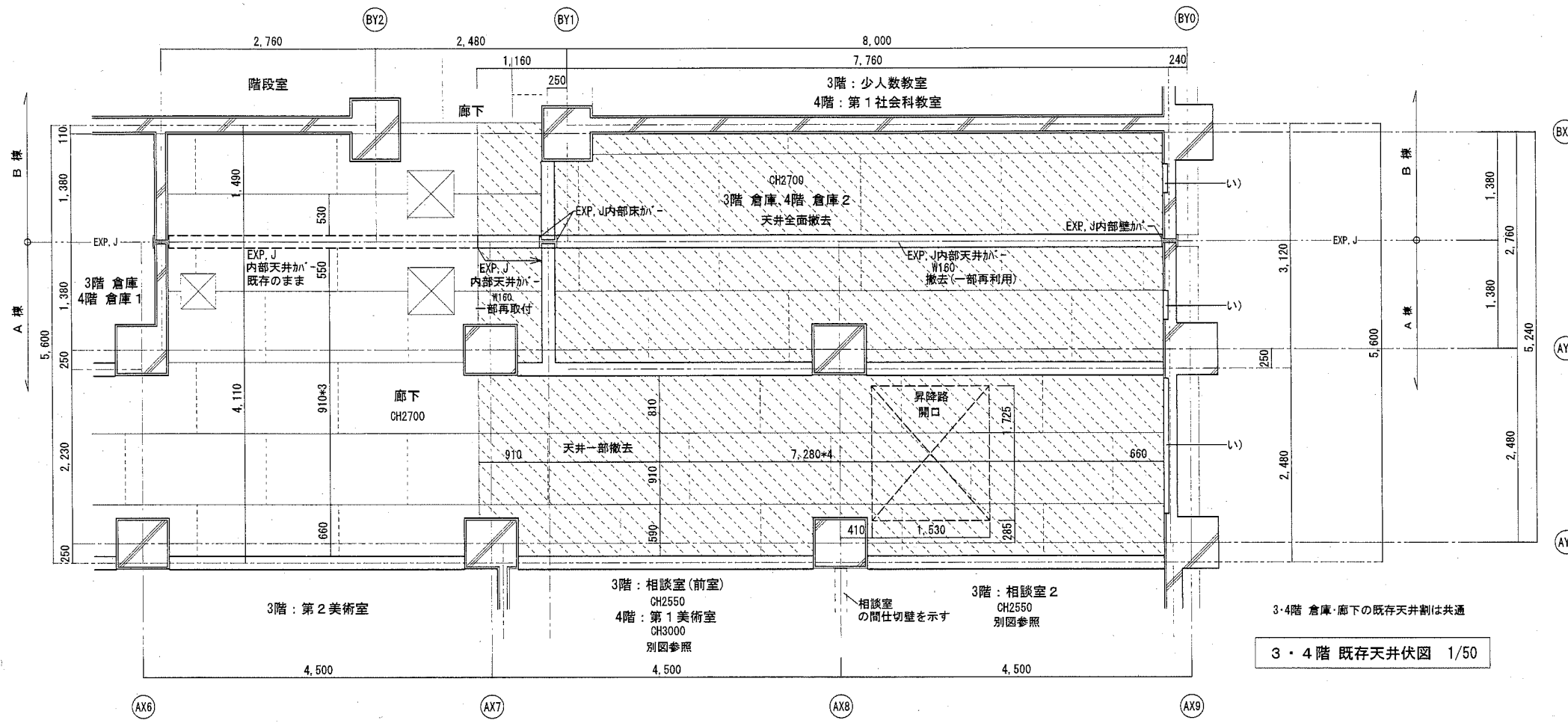
2階 既存天井伏図 1/50

更衣室 既設天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	全面撤去
備考	い) 外部建具上部木製折上げ天井ボックス撤去 EXP, J内部かゝ(天井):撤去(一部再利用) 改修図のA範囲に必要な長さを再取付する	
廊下 既存天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	部分撤去
備考	い) 外部建具上部木製折上げ天井ボックス撤去 EXP, J内部かゝ(天井):一部撤去(一部再利用) 改修図のA範囲に必要な長さを再取付する	
特別支援教室(知的) 既存天井仕上		
別図参照		



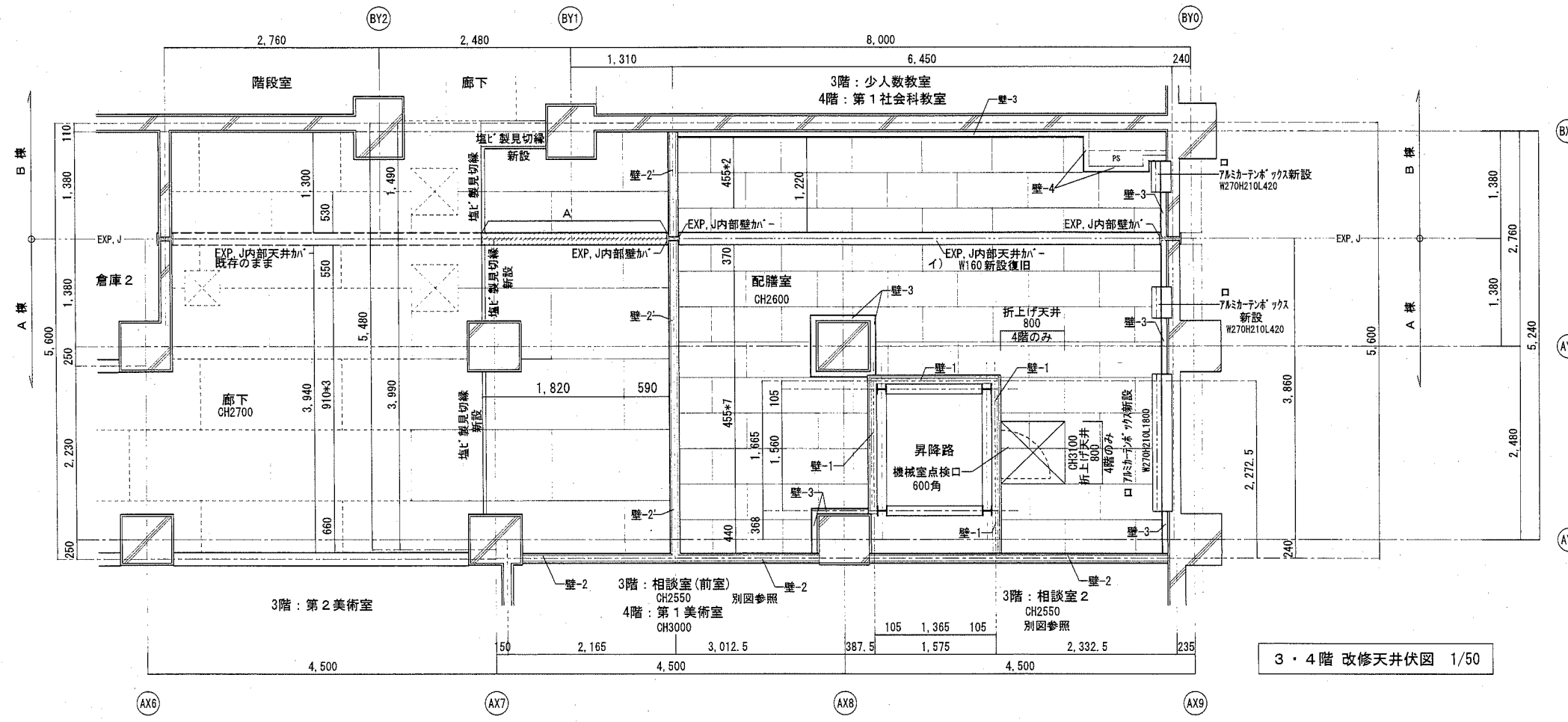
2階 改修天井伏図 1/50

配膳室 改修天井仕上		
天井	LGS下地化粧石膏ボードt-9.5	全面新設
備考	い) EXP, J内部かゝ(天井)新設復旧 天井点検口450角 天井点検口450角7x3額縁が1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する	
廊下 改修天井仕上		
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	撤去部復旧
備考	EXP, J内部かゝ(天井):既存再利用(A範囲) 塩ビ製廻縁、見切縁新設 改修する天井は目地割に関係なく見切縁を設け 図面位置まで改修する	
特別支援教室(知的) 改修天井仕上		
別図参照		
点線は既存のまま		



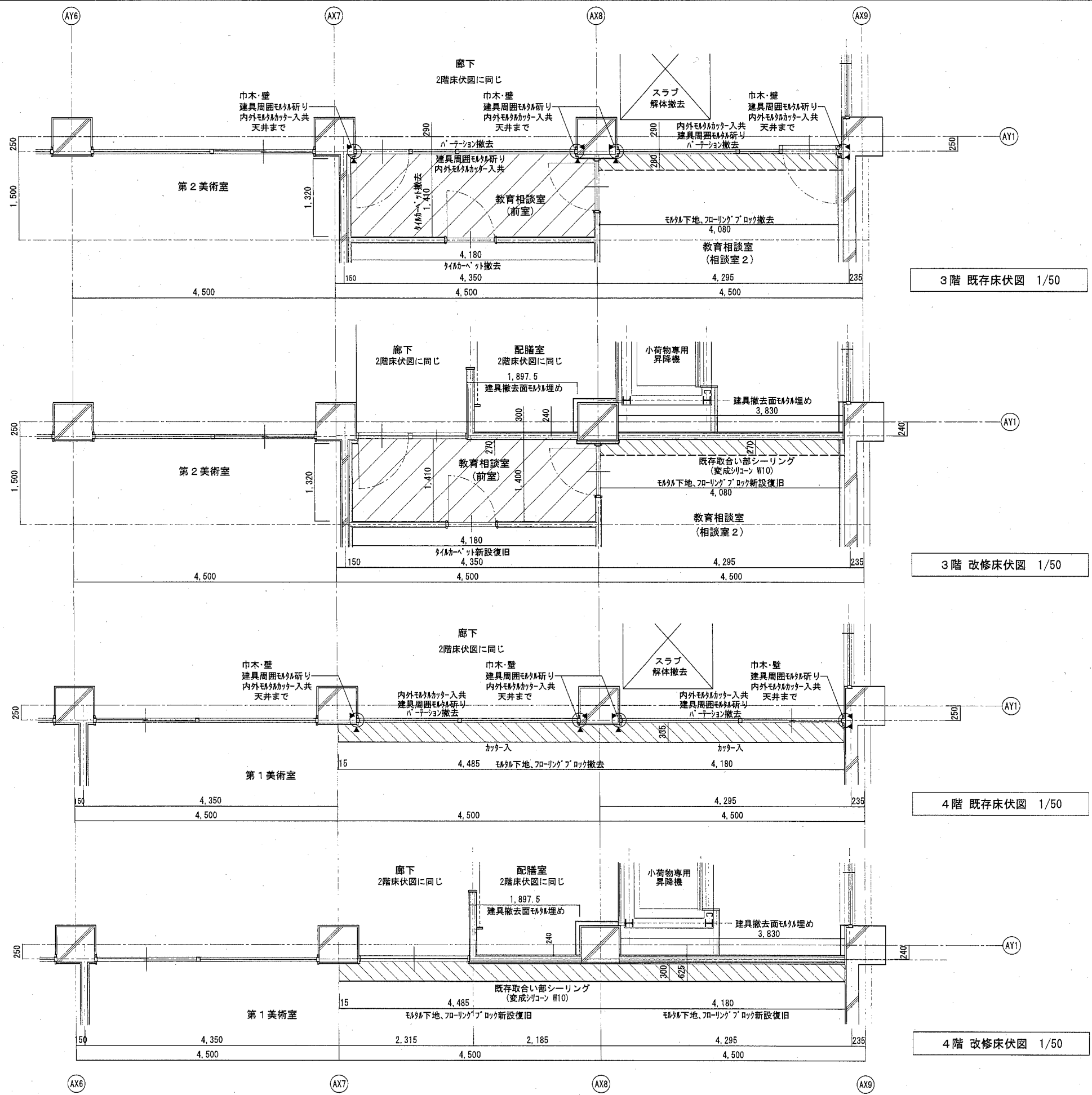
3・4階 既存天井伏図 1/50

3階 倉庫、4階 倉庫 2	既設天井仕上
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP 全面撤去
備考	い) 外部建具上部木製折上げ天井ボックス撤去 EXP, J内部が(天井):撤去再利用 改修図のA範囲に必要な長さを再取付する
3・4階 廊下	既設天井仕上
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP 部分撤去
備考	い) 外部建具上部木製折上げ天井ボックス撤去 EXP, J内部が(天井):一部撤去再利用
3階 教育相談室(前室・相談室2)	既設天井仕上
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5ビニルクロス 備考による
備考	パーテーション取合部は下地まで撤去する これ以外は仕上ビニルクロスのみ撤去する
4階 第1美術室	既設天井仕上
天井	LGS下地有孔ラワン合板t-4.0EP 備考による
備考	梁型も天井に同じ 天井・梁型:一部撤去



3・4階 改修天井伏図 1/50

3・4階 配膳室	改修天井仕上
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5 廻縁塩ビ製 新設
備考	い) EXP, J内部が(天井)新設復旧 ロ) アルミカーテンボックス新設 天井点検口450角7M廻縁タイプ1ヶ所 取付位置は監督員と協議のうえ決定する
3・4階 廊下	改修天井仕上
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP 廻縁塩ビ製 撤去部復旧
備考	EXP, J内部が(天井):既存再利用(A範囲) 点検は既存のまま 塩ビ製廻縁、見切縁新設 改修する天井は目割に關係なく見切縁を設け 図面位置まで改修する
3階 教育相談室(前室・相談室2)	改修天井仕上
天井	LGS下地石膏ボードt9.5ビニルクロス 別図による 廻縁木製 ｽﾌﾟﾙｽ 20*30 EP-G (新規面)
備考	パーテーション撤去部はボードまで新設復旧し ビニルクロスは各室全面新設復旧する アルミカーテンボックス(前室のみ)
4階 第1美術室	改修天井仕上
天井	LGS下地有孔ラワン合板t4.0EP-G 廻縁塩ビ製 別図による
備考	梁型 木屑下地に天井と同仕上(出隅木製見切共)



教育相談室(前室) 床下t16.5のみ撤去
 教育相談室(相談室2) 床下t35,70-リングブロッk t15撤去

教育相談室(前室) 床下調整のうえ床下t16.5新設復旧
 教育相談室(相談室2) 床下t35,70-リングブロッk t15新設復旧

第1美術室 床下t35,70-リングブロッk t15撤去

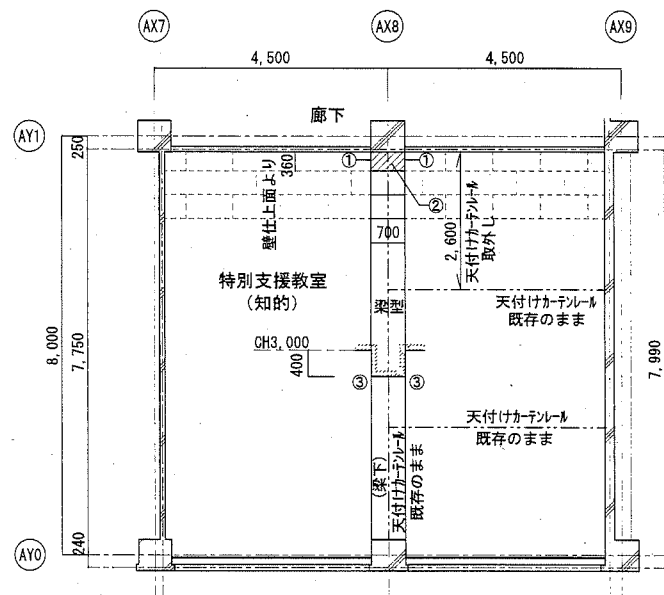
第1美術室 床下t35,70-リングブロッk t15新設復旧

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

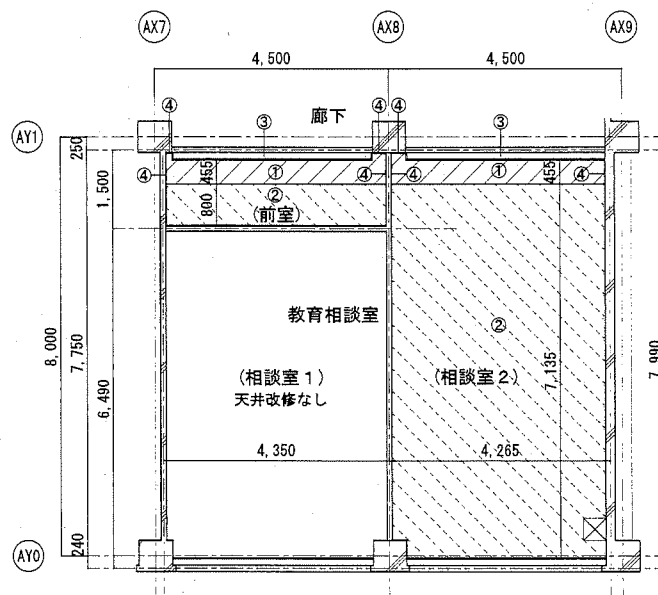
工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
 図面名称 鷹取中学校 3階教育相談室、4階第1美術室 床伏図 (既存・改修)

縮尺 1/50
 A-59
 No.



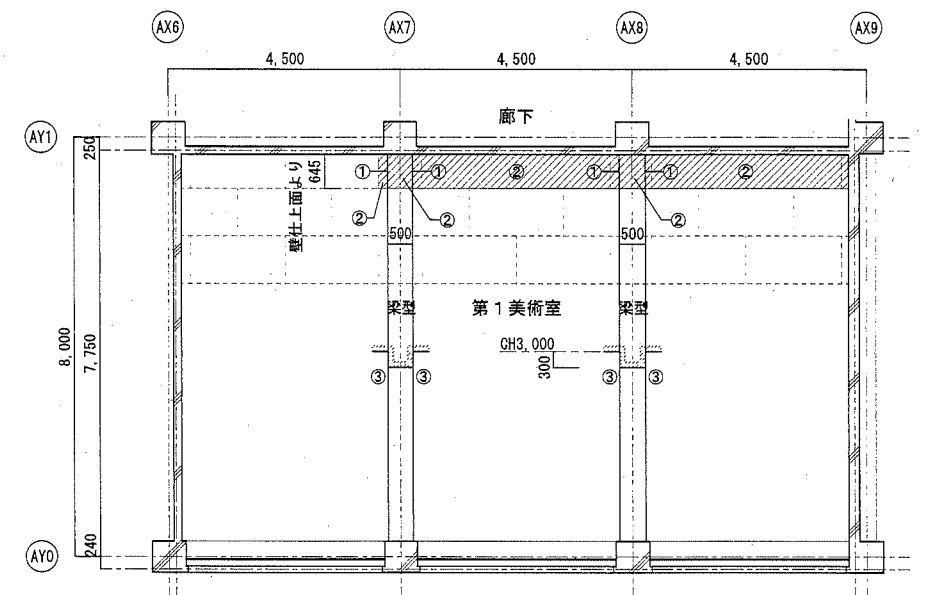
既存

既存天井撤去凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	梁型側面：LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5	3,000
②	梁型下面：LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5	
③	出隅塩ビ製コーナー(20*10)	
	塩ビ製廻縁	
備考		
天井は撤去しない 梁型：実線ハッチ内撤去範囲		



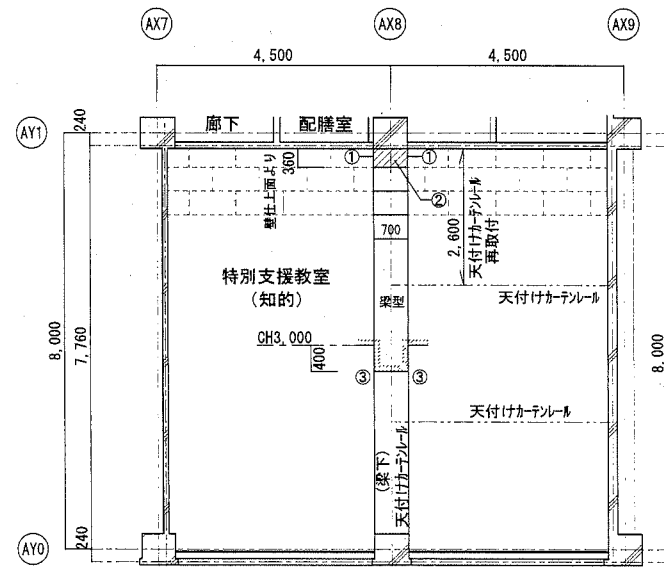
既存

既存天井撤去凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	LGS下地、石膏ボードt-9.5、ビニルクロス	2,550
②	LGS下地、石膏ボードt-9.5、ビニルクロス	
③	木製(t-25 120*120)折上げ天井ボックスEP-G塗装	
④	木製廻縁(20*30 既製品)	
備考		
実線ハッチ内：①③④(壁仕上げより600)		
点線ハッチ内：②(①以外)		



既存

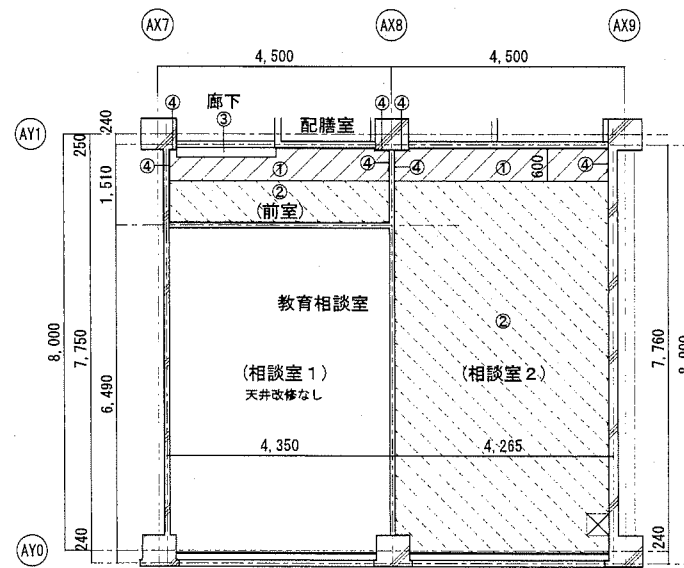
既存天井撤去凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	梁型側面：LGS下地、有孔777合板t4, EP	3,000
②	天井・梁型下面：LGS下地、有孔777合板t4, EP	
③	出隅見切縁：木製	
	塩ビ製廻縁	
備考		
天井・梁型：実線ハッチ内撤去範囲		



改修

天井改修凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	梁型側面：LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5	3,000
②	梁型下面：LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5	
③	塩ビ製コーナー(20*20程度)	
④	塩ビ製廻縁	
備考		
梁型撤去部(実線ハッチ内)を復旧(天井の改修はなし)		
梁型改修部に影響する天井付けカーテンレールは取外・再取付とする		

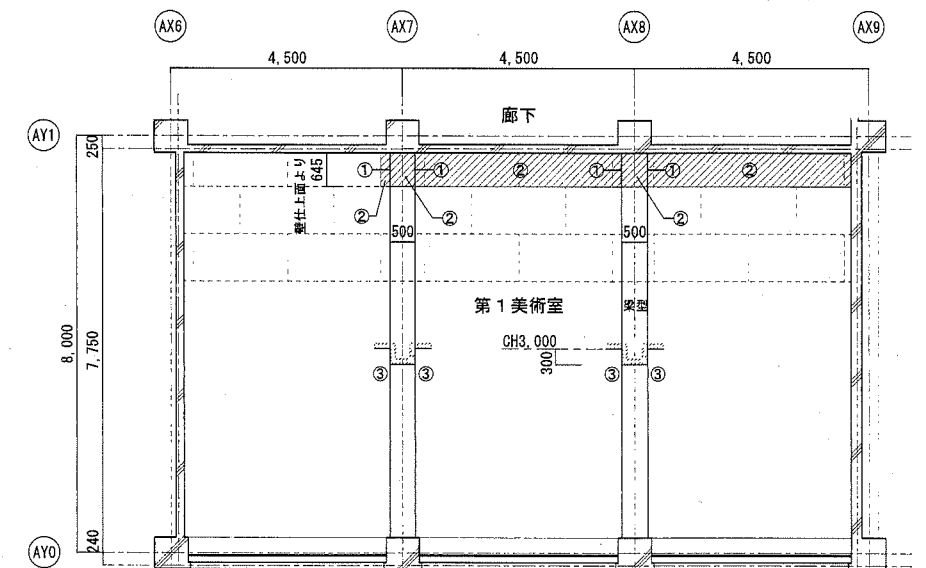
2階 特別支援教室(知的) 天井改修図 1/100



改修

天井改修凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	LGS下地、石膏ボードt-9.5、ビニルクロス	2,550
②	LGS下地、石膏ボードt-9.5、ビニルクロス	
③	アルミ製カーテンボックス	
④	木製廻縁スプ/ス20*30EP-G	
備考		
③：W120H80L1800		
各室共、ビニルクロスは全面貼替える		

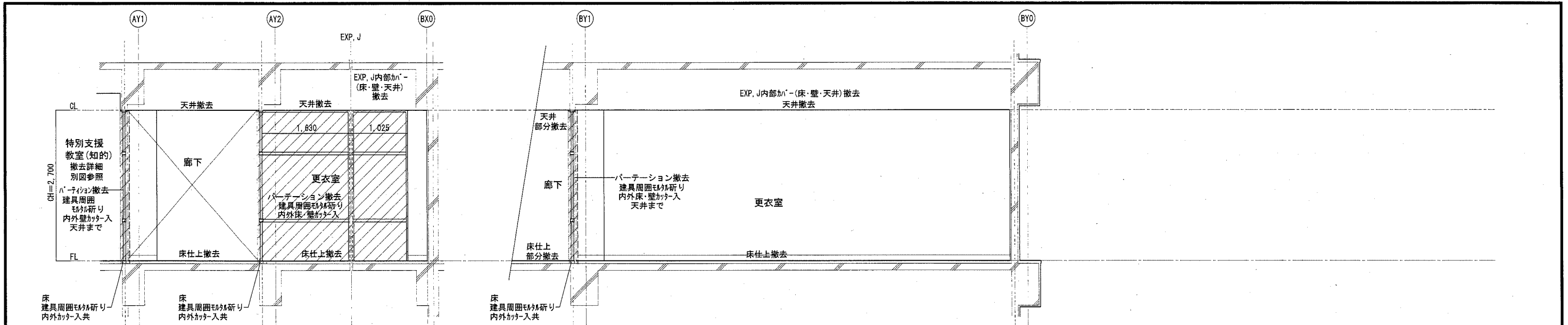
3階 教育相談室 天井改修図 1/100



改修

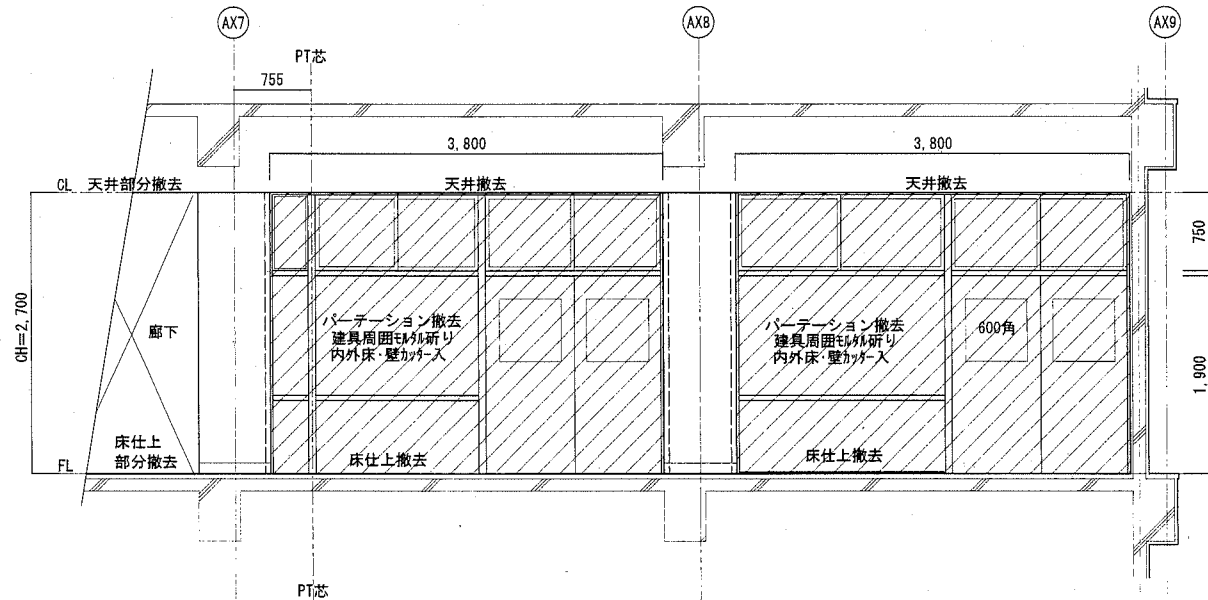
天井改修凡例		
記号	仕上・仕様	CH
①	梁型側面：既存LGS下地、有孔777合板t4.0, EP-G	3,000
②	天井・梁型下面：既存LGS下地、有孔777合板t4.0, EP-G	
③	出隅見切縁：木製(スプ/ス 20*20程度) EP-G	
	塩ビ製廻縁	
備考		
天井・梁型：実線ハッチ内復旧範囲		

4階 第1美術室 天井改修図 1/100

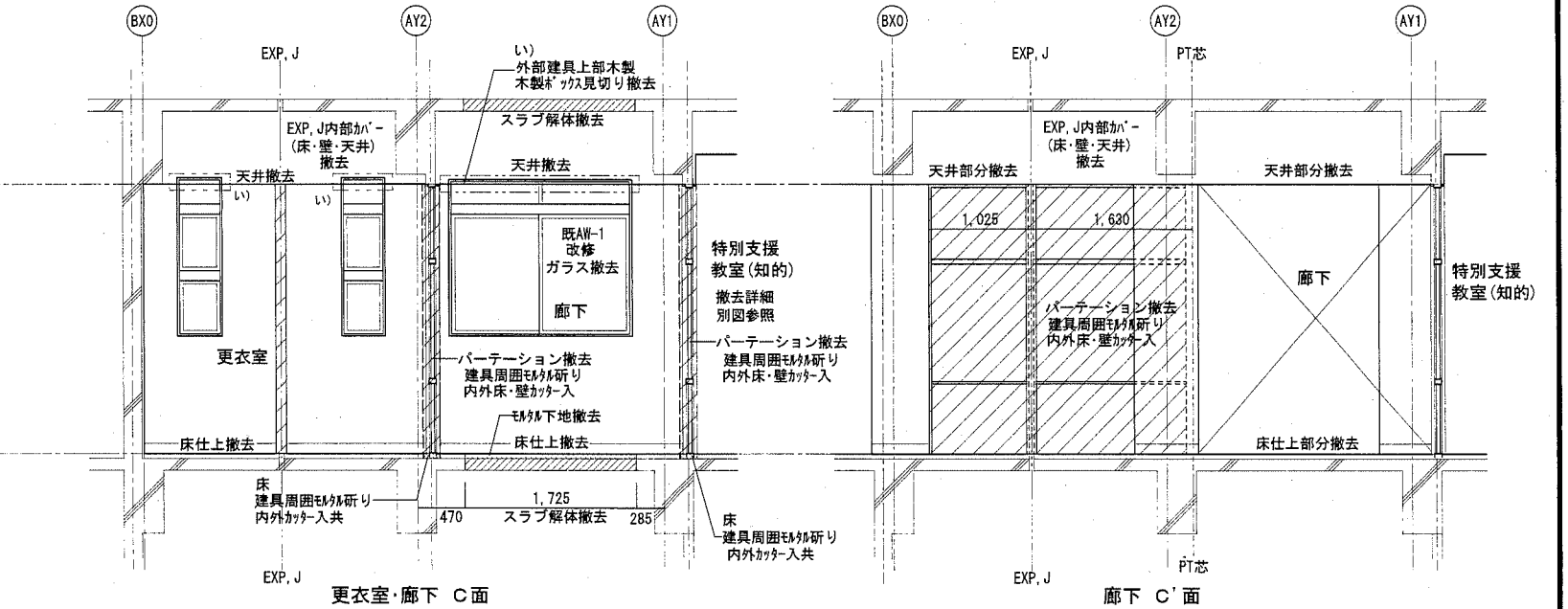


廊下・更衣室 A面

更衣室 B面

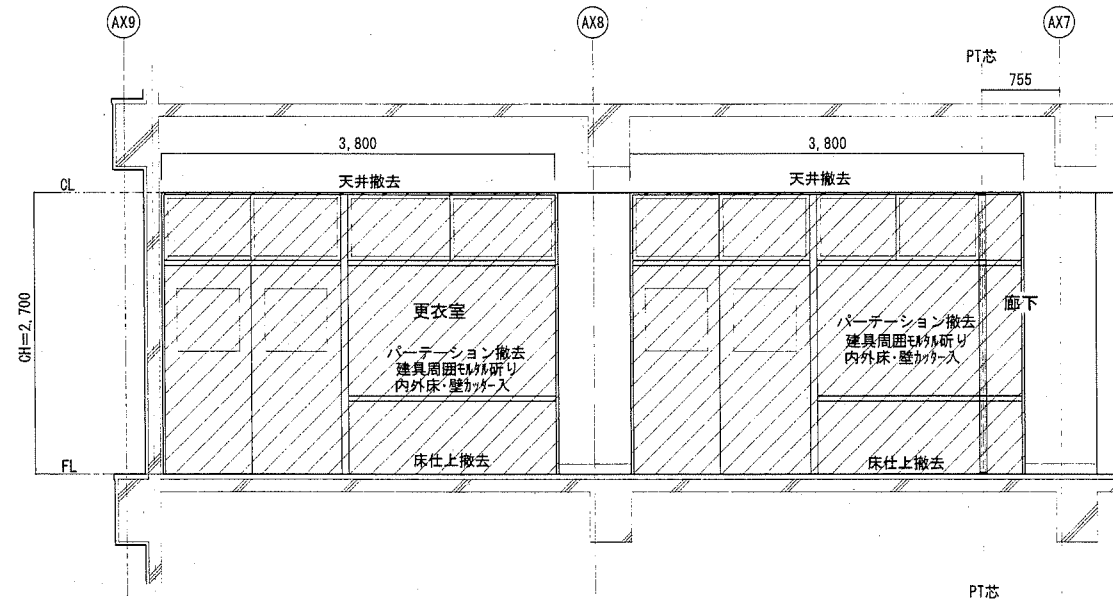


廊下 B面

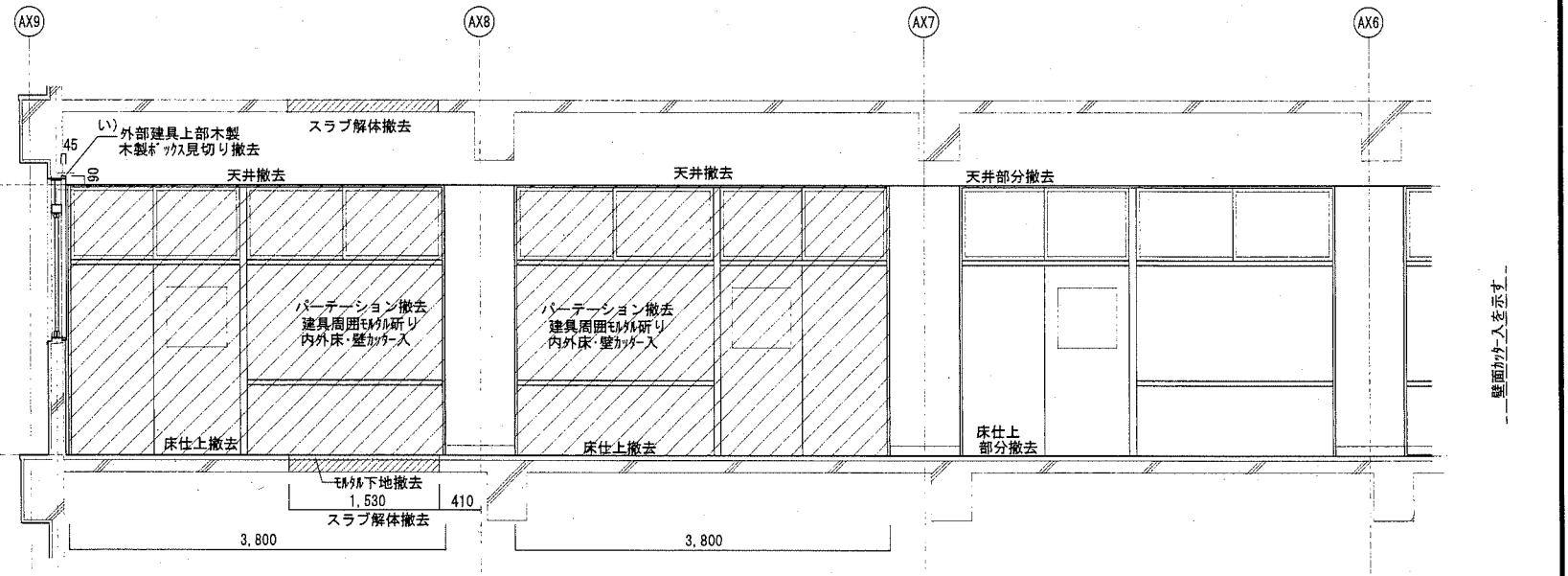


更衣室・廊下 C面

廊下 C'面



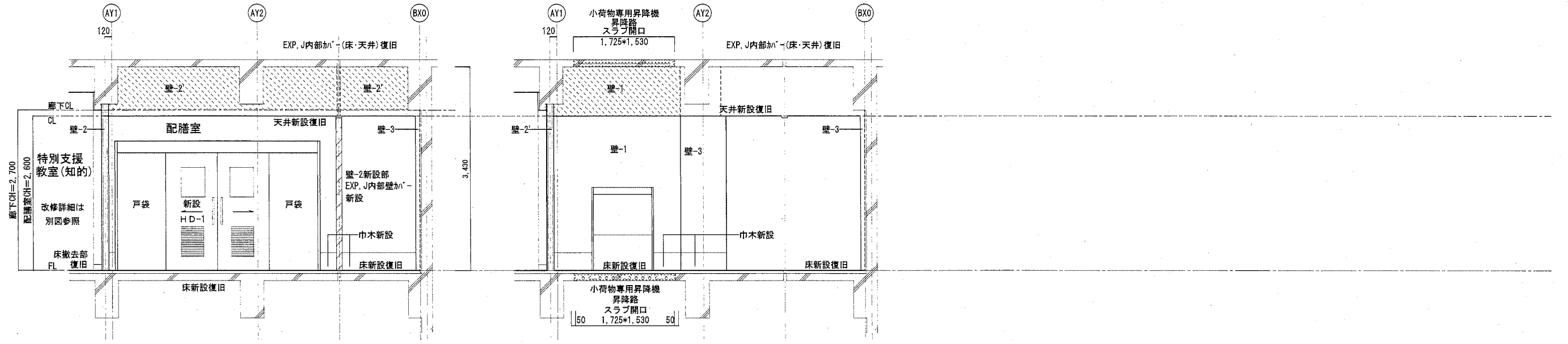
更衣室・廊下 D面



廊下 D面

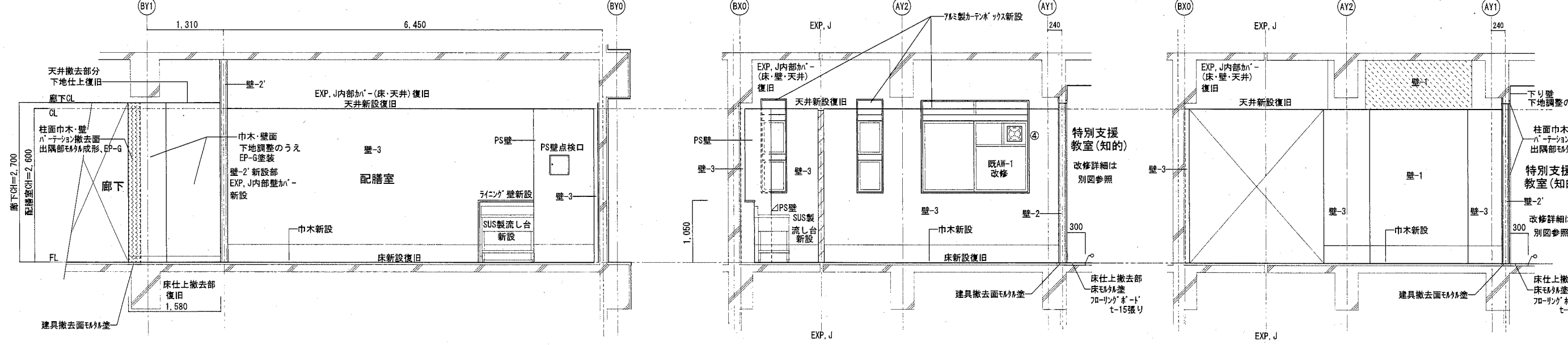
2階 配膳室・廊下 改修展開図-1 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-61
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 展開図-1 (既存)			



配膳室 A 面

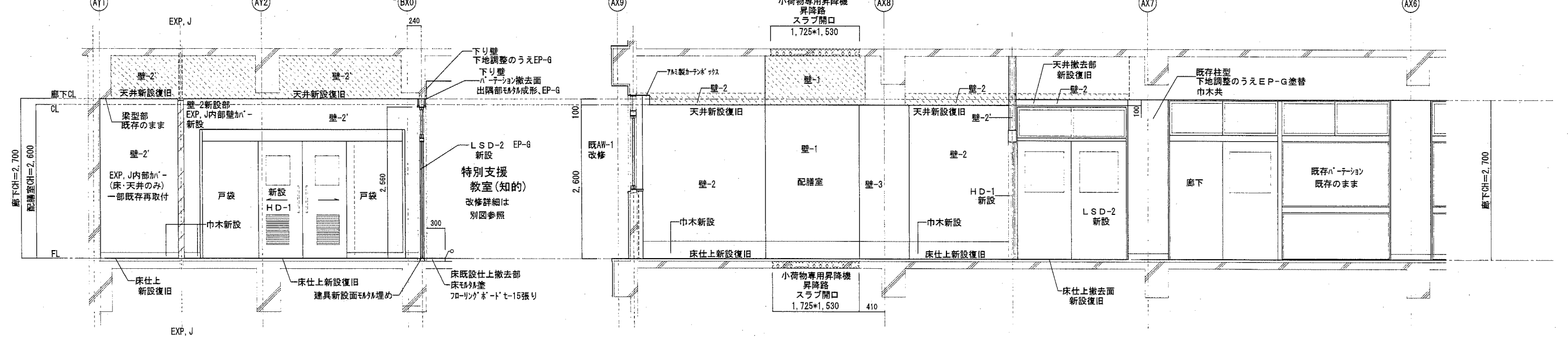
配膳室 A' 面



配膳室、廊下 B 面

配膳室 C 面

配膳室 C 面



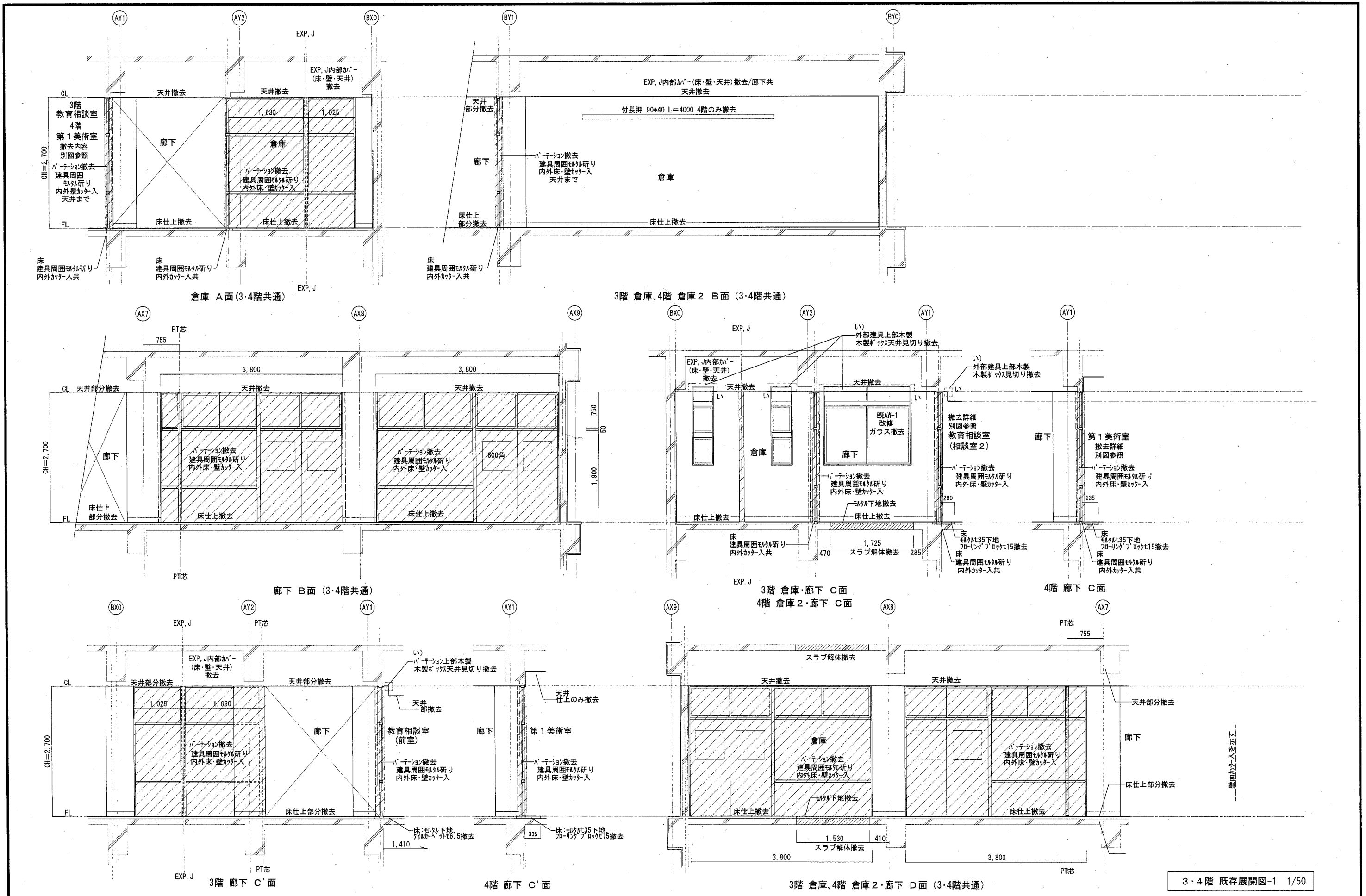
廊下 C 面

配膳室、廊下 D 面

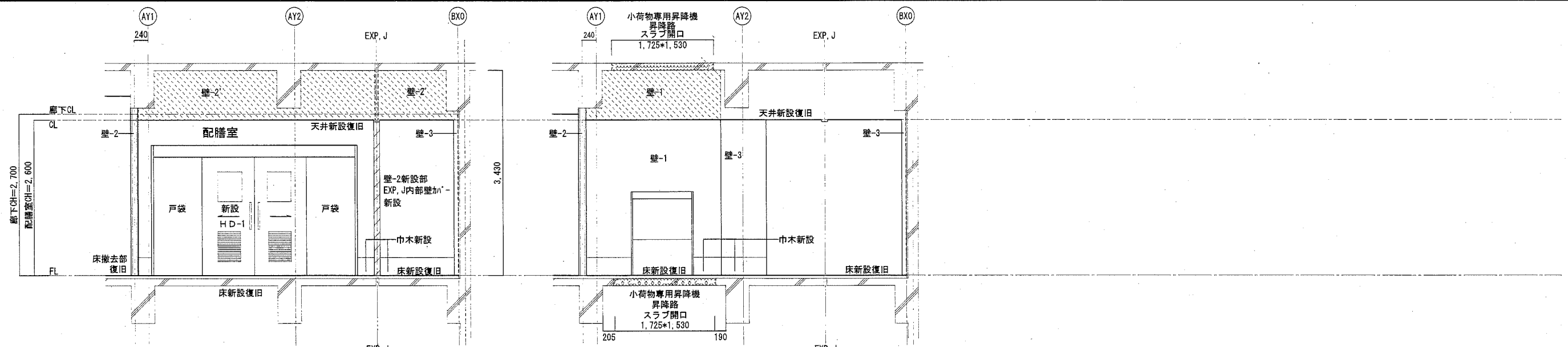
壁-2廊下面仕上: 突付けV目地(付30共) EP-G
壁-2'廊下面仕上: 目隠し EP-G

2階 配膳室・廊下 改修展開図-2 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-62
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 2階配膳室・廊下 展開図-2 (改修)			No.

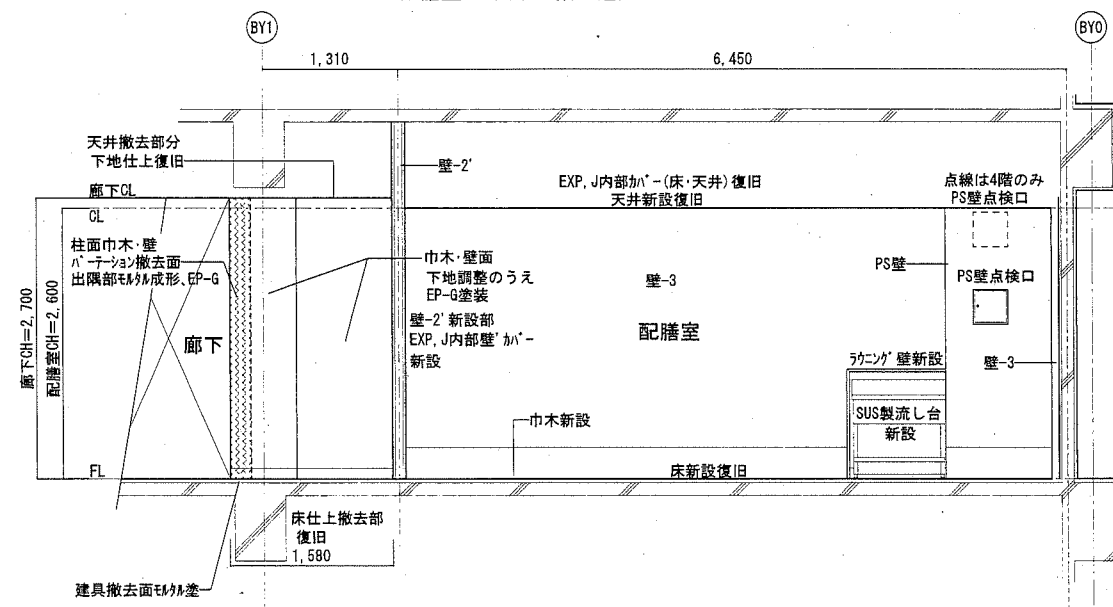


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-63
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-1 (既存)			No.

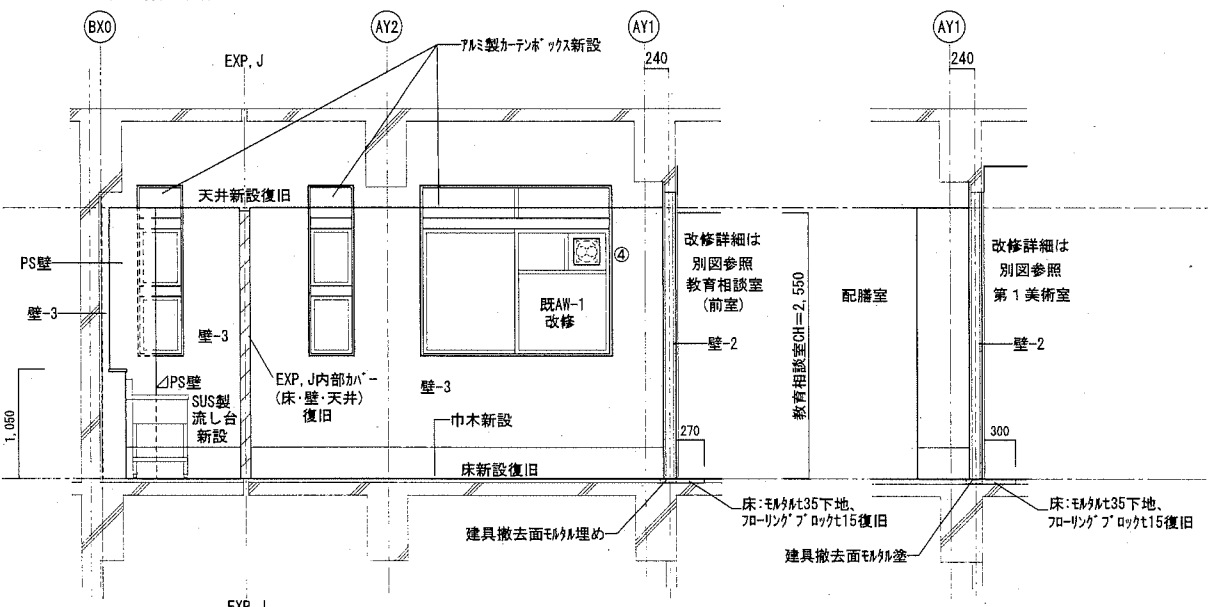


配膳室 A面 (3・4階共通)

配膳室 A'面 (3・4階共通)

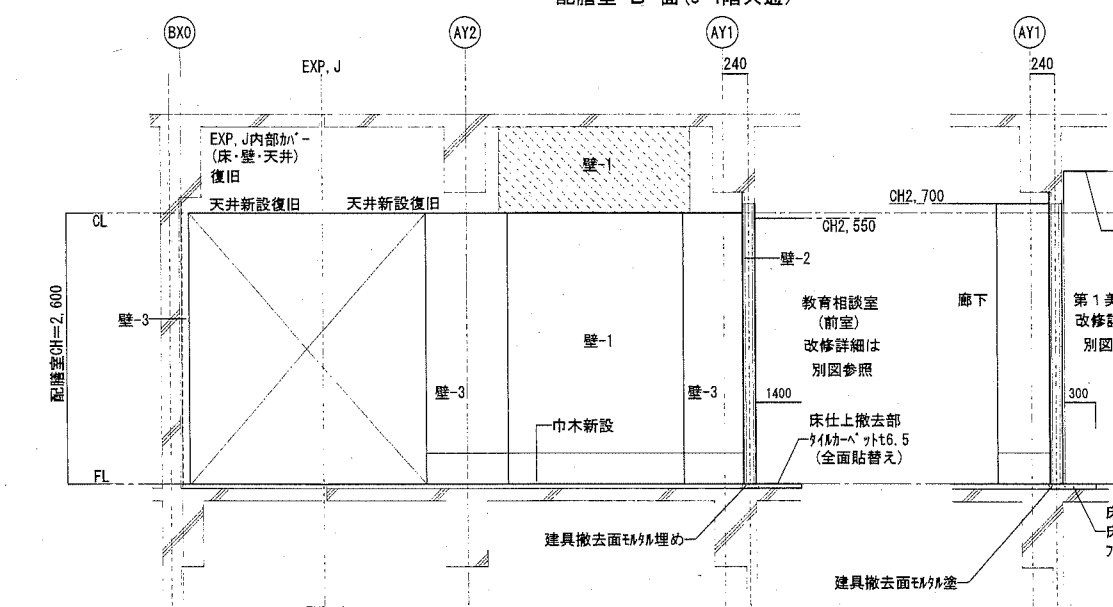


配膳室 B面 (3・4階共通)

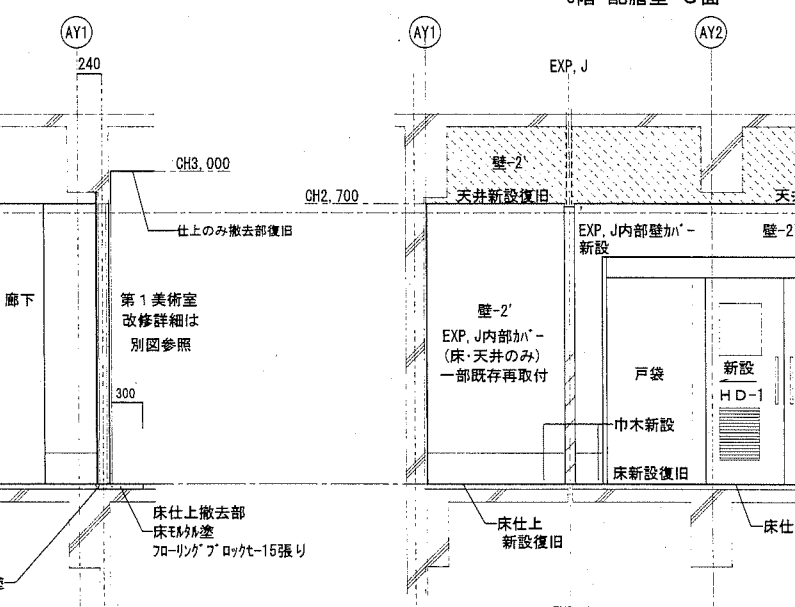


3階 配膳室 C面

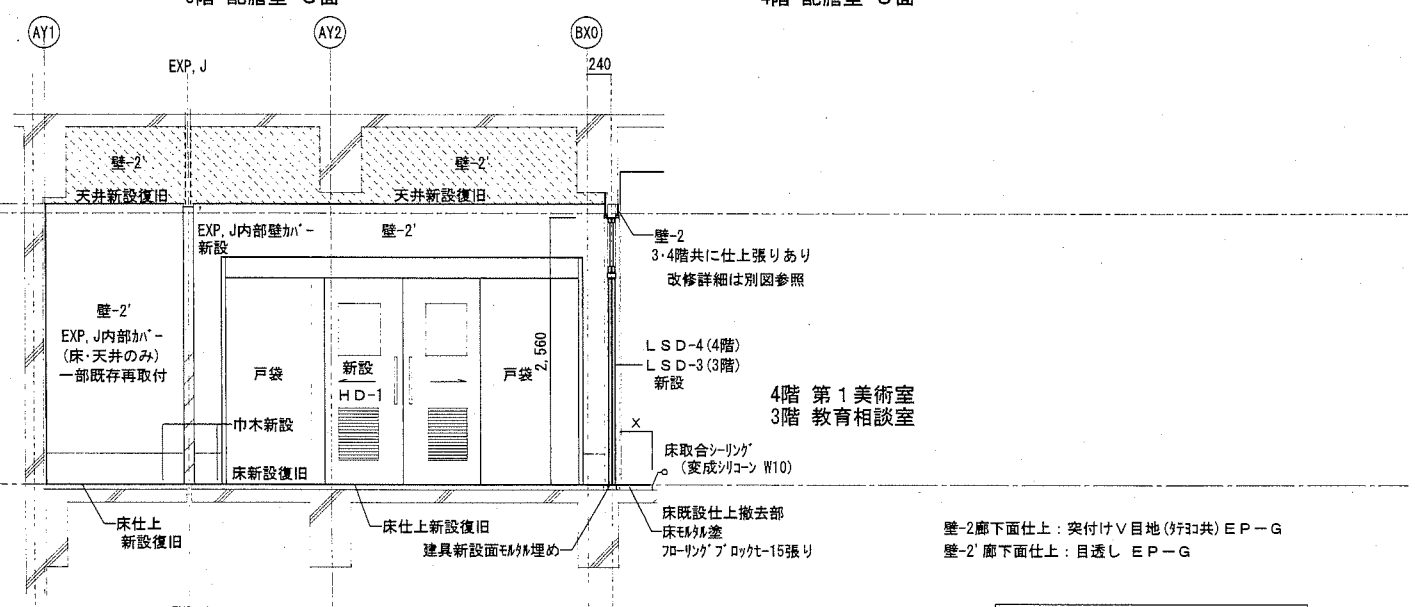
4階 配膳室 C面



3階 配膳室 C'面



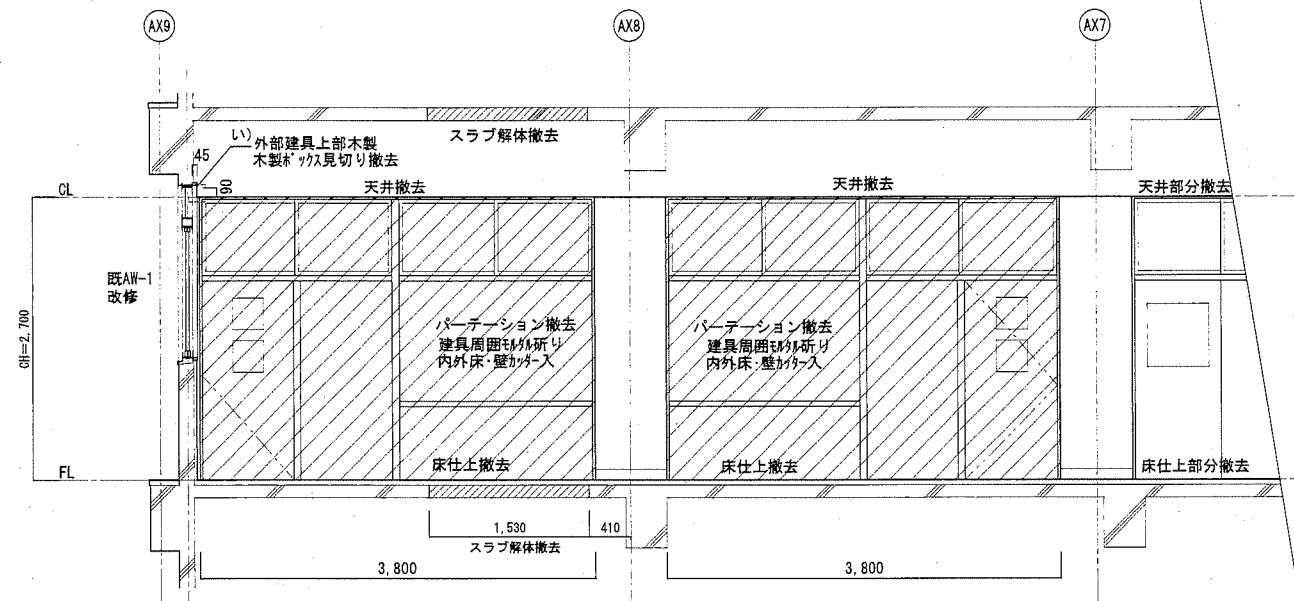
4階 配膳室 C'面



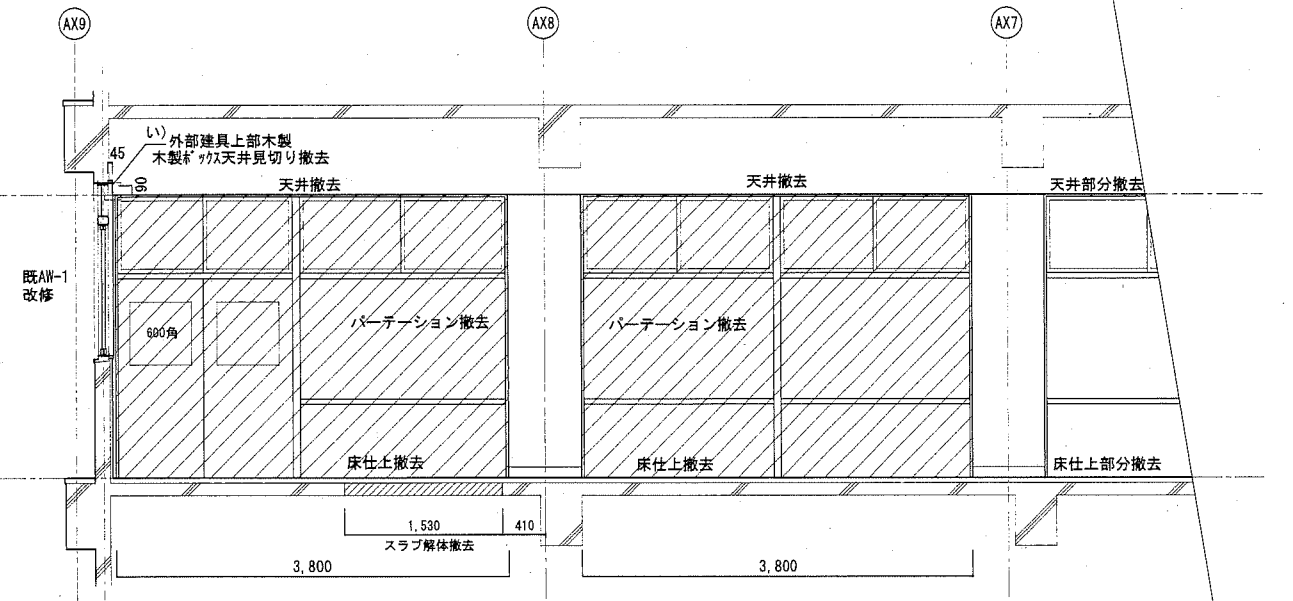
廊下 C面 (3・4階共通)

3・4階 改修展開図-2 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-64
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-2 (改修)			No.

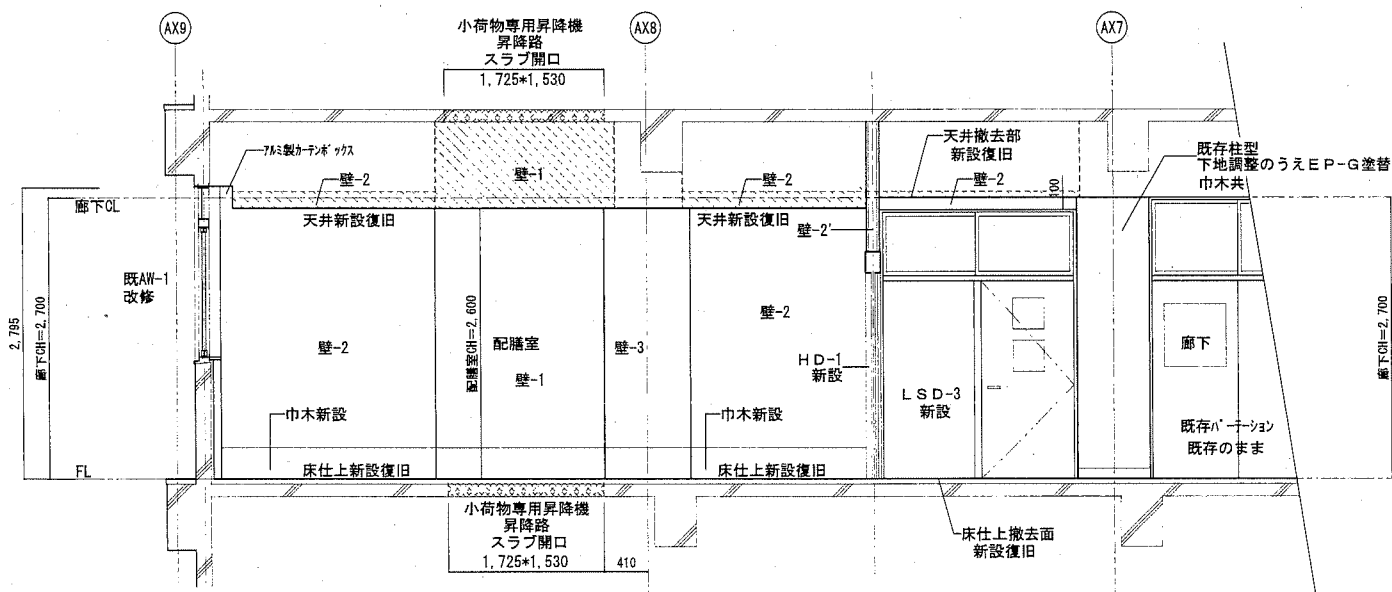


3階 廊下 D面

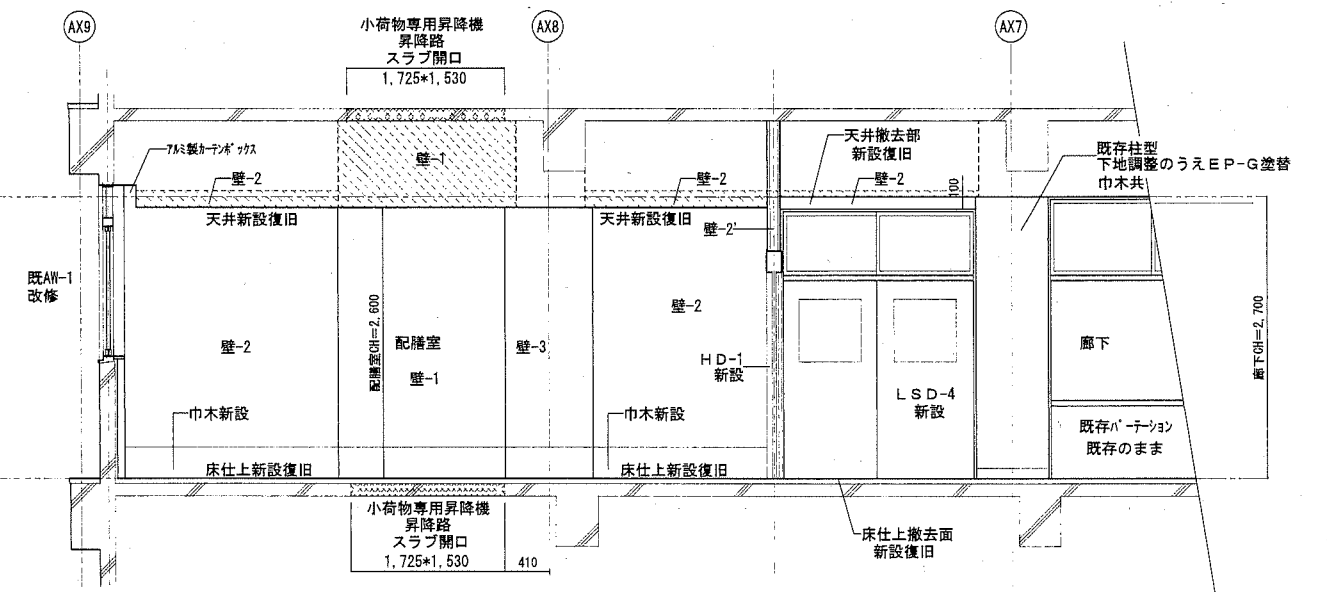


4階 廊下 D面

3・4階 既存展開図-3 1/50



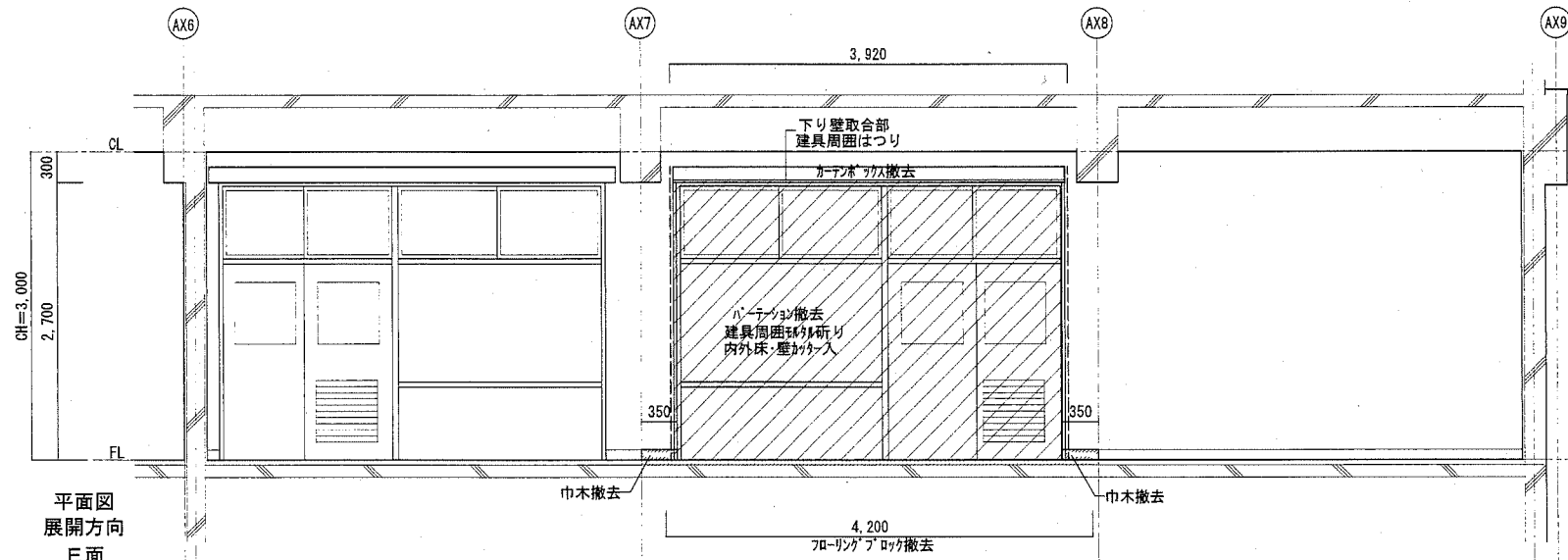
3階 配膳室・廊下 D面



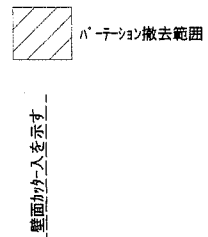
4階 配膳室・廊下 D面

3・4階 改修展開図-3 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-65
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 3・4階配膳室・廊下 展開図-3 (既存・改修)			No.

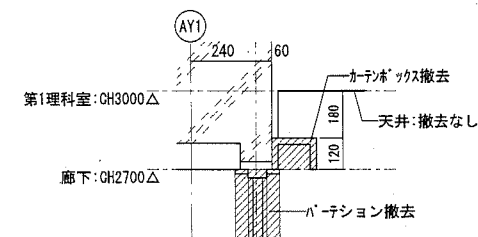
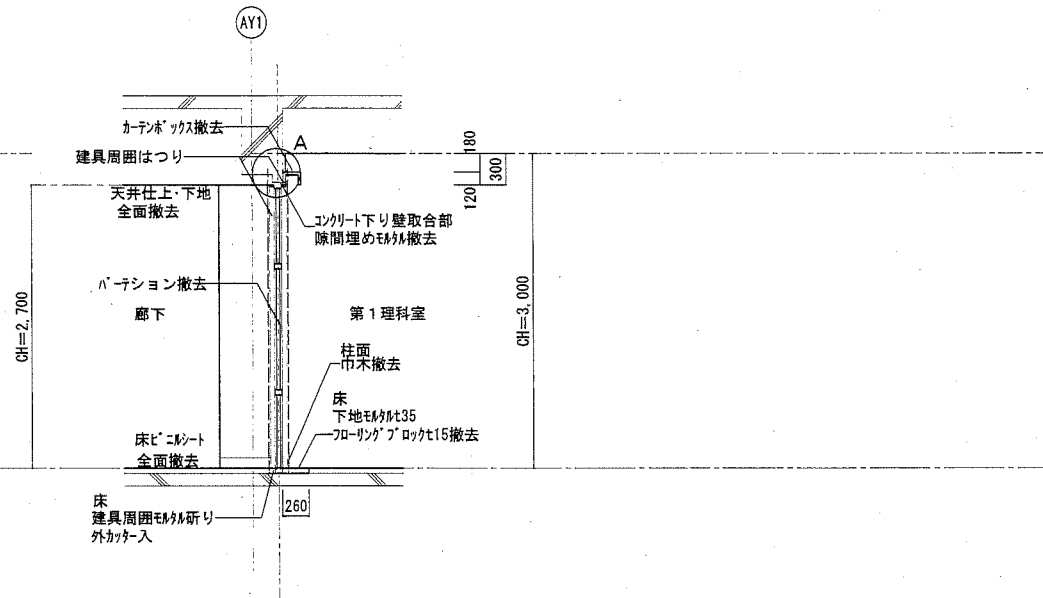


第1理科室 内部仕上表		CH=3,000
床	モルタル下地t35 フローリングブロックt-15OSW	一部撤去
巾木	木製t24(H100)EP-G	一部撤去
壁	モルタル下地EP-G	一部撤去
天井	LGS下地、石膏ボードt-9.5EP 廻縁塩ビ製	既存のまま
梁型	内装用吹付	既存のまま
備考	パーティション撤去(上部木製カーテンボックス共) 同上撤去において障害となる既存下地は撤去する 天井改修はなし	

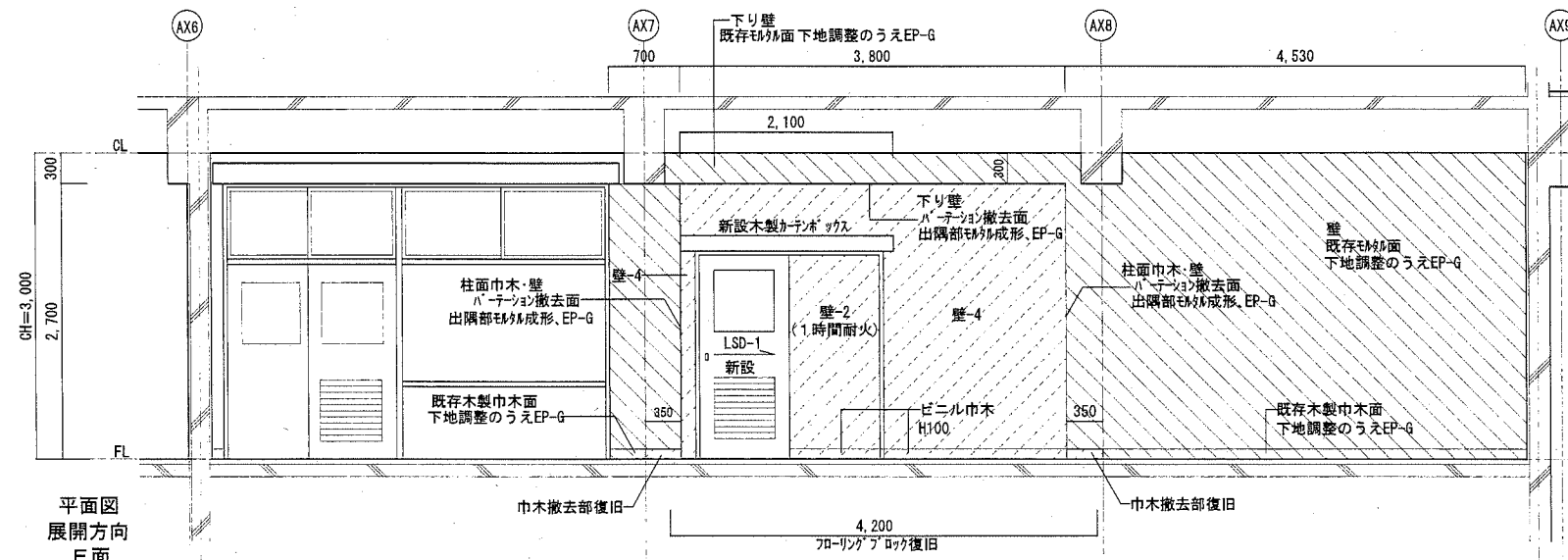


1階 第1理科室 既存展開図 1/50

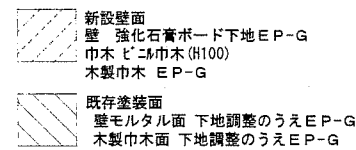
既存



A部撤去詳細 1/20



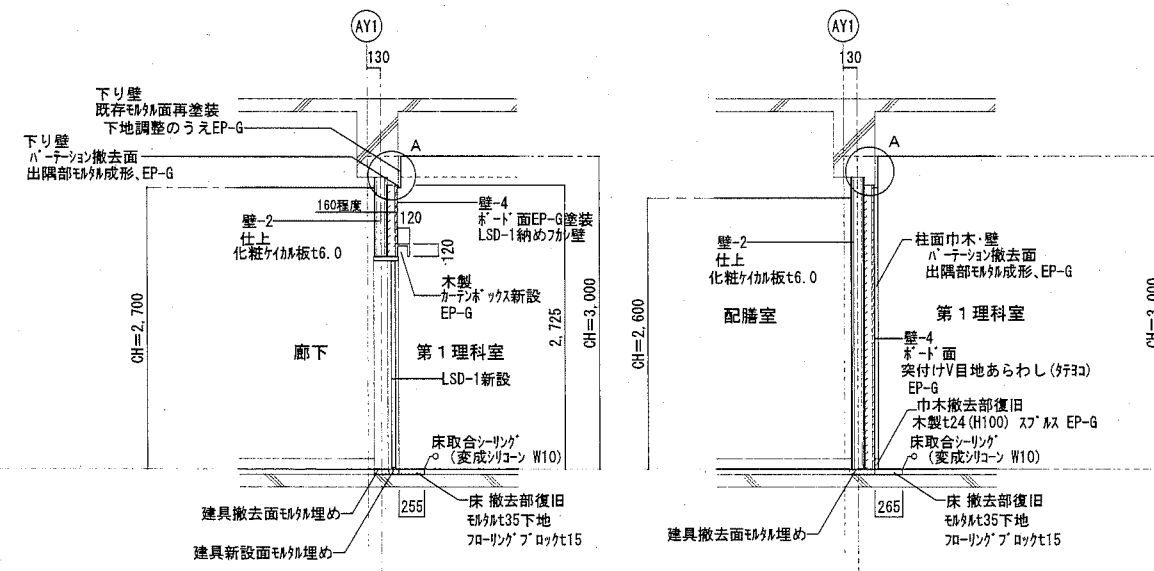
第1理科室 内部仕上表	
床	t35下地、フローリングブロックt-15塗装品
巾木	壁-2面: ビニル巾木(H100) 新規面: 木製t24(H100)スチール EP-G 既存面: 下地調整のうえEP-G
壁	壁-2面: LGS(65)下地、強化石膏ボードt-12.5*2/両面、EP-G 壁-4面: LGS(65)下地、強化石膏ボードt-12.5*2/片面、EP-G 既存面: 下地調整のうえEP-G
天井	天井改修工事はなし
備考	LSD-2新設、同左上部木製カーテンボックス スチール 120*120 EP-G(SUS製カテナール付)共) パーティション撤去において障害となつて撤去した既存下地は改修時に復旧する 壁-2・4塗装面のt35貼りは突付けV目地あらわし(9730共)とする



1階 第1理科室 改修展開図 1/50

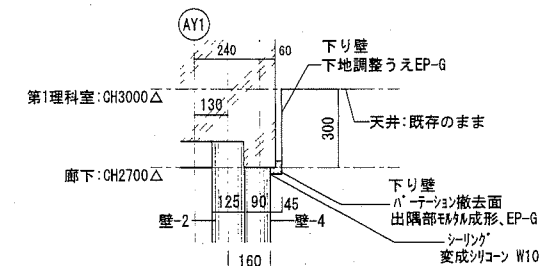
改修

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月



AX7-8間 AX7通り側

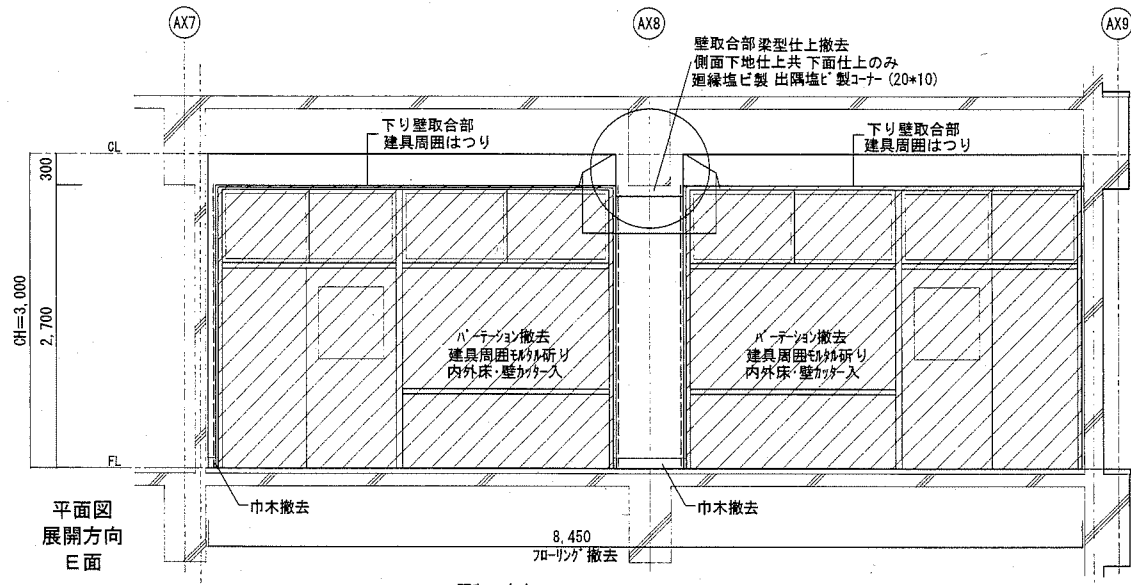
AX7-8間 AX8通り側



A部改修詳細 1/20

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 鷹取中学校 1階第1理科室 展開図(既存・改修)

縮尺	1/50	A-66
No.		

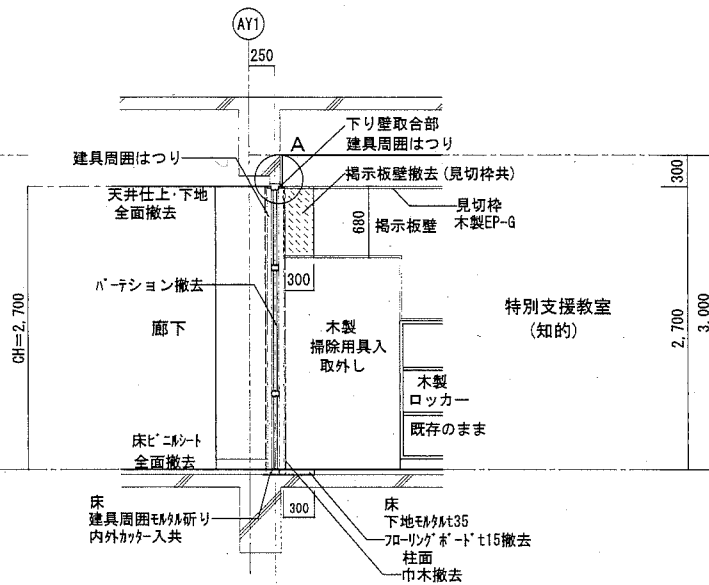


特別支援教室(知的) 内部仕上表		CH=3,000
床	モルタル下地フローリングt-15PUC	一部撤去
巾木	木製t-24(H100)EP-G	一部撤去
壁	モルタル下地EP-G、揭示板(枠、下地共)	一部撤去
天井	LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5 廻縁塩ビ製	既存のまま
梁型	LGS下地、化粧石膏ボードt-9.5 廻縁塩ビ製、出隅塩ビ製コーナー(20*10)	一部撤去
備考	パーティション撤去、既存木製掃除用具入(W1100, H2000, D450) 取外し 同上撤去において障害となる既存下地は撤去する 天井改修はなし	

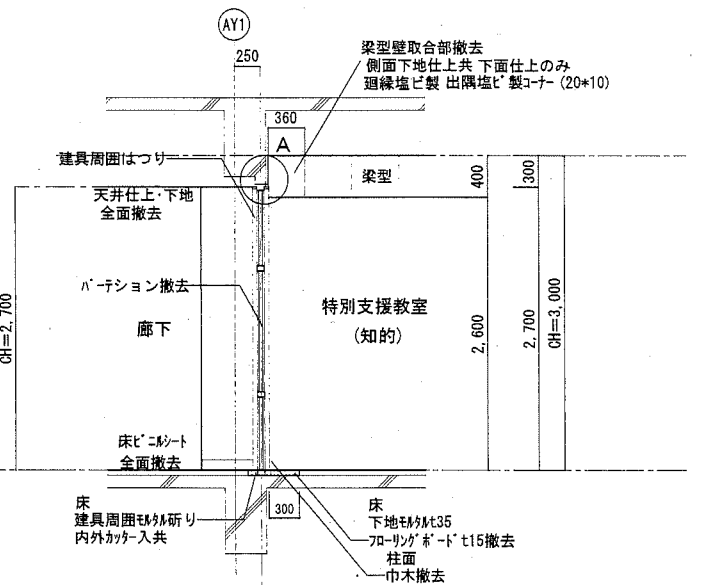
ハ-テーション撤去範囲

壁面から入ります

撤去部復旧

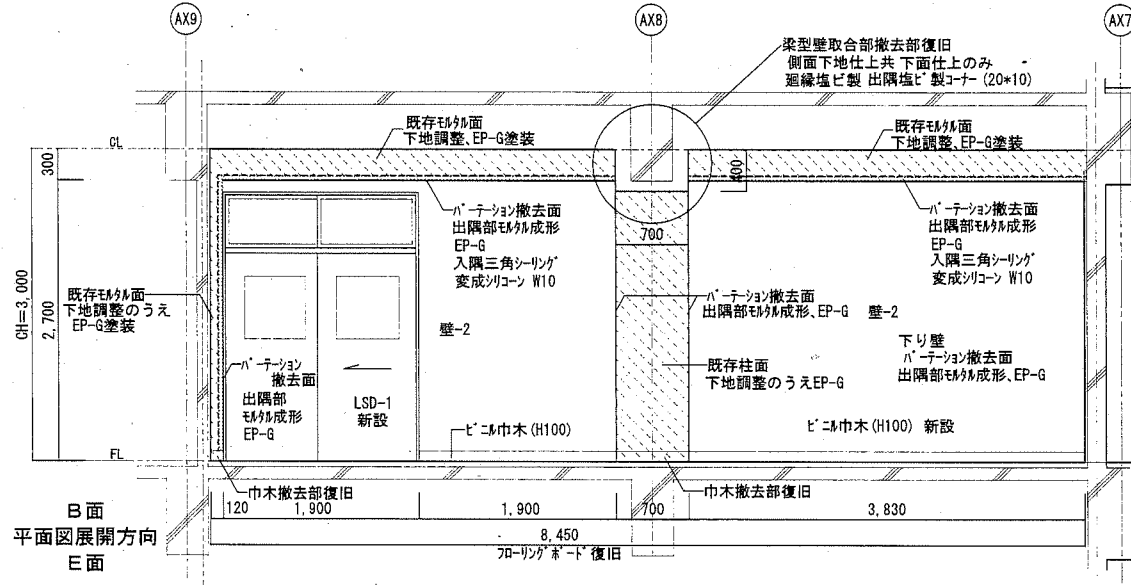


AX9通り



AX8通り

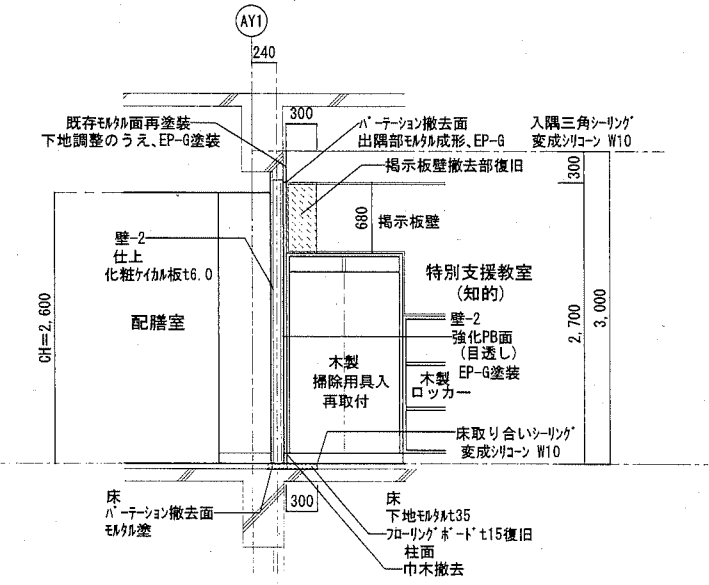
2階 特別支援教室 既存展開図 1/50



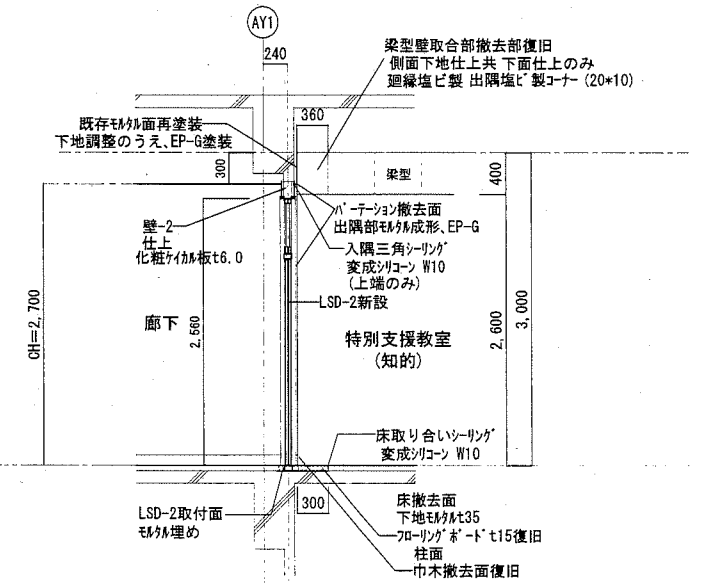
特別支援教室(知的) 内部仕上表	
床	モルタル下地フローリングボードt-15(塗装品) 撤去部復旧
巾木	壁-2面: ビニル巾木(H100) 新設 既存面: 木製(H100)t-24 ス7' A EP-G 撤去部復旧
壁	壁-2面: LGS(65'リ)下地、強化石膏ボードt-12.5*2/両面(突付けV目地好コ) EP-G 新設 既存面: モルタル下地EP-G 撤去部復旧
天井	掲示板壁 木調線下地7'合板t5.5掲示板(枠 ス7' A 20*20 EP-G) 撤去部復旧
備考	LSD-2新設 既存木製掃除用具入(W1100, H2000, D450) 再取付 パーティション撤去において障害となって撤去した既存下地は改修時に復旧する

既存塗装面
壁 下地調整(モルタル面)EP-G塗装
巾木 木製ス7' A EP-G 復旧

2階 特別支援教室 改修展開図 1/50



AX9通り

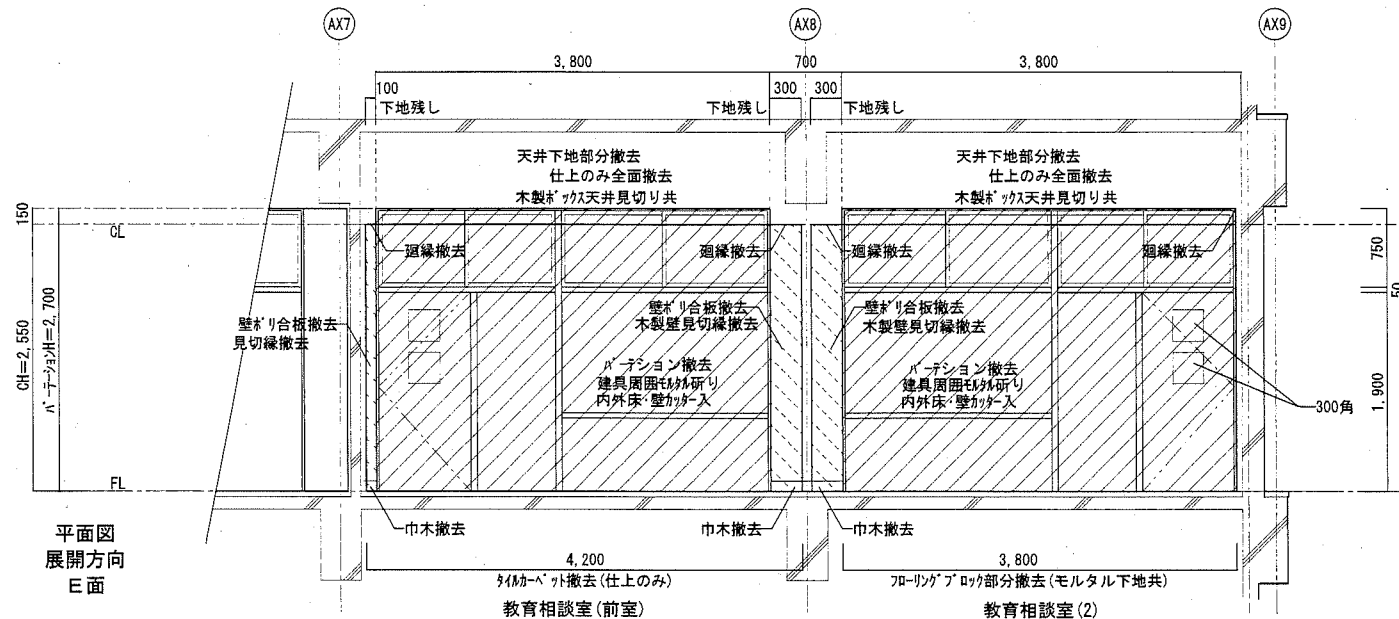


AX8通り

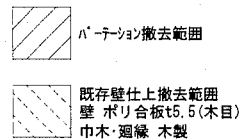
改修

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

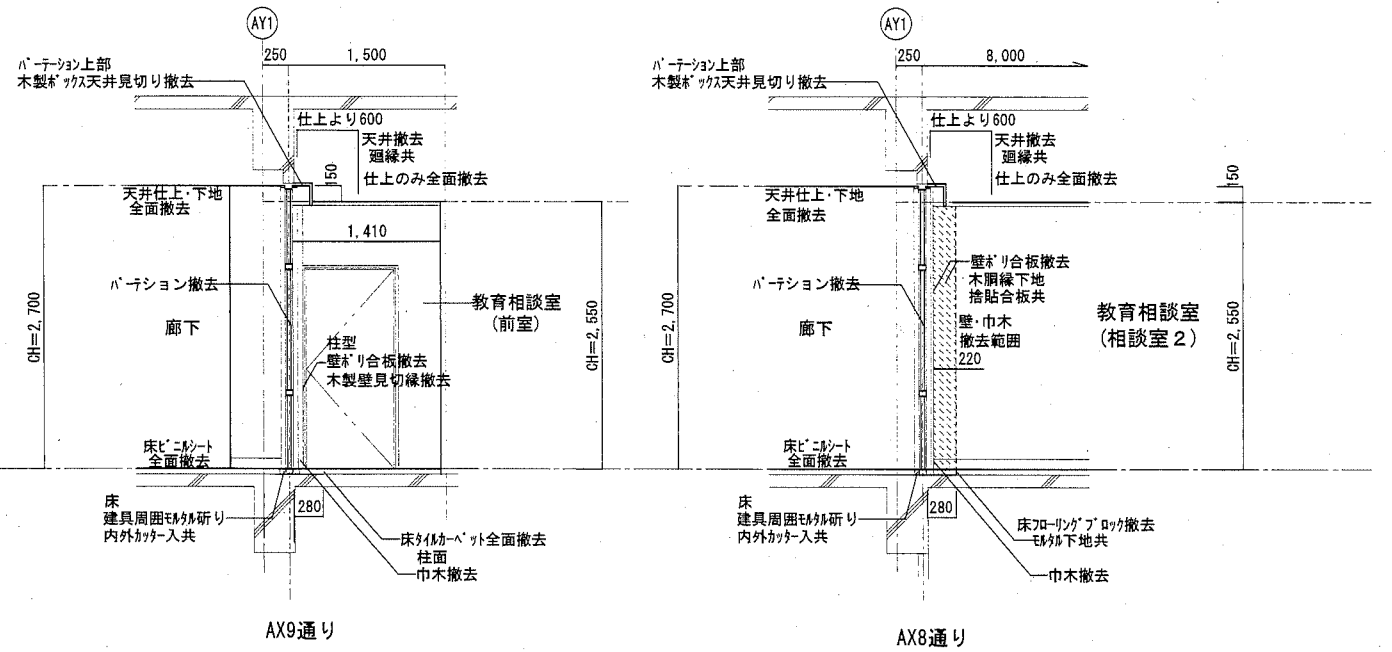
工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-67
図面名称	鷹取中学校 2階特別支援教室(知的) 展開図(既存・改修)			No.



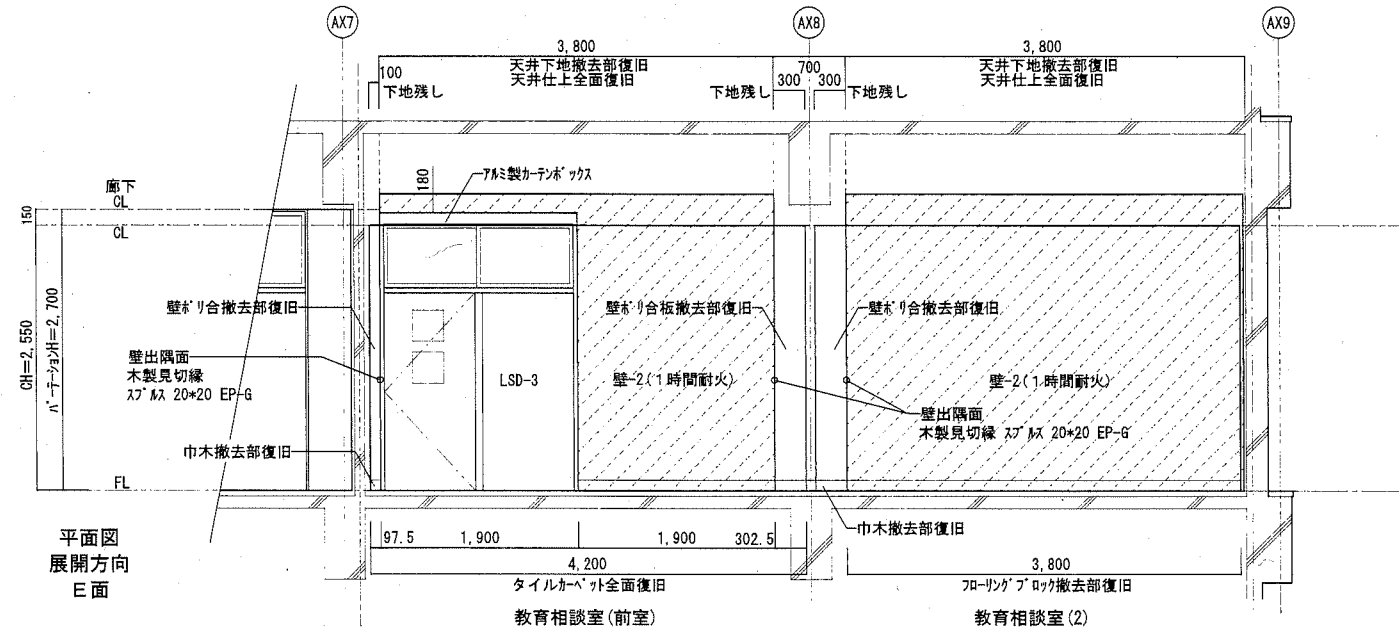
床	前室	モルタル下地	モルタルt6.5(500角)	仕上のみ撤去
相談室2	モルタルt35下地	フローリングブロックt15PUC塗装	一部撤去	
巾木	木製t10(H100)	EP-G	一部撤去	
壁	木脚縁下地、7mm合板t9.0、ポリ合板t5.5(木目)		一部撤去	
天井	LGS下地、石膏ボードt9.5ビニルクロス		下地のみ一部撤去	
	廻縁木製20*30(既成品)		仕上のみ全面撤去	
備考	パーティション撤去(上部木製ボックス天井見切り)			
	天井・廻縁撤去範囲は天井伏図による			



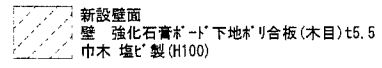
3階 教育相談室 既存展開図 1/50



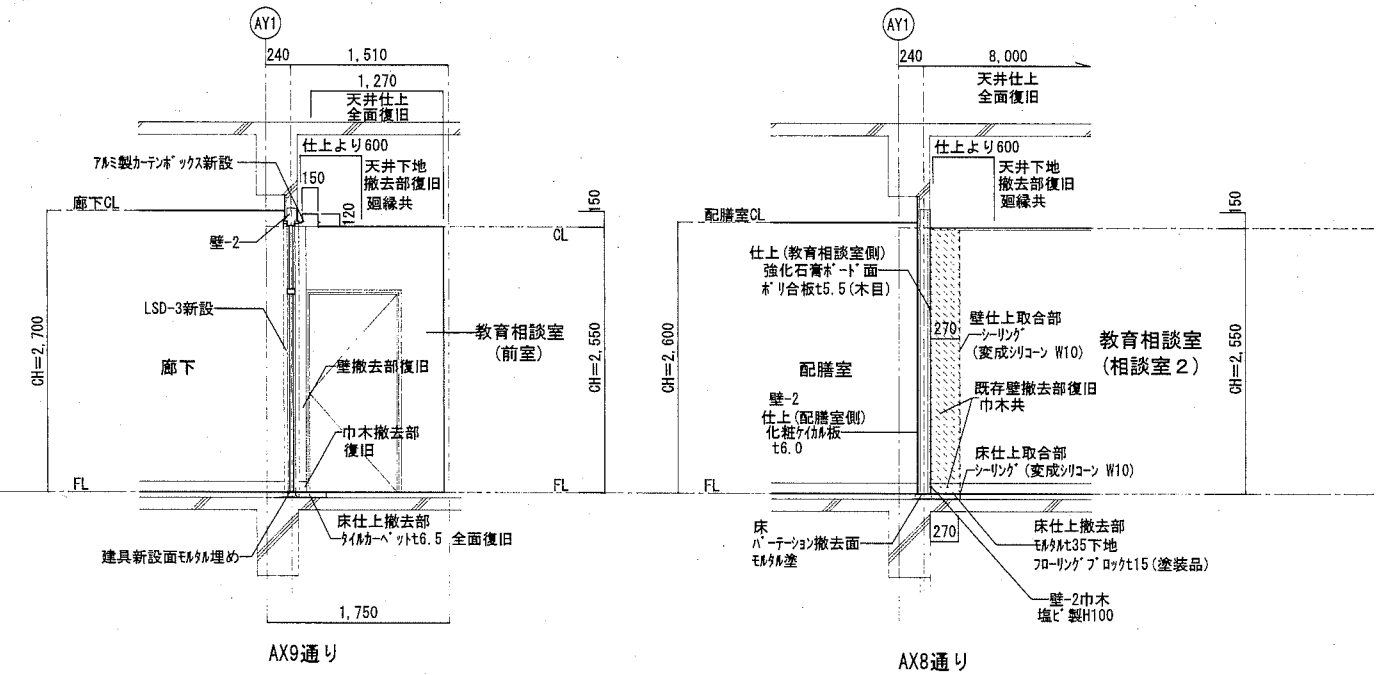
既存



床	前室	下地調整のうえ	モルタルt6.5	500角t6.5
相談室2	モルタルt35下地	フローリングブロックt15(塗装品)		
巾木	壁-2面	ビニル巾木(H100)		
	既存面	木製t10(H100)	EP-G	(新規面)
壁	壁-2面	LGS(65#)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面	ポリ合板(木目)t5.5(突付け張)	
	既存面	木脚縁下地、7mm合板t9.0、ポリ合板(木目)t5.5		
天井	LGS下地、石膏ボードt9.5	ビニルクロス		
	廻縁	木製20*30	EP-G	
備考	LSD-3新設(上部アルミ製カーテンボックス共)			
	天井・廻縁撤去範囲は天井伏図による			

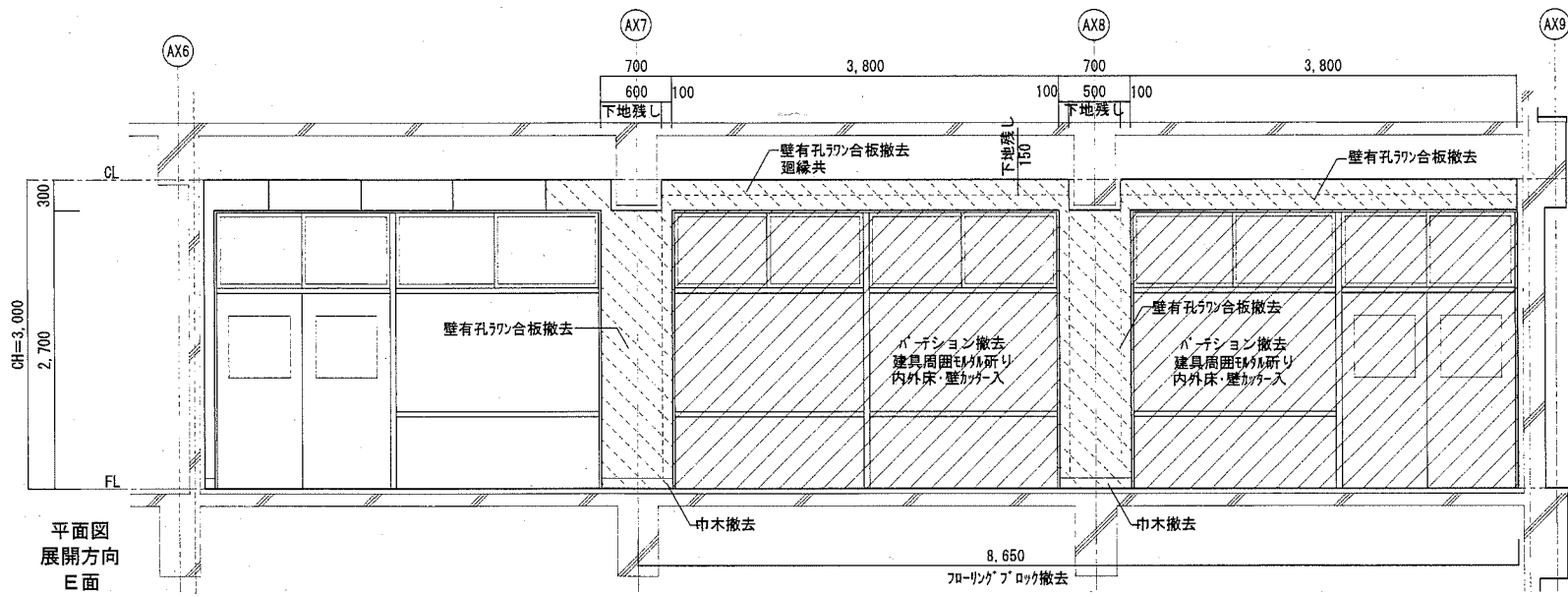


3階 教育相談室 改修展開図 1/50



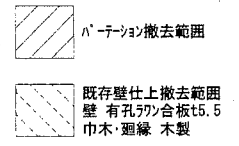
改修

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-68
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 3階教育相談室(前室・相談室2)展開図(既存・改修)			No.



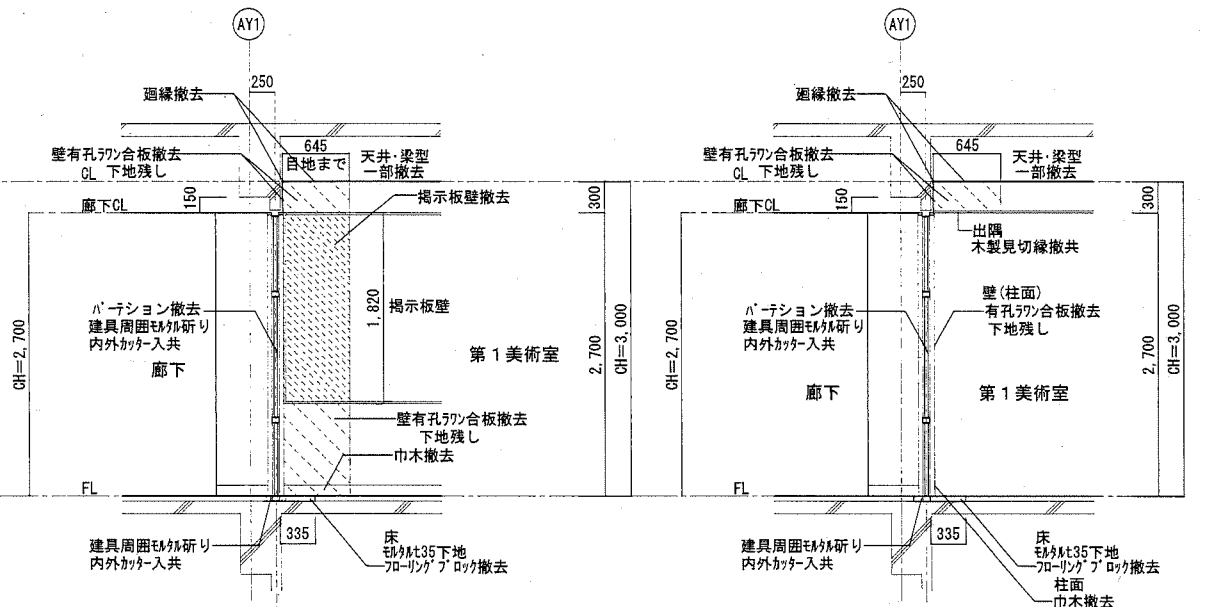
平面図
展開方向
E面

第1美術室 内部仕上表		CH=3,000
床	モルタル下地フローリングブロック t-150 SW	一部撤去
巾木	木製 t24 (H100) EP-G	一部撤去
壁	木脚線下地有孔ラワン合板 t5.5 EP-G	一部撤去
天井	LGS下地有孔ラワン合板 t4.0 EP-G、廻縁塩ビ製	一部撤去
梁型	天井と同じ、木製出隅見切縁 EP-G	一部撤去
備考	パーテーション撤去 天井・梁型面の撤去範囲は天井伏図による	



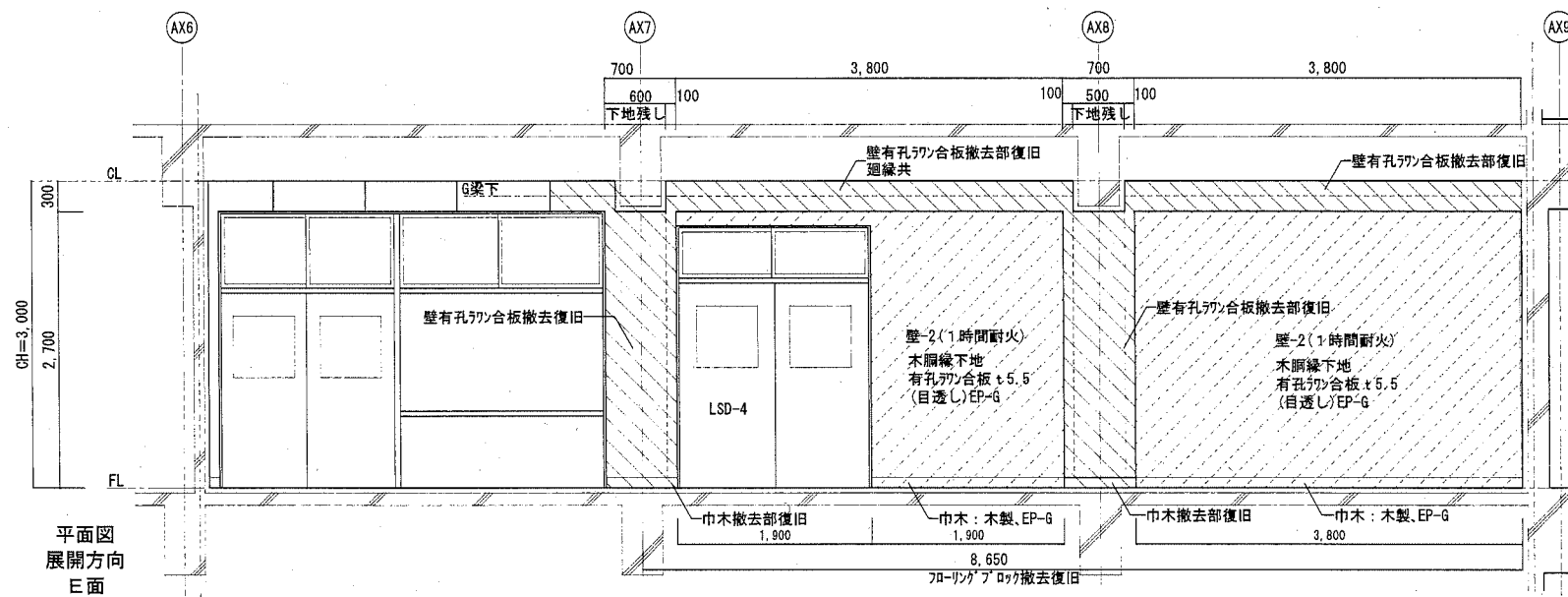
4階 第1美術室 既存展開図 1/50

既存



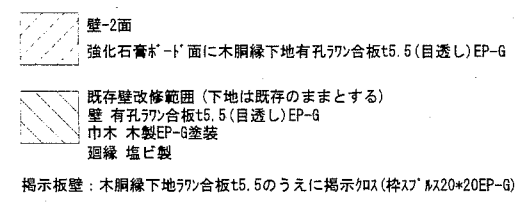
AX9通り

AX9通り以外



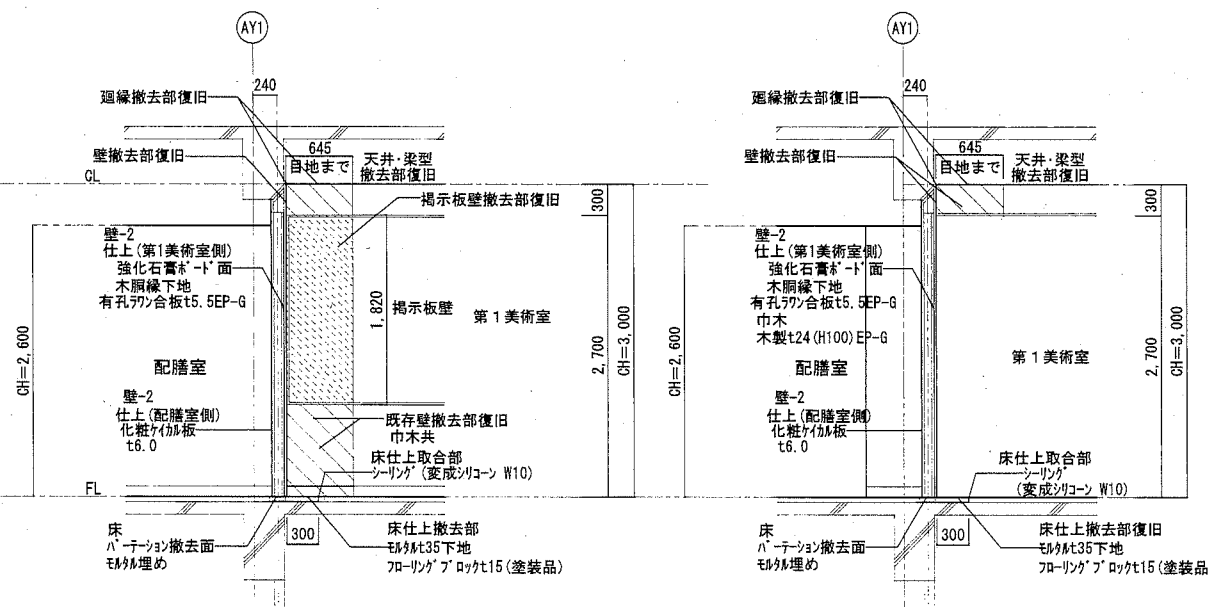
平面図
展開方向
E面

第1美術室 改修内部仕上表(撤去部の復旧のみ)	
床	モルタル下地、300角フローリングブロック t15 (塗装品)
巾木	既存面：木製 t24 (H100) EP-G (新規面)
壁	壁-2面：木製 t24 (H100) EP-G (新規面)
壁	既存面：既存木脚線下地、有孔ラワン合板 t5.5 EP-G (新規面)
壁-2面	LGS (65#) 下地、強化石膏ボード t12.5*2/両面 木脚線下地有孔ラワン合板 t5.5 EP-G (新規面) 一部 掲示板壁(仕上・下地共)撤去面復旧
天井	LGS下地、有孔ラワン合板 t4.0 EP-G (新規面) 廻縁塩ビ製
梁型	天井と同じ(出隅見切縁 木製)
備考	LSD-4新設 天井・梁型面の復旧範囲は天井伏図による



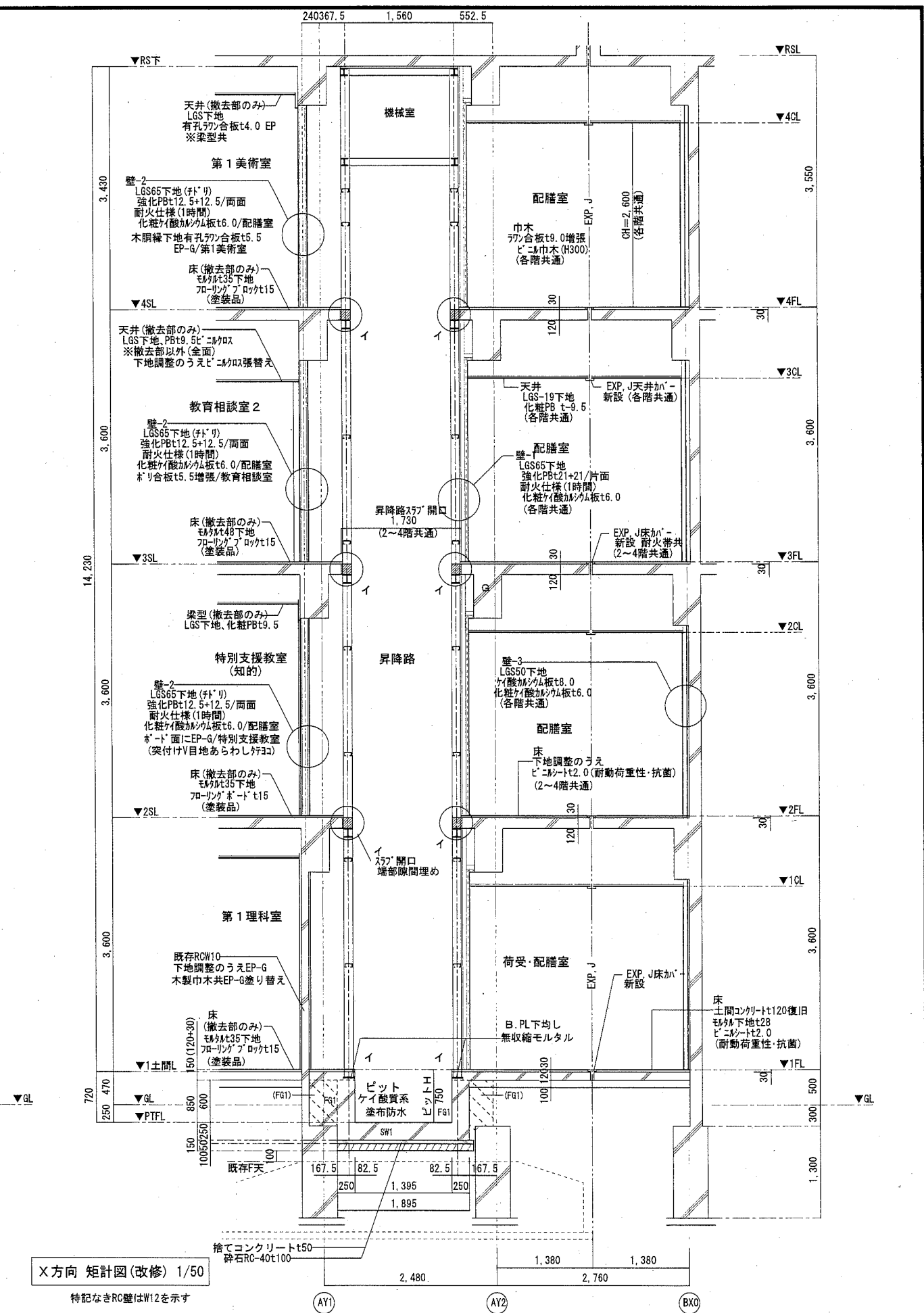
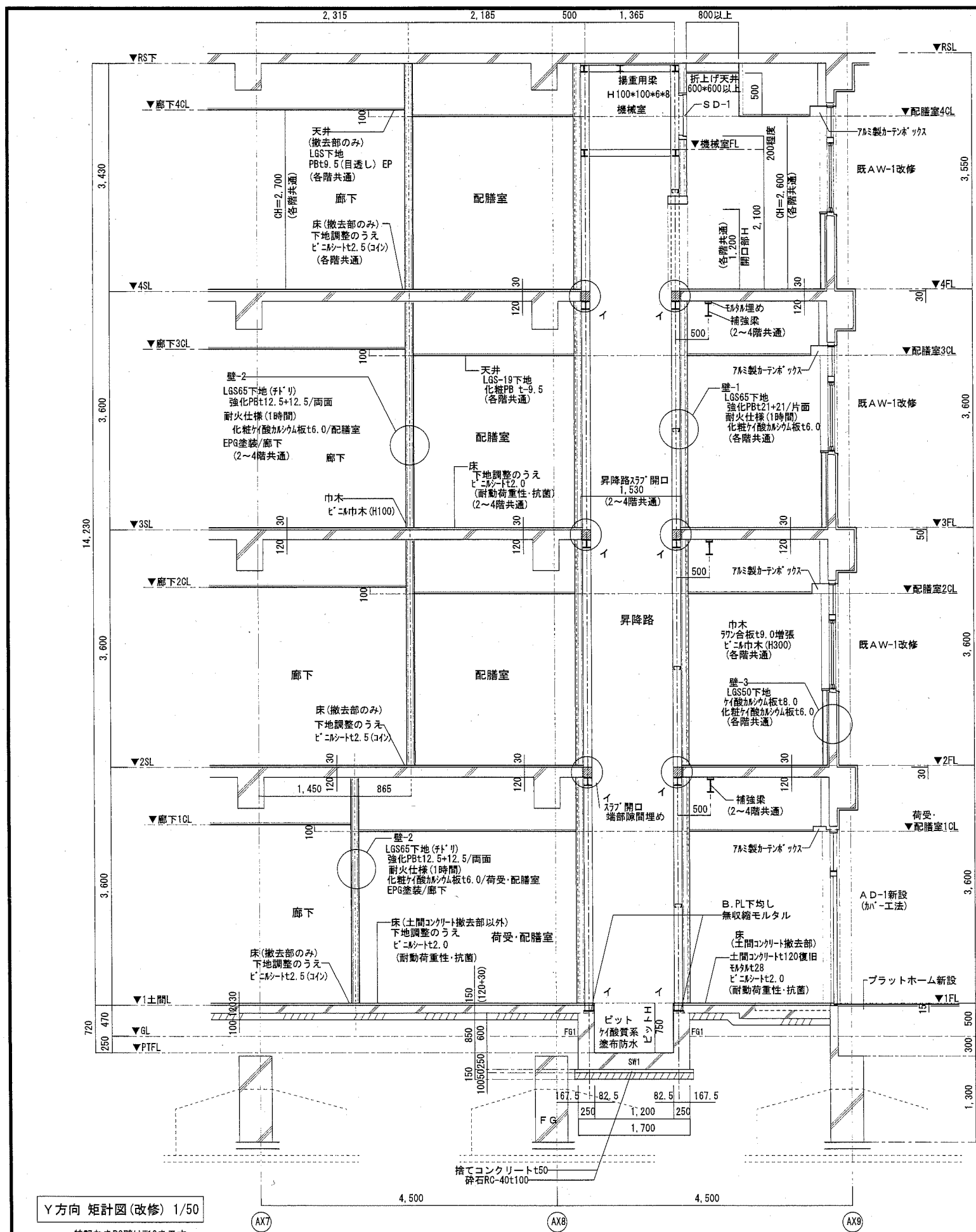
4階 第1美術室 改修展開図 1/50

改修

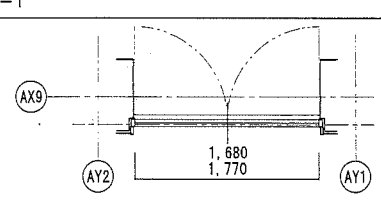
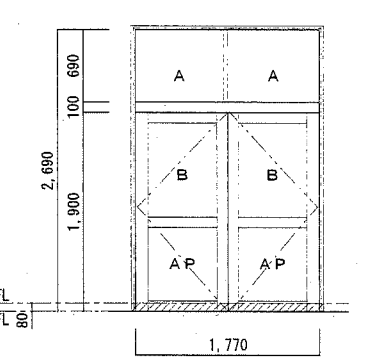
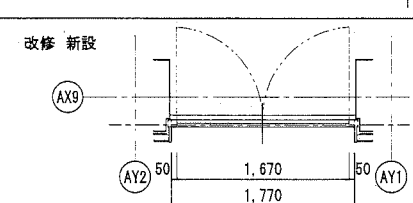
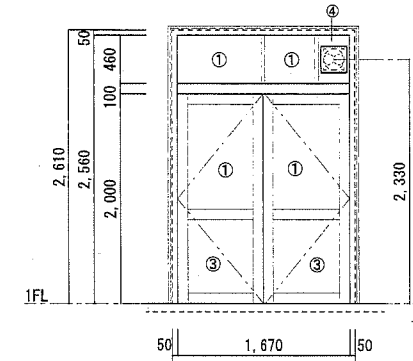
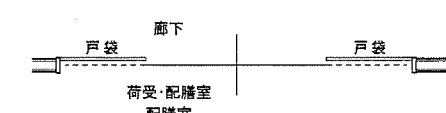
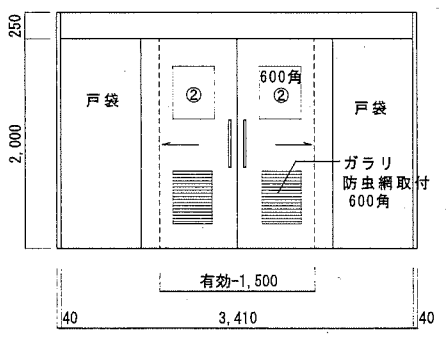
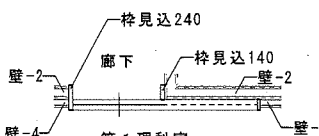
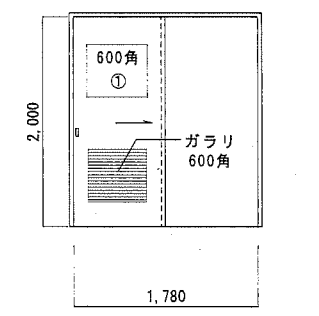
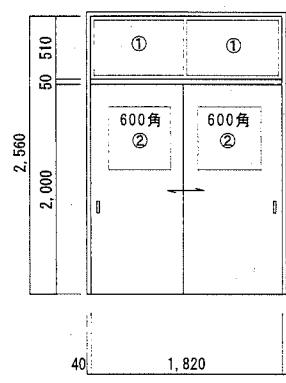


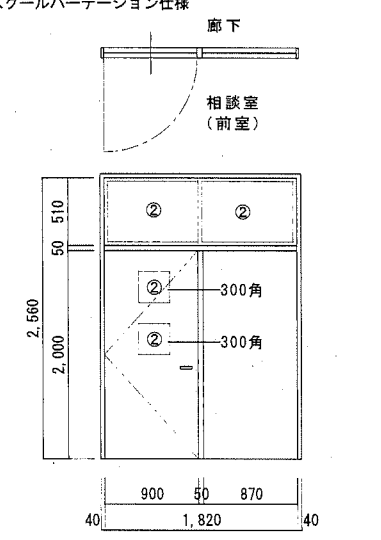
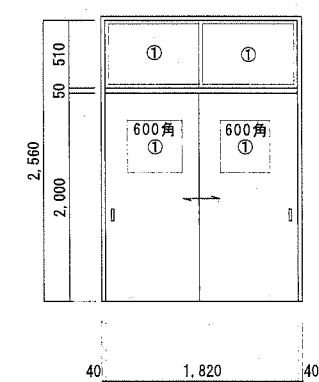
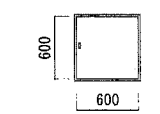
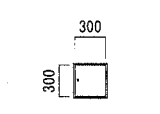
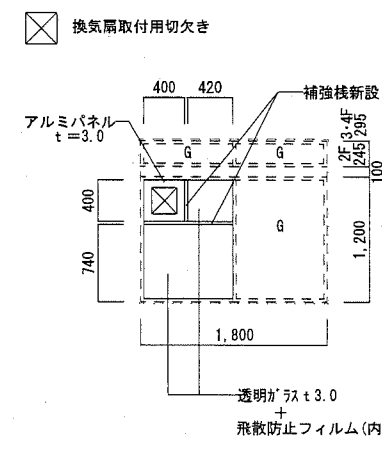
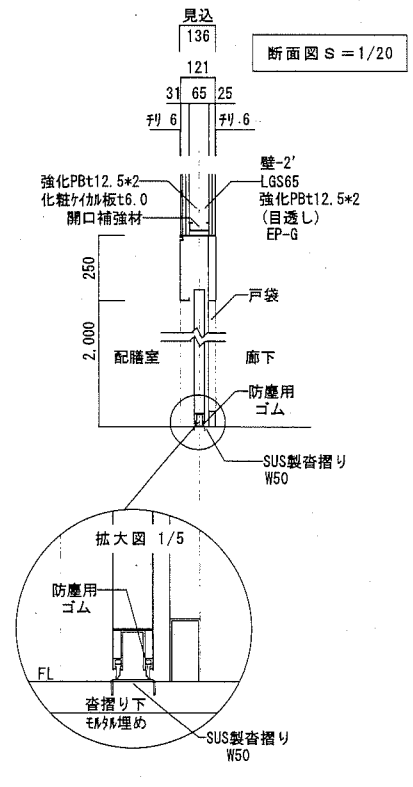
AX9通り

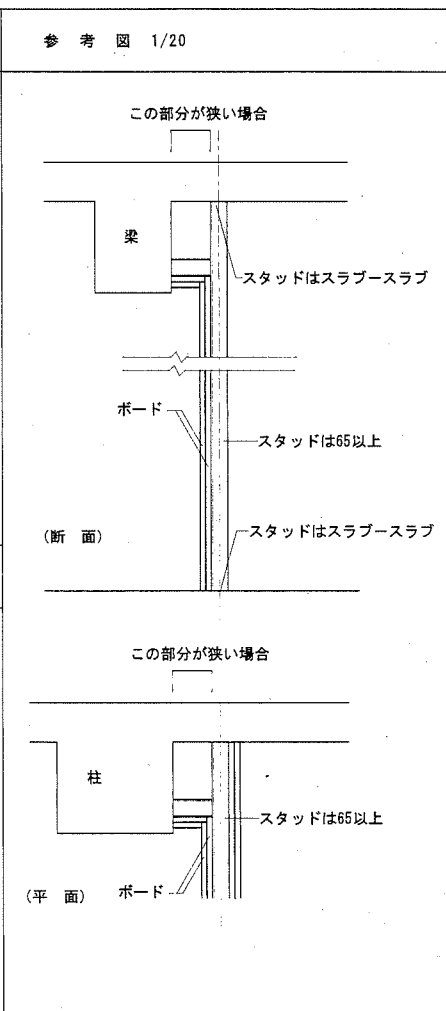
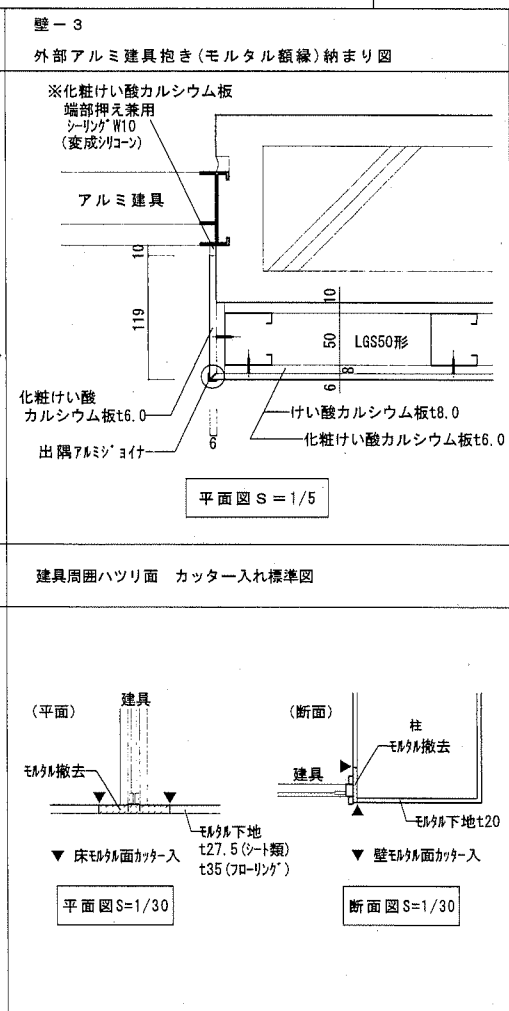
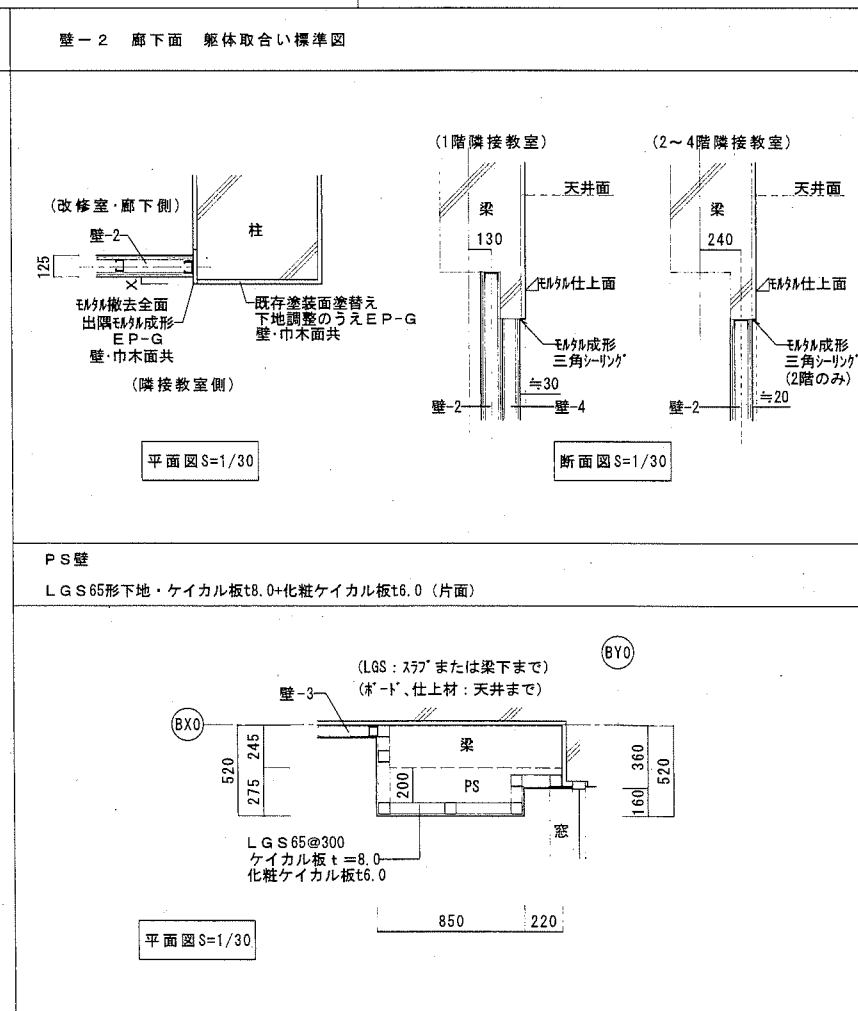
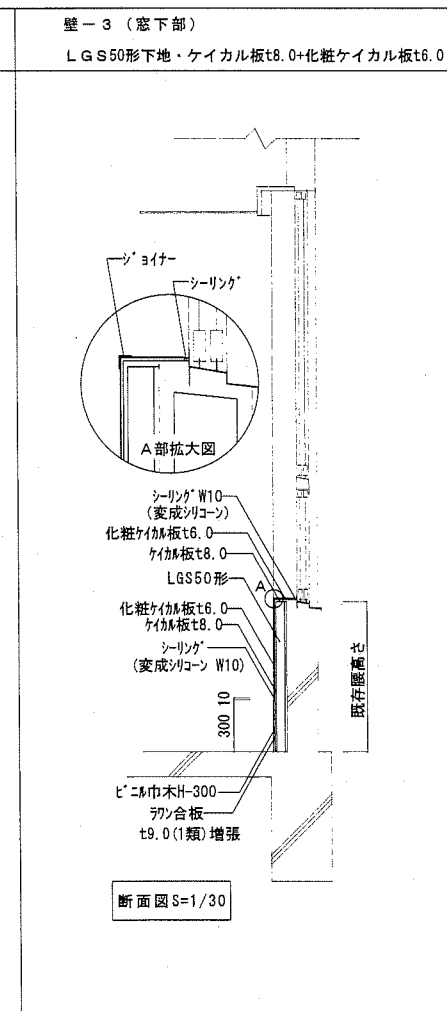
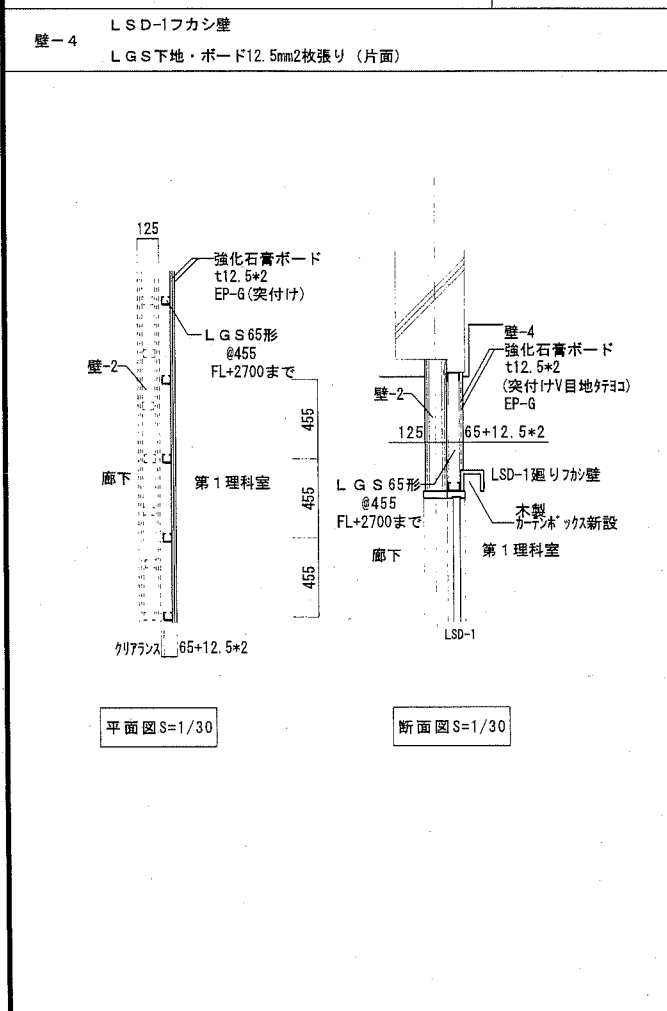
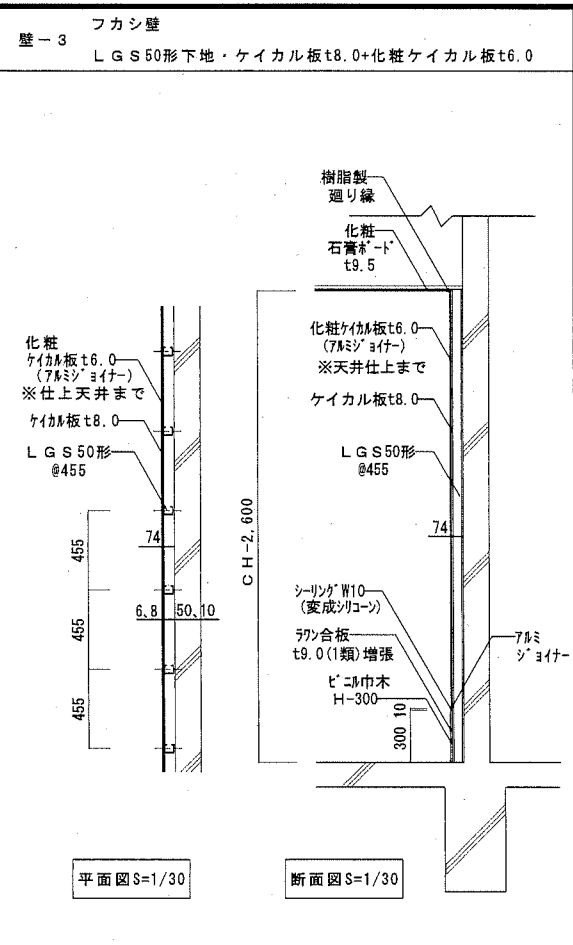
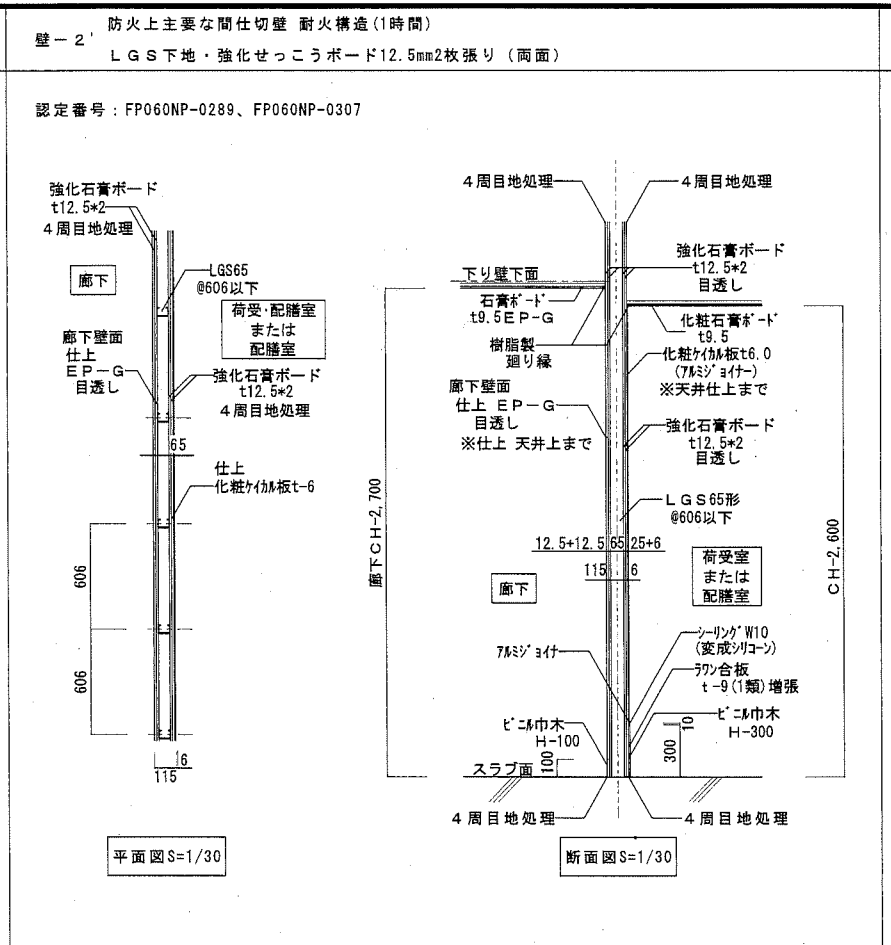
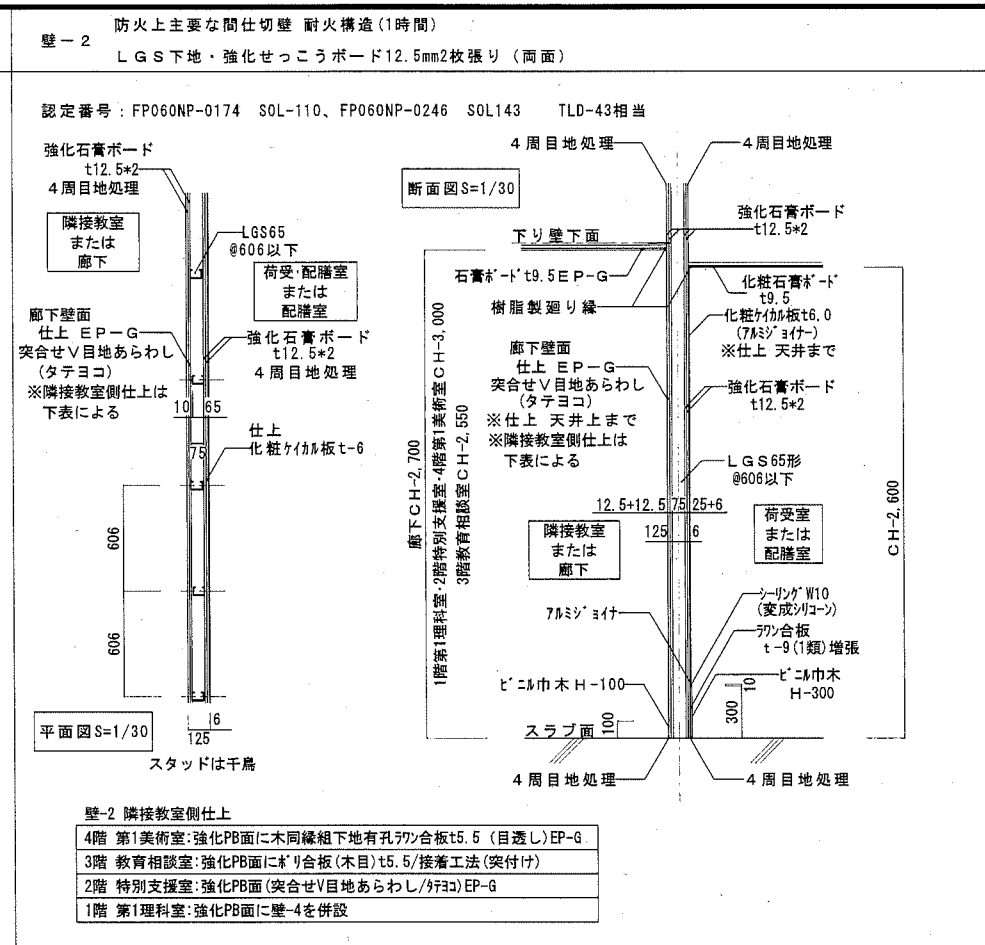
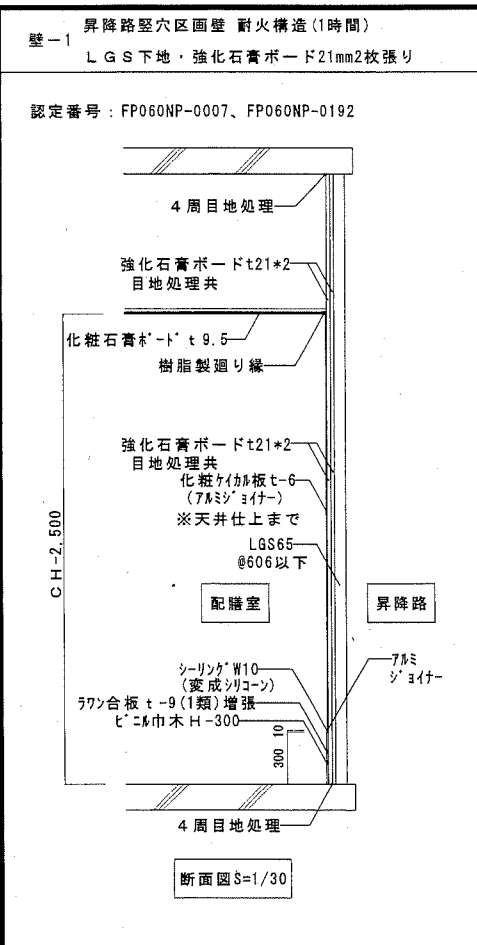
AX9通り以外

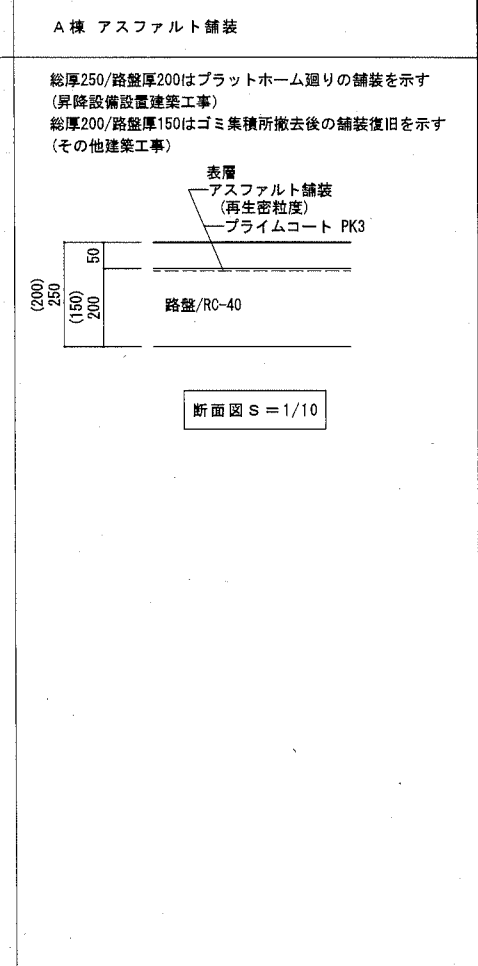
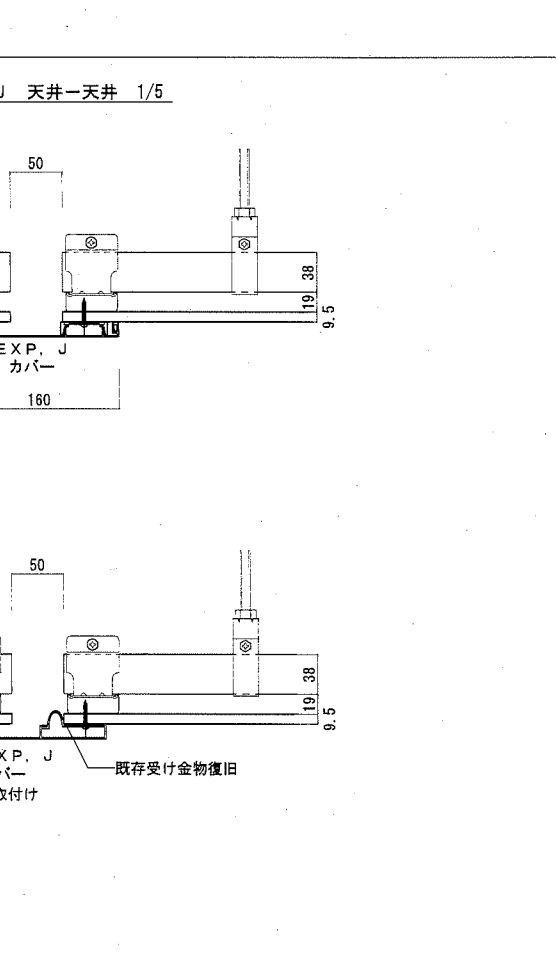
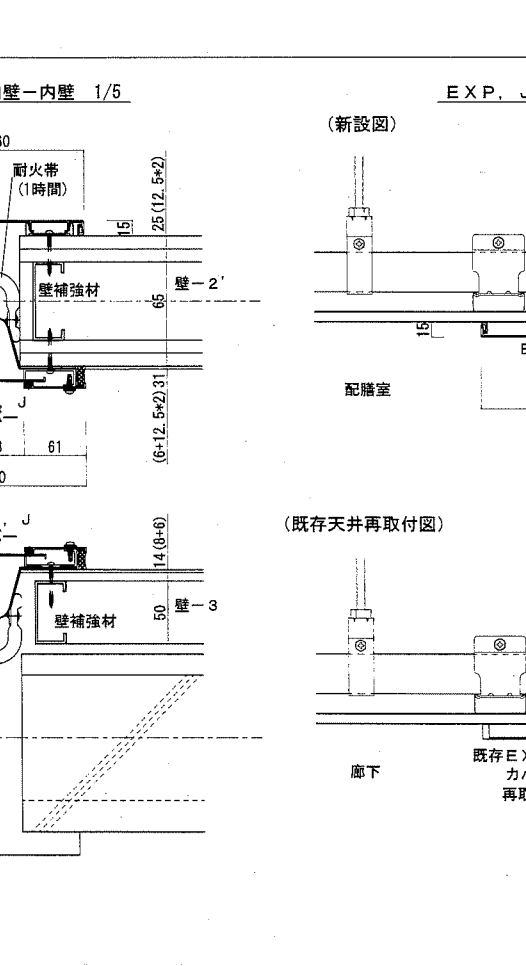
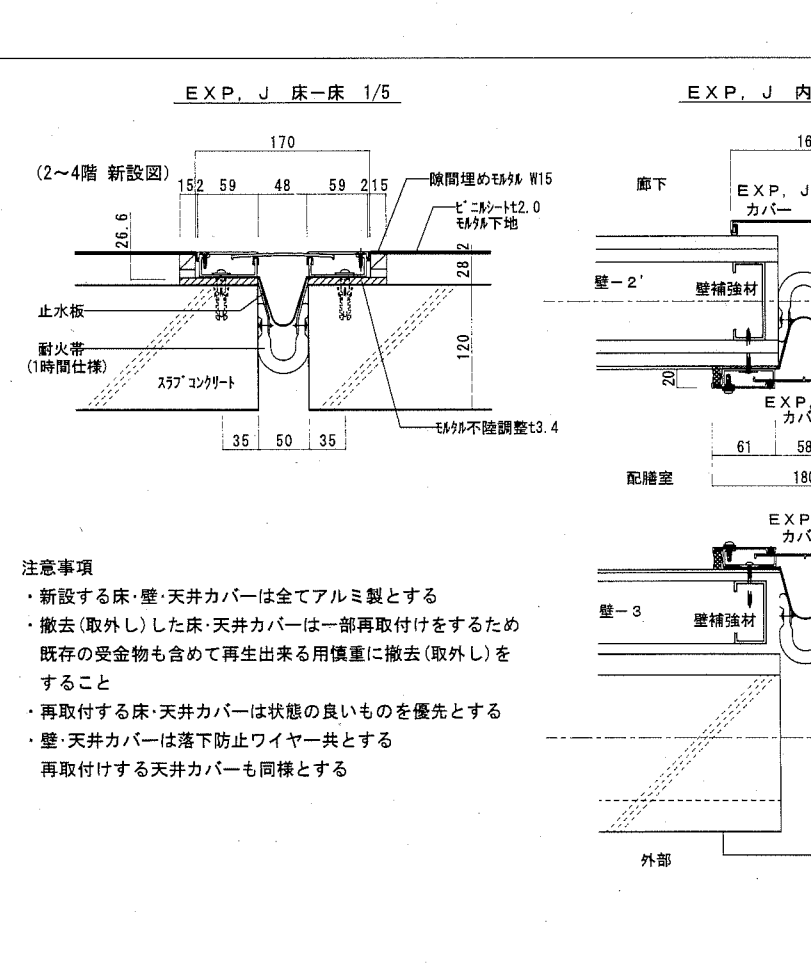
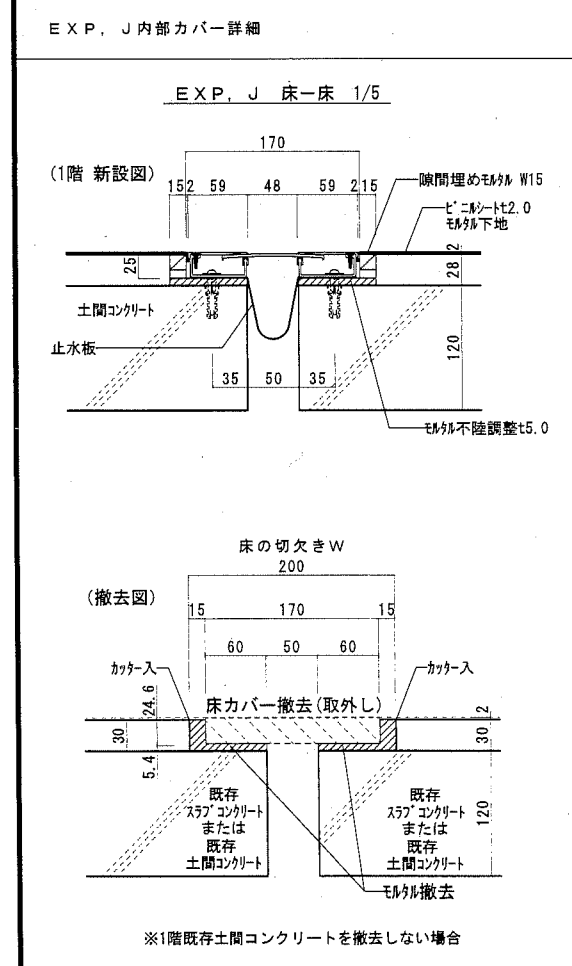
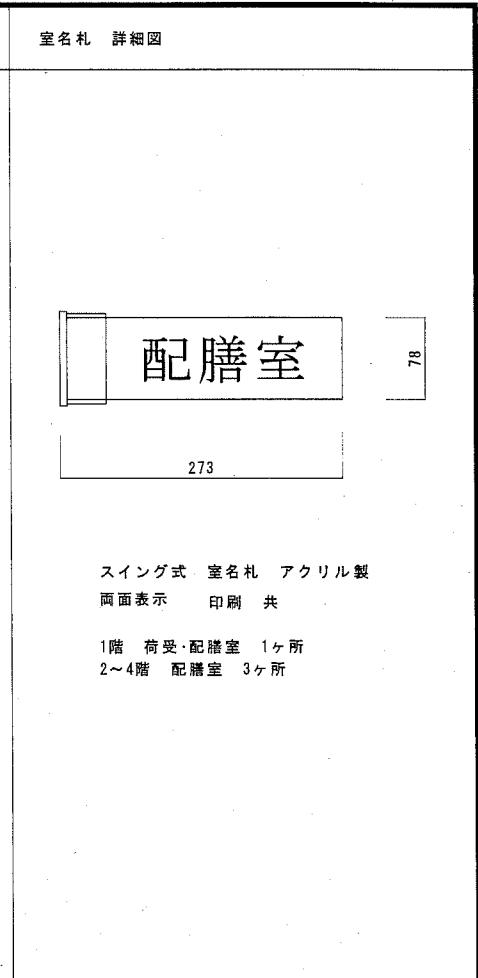
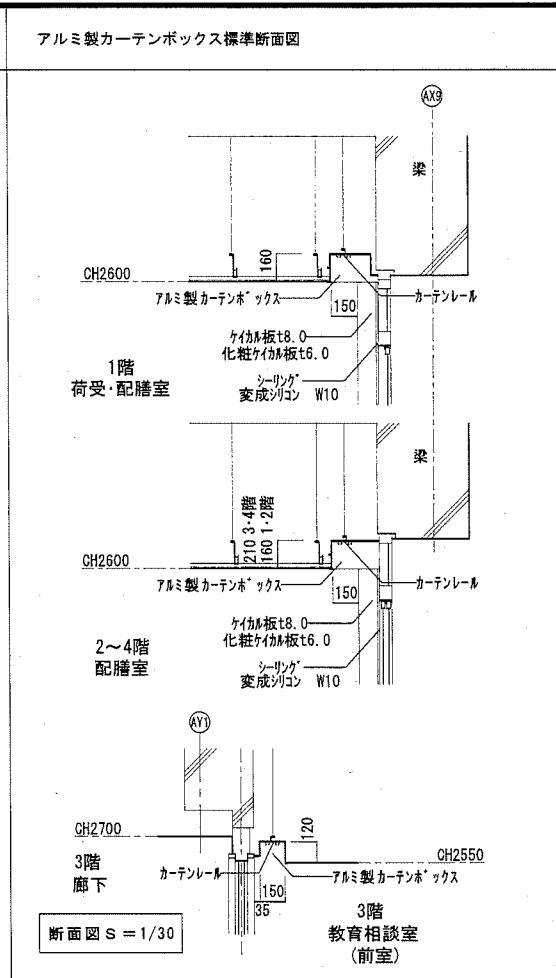
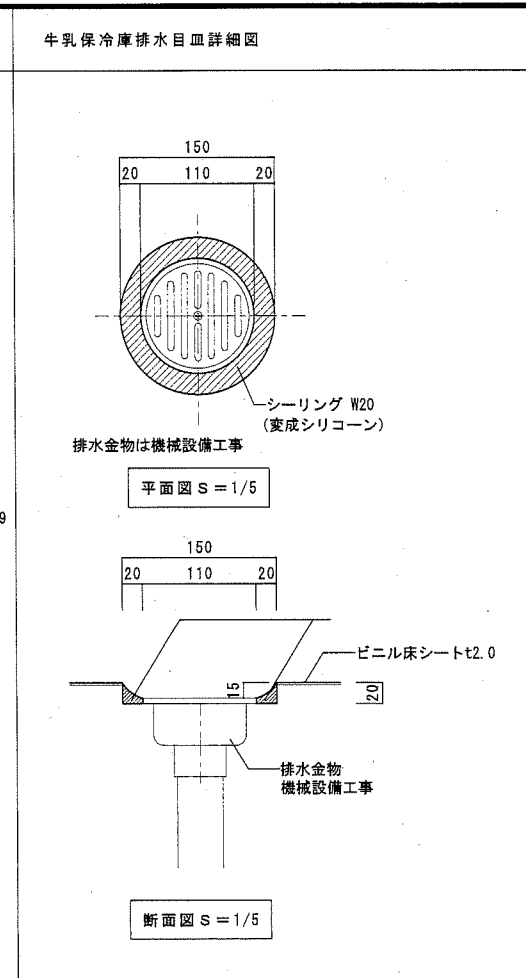
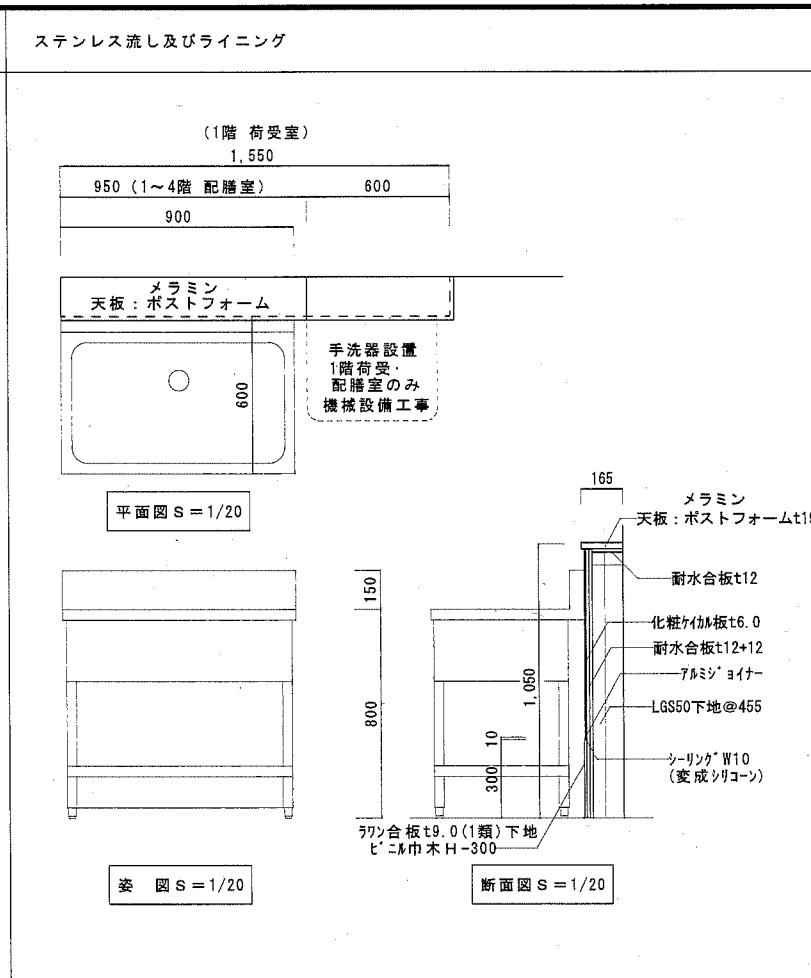
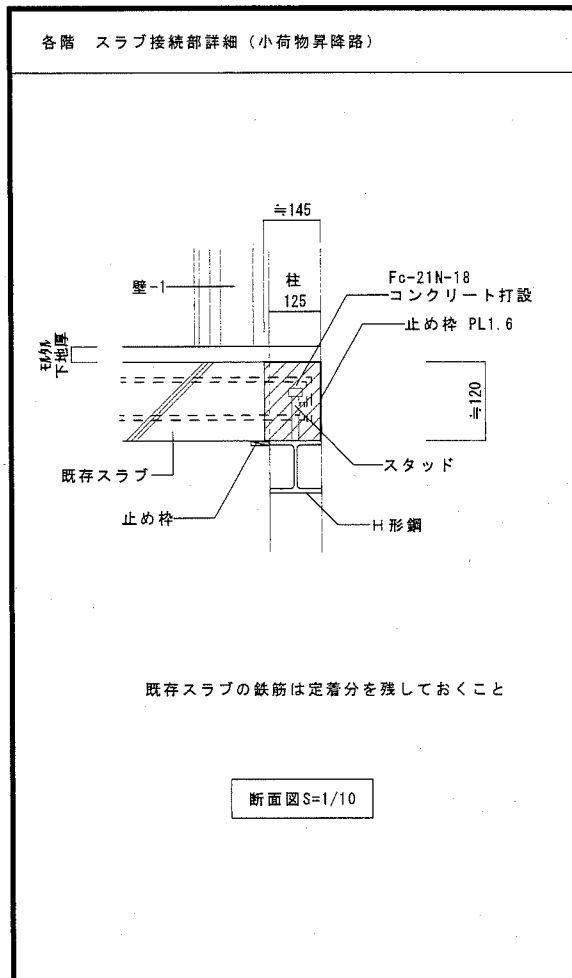


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-70
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 1階荷受・配膳室、2～4階配膳室 矩計図 (改修)			No.

記号・数	AD-1	1ヶ所	HD-1	4ヶ所	LSD-1	1ヶ所	LSD-2	1ヶ所	
窓 寸 法 子	既設   計画FL 現況FL 1,770	改修 新設   IFL 50 1,670 1,770 ① 透明ガラス t=3.0+透明フィルム t=30mil+透明ガラス t=3.0 ② アルミパネル t=5.0 ③ アルミパネル t=3.0	70	  有効-1,500 ① 網入り透明ガラス t=6.8 ② 網入り型板ガラス t=6.8	戸袋あり(廊下側) 136	スクールパーテーション仕様   ① 網入り透明ガラス t=6.8 ② 網入り型板ガラス t=6.8	1,780 建具 見込 100 240	スクールパーテーション仕様  ① 網入り透明ガラス t=6.8 ② 網入り型板ガラス t=6.8	建具 見込 80 145
	取付場所	1階 荷受・配膳室		1階 荷受・配膳室、2・3・4階 配膳室		1階 第1理科室		2階 特別支援教室(知的)	
種別方法	FIX付両開き戸 カバー工法		片面戸袋付両引きハンガー戸		片引き戸		ラマ引き違い窓付引き違い戸		
材質・仕上	アルミ シルバー		軽量スチール 焼付塗装		軽量スチール 焼付塗装		スチール製焼付塗装仕上		
取付金物	レバーハンドル錠、ドアチェック(ストッパー付)、SUST番3ヶ所		引戸錠、押し棒、床見切り(SUS製 50×20)		引戸錠、押し棒、		引手、引違戸錠、戸車、付属金物一式(両面三方額縁共)		
備考	フランス落し(上下)、SUS製番番、戸当り(フック付)、その他付属金物一式 額縁 7mm製(W=180/三方)		額入り窓、ガラリ(ガラリの室内側にSUS製24メッシュの防虫網を取り付け) 連動自閉装置、エンドストッパー付 扉下部:ゴム、モヤ等でほこり対策をする		額入り窓、ガラリ		額入り窓		

記号・数	LSD-3	1ヶ所	LSD-4	1ヶ所	SD-1	1ヶ所	AW-1 (既存改修)	3ヶ所	HD-1 防埃対策 参考図
窓 寸 法 子	スクールパーテーション仕様  ① 網入り透明ガラス t=6.8 ② 網入り型板ガラス t=6.8	建具 見込 80 145	スクールパーテーション仕様  ① 網入り透明ガラス t=6.8 ② 網入り型板ガラス t=6.8	建具 見込 80 145	 昇降路 最頂部 特定防火設備層 鉄製 t=1.6 自閉式 焼付塗装 P S 壁点検口 5ヶ所 	 換気扇取付用切欠き アルミパネル t=3.0 補強鉄新設 透明ガラス t=3.0 飛散防止フィルム(内)	 断面図 S=1/20 見込 136, 121, 31, 65, 25 刊 6, 刊 6 壁-2' LGS65 強化PBT12.5*2 (目透し) EP-G 防塵用ゴム SUS製音摺り W50 拡大図 1/5 防塵用ゴム 音摺り下モヤ埋め SUS製音摺り W50	※特記なき縮尺は1/50とする	
	取付場所	3階 教育相談室(前室)	4階 第1美術室	P S 壁面	2~4階 配膳室				
種別方法	ラマ引き違い窓付片袖片開き戸	引き違い窓付引き違い戸	点検口	換気扇取付枠					
材質・仕上	スチール製焼付塗装仕上(廊下側)、PMシ化粧板(前室側)	スチール製焼付塗装仕上(廊下側)、有孔ラワン合板EPG塗装(第1美術室側)	アルミ製額縁タイプ	アルミ シルバー					
取付金物	レバーハンドル錠、ドアチェック(ストッパー付)、SUST番3ヶ所	引手、引違戸錠、戸車、付属金物一式(両面三方額縁共)	錠付	既設ガラス面 全階: 全面透明ガラス t=3.0 アルミパネル取付け(切欠き共)、補強鉄取付					
備考	その他付属金物一式(両面三方額縁共) 額入り窓	額入り窓	仕上げは壁と同じにする 最上階は2ヶ所設置する						



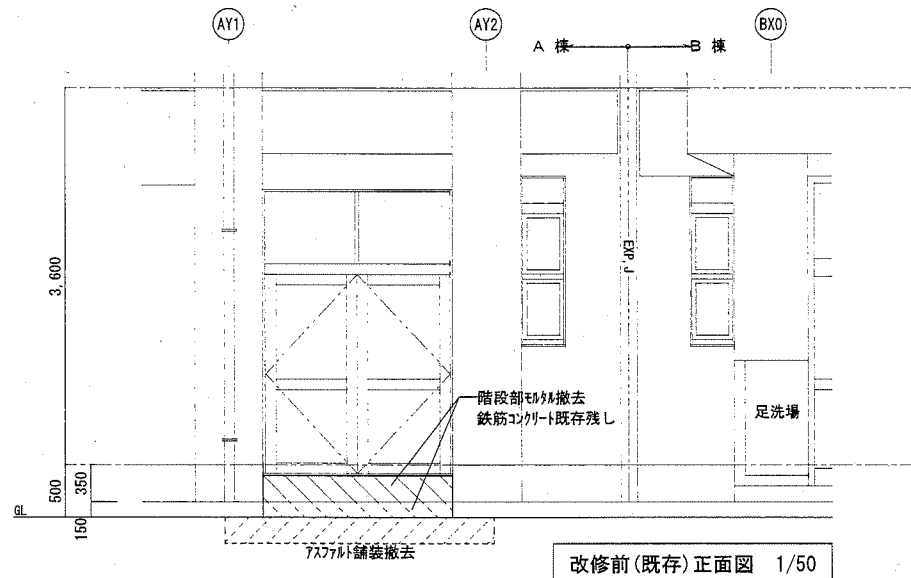


公共建築課長	主査等	担当者

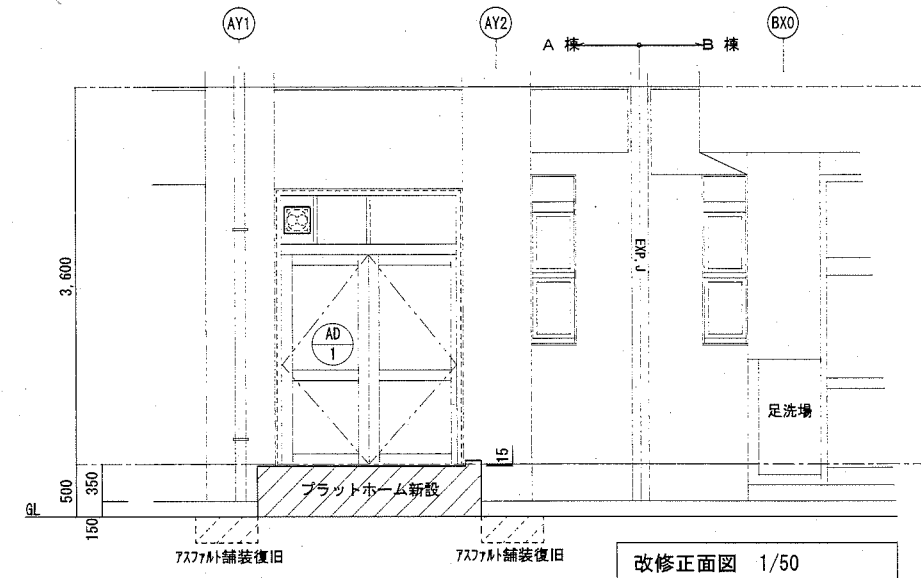
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 鷹取中学校 雑詳細図-2

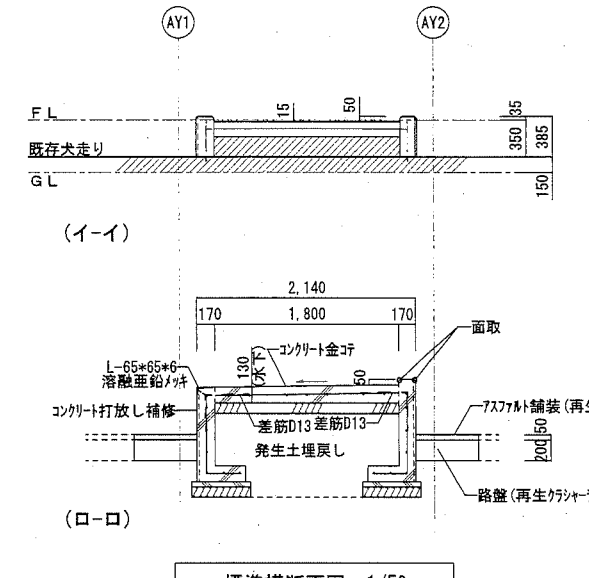
縮尺	A-73
1/50	No.



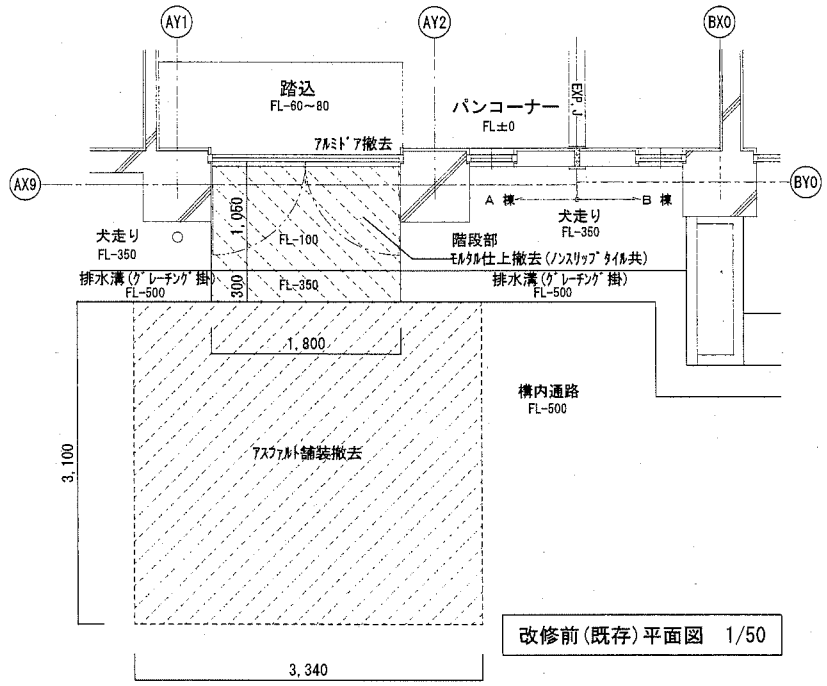
改修前(既存)正面図 1/50



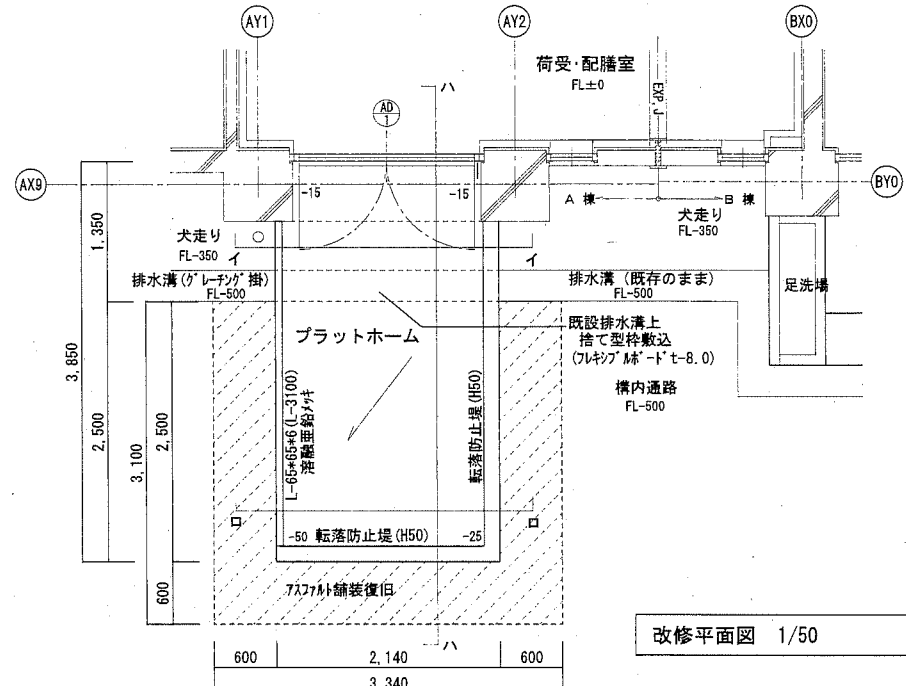
改修正面図 1/50



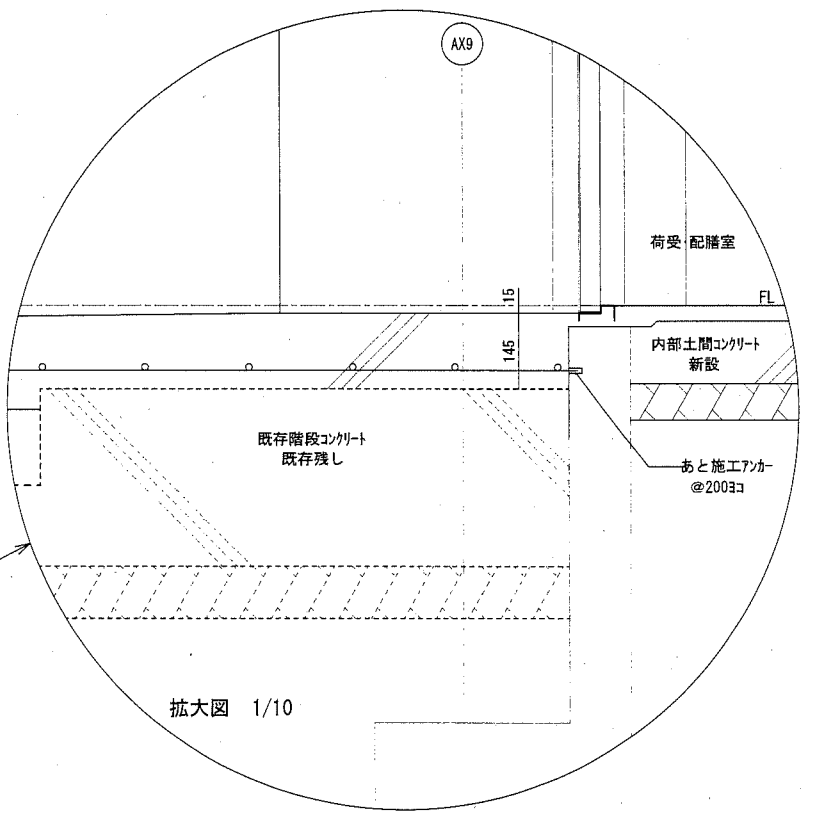
標準横断面図 1/50



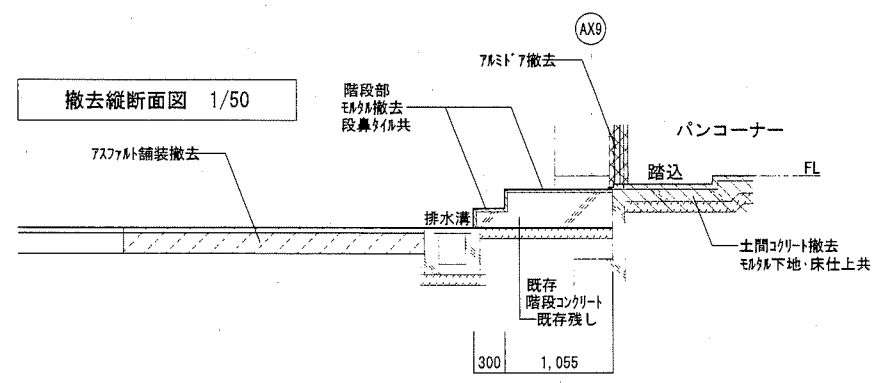
改修前(既存)平面図 1/50



改修平面図 1/50

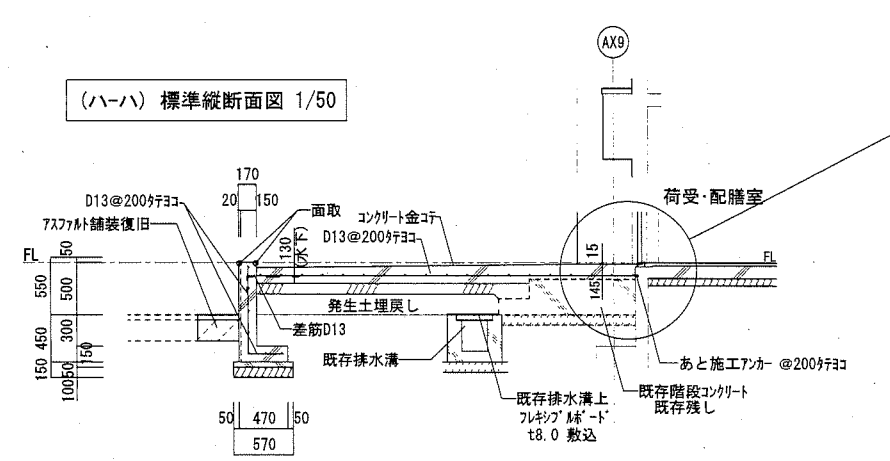


拡大図 1/10



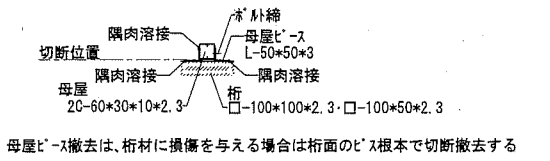
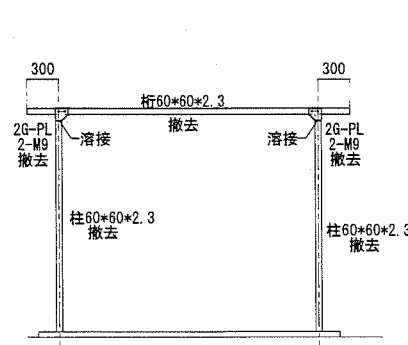
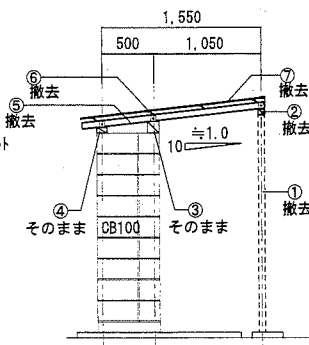
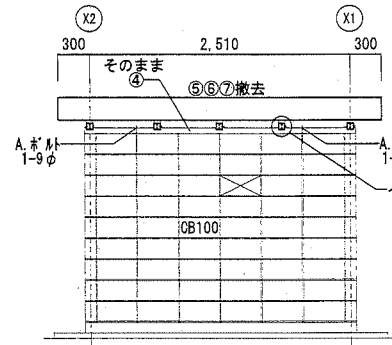
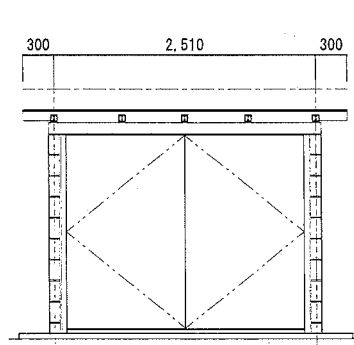
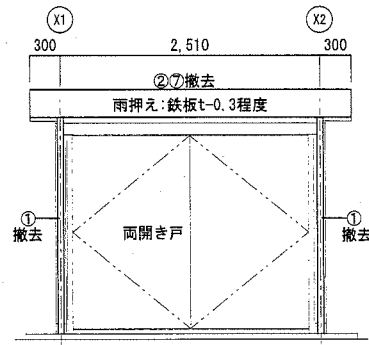
撤去縦断面図 1/50

(ハ-ハ) 標準縦断面図 1/50



使用鉄筋:SD295A D13
 コンクリート:レゾミクストコンクリート 21N-18(呼び強度)
 あと施工アノカー:金属拡張系(D13用)

プラットフォーム 改修前(既存)			プラットフォーム 改修後		
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課		
			設計年月日 平成 31年 2月		
			工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事		
			図面名称 鷹取中学校 1階荷受・配膳室外部 プラットホーム改修図(既存・改修)		
			縮尺 1/50		A-74
					No.

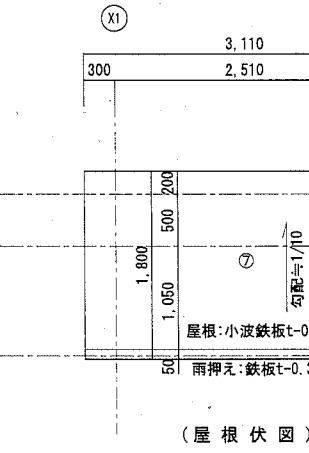
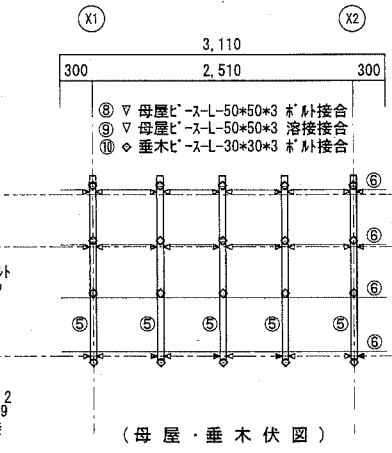
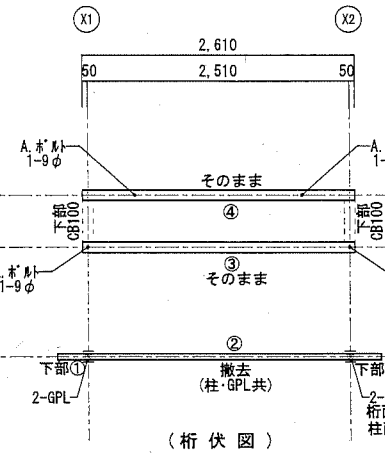
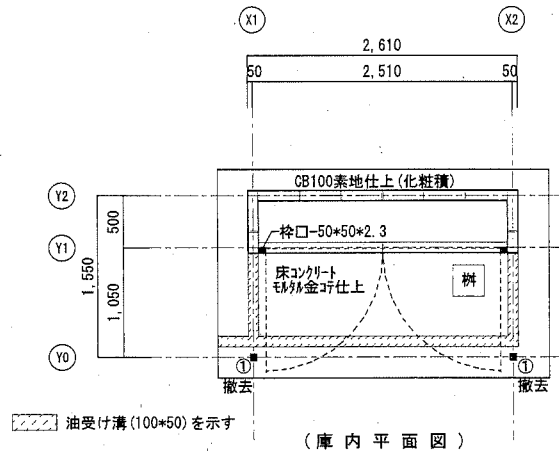


1部 撤去要領図 1/20

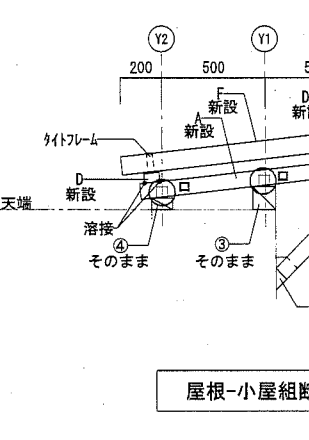
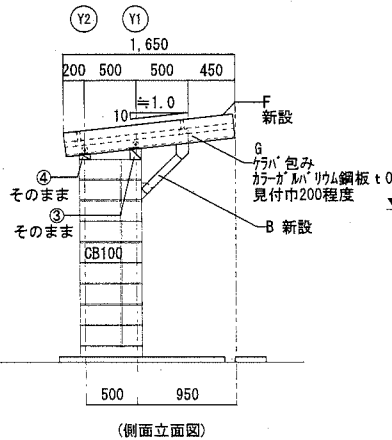
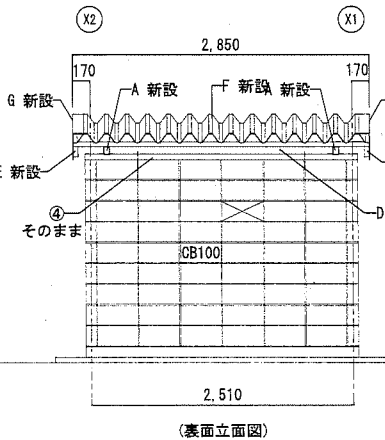
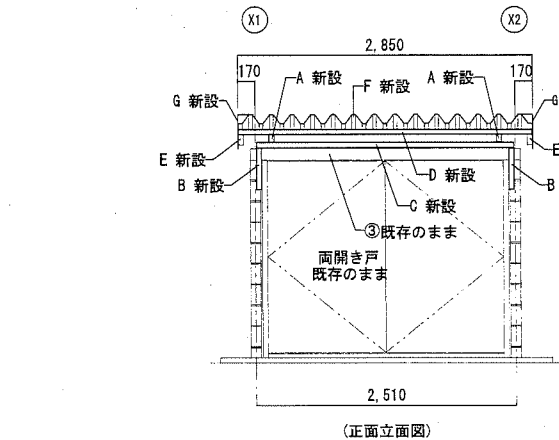
記号	部材	仕様	仕上	改修内容
①	柱	□-60*60*2.3		撤去
②	桁	□-60*60*2.3		撤去
③	桁	□-100*100*2.3	SOP塗装	撤去
④	桁	□-100*50*2.3		そのままでケレン、下地調整/上DP塗装(B種)
⑤	母屋	20-60*30*2.3		撤去
⑥	垂木	L-30*30*3		撤去
⑦	屋根	小波鉄板		撤去
⑧	母屋	L-50*50*3		撤去
⑨	母屋	L-50*50*3		撤去
⑩	垂木	L-30*30*3		撤去

⑧⑨の母屋撤去の際、③④の母材面を損傷する場合は母材面の手前で切断する

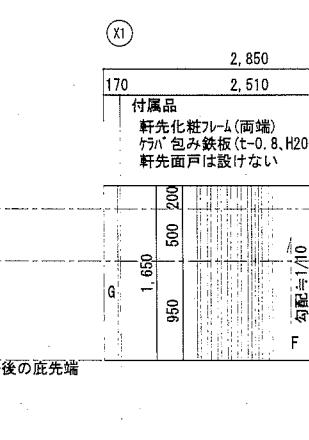
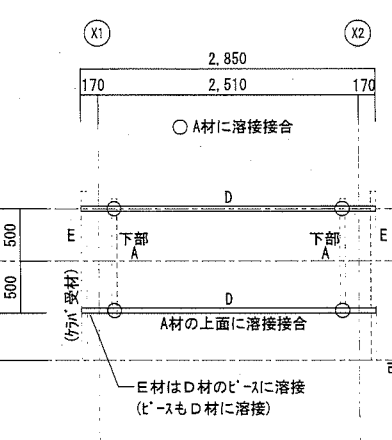
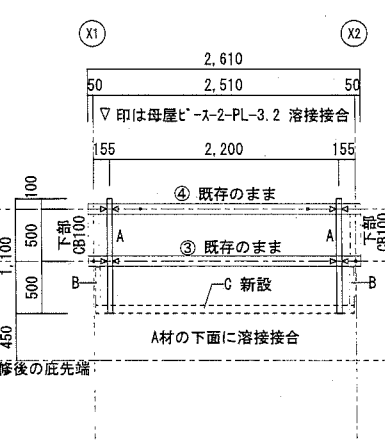
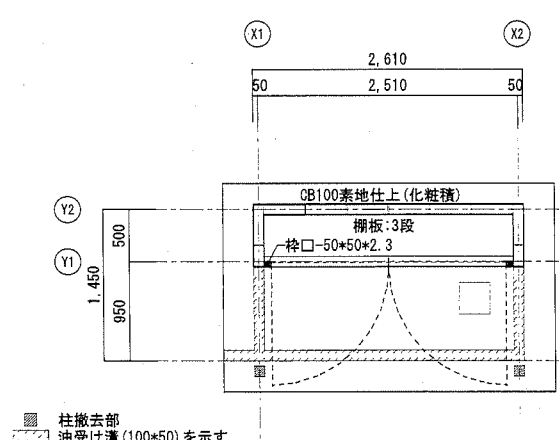
灯油庫 既存平面図 1/50



灯油庫 改修平面図 1/50



灯油庫 改修平面図 1/50



灯油庫 改修平面図 1/50

灯油庫 改修平面図 1/50

灯油庫 改修平面図 1/50

灯油庫 改修平面図 1/50

灯油庫 改修平面図 1/50

記号	部材	仕様	仕上	改修内容
③	桁	□-100*100*2.3	DP塗装	既存部材: ケレン、下地調整のうえDP塗装(B種)
④	桁	□-100*50*2.3		撤去
A	母屋	□-75*45*2.3		新設
B	方杖	□-75*45*2.3		新設
C	方杖受	□-75*45*2.3		新設
D	金物受	□-75*45*2.3		新設
E	側受	□-75*45*2.3		新設
F	屋根	折板 t=0.8 山高88	塗装品	新設
G	側板	カーガム鋼板		新設

撤去した柱の床廻りはモルタル塗にて周囲のレベルに復旧する
新設する口材の両端部の小口は全て塞ぐ

口部 母屋L-ス取付要領図 1/20

ケラバ押え・側受断面要領図 1/20

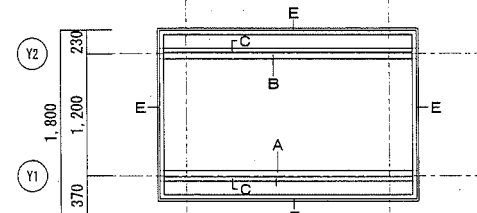
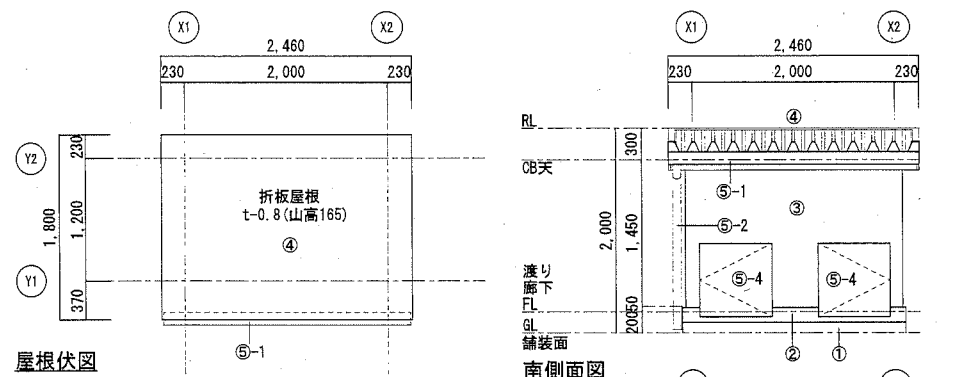
方杖・方杖受接合要領図 1/10

公共建築課長	主査等	担当者

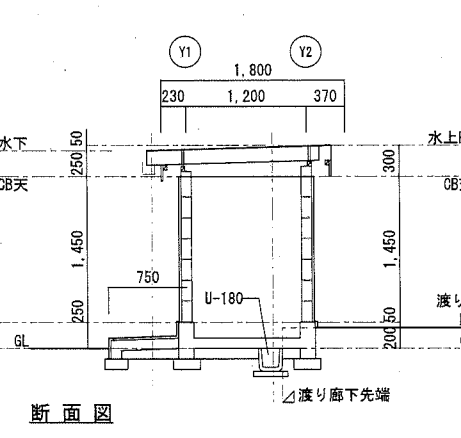
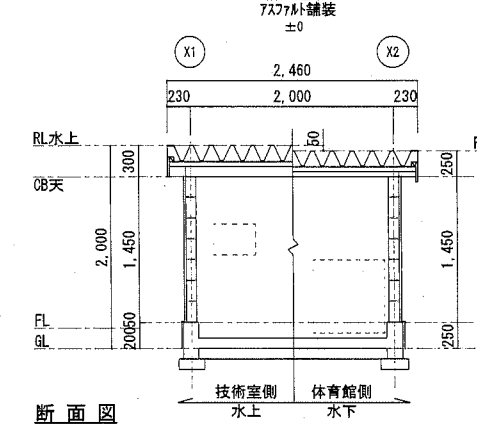
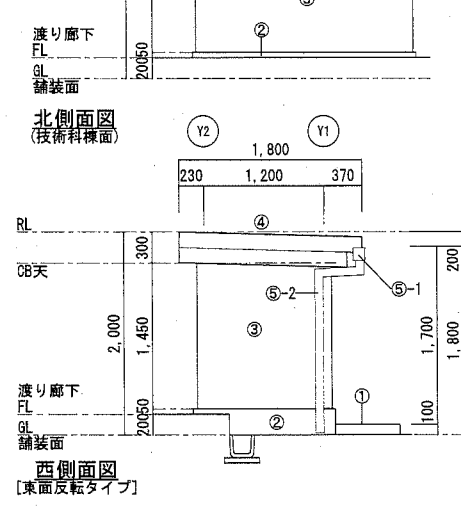
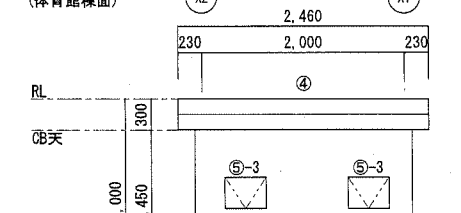
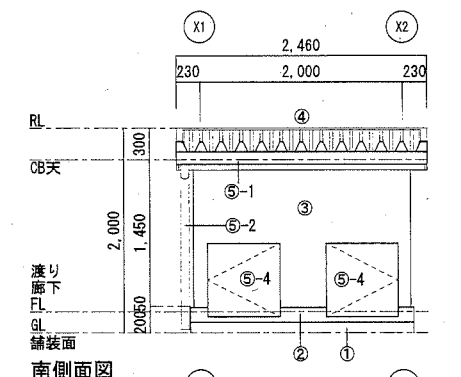
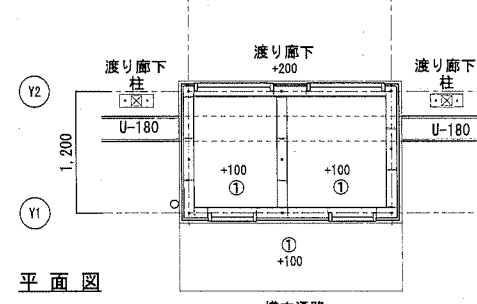
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称	鷹取中学校 灯油庫 屋根改修図(既存・改修)

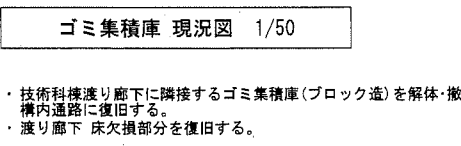
縮尺	1/50	A-75
----	------	------



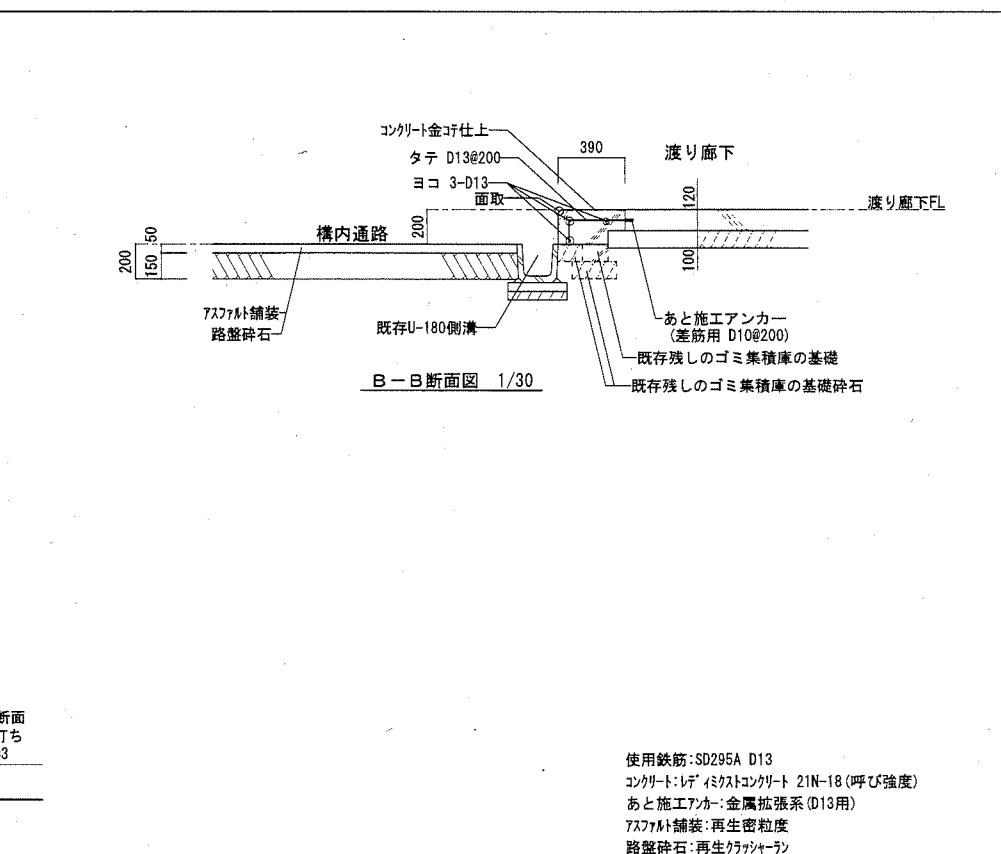
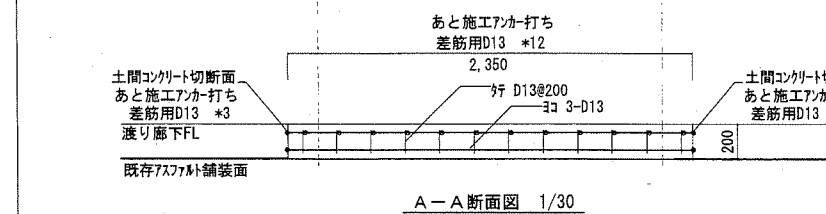
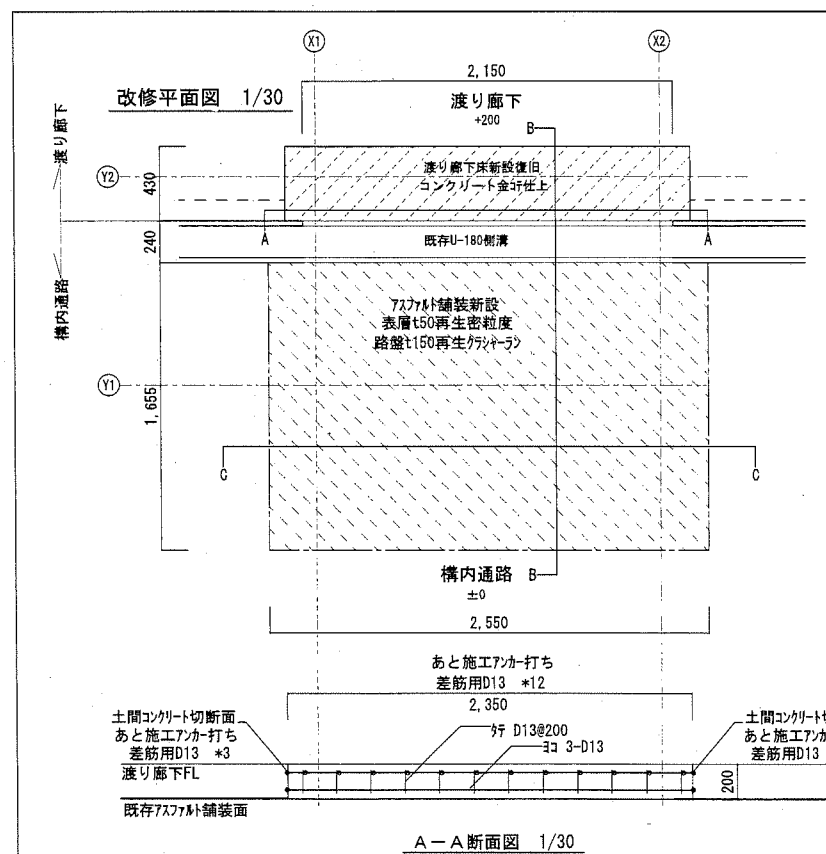
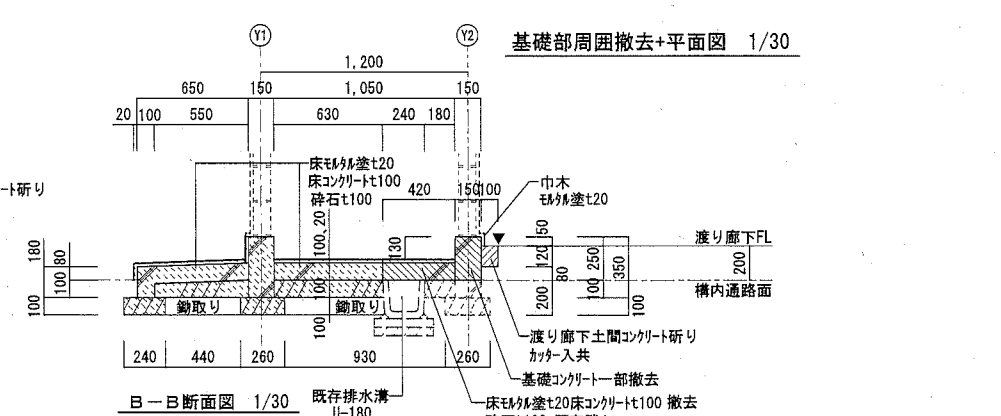
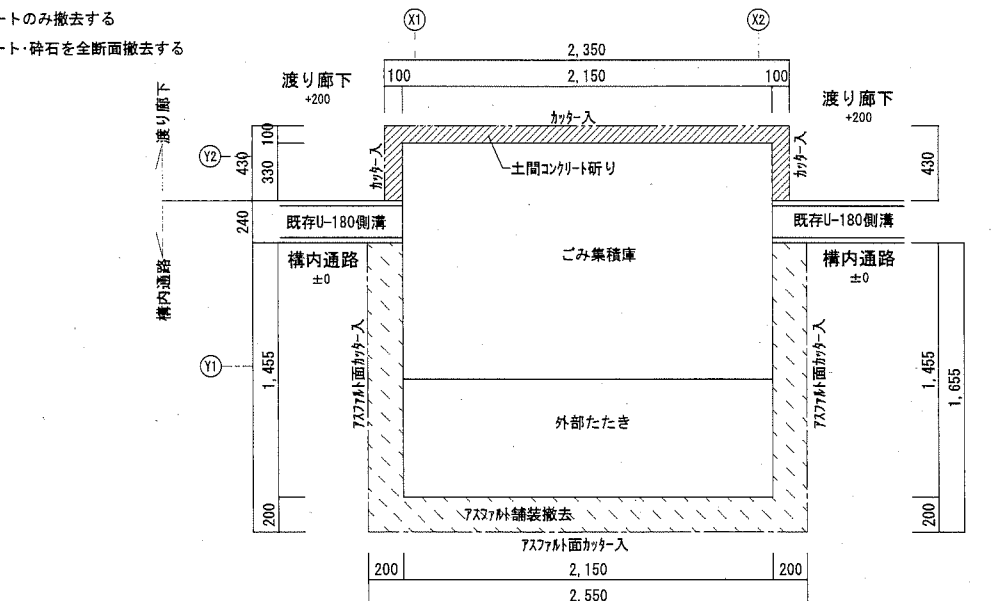
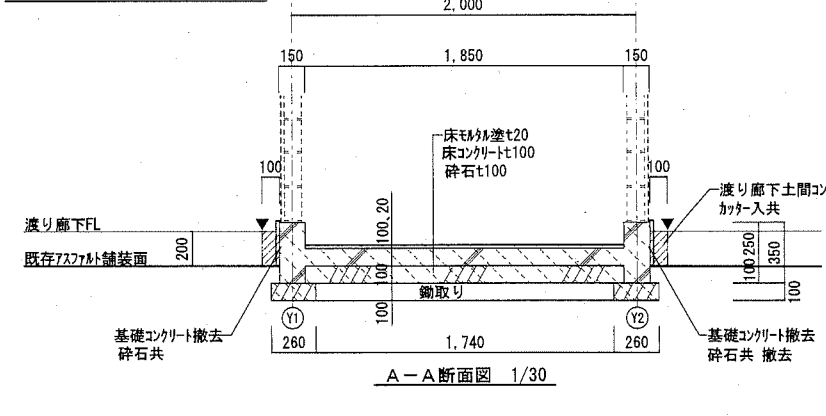
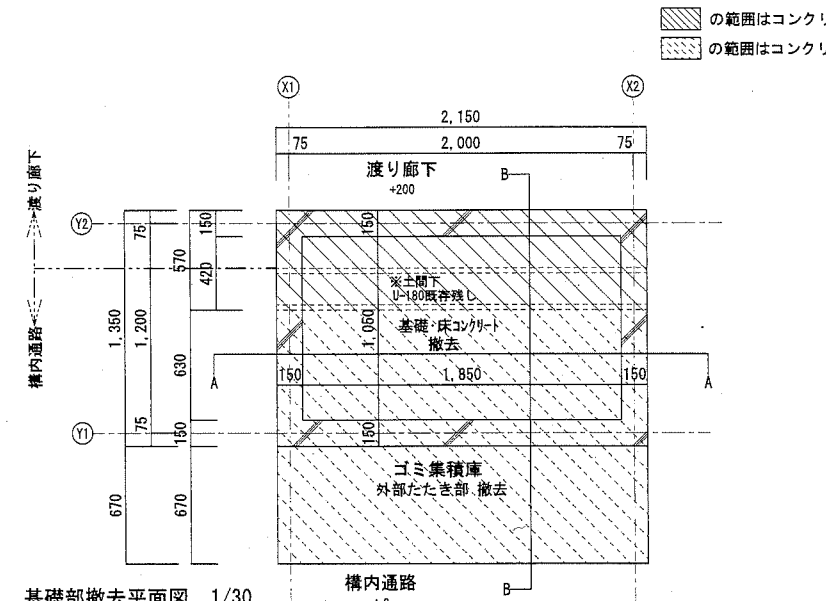
木軸小屋組部材	
記号	仕様
A	桁材1 100*100
B	桁材2 100*50
C	屋根金物受材 40*45
D	破風・ケラ 受材 40*45
E	破風・ケラ 板 200*20



ゴミ集積庫 外部仕上表		
部位	記号	仕上
たたき	①	鉄筋コンクリート、モルタル金ゴ
巾木	②	鉄筋コンクリート、モルタル金ゴ
壁	③	CB100、モルタル下地、リシン吹付
屋根	④	木軸小屋組、折板葺 (t=0.8、山高165)
備考	⑤-1	軒樋: 塩ビ製120角、支持金物: 鋼製5ヶ所
	⑤-2	堅樋: 塩ビ製75φ、支持金物: SUS製2ヶ所
	⑤-3	投入口: SUS製400*3002ヶ所、
	⑤-4	排出口: 鋼製7002ヶ所、
		内部は床のみ仕上あり (①と同仕様)



・技術科棟渡り廊下に隣接するゴミ集積庫(ブロック造)を解体・撤去し、構内通路に復旧する。
 ・渡り廊下 床欠損部分を復旧する。

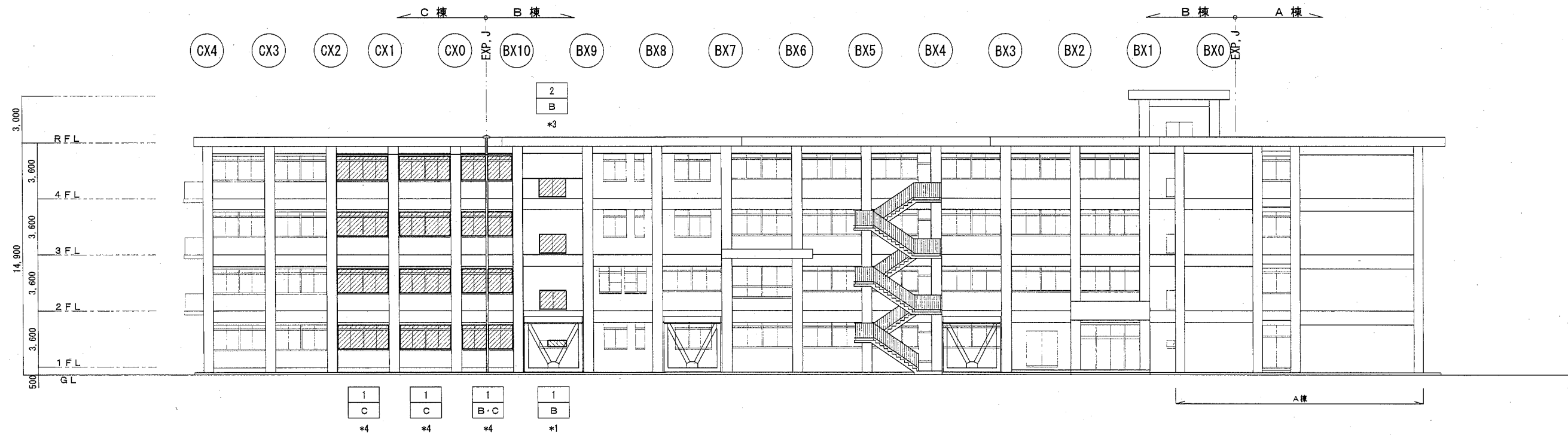


使用鉄筋: SD295A D13
 コンクリート: レーダストコンクリート 21N-18 (呼び強度)
 あと施工アンカー: 金属拡張系 (D13用)
 7x7x7mm舗装: 再生密粒度
 路盤砕石: 再生クワシャーレン

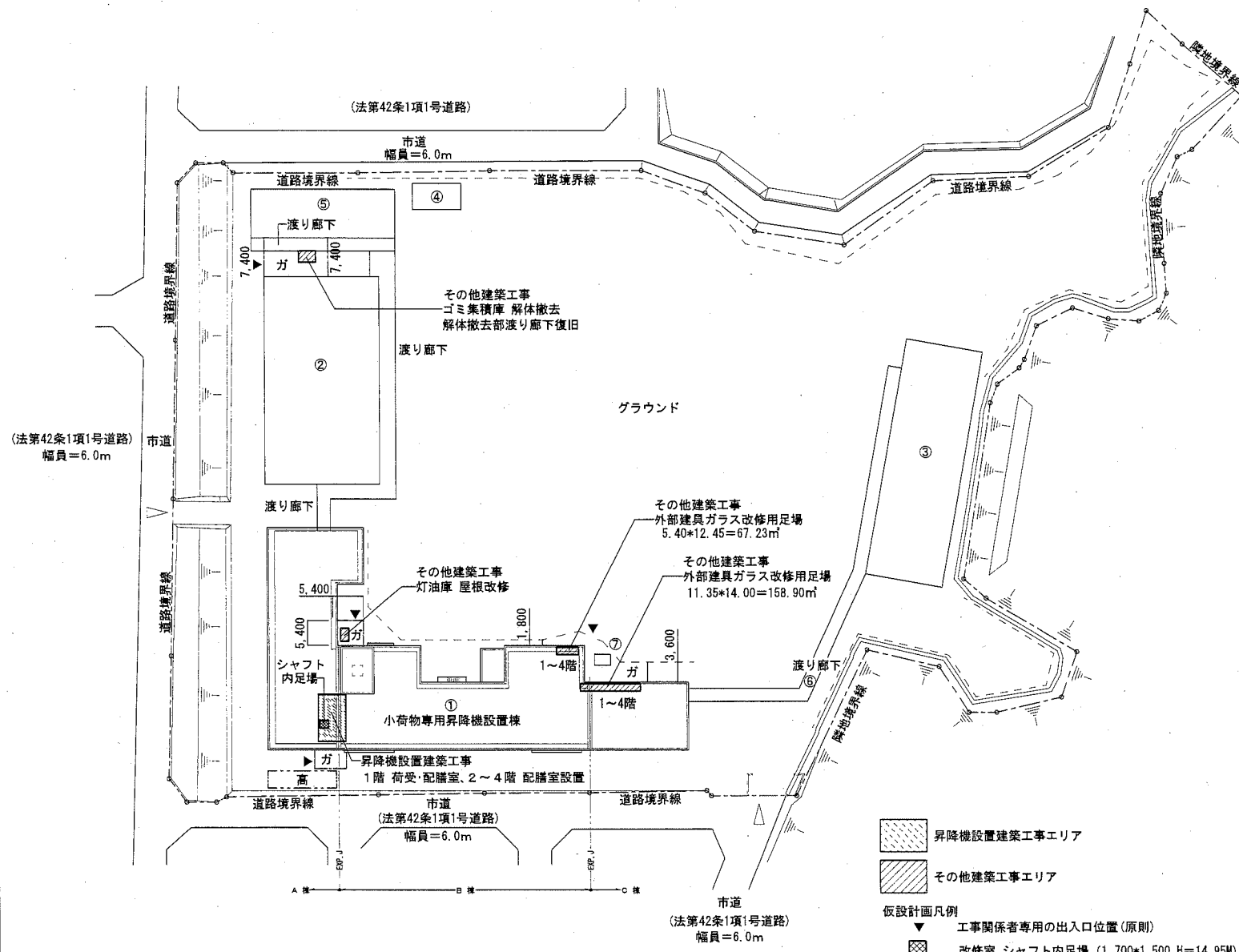
1 B	<p>網入り型板 t 6.8 → 網入り型板 t 6.8</p>		1 B・C	<p>透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8</p>	
	1.20 × 0.40 0.480 × 1	0.480 0.480		4	(1.20 + 0.245) × 1.55 × 2 4.4795 × 4
2 B	<p>透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8</p>		1 C	<p>透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8</p>	
	1.20 × 1.70 2.040 × 3	2.040 6.120		8	(1.20 + 0.245) × 1.84 × 2 5.3176 × 8

既存透明ガラスt=3.0mm撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)

既存網入り型板ガラスt=6.8mm撤去し、t=6.8mm網入り型板ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)



B・C棟 北面立面図 (既存) 1/200

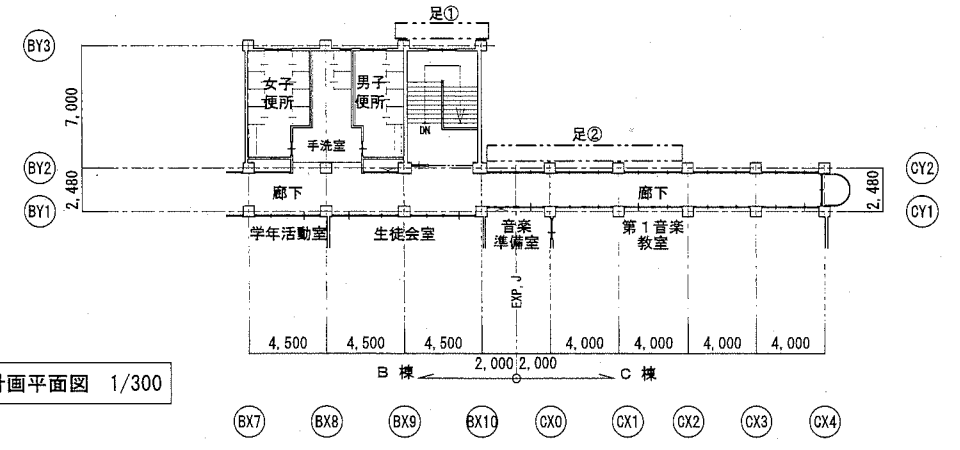


仮設全体計画図 1/800

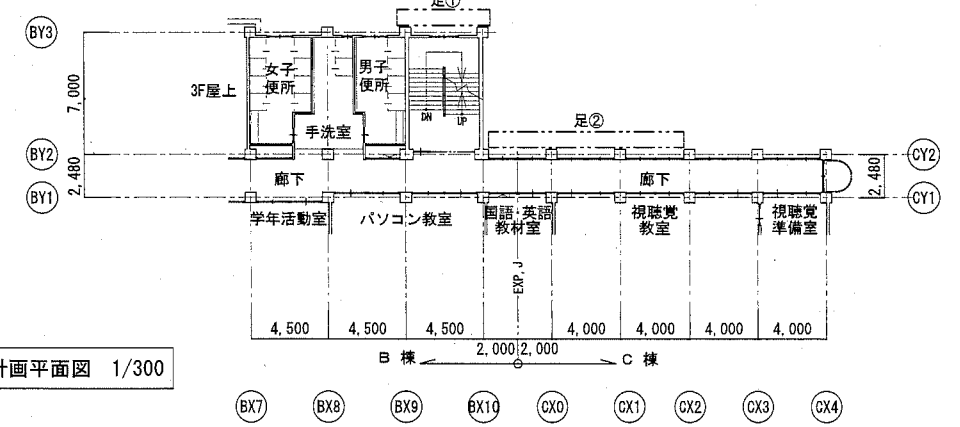
- 昇降機設置建築工事エリア
 その他建築工事エリア
- 仮設計画凡例
 ▼ 工事関係者専用の出入口位置(原則)
 ■ 改修室 シャフト内足場 (1,700×1,500 H=14.95m)
 高 改修室外部作業用 高所作業車位置 作業2日
 ガ 外部ガードフェンス設置範囲
 足①② その他工事(ガラス改修)の外部足場位置を示す
 枠組足場 W900 手摺先行方式 (足場下養生共)
- その他事項
 ・工事期間中は▼印のある外部階段を作業通路として使用する
 ・仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
 ・隣接室の床養生は通路養生程度とする

番号	建物名称
①	校舎 (昇降機設置棟)
②	体育館
③	武道館
④	体育倉庫
⑤	技術科室
⑥	渡り廊下
⑦	倉庫

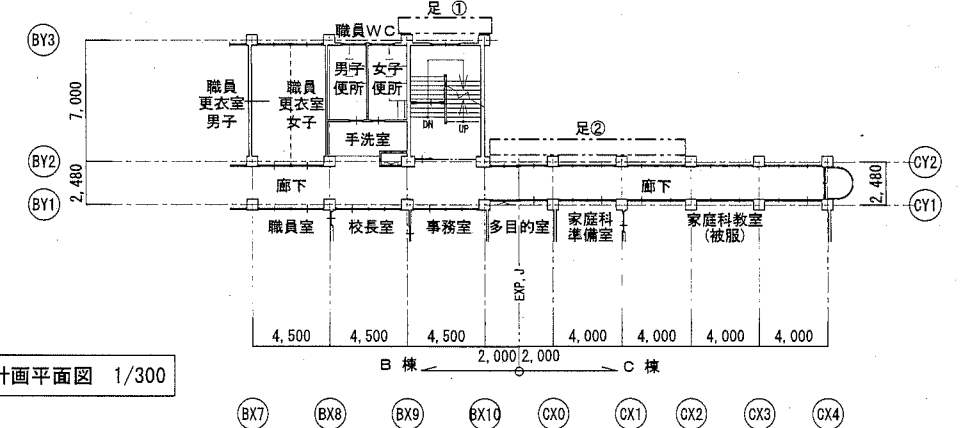
部 位	外部枠組足場 (900枠手摺り先行)
校舎B棟建具改修 (外壁開口北面BY3通り、BX9~10間 1~4階)	12.45×5.40=67.23 m ²
校舎B・C棟建具改修 (外壁開口北面BY2・CY2通りBX10~CX2間 1~4階)	14.00×11.35=158.90 m ²



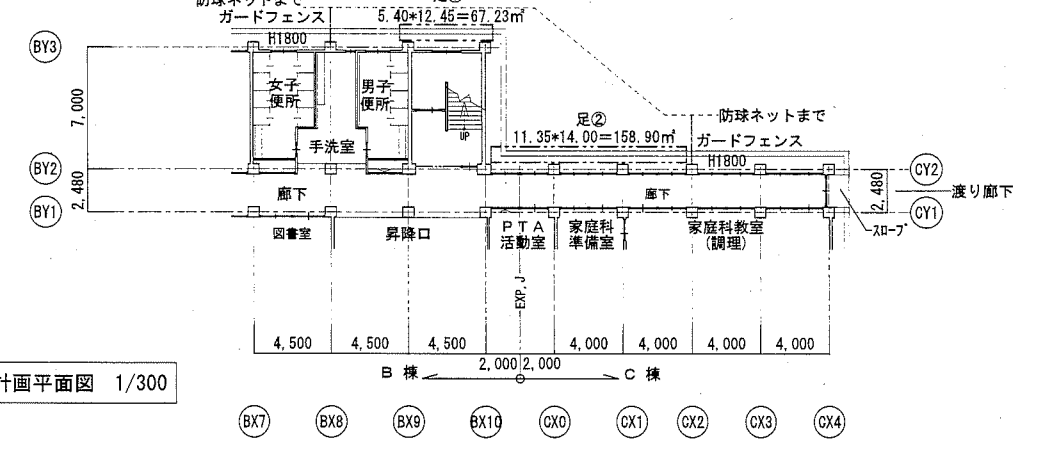
4階 仮設計画平面図 1/300



3階 仮設計画平面図 1/300

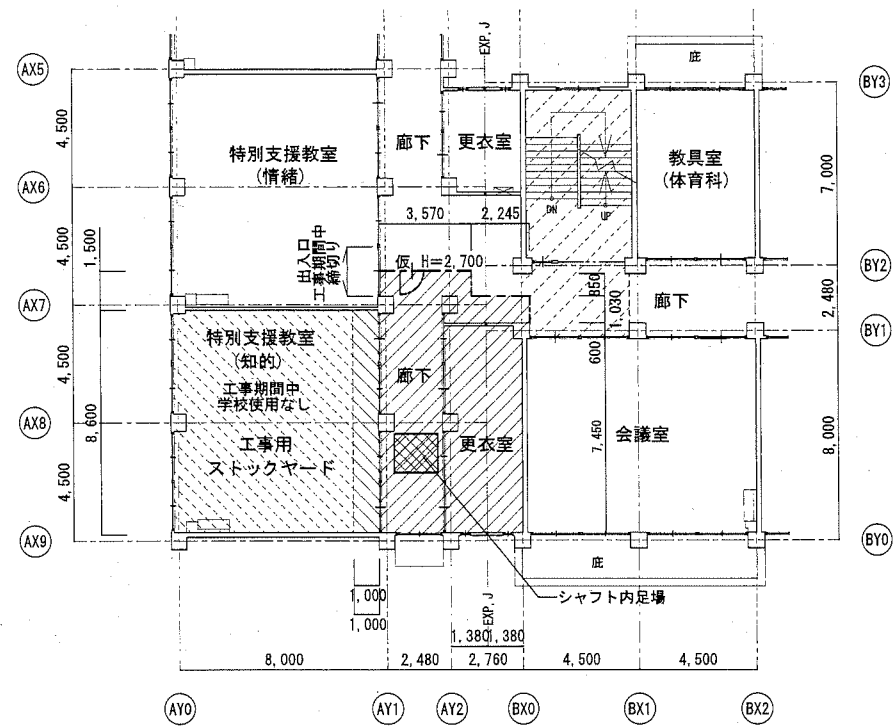


2階 仮設計画平面図 1/300

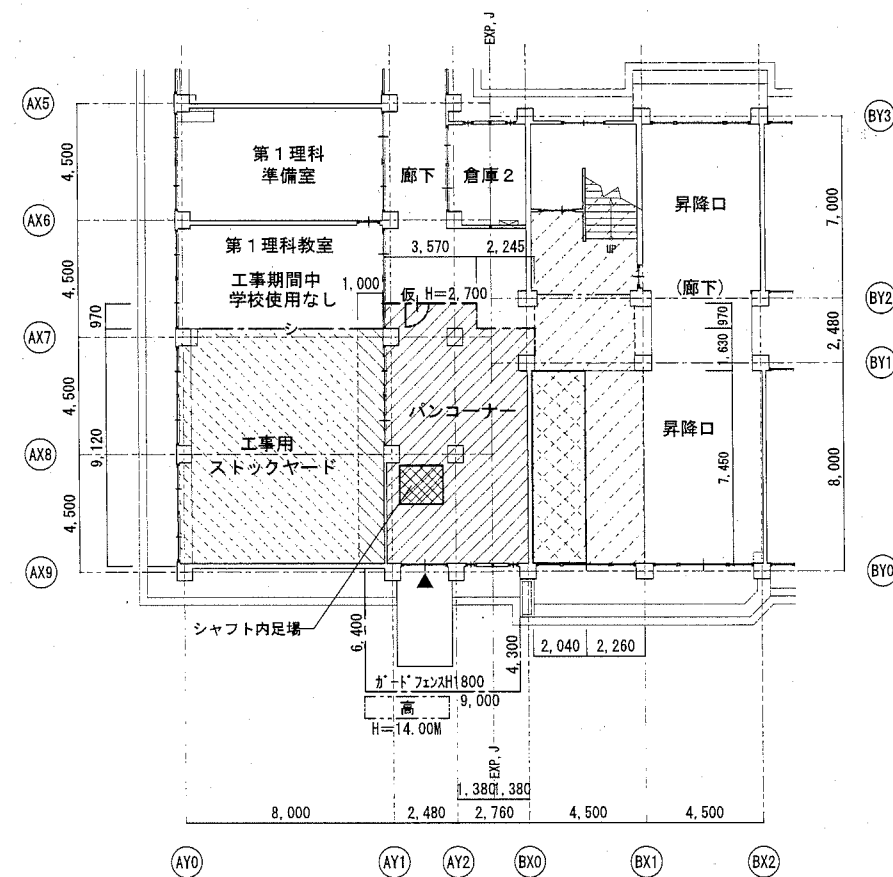


1階 仮設計画平面図 1/300

その他建築工事(外部開口部ガラス改修工事)

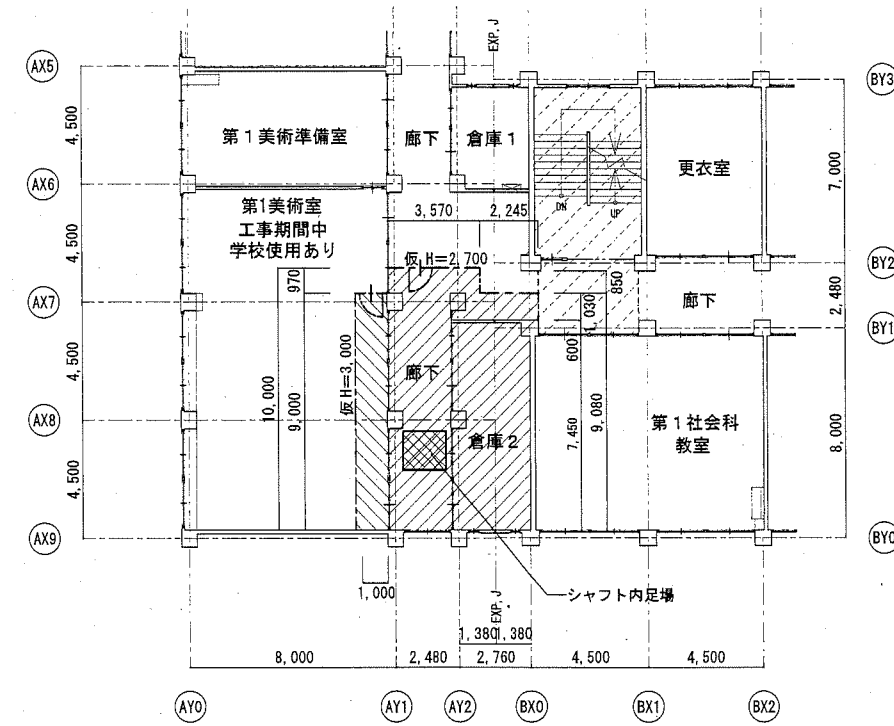


2階 仮設計画平面図 1/200

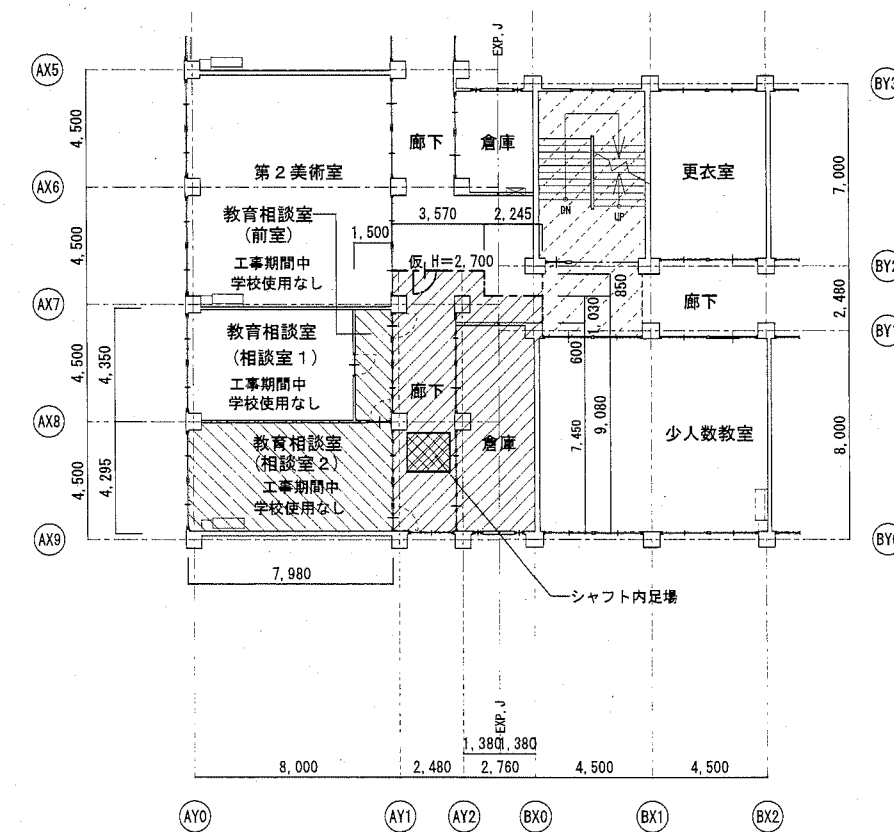


1階 仮設計画平面図 1/200

- 1階 荷受・配膳室、2～4階 配膳室の改修工事に関連するエリア 養生共
 - 同上改修工事により隣接室の付帯改修工事をするエリア 養生共
 - 工事期間中の仮設バンコナー
- 仮設計画凡例
- ▼ 工事関係者専用の出入口位置 (原則)
 - 改修室 シャフト内足場 (1,700*1,500 H=14.95M)
 - 仮設間仕切り (E種) 各階 廊下 H=2,700 4階 第1美術室 H=3,000
 - 改修室外部作業用 高所作業車位置 作業2日
 - 外部ガードフェンス設置範囲
 - シート等による幕状養生 H=3,000
 - 床養生 (通路)
 - 床養生 (隣接室 工事中ストックヤード)
- その他事項
- ・工事期間中は▼印のある外部階段を作業通路として使用する
 - ・仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
 - ・隣接室の床養生は通路養生程度とする



4階 仮設計画平面図 1/200



3階 仮設計画平面図 1/200

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(2) 工事種別 新築
(3) 構造設計一級建築士の関与
(4) 構造種別
(5) 階数
(6) 主要用途
(7) 屋上付高物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用構造材料

Table with columns for material type (e.g., concrete, steel), strength, and specifications. Includes sections for concrete blocks and reinforcement.

- (2) コンクリートブロック
(3) 鉄筋
(4) 鉄骨

Table detailing reinforcement specifications, including bar types, diameters, and lap lengths.

Table detailing steel specifications, including grades, thicknesses, and surface treatments.

Table detailing bolt specifications, including grades, diameters, and types.

Table detailing formwork specifications, including types and materials.

3. 地盤・地盤説明書

- (1) 地盤調査資料
(2) ボーリング標準貫入値、土質構成

Table for soil investigation data with columns for investigation items and results.

注) 上記表中の資料があるもの、調査計画があるものに○を記入する。

Large table for borehole data, including depth, soil type, and standard penetration test results.

注) 地盤調査及び試験の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
(2) 地盤改良
(3) 杭基礎

Table detailing foundation types, materials, and construction methods.

Table detailing pile foundation specifications, including pile type, diameter, and length.

Table detailing ground improvement methods and their specifications.

5. 鉄筋コンクリート工事・施工方法等計画書

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計強度(Fc)が 38 N/mm以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

- (1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 型枠

Table detailing reinforcement construction methods and specifications.

Table detailing formwork specifications, including material and construction methods.

注) 1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 2) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

Table detailing formwork specifications, including material and construction methods.

Table detailing formwork specifications, including material and construction methods.

- 注) 1) 片持ばり、底、スパン0.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2) 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。
注) 3) 支柱の盛りかえは、必ず重上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
注) 6) 重上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7) 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
(3) 工事監理者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査

Table detailing inspection methods and standards for steel work.

注) 1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 2) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 3) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 4) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 5) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 6) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 7) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 8) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 9) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 10) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 11) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 12) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 13) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 14) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 15) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

注) 16) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う事。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 - d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 - @...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材間の内法高さ
 - ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S. HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS5(2003)による

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の寸法	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)

折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同様に打ち込み形およびL形断面のヤングタイプにのみ用いる。
※片持スラブ、L配筋の先端

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A, SD295B SD345	16φ以下 D16 19φ以上	3d以上 4d以上
	筋記以外の鉄	SD295A, SD295B SD345 SD390	D16以下 D19-D25 D29-D41	4d以上 5d以上 5d以上

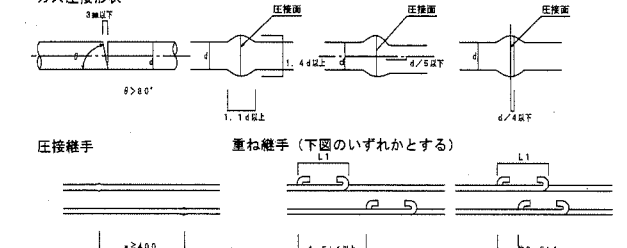
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、経典コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3)		
SR235	21, 24	35φフック付き	25φフック付き	150mmフック付き	35φフック付き
		18φ以下	45φフック付き		45φフック付き
SD295A	27~36	30φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	25φまたは30φまたは35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	10dかつ150mm以上	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
		21, 24	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ		40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
SD295B	27~36	30φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	25φまたは30φまたは35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	10dかつ150mm以上	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
		21, 24	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ		40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
SD345	18φ以下	35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	25φまたは30φまたは35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	10dかつ150mm以上	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
		27~36	35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ		40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
SD390	21, 24	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	25φまたは30φまたは35φまたは40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ	10dかつ150mm以上	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ
		27~36	40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ		40φまたは45φまたは50φまたは55φまたは60φまたは65φまたは70φまたは75φまたは80φまたは85φまたは90φまたは95φまたは100φ

(注) 許容応力度計算、許容応力度等価計算、(ルート1)、その他構造計算を要さない規模建築物の場合は、定着長さの短縮は40φとする

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

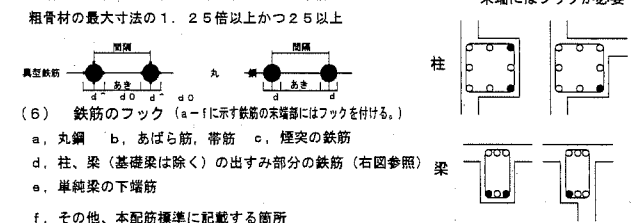


(4) かぶり厚さ(単位:mm)

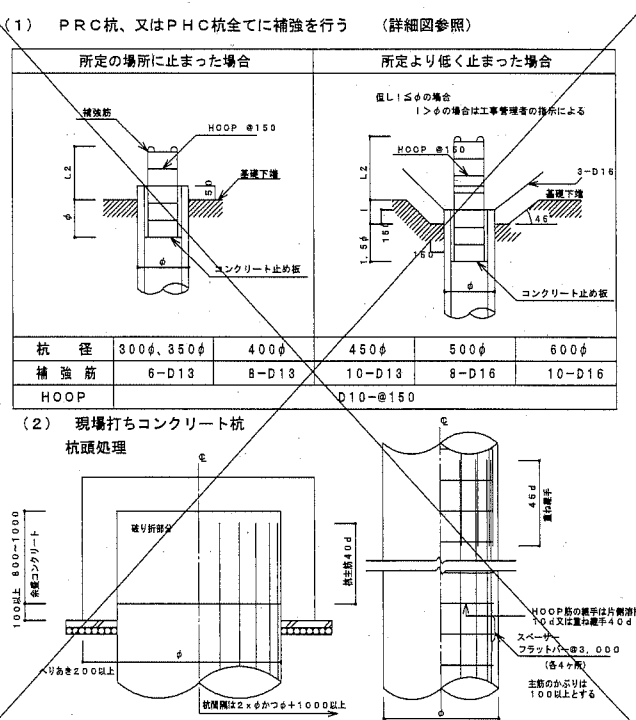
部位	設計かぶり厚さ(単位:mm)	設計かぶり厚さ(単位:mm)		
		最小	最大	
土に接しない部分	圧力	縦筋	30	20
		横筋	40	30
土に接する部分	圧力	縦筋	40	30
		横筋	50	40
土に接する部分	柱・はり・スラブ・耐力壁	縦筋	50	40
		横筋	70	60

※ 鉄基礎の場合のかぶり厚さは鉄基礎からとする。

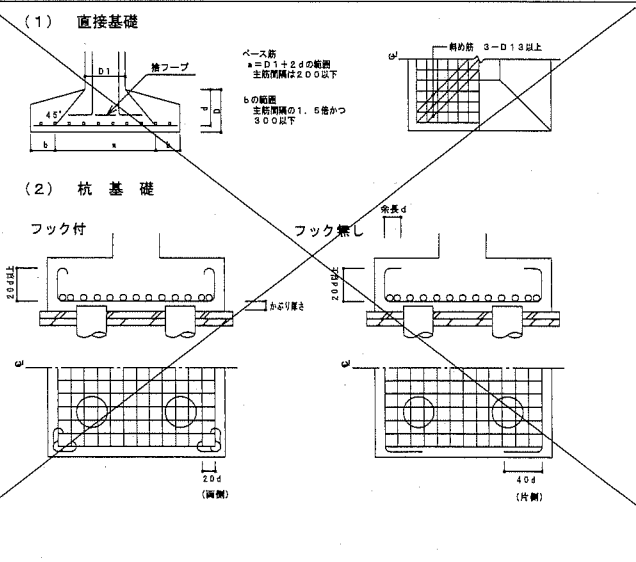
3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)



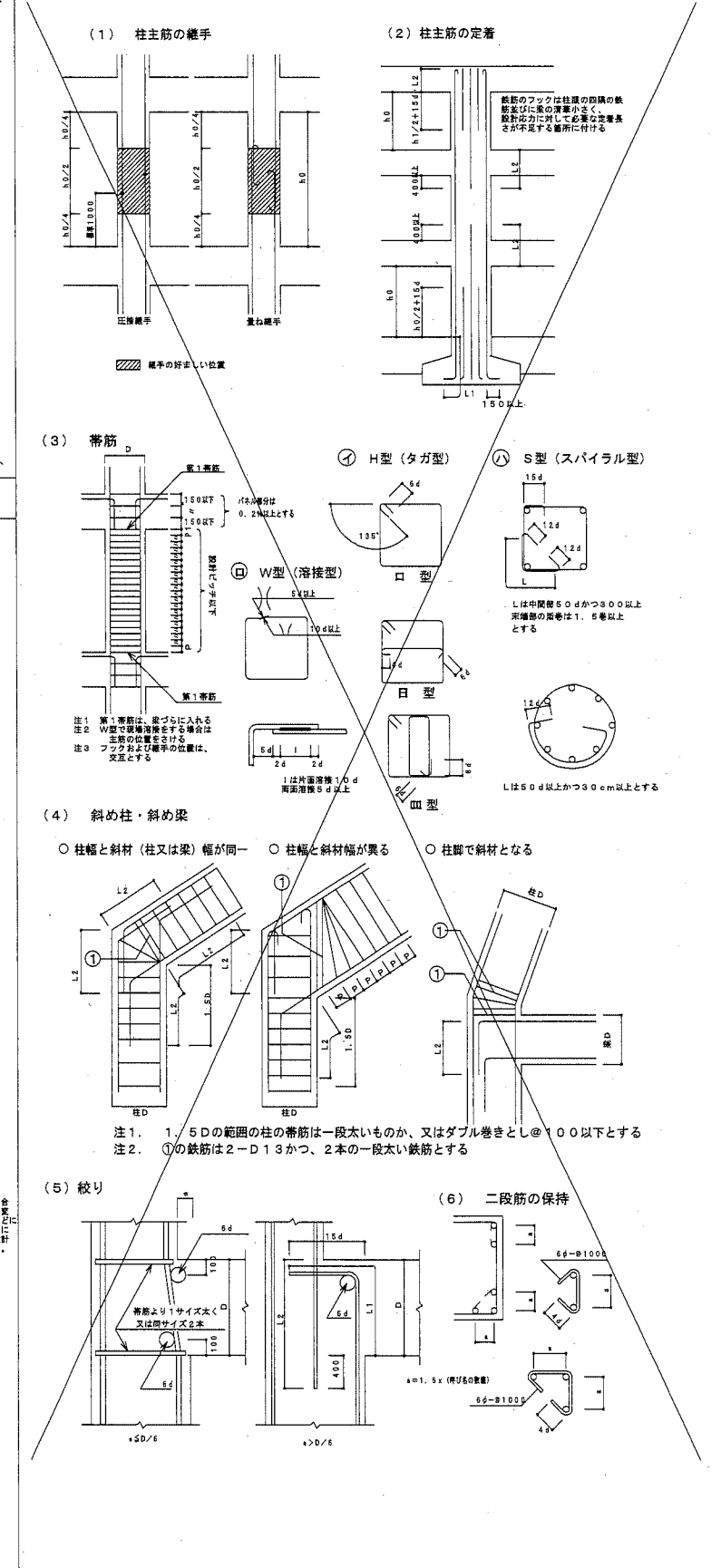
4. 基礎



5. 地中梁



6. 柱

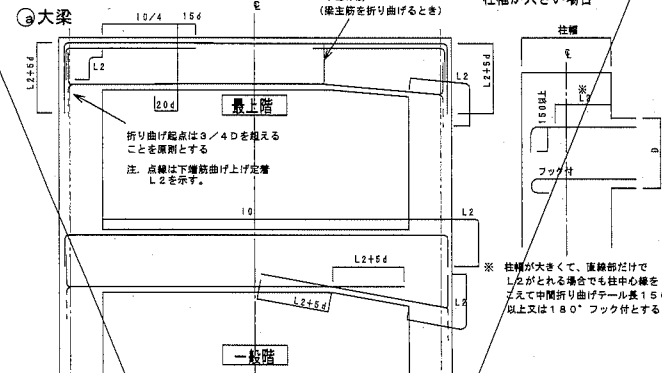


鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

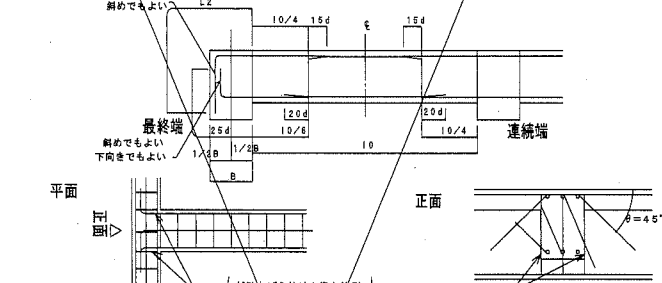
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

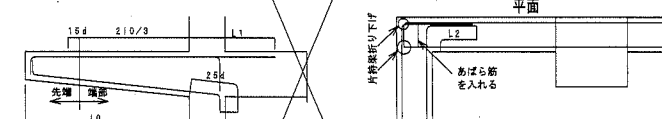
(1) 定着



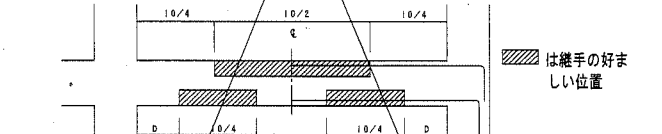
(2) 小梁の定着



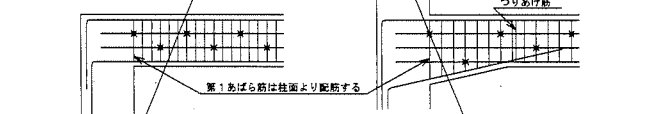
(3) 片持梁の定着



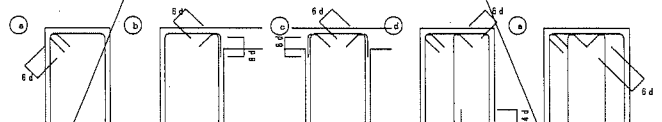
(4) 大梁主筋の継手



(5) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(6) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)



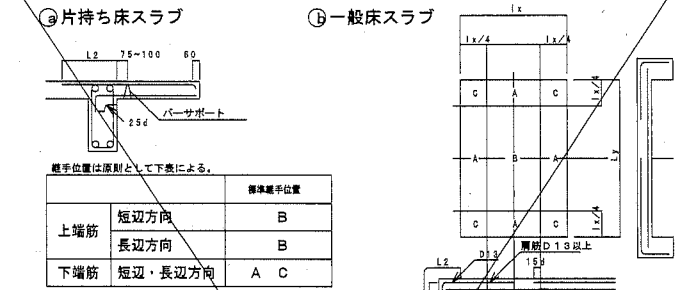
- (イ) 原則として (a) のフック先曲げとする。片側床版付 (L型) 梁で (b)、両側床版付 (T型) 梁で (c) または (d) とすることができる。
- (ロ) フックの位置は (a) にあっては交互、(b) 似合ってはスラブ側とする。

(7) 幅止め筋の本数、加工

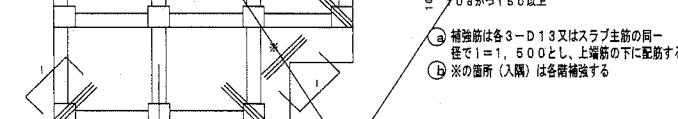
幅止め筋	D < 600 不要
腹筋	800 ≤ D < 900 2-D10 (9φ) 1段
	900 ≤ D < 1200 4-D10 (9φ) 2段
	1200 ≤ D D10 (9φ) @300以内
幅止め筋	D10 (9φ) @1000位内で割り付ける

8. 床板

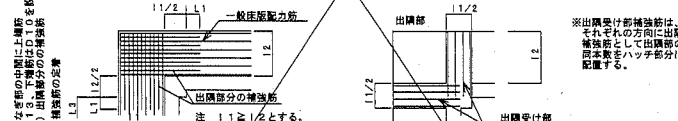
(1) 定着および継手



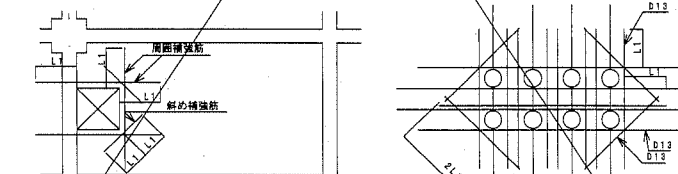
(2) 屋根スラブの補強



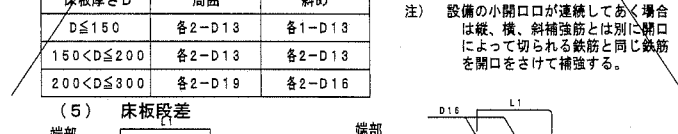
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



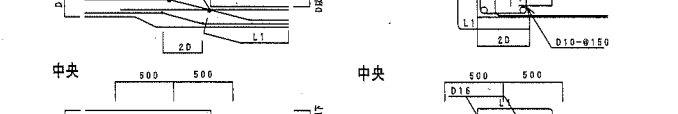
(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)



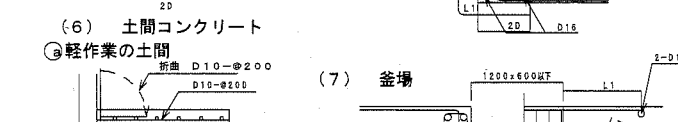
(5) 床板段差



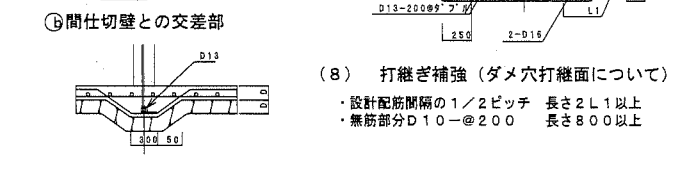
(6) 土間コンクリート



(7) 金場

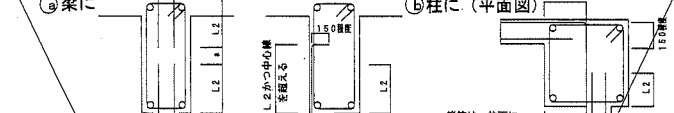


(8) 間仕切壁との交差部



9. 壁

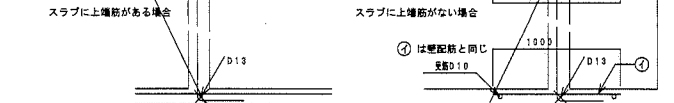
(1) 定着



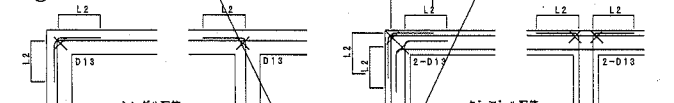
(2) 梁に



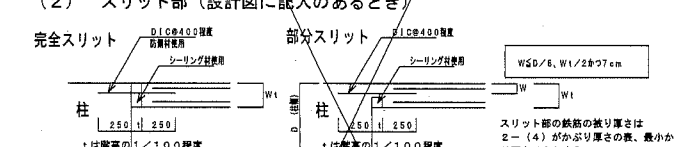
(3) 床に



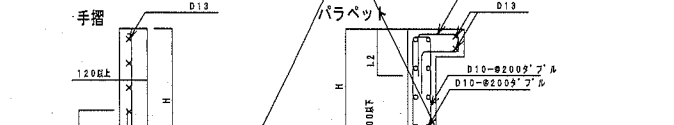
(4) 壁と壁 (平面図)



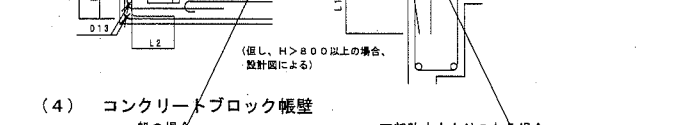
(5) スリット部 (設計図に記入のあるとき)



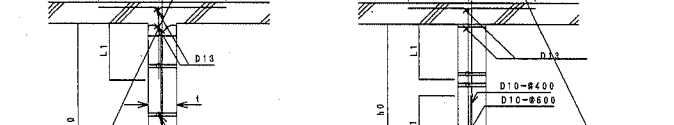
(6) 手摺、パラベット



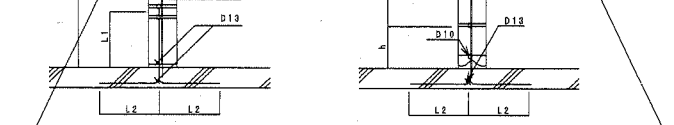
(7) コンクリートブロック縦壁



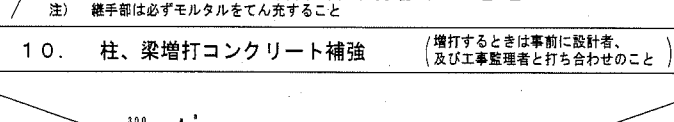
(8) 一般の場合



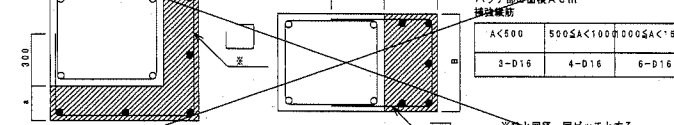
(9) 下部防水立上りのある場合



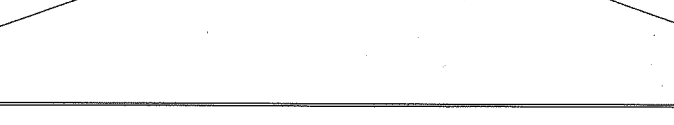
(10) 柱、梁増打コンクリート補強



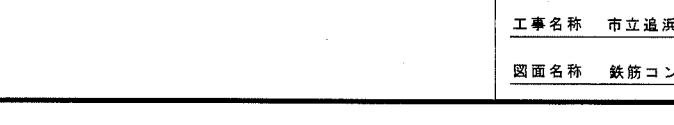
(11) 柱、梁



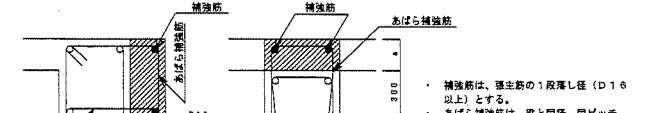
(12) 地中梁



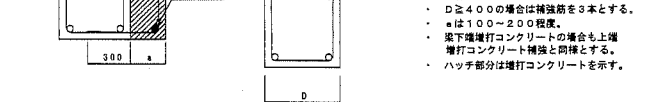
(13) 床版、壁



10. 梁貫通孔補強



(1) 設置可能範囲



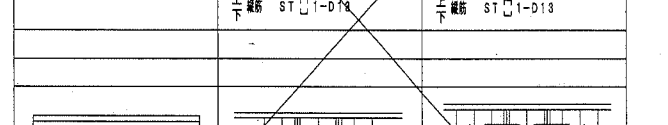
(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ ≤ D/3 とする

80 ≤ φ ≤ 100 折筋 2-D13 (上下)	100 ≤ φ ≤ 150 折筋 2-D13 (上下) 横筋 ST-3×D-D13-100φ	150 ≤ φ ≤ 250 折筋 2-D13 (上下) 横筋 ST-3×D-D13-100φ 上下筋 ST-Q1-D13
-------------------------------	--	---

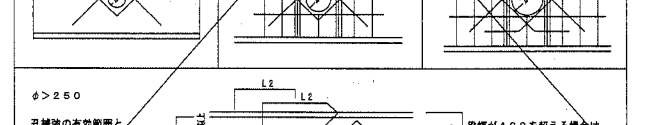
(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

- 既製品を使用し 認定既製品を使用し個別検討を行う
- リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

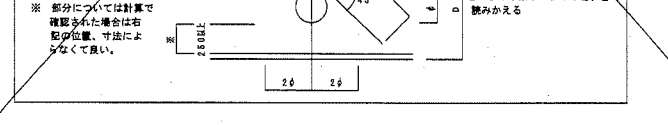
(4) 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕切り部は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して設置する)



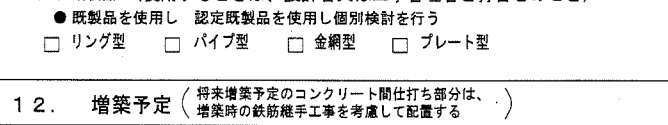
(5) 柱、梁



(6) 地中梁



(7) 床版、壁



鉄骨構造標準図 (1)

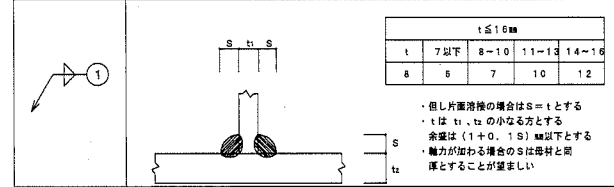
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って、「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本構に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機 1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- 仮付不良 良 仮付不良 良
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- 裏はつり側 裏はつり側にする。 開先面
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
- NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ 半径は30~35mmと、1.0mmのダブルールとする
- 1) スカラップ工法
- 2) ノンスカラップ工法
- (ニ) 裏はつり
- 標準図の溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監督者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

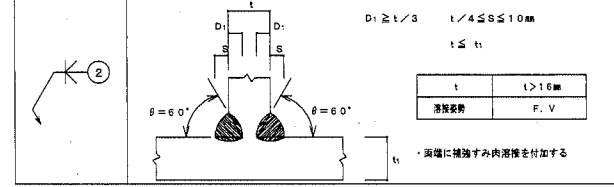
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 開長 (単位 mm)

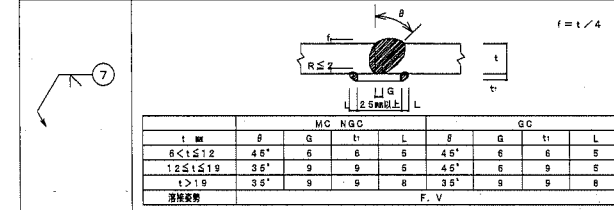
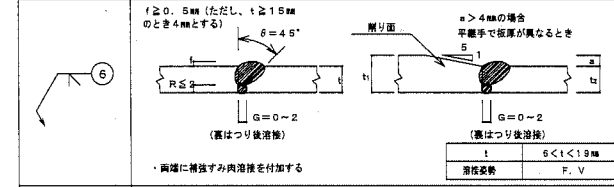
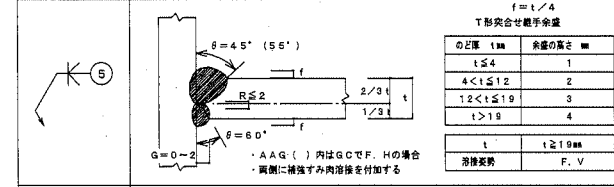
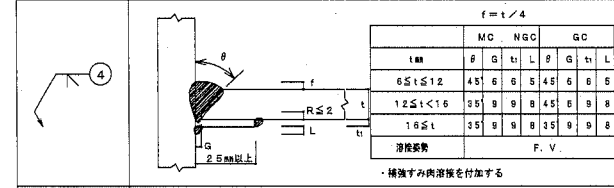
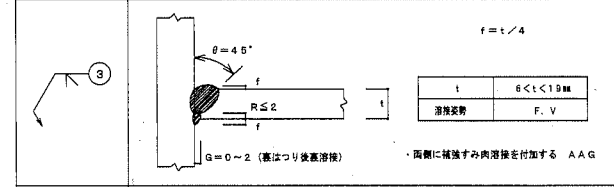
(1) スミ肉溶接



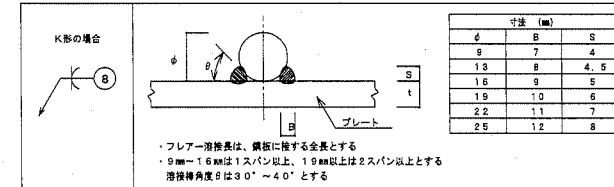
(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所に注意)



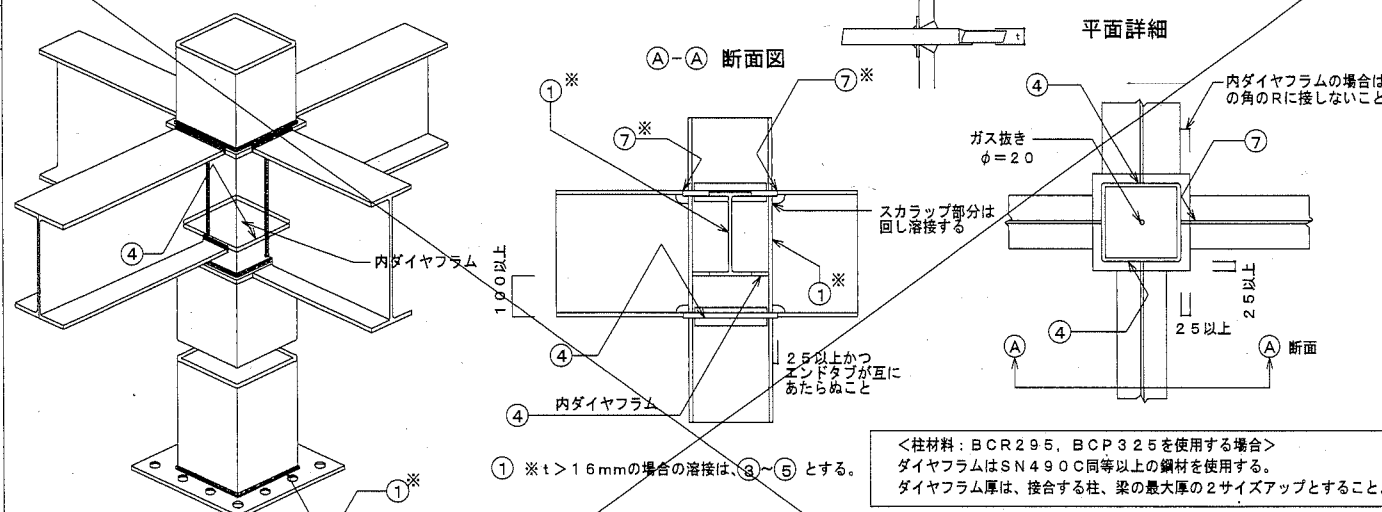
(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)



(4) フレア溶接



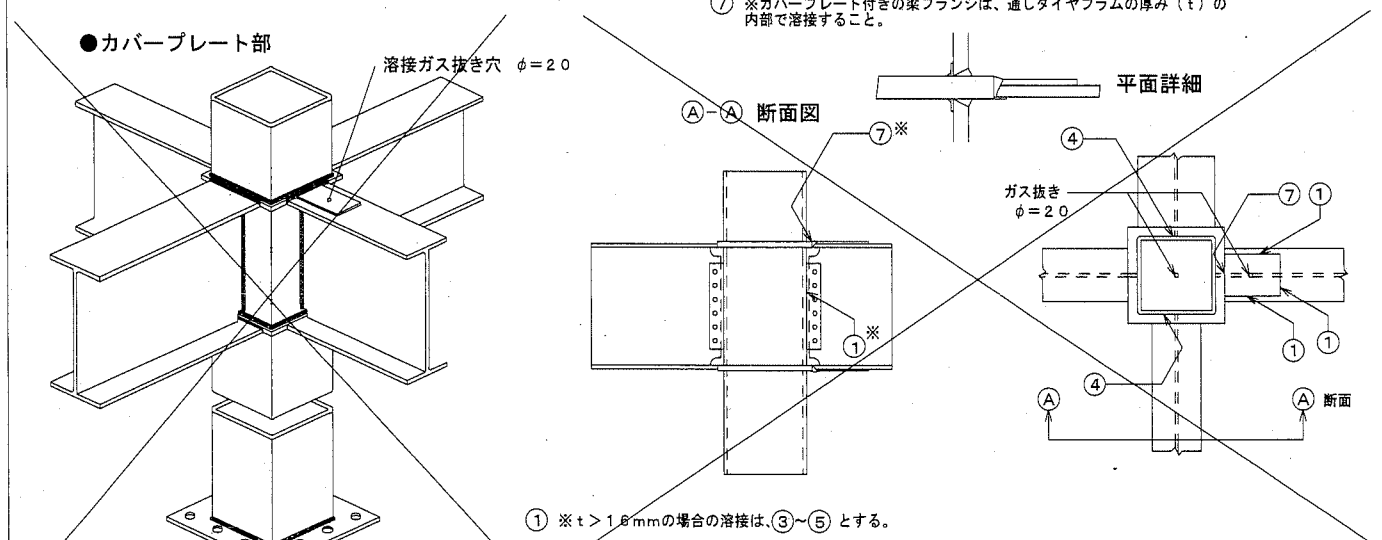
●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N級鋼	JISZ 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JISZ 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

●カバープレート部



◎カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項

カバープレート付き大梁の現場溶接について従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。

本溶接→[検査] (欠陥なし) →カバープレート取り付け→カバープレート部溶接→[検査] (欠陥なし) →終了

「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。

鉄骨構造標準図 (2)

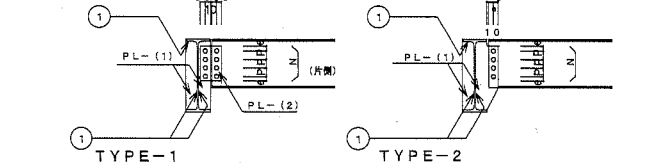
3. 継手標準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	30	45	70

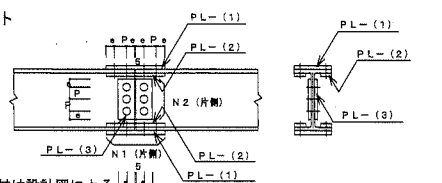
【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ビン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		断面表に依る			

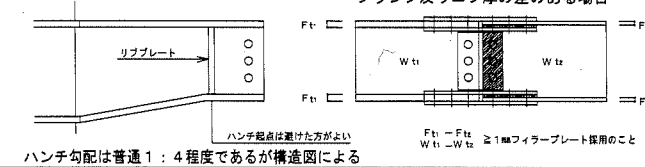
(3) 梁鋼接合継手リスト (SCSS-H97による)



【注】 端部をBHとする場合の部材は設計図による

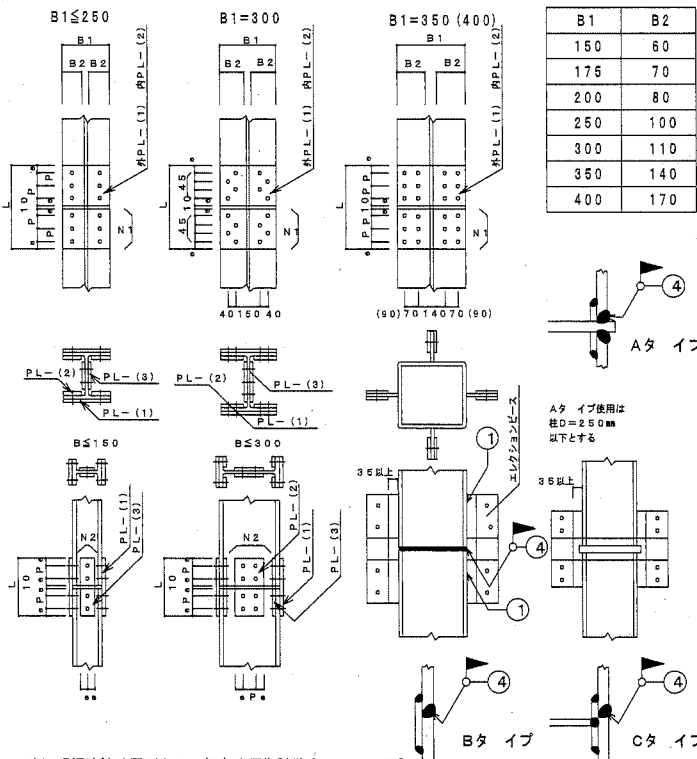
符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通 1 : 4 程度であるが構造図による

(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



【注】 現場溶接は原則として超音波深透試験を100%行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JISA5540~5542…1982)

(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大 10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小 10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじ長さ S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径許容差 ±0.5mm R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小) (2) Ø1	35	40	45	50	50	55	50
切板製							
へりあき (最小) (1) Ø2	22	28	28	34	34	38	38
板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製							
へりあき (最小) (1) Ø2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小) Ø3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小) l	40	50	55	60	75	85	85

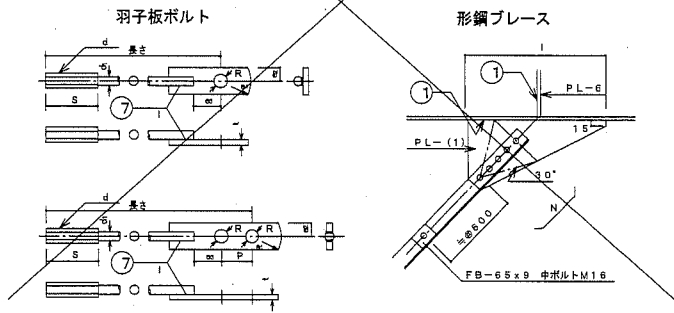
(2) 種類 JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9

取付ボルト	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数	1	1	1	1	1	1	2

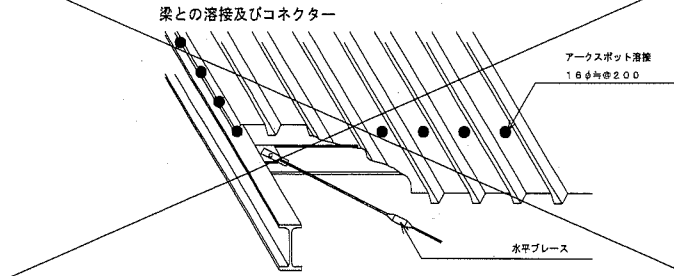
【注】 (1) Ø1, Ø2 が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

(b) 形鋼ブレース

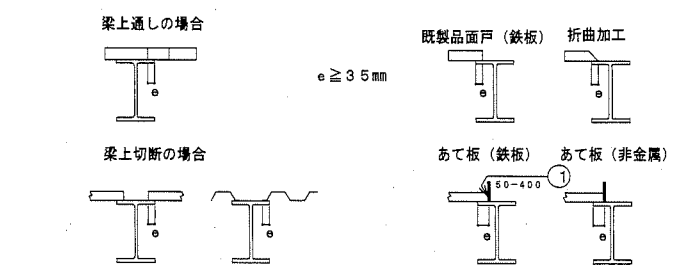
符号	部材	PL-(1)	N-径	I



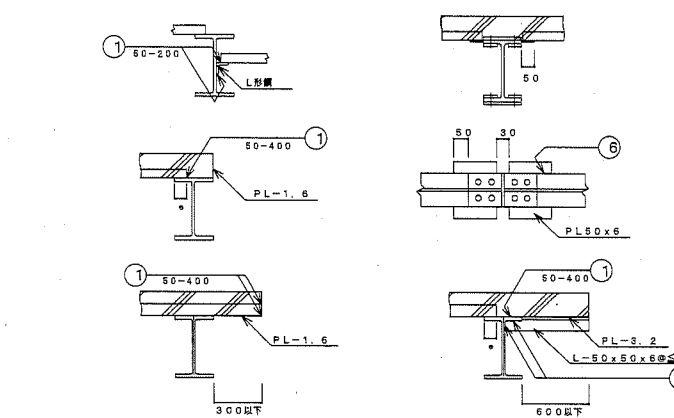
(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



受梁へのかかり寸法および端部処理

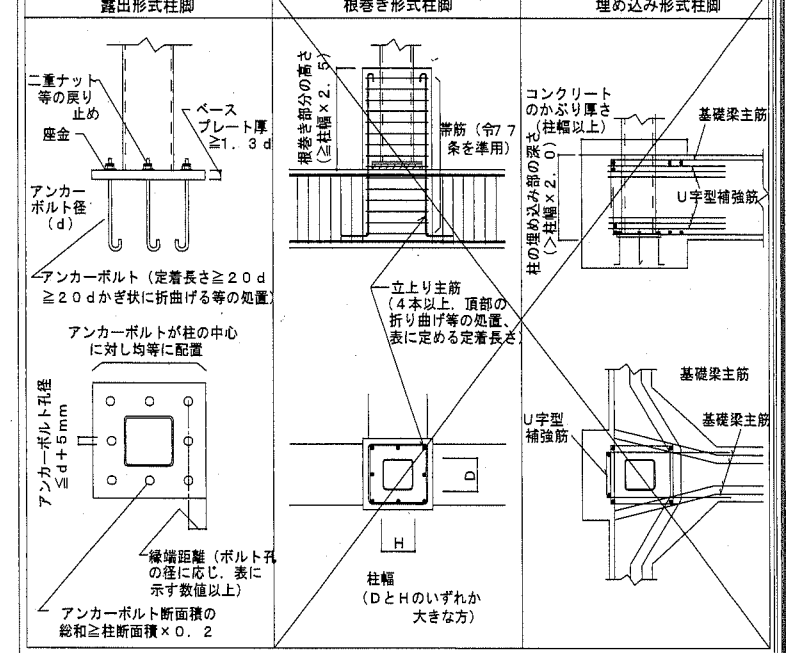


スラブ端部の補足材

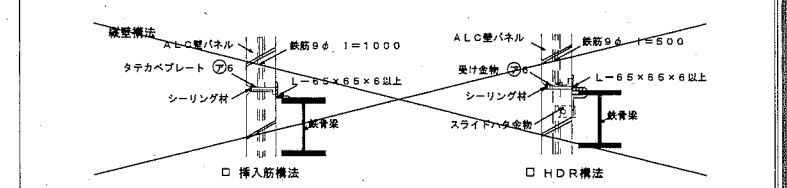


(8) 柱脚

【注】 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



(9) ALC板取付要領は、図面番号S-09 (縦壁HDR構法) 標準図による

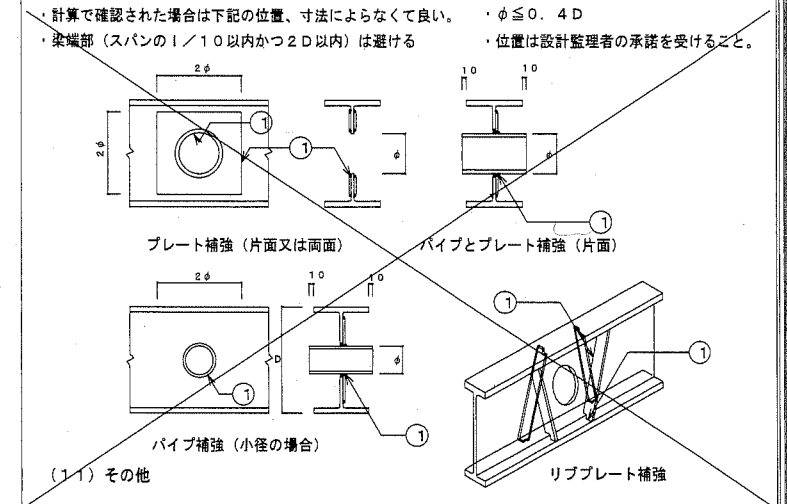


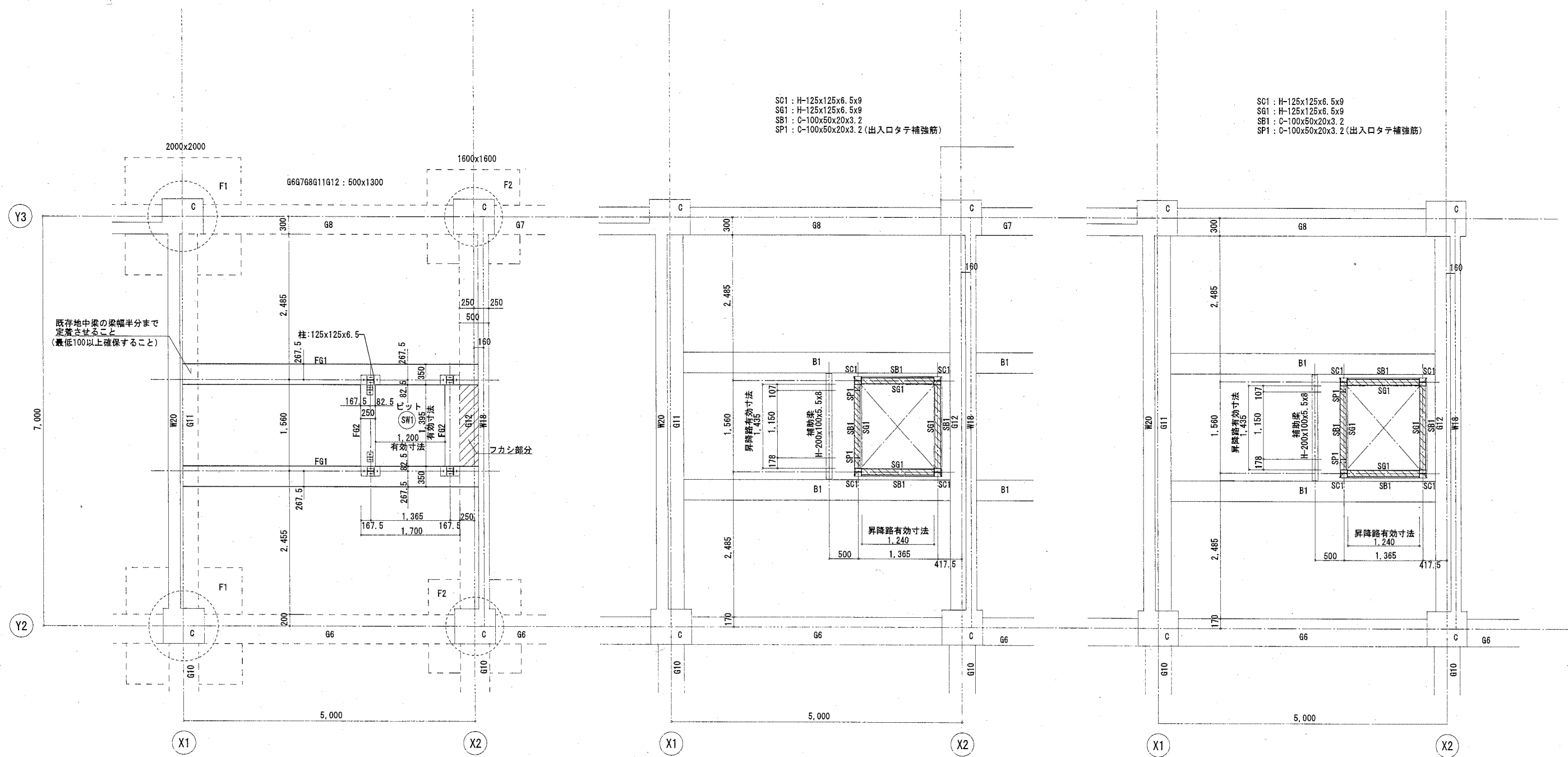
(10) 頭付きスタッド (JIS1198)

スタッド材の標準形状・寸法

形状	呼び名	スタッド材			
		軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130	
	12.7	25.4	7.9		
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130	
	15.8	31.7	7.9		
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150	
	19.0	31.7	9.5		
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150	
	22.2	34.9	9.5		

(11) 梁貫通補強 別図参照





基礎・1階床伏図 1/50

2階床伏図 1/50

3階床伏図 1/50

/// : スラブ開口端部隙間埋め (コンクリート打設)

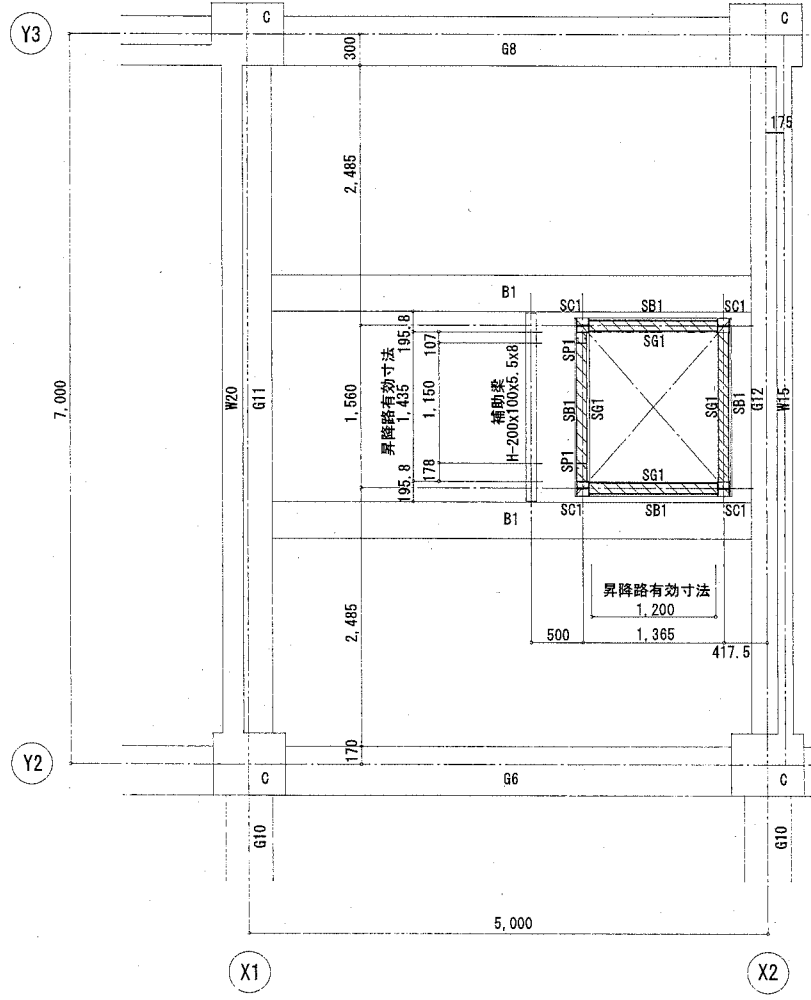
/// : スラブ開口端部隙間埋め (コンクリート打設)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	S-06 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 基礎、1階床、2階床、3階床伏図			

SC1 : H-125x125x6.5x9
 SG1 : H-125x125x6.5x9
 SB1 : C-100x50x20x3.2
 SP1 : C-100x50x20x3.2 (出入口タテ補強筋)

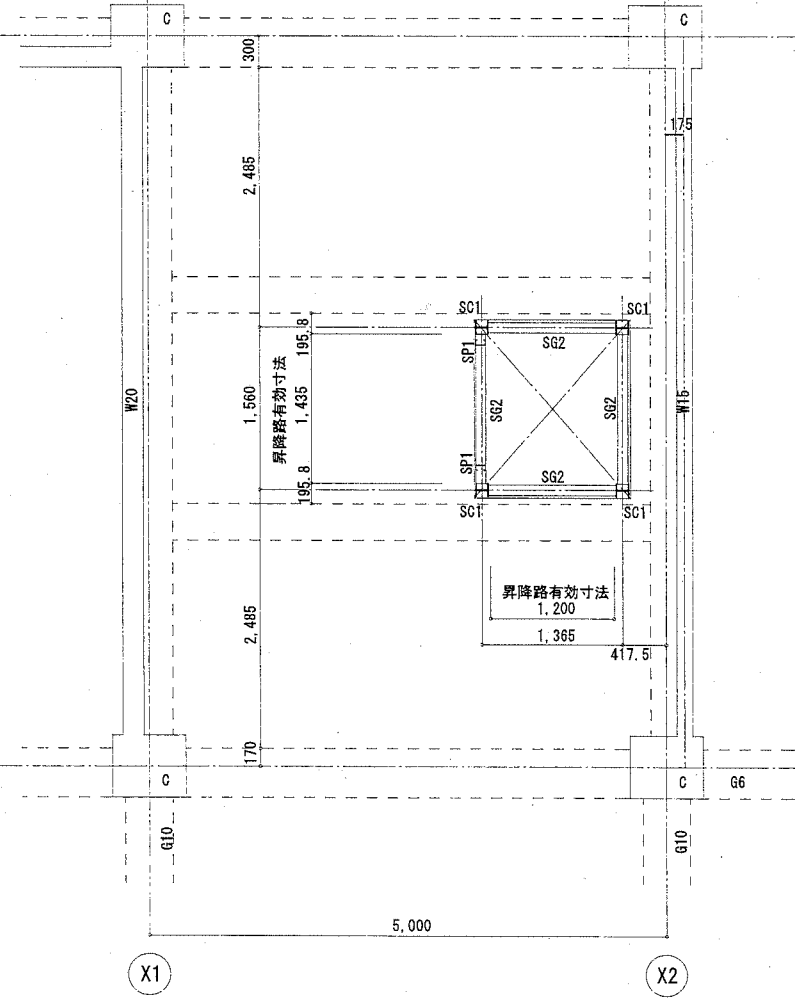
SC1 : H-125x125x6.5x9
 SG2 : H-100x100x6x8
 SP1 : C-100x50x20x3.2 (出入口タテ補強筋)

SC1 : H-125x125x6.5x9
 SG2 : H-100x100x6x8

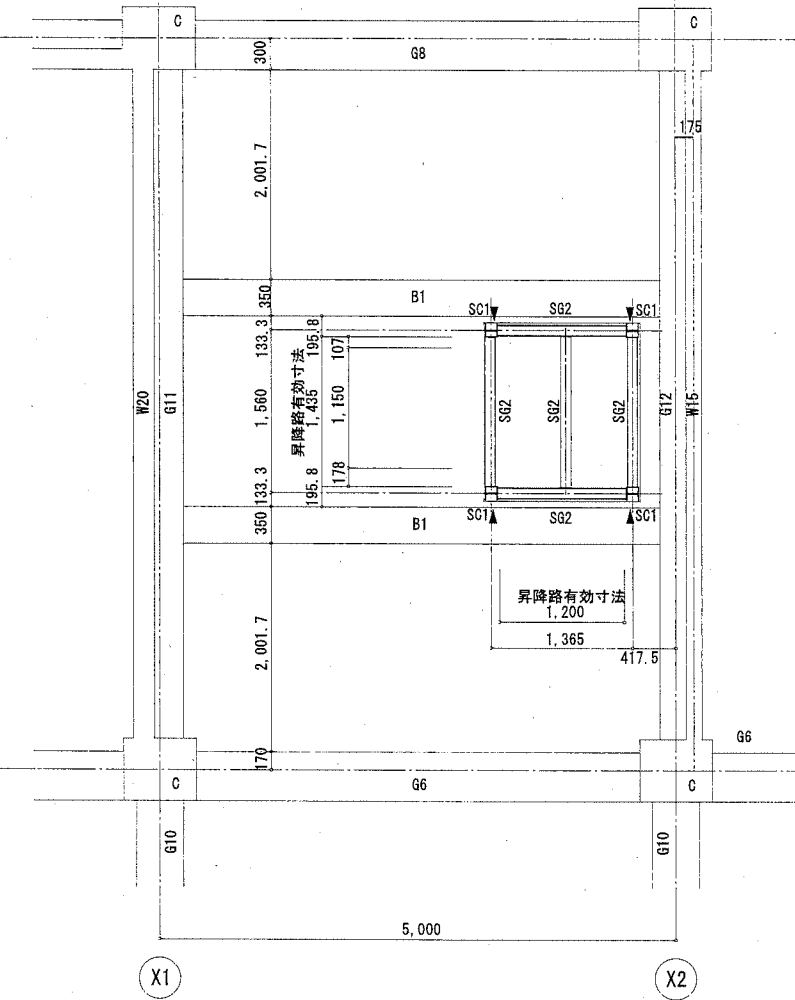


4階床伏図 1/50

▨ : スラブ開口端部隅埋め
 (コンクリート打設)



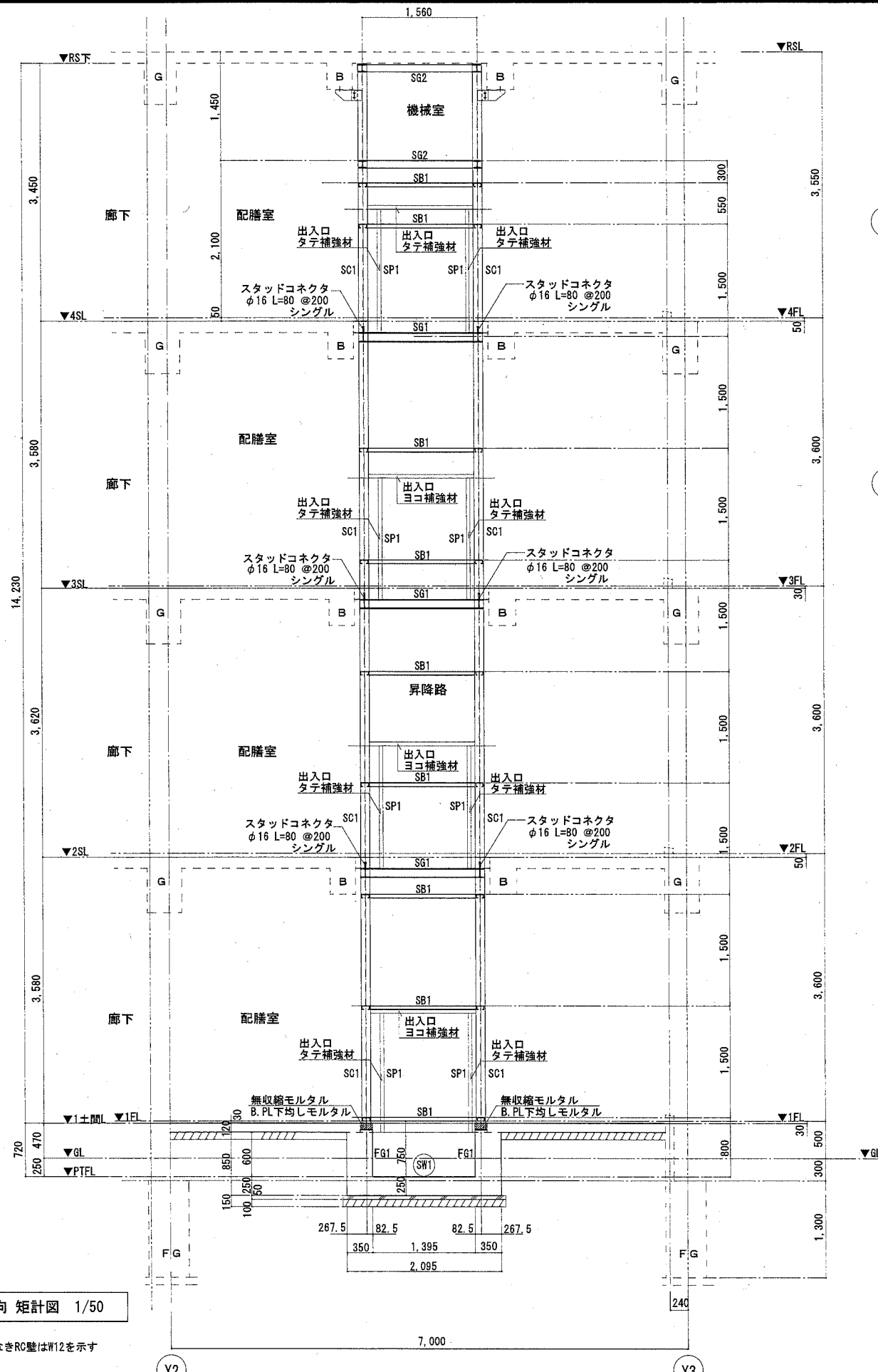
巻上機設置部伏図 1/50



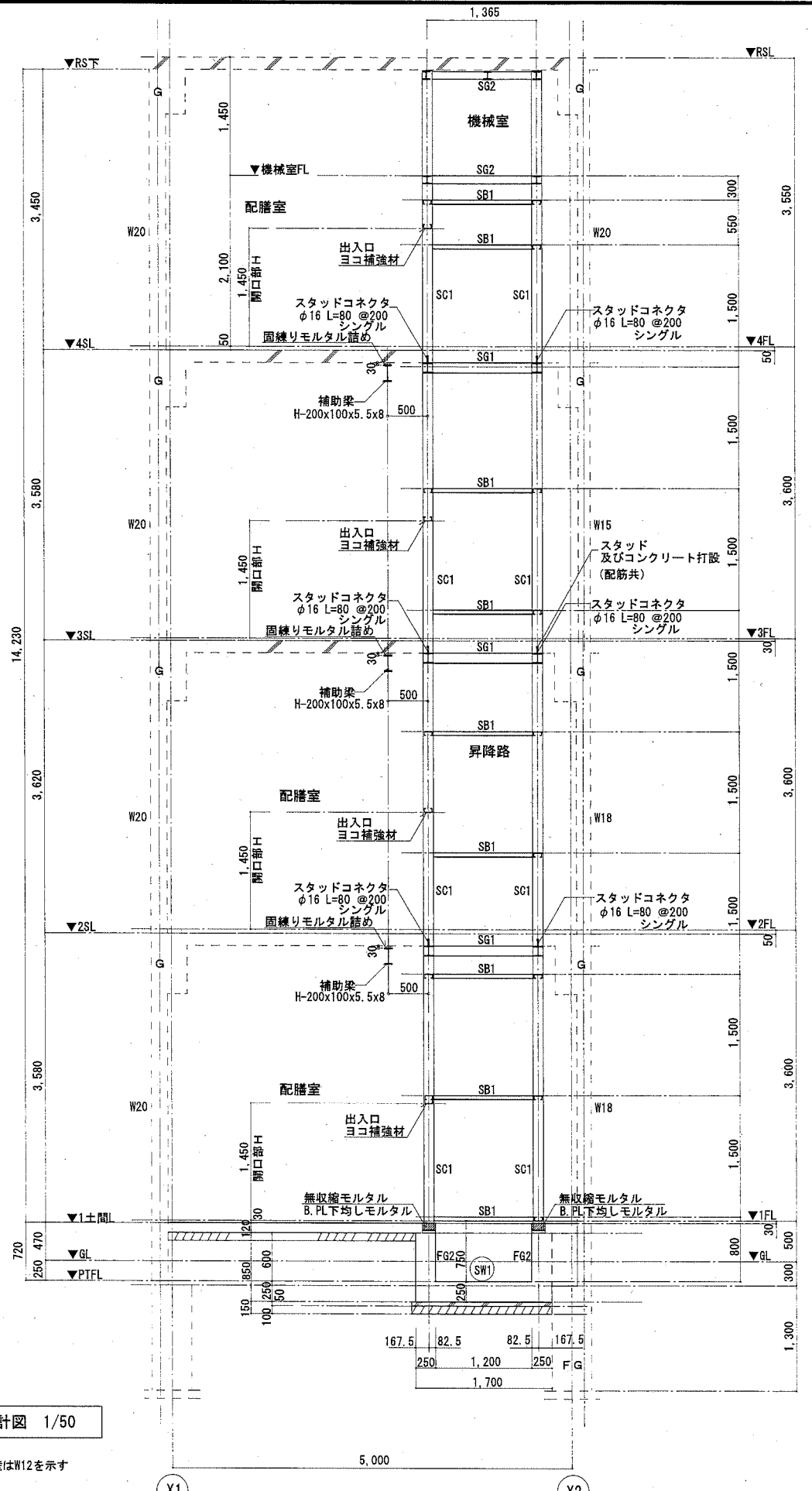
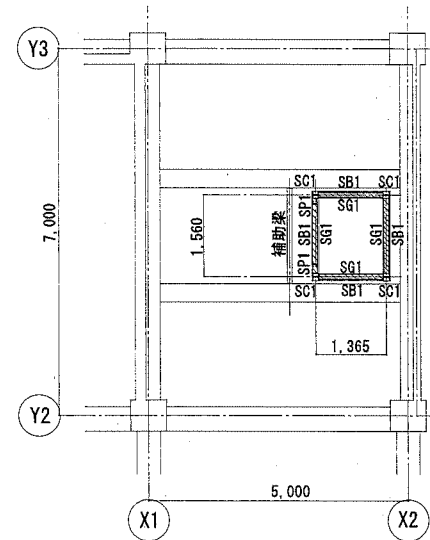
R階床伏図 1/50

▲ : 柱頭部と既存梁接続位置

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置その他建築工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 4階床、巻上機設置部、R階床伏図		S-07



- SC1 : H-125x125x6.5x9
- SB1 : H-125x125x6.5x9
- SB2 : H-100x100x6x8
- SB1 : C-100x50x20x3.2
- SP1 : C-100x50x20x3.2 (出入口タテ補強筋)

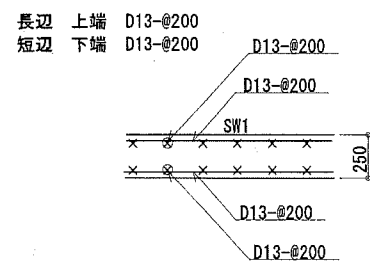


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 断面図		S-08

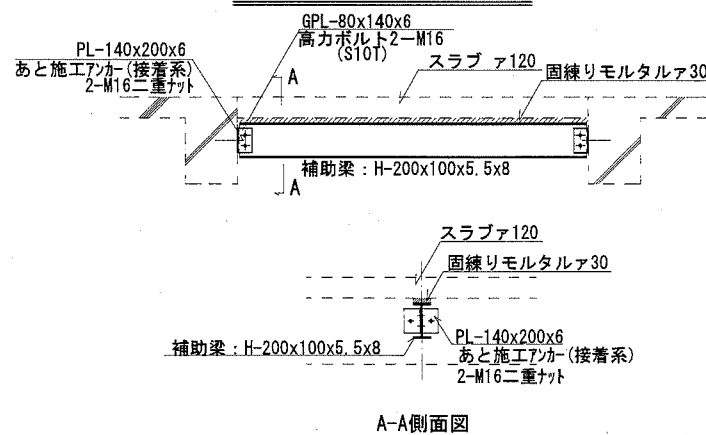
構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止め筋はD10-@100とする

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	350 x 850	250 x 850
上端筋	3-D19	2-D16
下端筋	3-D19	2-D16
あばら筋	□-D13-@200	□-D10-@200
腹筋	4-D13	4-D13

SW1 t=250



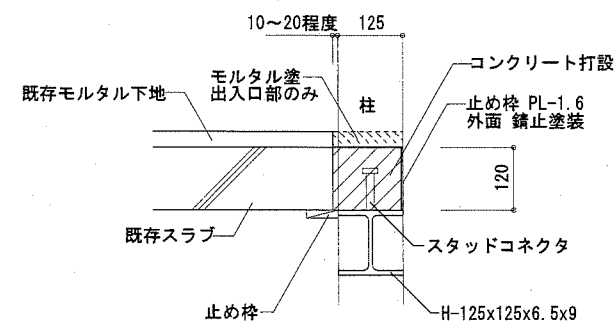
構造詳細図 SW1 1/30



スラブ補助梁取付部 1/30
(スラブ解体前に設置のこと)

構造詳細図 鉄骨リスト *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

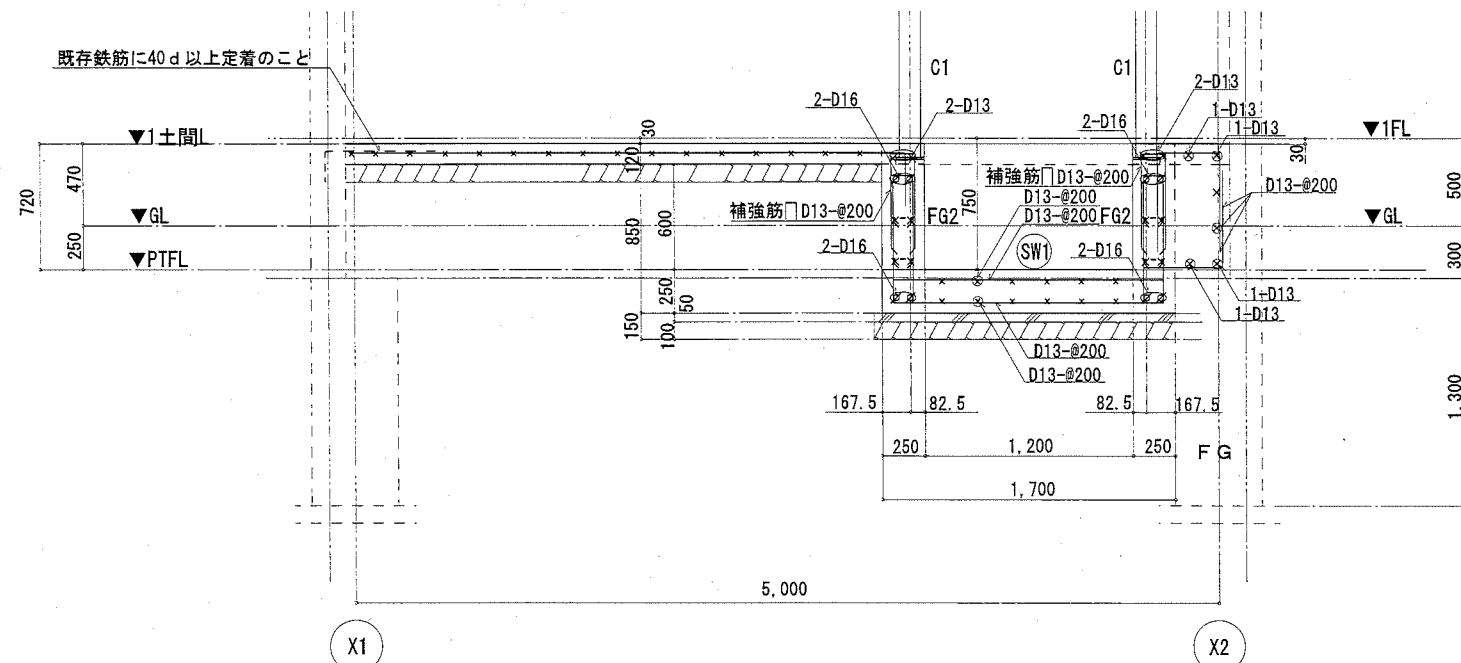
符号	C1	
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱脚部 柱頭部 柱接合部</p> <p>BPL-19 x 325 x 165 アンカーボルト4-M20二重ナット L=800以上 BPL-9 x 120 x 200 あと施工アンカー(接着系) 2-M16二重ナット BPL-2PL-9 高力ボルト4-M16 (S10T)</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考	<p>スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200シングル</p>	



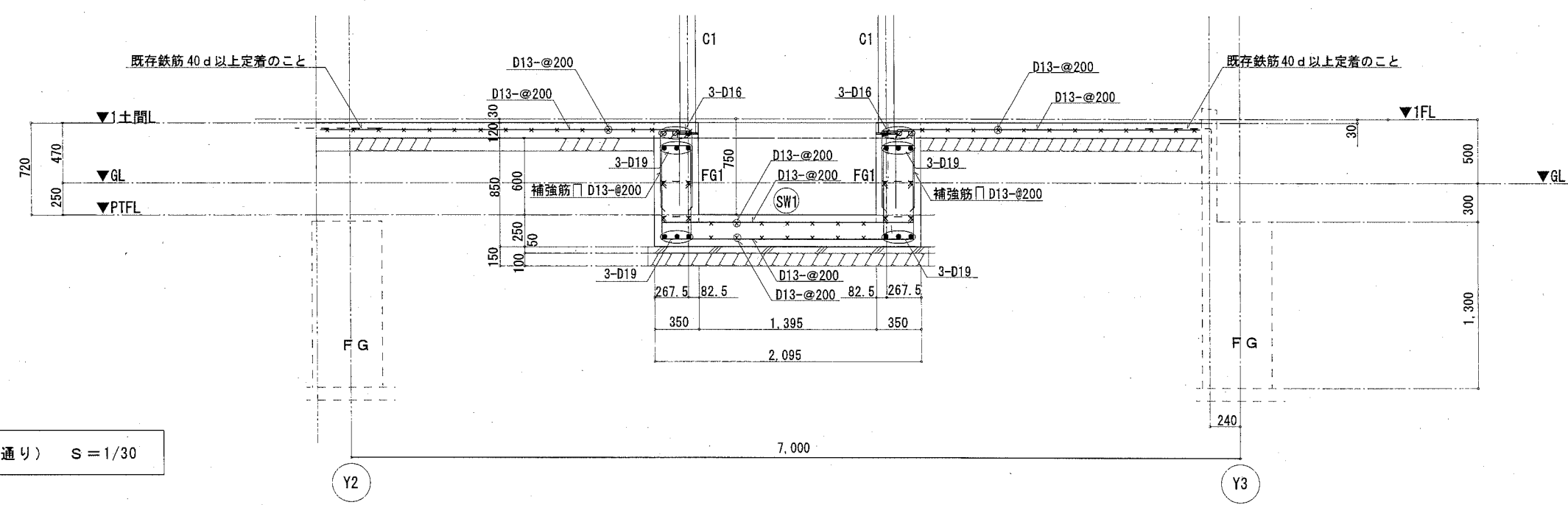
スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

構造詳細図 小梁リスト *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

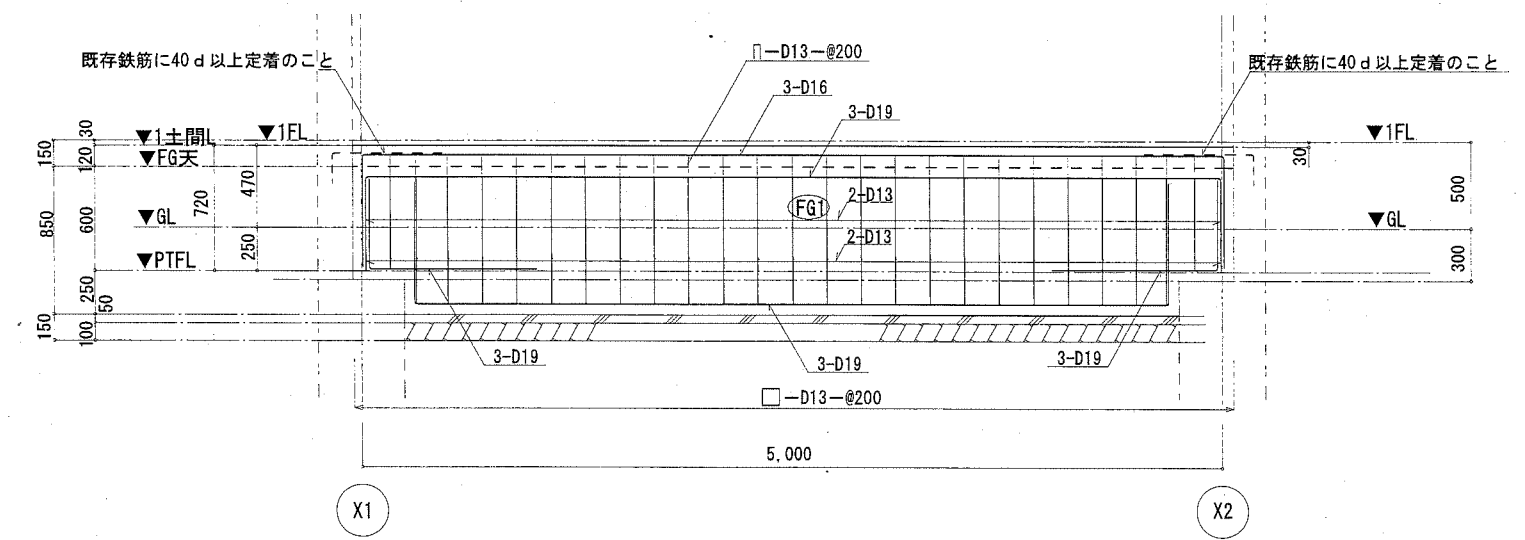
記号	SB1	SP1
位置	全断面	全断面
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	<p>PL-9</p> <p>H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 2-M12 普通ボルト H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 2-M12 普通ボルト</p> <p>C-100x50x20x3.2 GPL-6 2-M12 普通ボルト 1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系) 中間階は鉄骨梁にGPLを溶接</p>	
あと施工アンカー仕様	<p>はしあき 5da以上 ピッチ 7.5da以上かつ300mm以下 へりあき 2.5da以上かつ主筋の内側 ゲージ 5.5da以上</p> <p>あと施工アンカー(接着系アンカー) 8da以上</p>	
	<p>1) 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて $8d_a$ 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) = 120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) = 152mm以上</p> <p>2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d_a: 13mm以上、22mm以下 2. ピッチ p: 7.5 d_a 以上、かつ300mm以下 3. ゲージ g: ダブル配置 5.5 d_a 以上 4. へりあき c_1: 2.5 d_a 以上 5. はしあき c_2: 5 d_a 以上</p>	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30

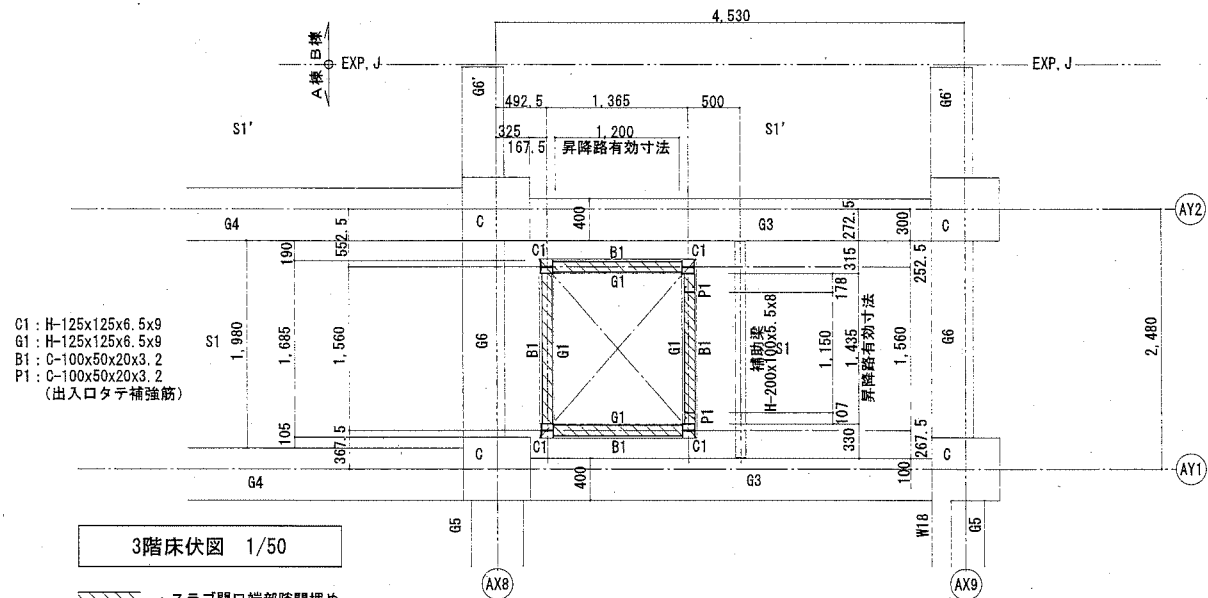


ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30



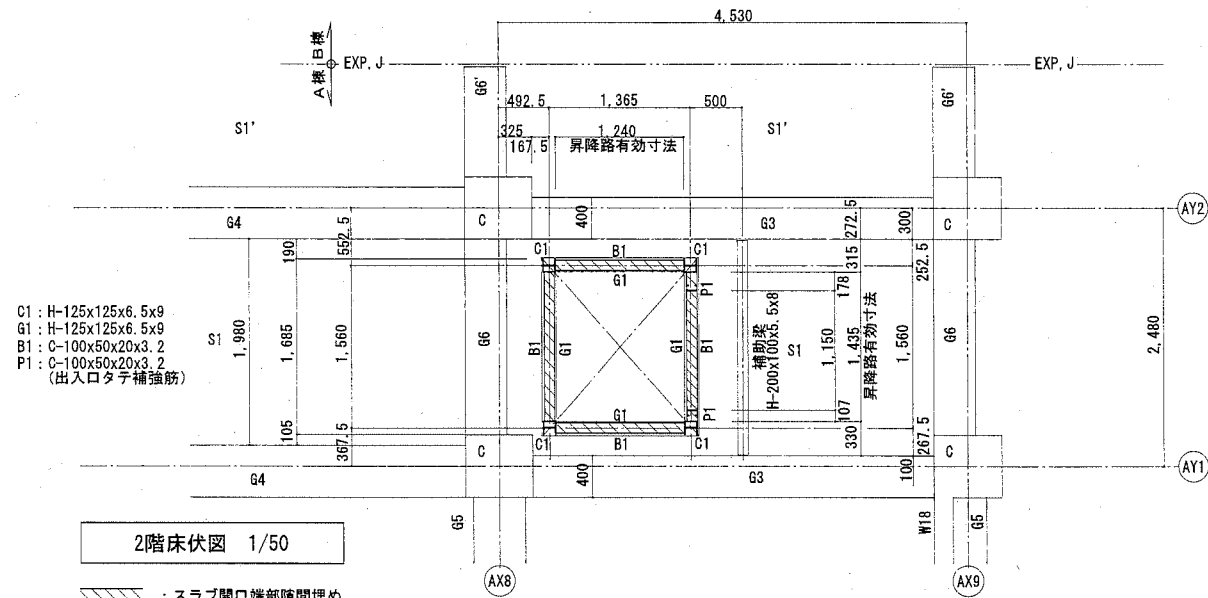
ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/30	No. S-10
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	追浜中学校 基礎配筋図			



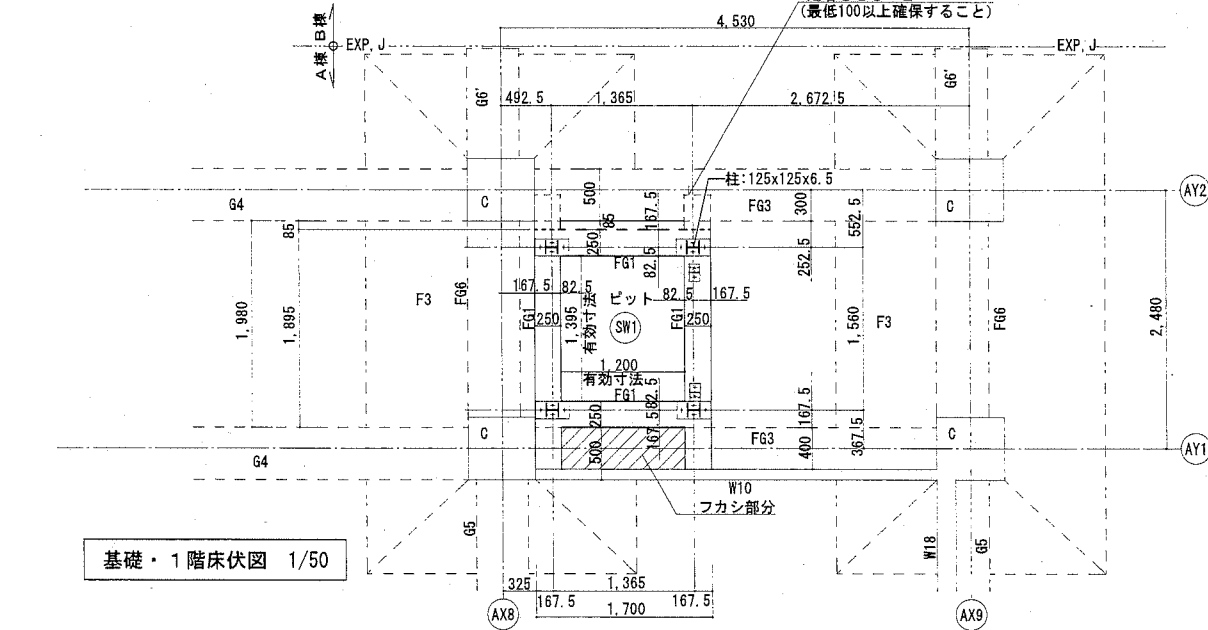
3階床伏図 1/50

/// : スラブ開口部端部隙間埋め (コンクリート打設)



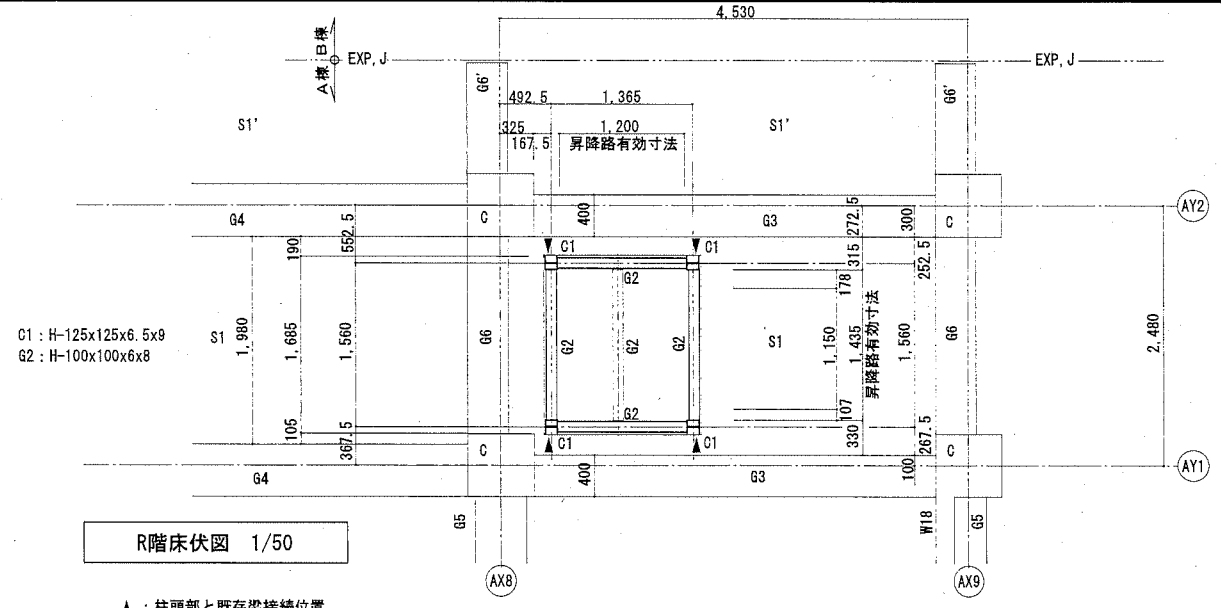
2階床伏図 1/50

/// : スラブ開口部端部隙間埋め (コンクリート打設)



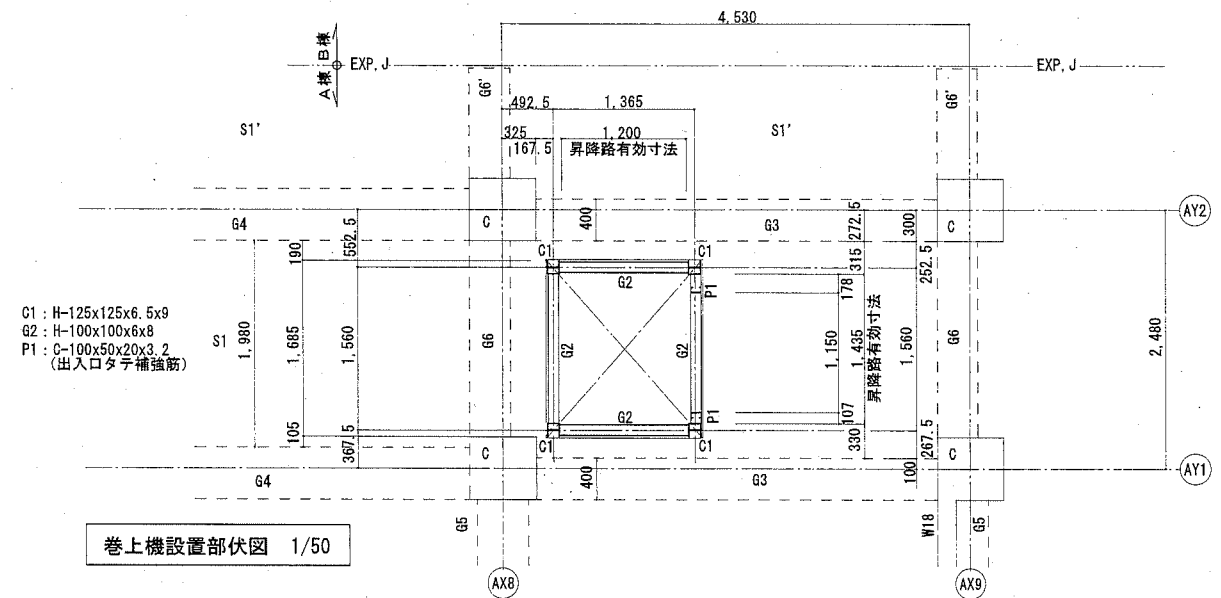
基礎・1階床伏図 1/50

/// : スラブ開口部端部隙間埋め (コンクリート打設)



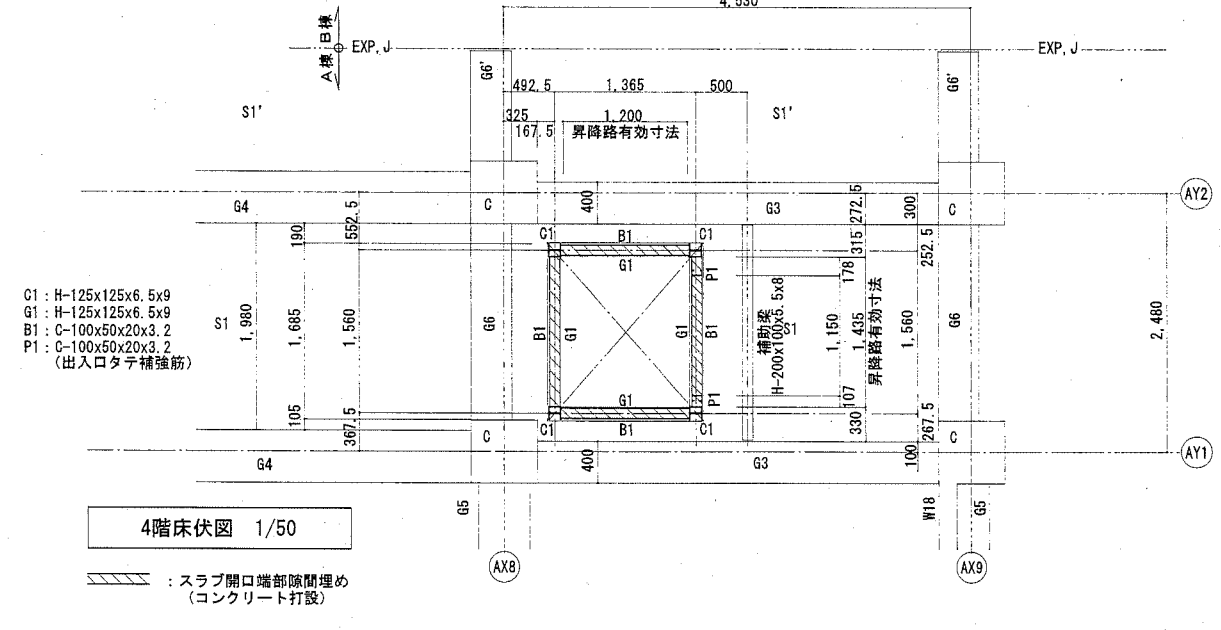
R階床伏図 1/50

▲ : 柱頭部と既存梁接続位置



巻上機設置部伏図 1/50

/// : スラブ開口部端部隙間埋め (コンクリート打設)



4階床伏図 1/50

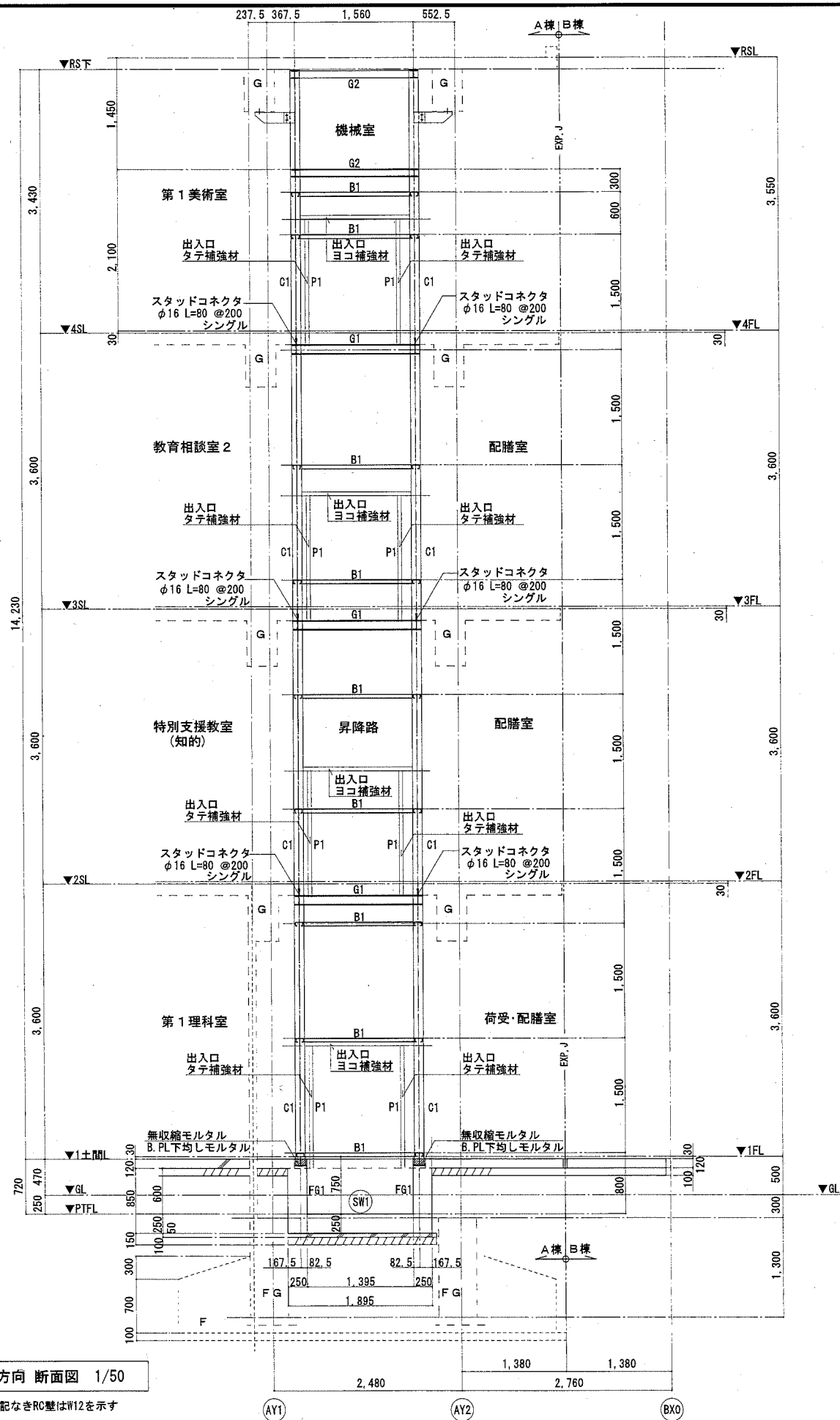
/// : スラブ開口部端部隙間埋め (コンクリート打設)

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

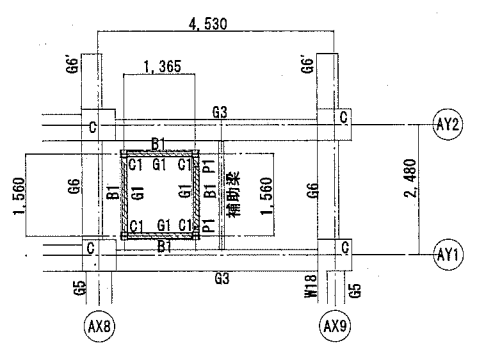
工事名称 市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 鷹取中学校 基礎,1階床,2階床,3階床,4階床,巻上機設置部,R階床伏図

縮尺	1/50
No.	S-11



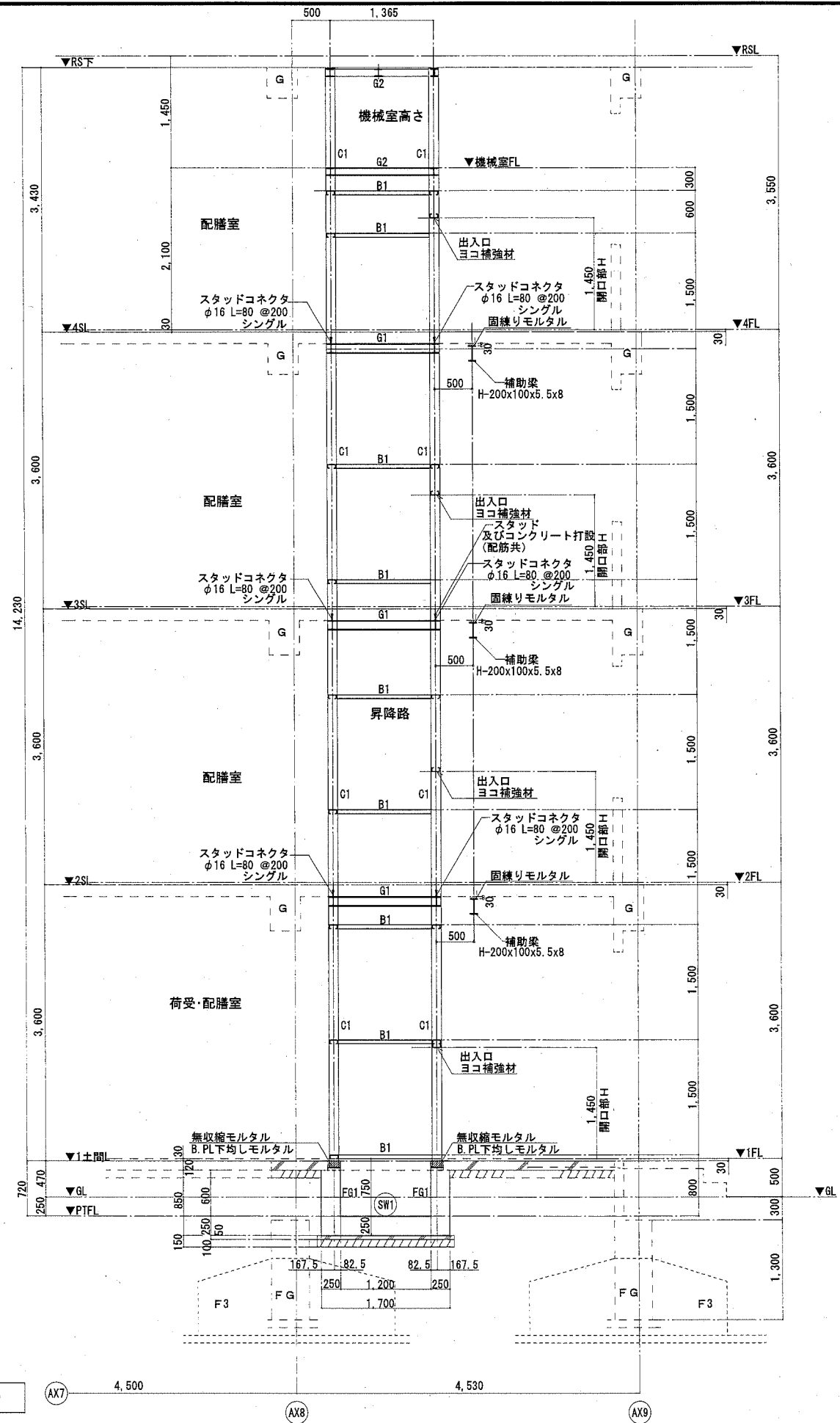
X方向断面図 1/50
特記なきRC壁はW12を示す

- C1 : H-125x125x8.5x9
- G1 : H-125x125x8.5x9
- B1 : C-100x50x20x3.2
- P1 : C-100x50x20x3.2 (出入口タテ補強筋)



部材キープラン

//// : スラブ開口部端部隅埋め (コンクリート打設)



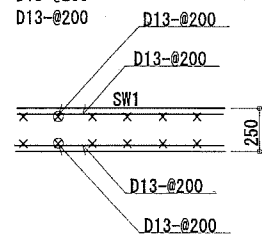
Y方向断面図 1/50
特記なきRC壁はW12を示す

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り、巾メ筋はD10-@100とする

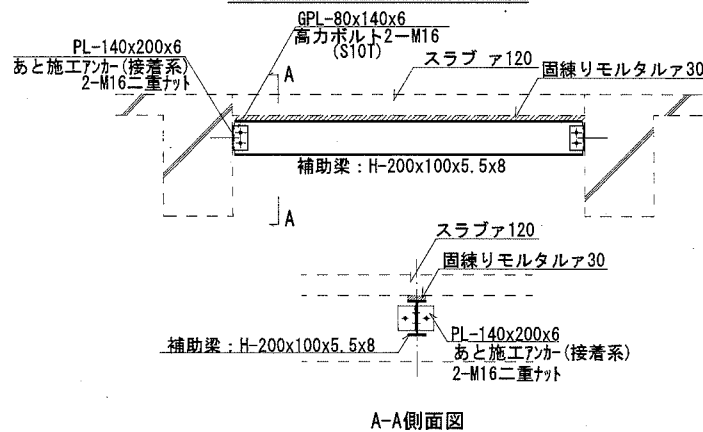
符号	FG1
位置	全断面
断面	
断面寸法	250 x 850
上端筋	2-D16
下端筋	2-D16
あばら筋	□-D10-@200
腹筋	4-D13

SW1 t=250

長辺 上端 D13-@200
短辺 下端 D13-@200



構造詳細図 SW1 1/30

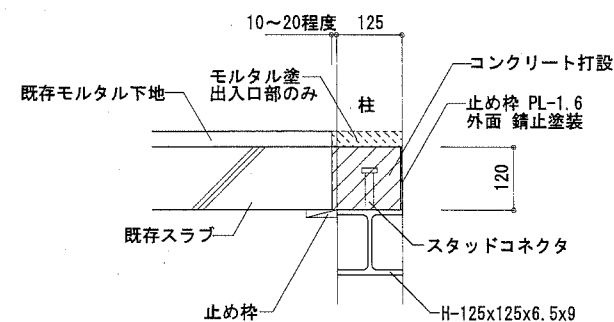


A-A側面図

スラブ補助梁取付部 1/30
(スラブ解体前に設置のこと)

構造詳細図 鉄骨リスト *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

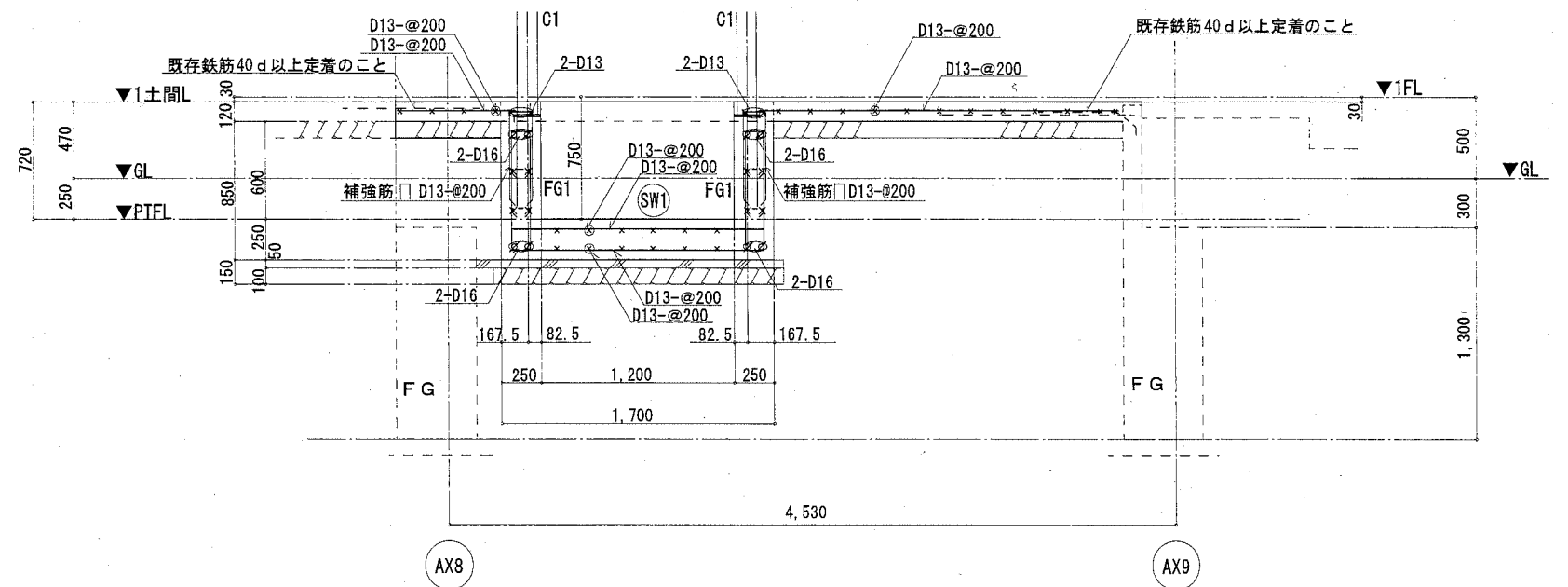
符号	C1	
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱脚部 柱頭部 柱接合部</p> <p>BPL-19 x 325 x 165 アンカーボルト M4-M20 二重ナット L=800以上 BPL-9 x 120 x 200 あと施工アンカー(接着系) 2-M16 二重ナット BPL-2PL-9 高力ボルト 4-M16 (S10T)</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考	<p>スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200 シングル</p>	



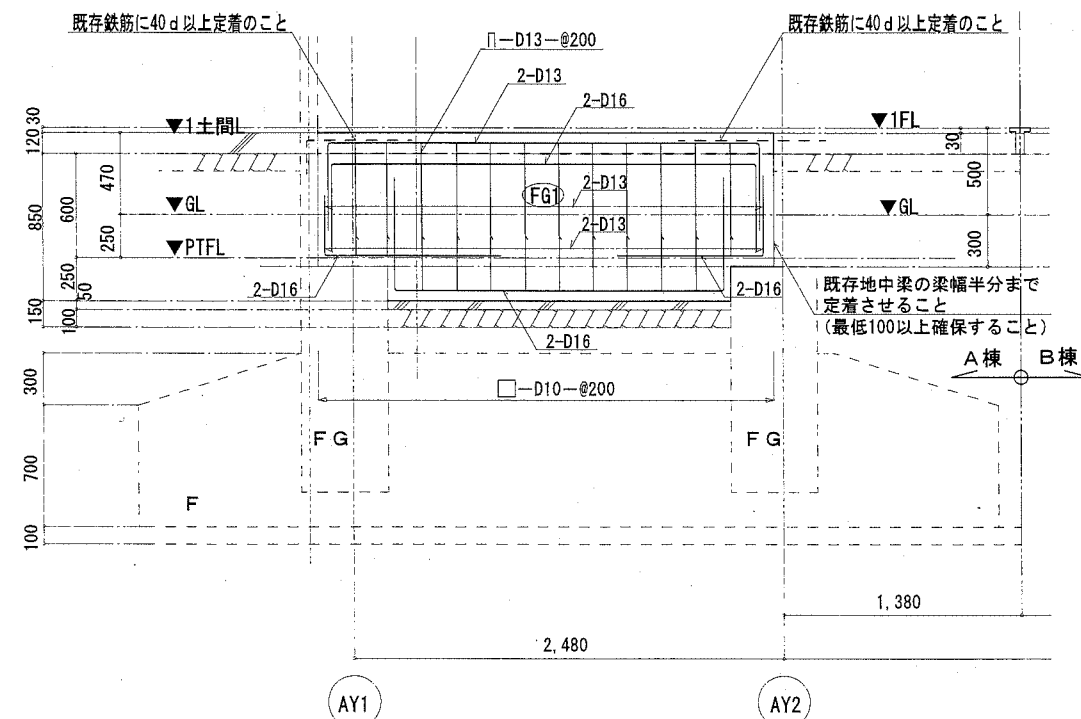
スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

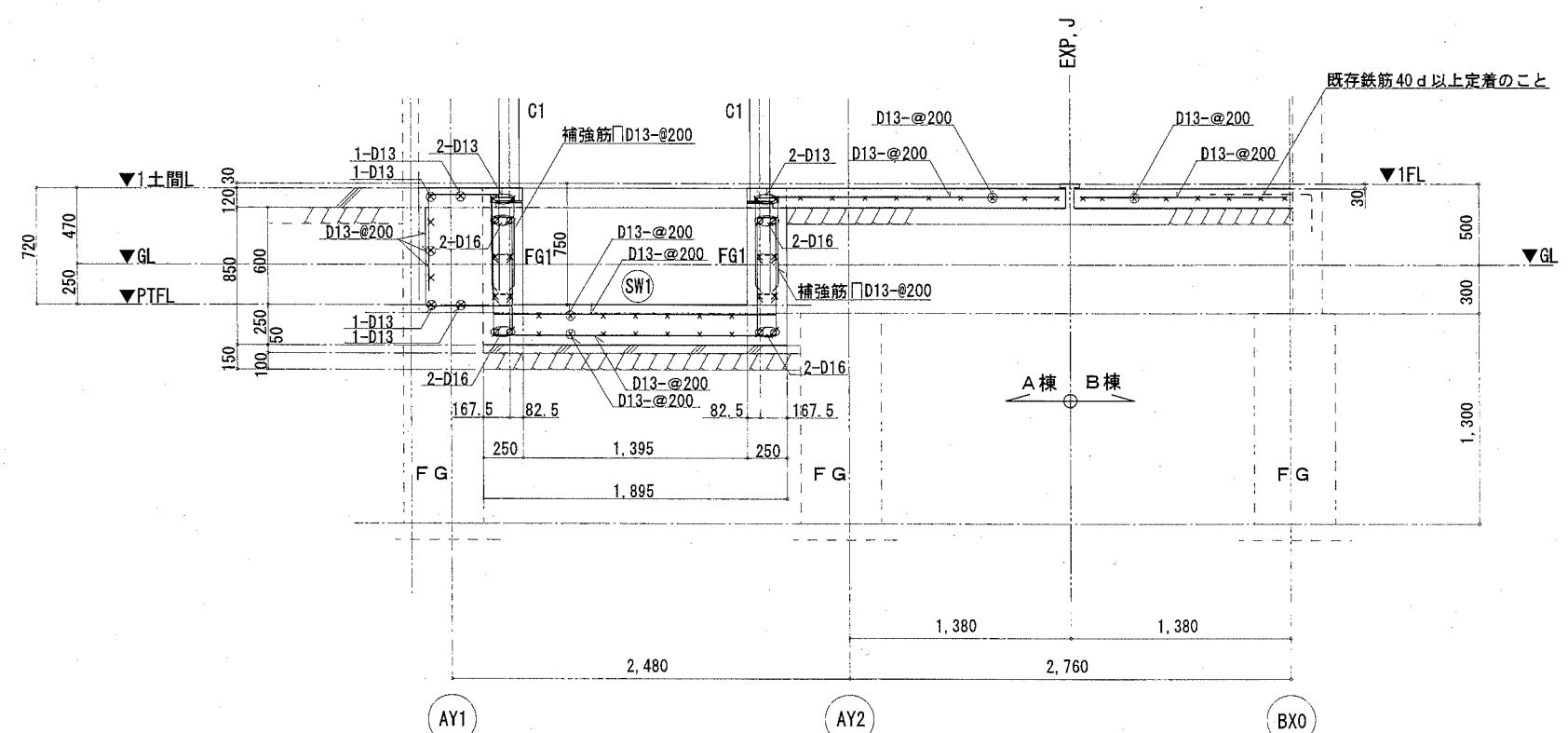
記号	B1	P1
位置	全断面	
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	<p>PL-9</p> <p>H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 PL-9 2-M12 普通ボルト H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 PL-9 2-M12 普通ボルト</p>	<p>GPL-6 2-M12 普通ボルト</p> <p>C-100x50x20x3.2 GPL-6 2-M12 普通ボルト</p> <p>1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系) 中間階は鉄骨梁にGPLを溶接</p>
あと施工アンカー仕様	<p>はしあき 5da 以上 ピッチ 7.5da 以上かつ 300mm 以下 へりあき 2.5da 以上かつ 主筋の内側 ゲージ 5.5da 以上</p> <p>あと施工アンカー(接着系アンカー) 8da 以上</p> <p>あと施工アンカー(接着系アンカー) B梁</p>	
	<p>1) 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて 8 d_a 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。 M16 (外径 15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) = 120mm 以上 M20 (外径 19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) = 152mm 以上</p> <p>2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d_a: 13mm 以上、22mm 以下 2. ピッチ p_a: 7.5 d_a 以上、かつ 300mm 以下 3. ゲージ a: ダブル配置 5.5 d_a 以上 4. へりあき c₁: 2.5 d_a 以上 5. はしあき c₂: 5 d_a 以上</p>	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 (FD1) 配筋図 S=1/30



ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/30
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	鷹取中学校 基礎配筋図		S-14

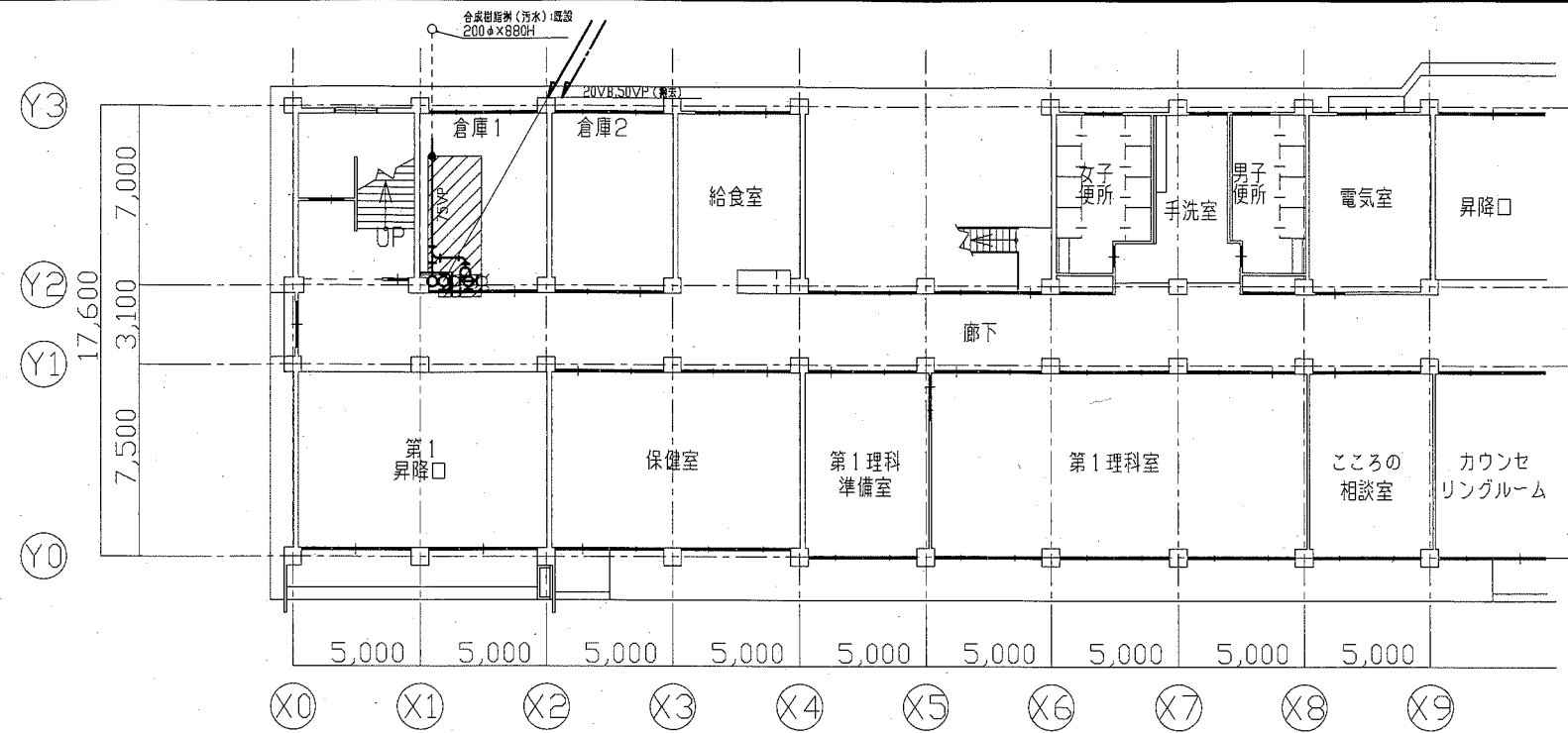
衛生器具表

名称	仕様・付属品	形番 (A社)	形番 (B社)	国土交通省 記号	給水				排水				合 計		
					1 階 受 室	1 階 配 膳 室	2 階 配 膳 室	3 階 配 膳 室	4 階 配 膳 室	1 階 配 膳 室	2 階 配 膳 室	3 階 配 膳 室		4 階 配 膳 室	
洗面器	自動水栓、Pトラップ、壁給水	L210C	L-176UEC		1					1					2
自在水栓 (SUS製掃除用)	F10A 泡沫 スパウトL=170	T131SUN13C	LF-16F-13			1	1	1	1	1	1	1	1		8
床排水トラップ	ホース目隠しロック式				2					2					4


凡 例

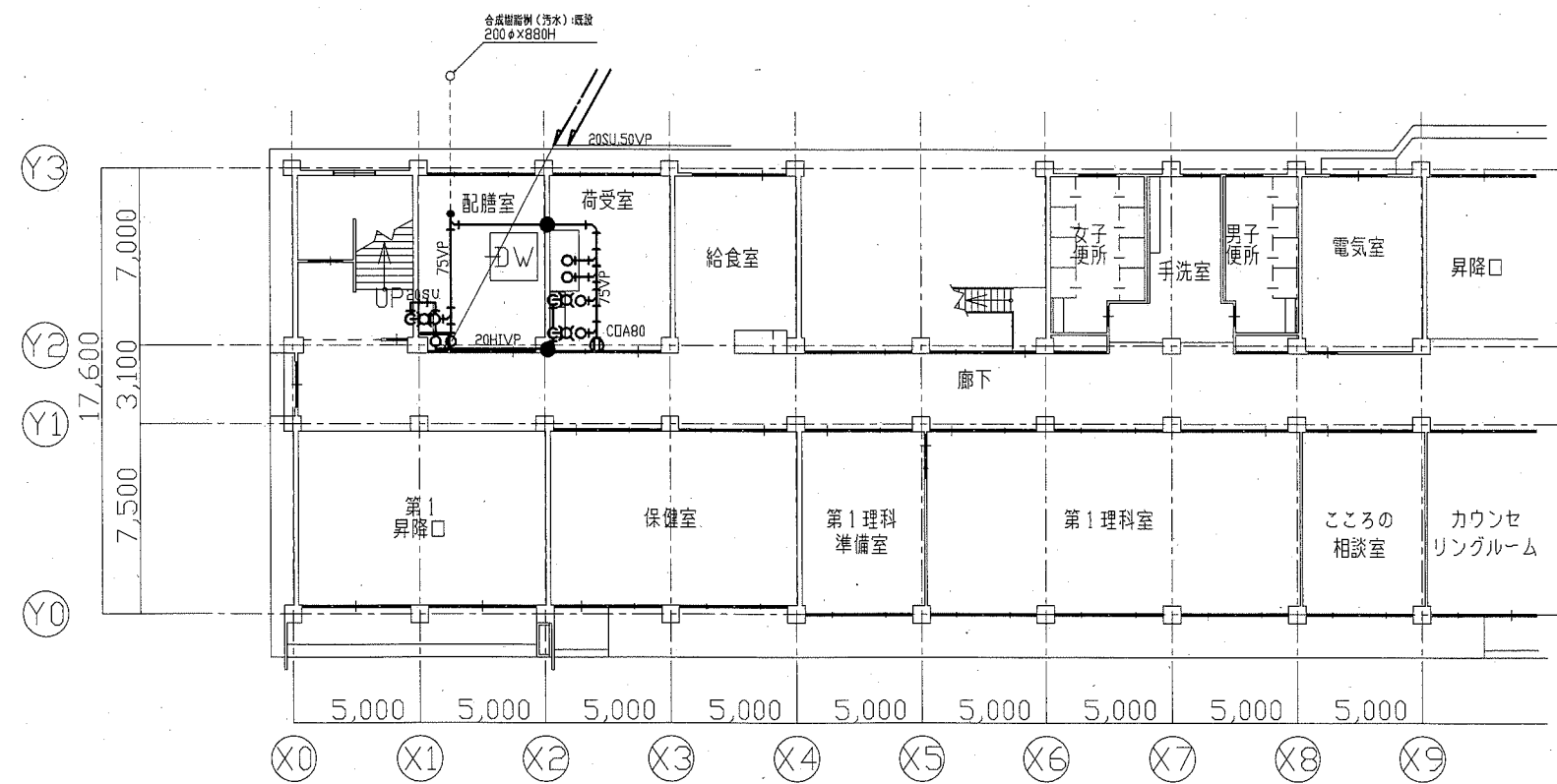
記号	名称	材質・仕様	規格・備考	保温防食塗装塗装等
— — —	給水管(屋内隠蔽)	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448 (SUS304)	GW+ALGC (c2・(口)・Ⅷ)
— — —	給水管(埋設)	耐衝撃性ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742 (HJVP)	
— — —	排水管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	GW+ALGC (c2・(口)・Ⅷ)
— — —	排水管(土間)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	
— — —	通気管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	
— R —	冷媒管	断熱材被覆銅管		
— D —	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 屋内：保温付きVP 屋外：カラ-VP	JIS K 6741 (VP)	
— G —	ガス管	カラー鋼管	JIS G 3452 (CGP)	

給水管の異種管接続には電鍮防止継手を用いる



1階撤去平面図 1/200

 : 撤去範囲を示す
 ※●は、配管切断箇所を示す



1階新設平面図 1/200

※新設衛生器具については、衛生器具表(図番M-01)を参照
 ※PS内にGV設置
 ※●部はコア抜き箇所を示す
 ※流し設置は建築図参照
 ※●部は、既設管との接続箇所を示す

公共建築課長 主査等 担当者

須賀市 都市部 公共建築課

計年月日 平成31年2月

工事名称市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事

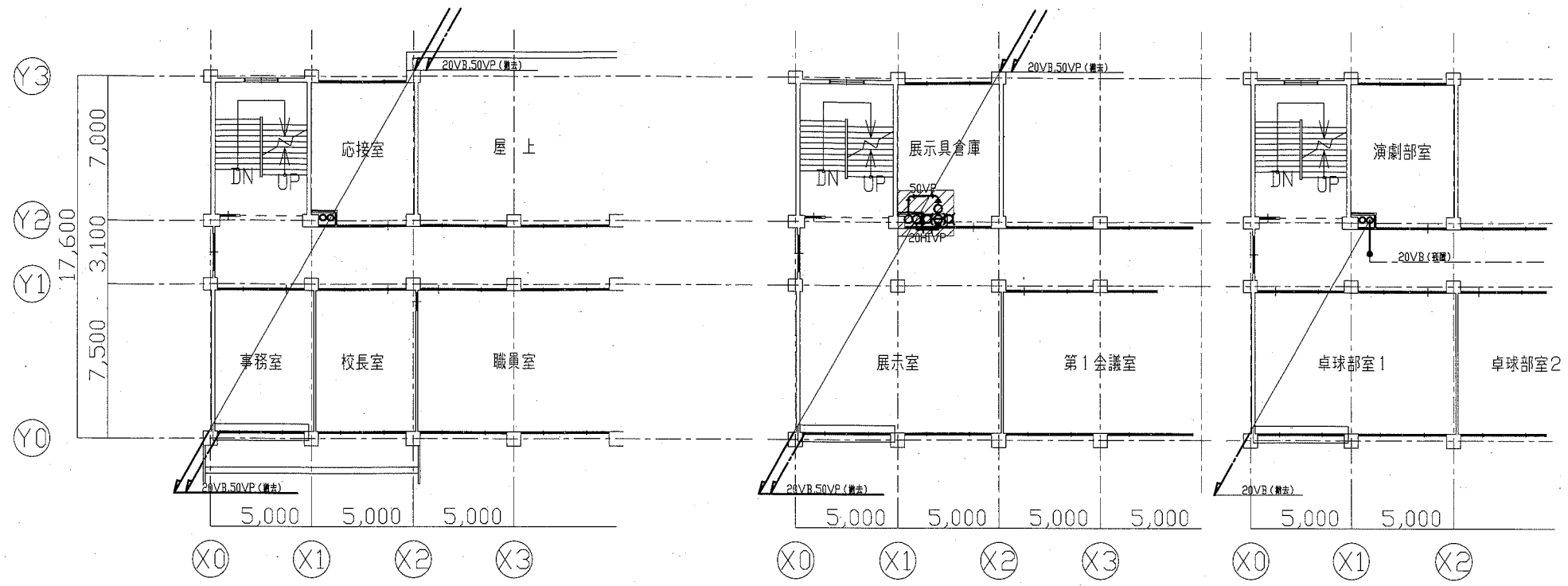
図面名称追浜中学校1階衛生設備撤去改修図

縮尺

A2 1:200

M-02

No.

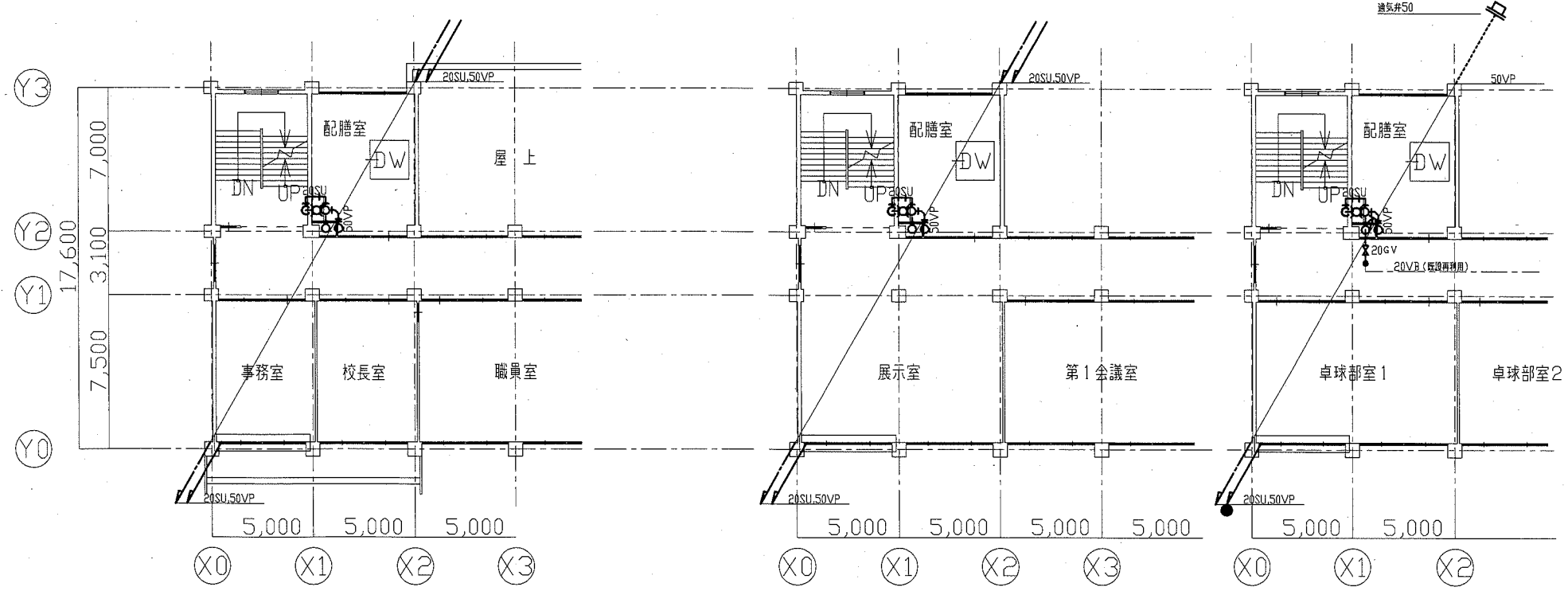


2階撤去平面図 1/200

3階撤去平面図 1/200

4階撤去平面図 1/200

: 撤去範囲を示す
 ※●は、配管切断箇所を示す

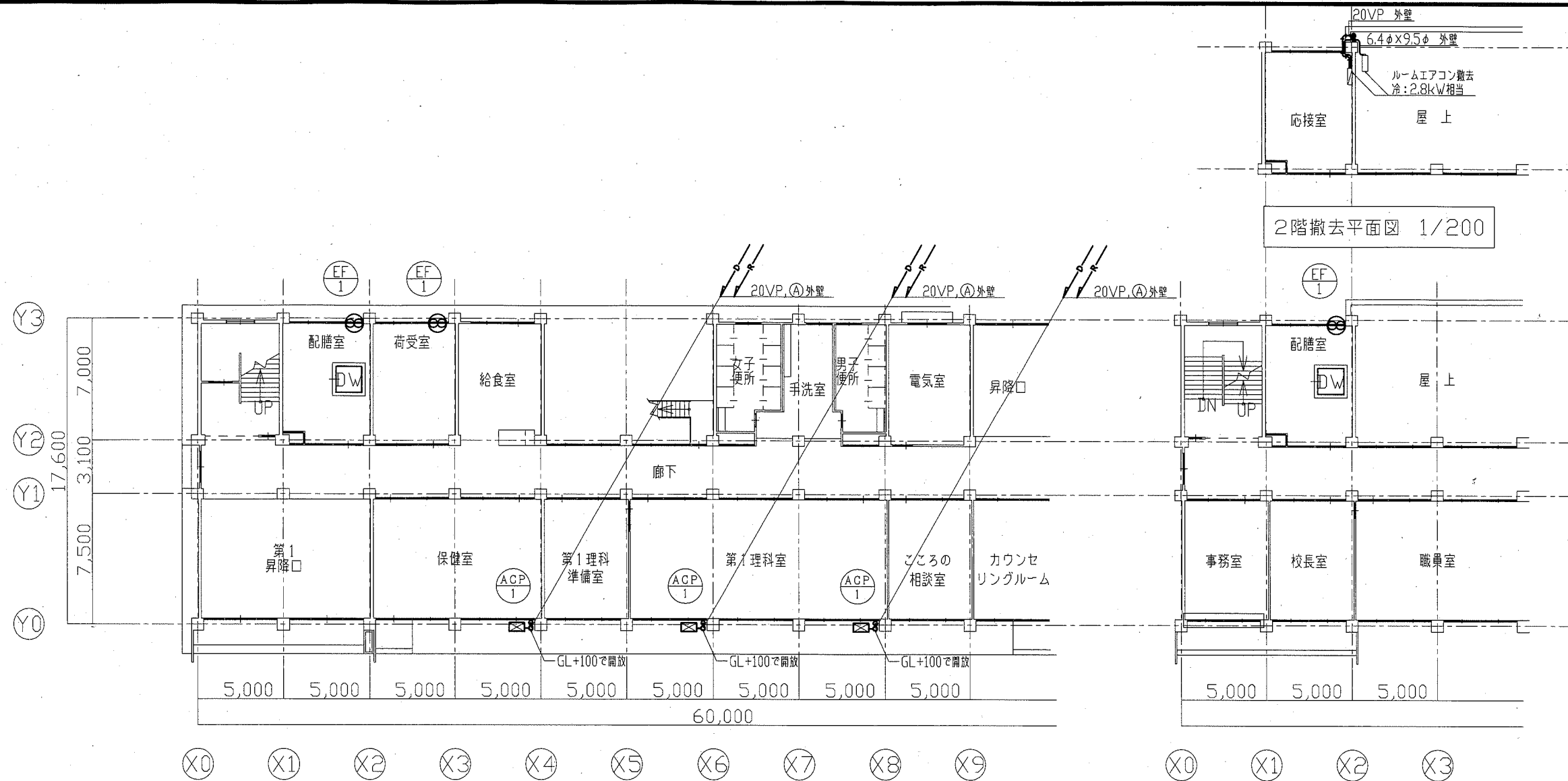


2階新設平面図 1/200

3階新設平面図 1/200

4階新設平面図 1/200

※新設衛生器具については、衛生器具表(図番M-01)を参照
 ※流し設置は建築図参照
 ※●部は、既設管との接続箇所を示す
 ※●部は、コア抜き箇所を示す
 ※各階PS内に20GV設置



1階新設平面図 1/200

2階新設平面図 1/200

機器表

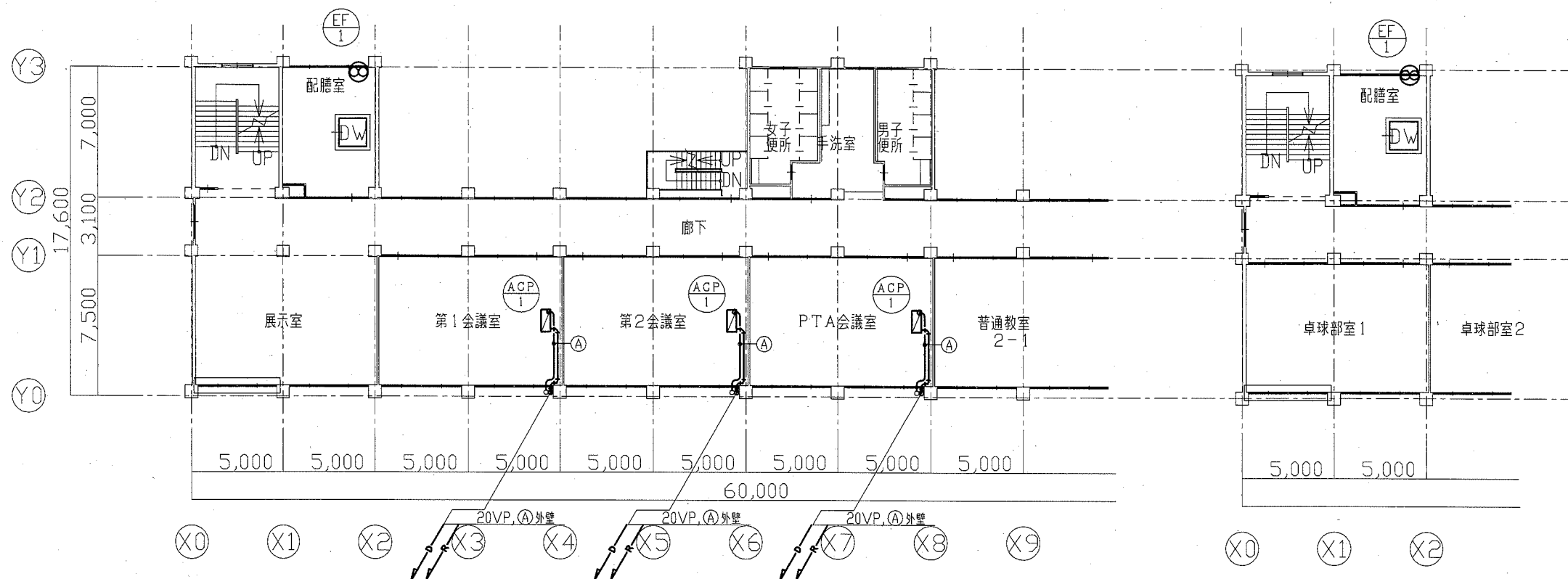
記号	機器名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考
			φ	V			
ACP-1	パッケージ形空調和機	形式：天井吊形	3	200	1	3階第1会議室	屋外機は地上に設置
		冷房能力：14.0 kW (JIS標準条件)					
		暖房能力：16.0 kW (JIS標準条件)					
		APF：5.0以上					
		付属品：防護網、基礎ボルト(SUS)、ワイヤレスリモコン ほか標準付属品一式					CJ製基礎ブロックL=600共 転倒防止金具共
EF-1	換気扇	仕様：20cm 格子タイプ 電気式シャッター 学校改修用	1	100	1	1階尚受室	スイッチは電気工事
		能力：485 CMH × 10Pa					
		付属品：ウェザーカバー(SUS) 防鳥網付					

冷媒配管サイズ表

記号	冷媒配管口径	仕上げ材	
		屋外	屋内
①	9.5φ×15.9φ	ラッキング (スチール製)	保温化粧ケース (SD型)
		No.4	100×70

※以下の配線を冷媒管共巻きとする。
内外連絡線：EM-EEF2.0-3C

※換気扇は新設アルミパネル(建築図参照)に設置



3階新設平面図 1/200

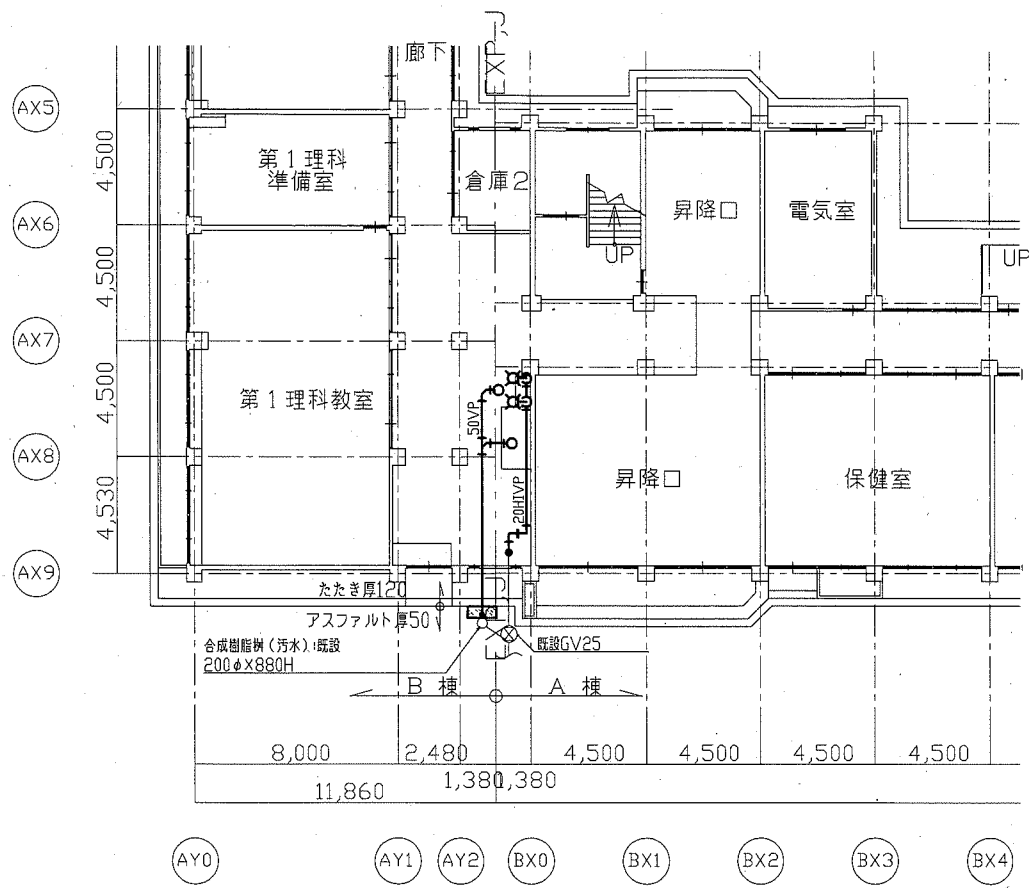
4階新設平面図 1/200

冷媒配管サイズ表

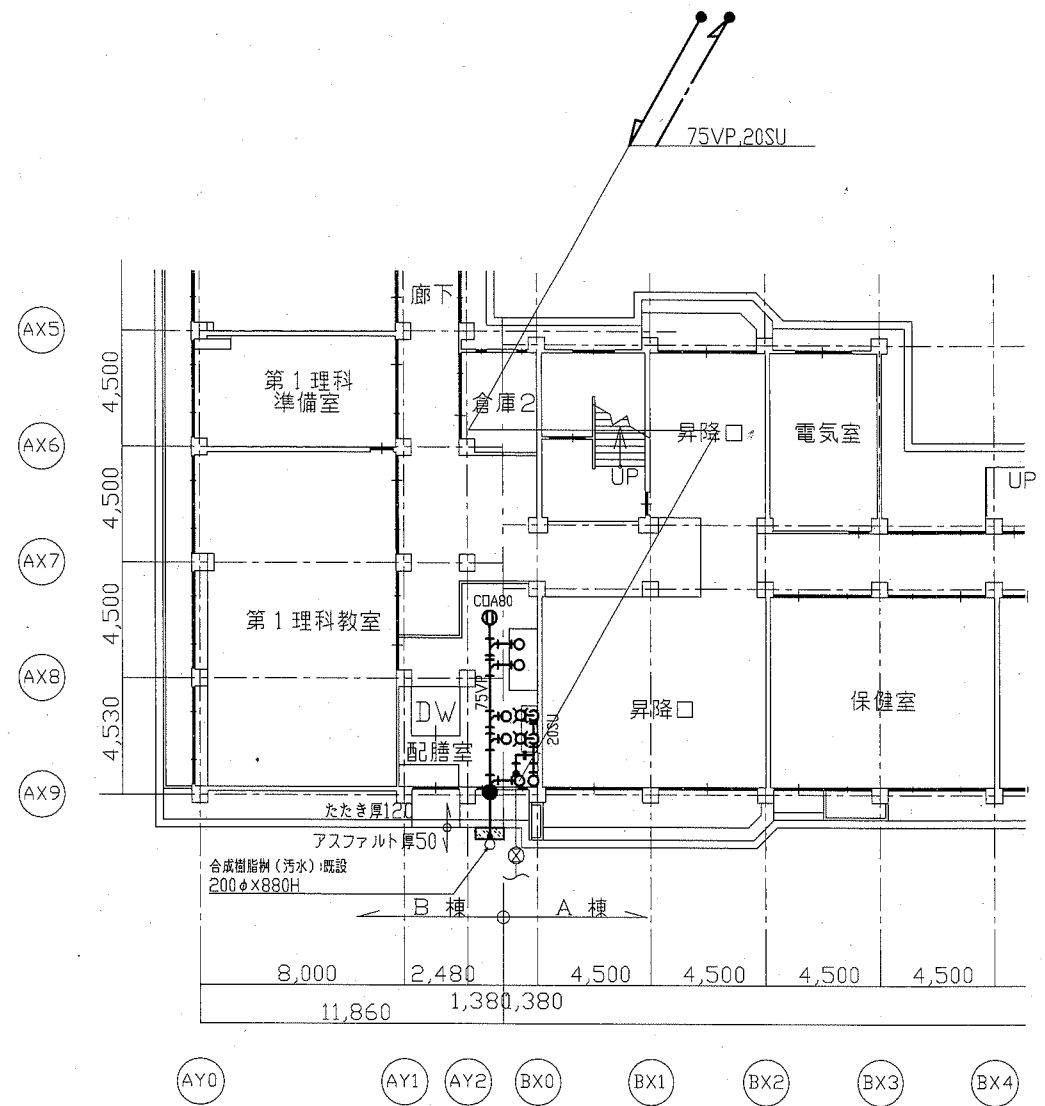
記号	冷媒配管口径	仕上げ材	
		屋外	屋内
④	9.5φ×15.9φ	ラッキング (スチール製)	保温化粧ケース (SD型)

※以下の配線を冷媒管共巻きとする。
内外連絡線：EM-EEF2.0-3C

※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図参照)に設置



1階撤去図 1/200

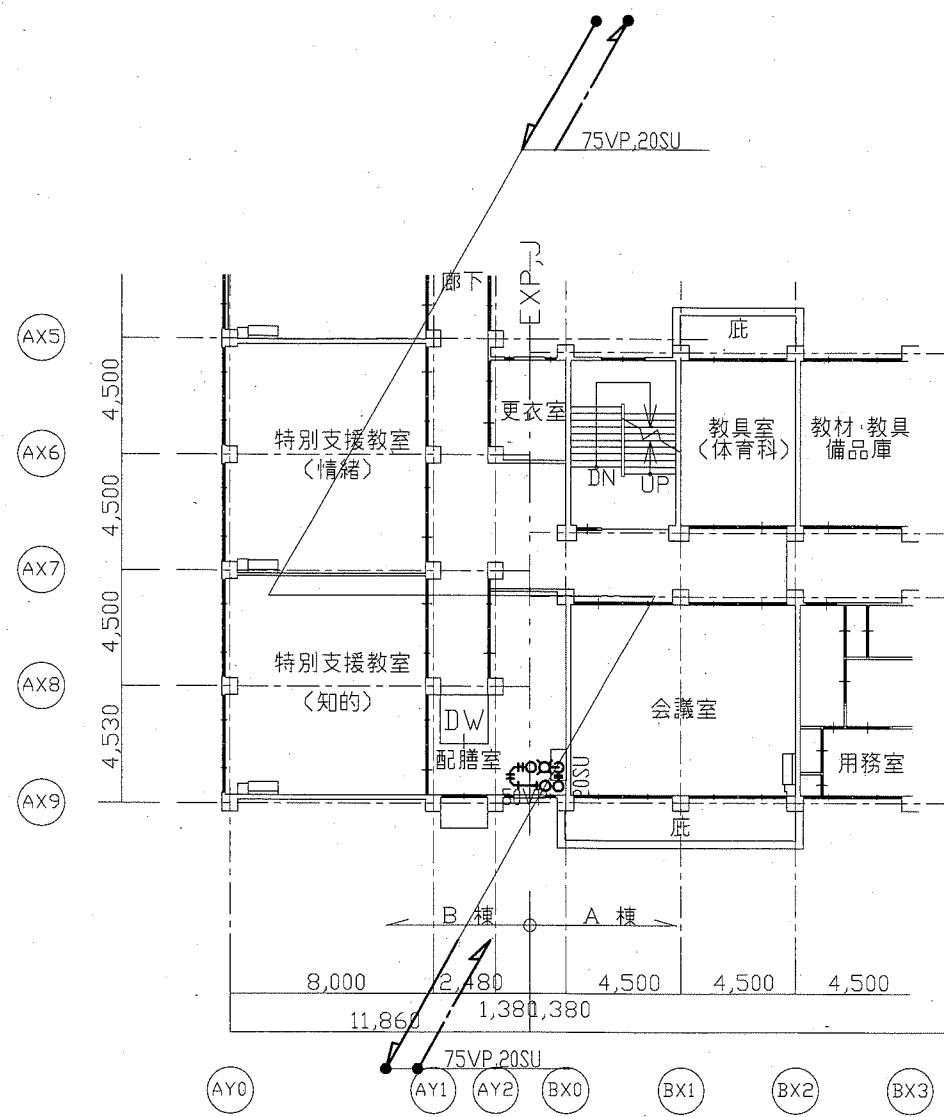


1階改修図 1/200

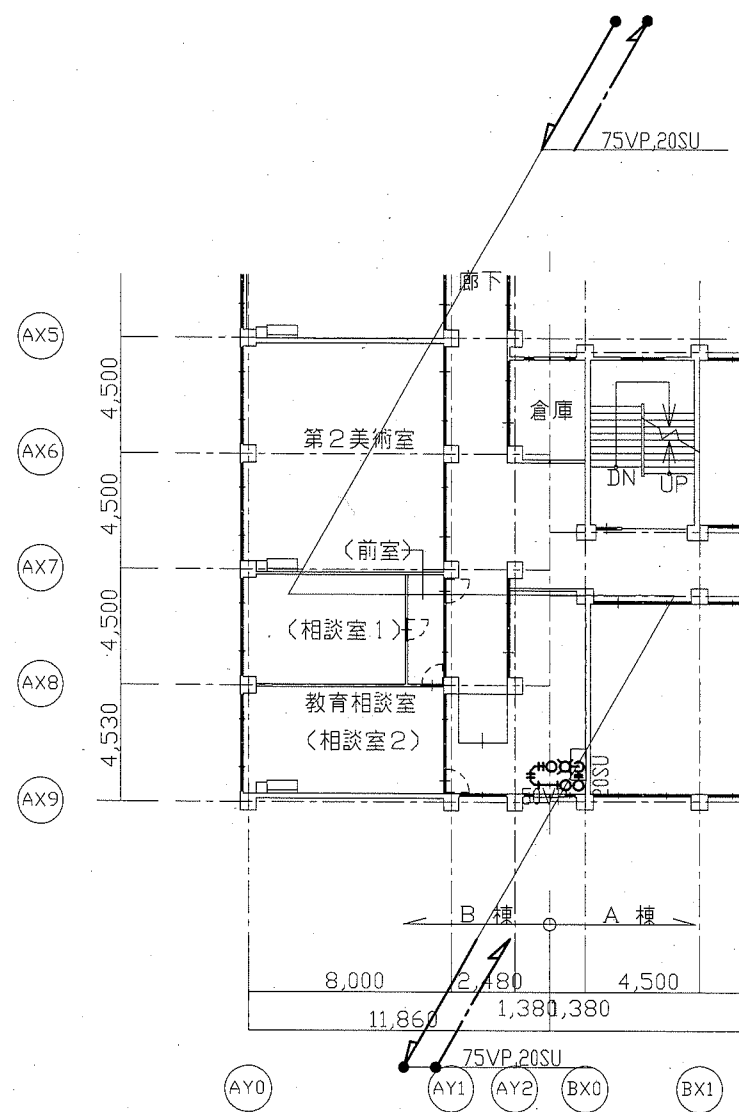
※新設衛生器具については、衛生器具表(図番M-01)を参照
 ※●部はコア抜き個所を示す
 ※PS内にGV設置
 ※●部は、既設管との接続箇所を示す

はアスファルト舗装撤去・復旧範囲を示す。W=500
 ●は、配管切断箇所を示す

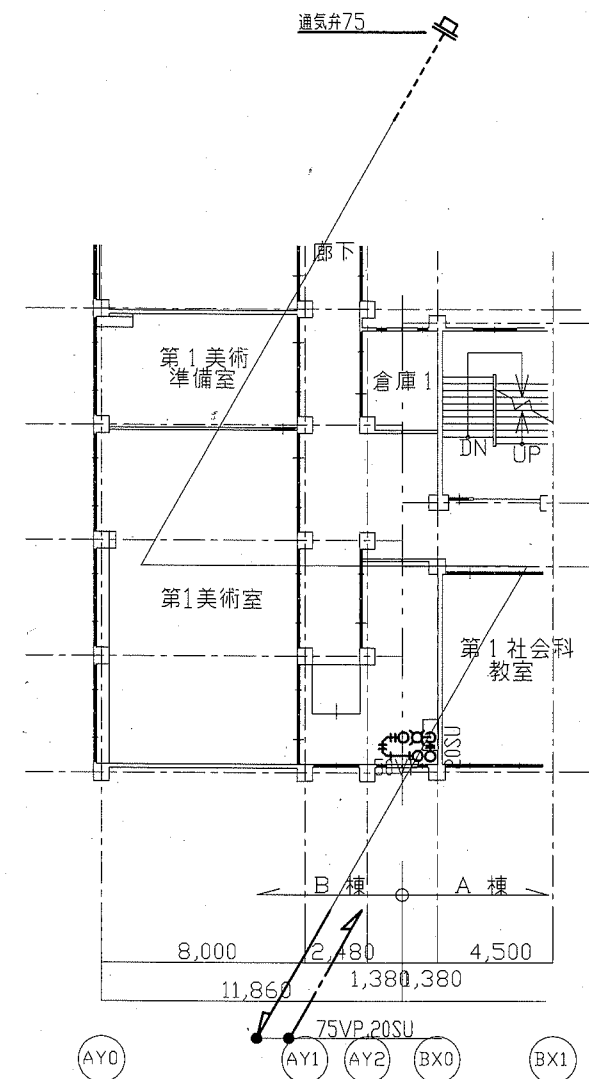
公共建築課長	主査	担当者	川崎市 都市部 公共建築課	年月日	平成31年2月	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A2 1:200	M-06
						図面名称	鷹取中学校 1階衛生設備撤去改修図			No.



2階改修図 1/200



3階改修図 1/200



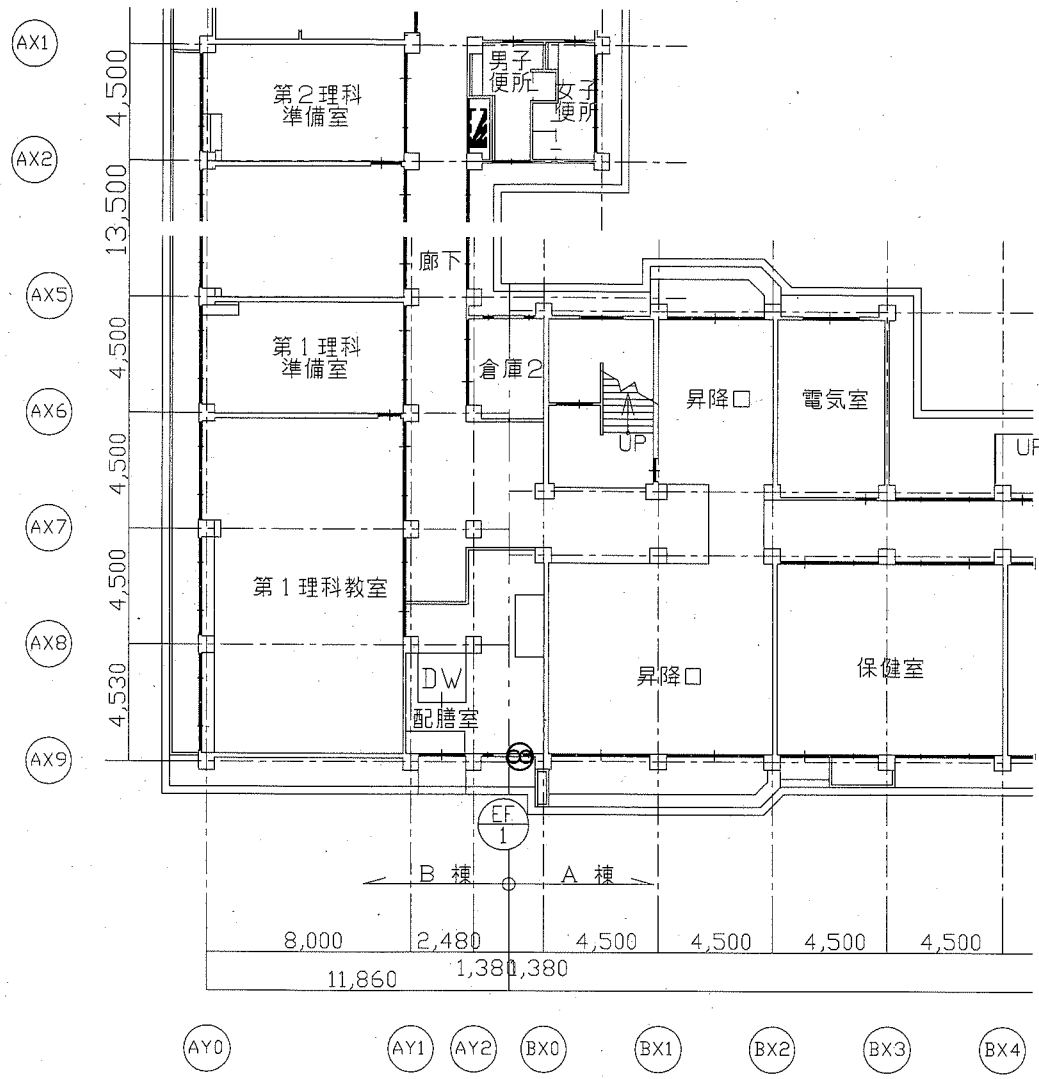
4階改修図 1/200

※新設衛生器具については、衛生器具表(図番M-01)を参照
 ※●部はコア抜き箇所を示す
 ※各階PS内に20GV設置

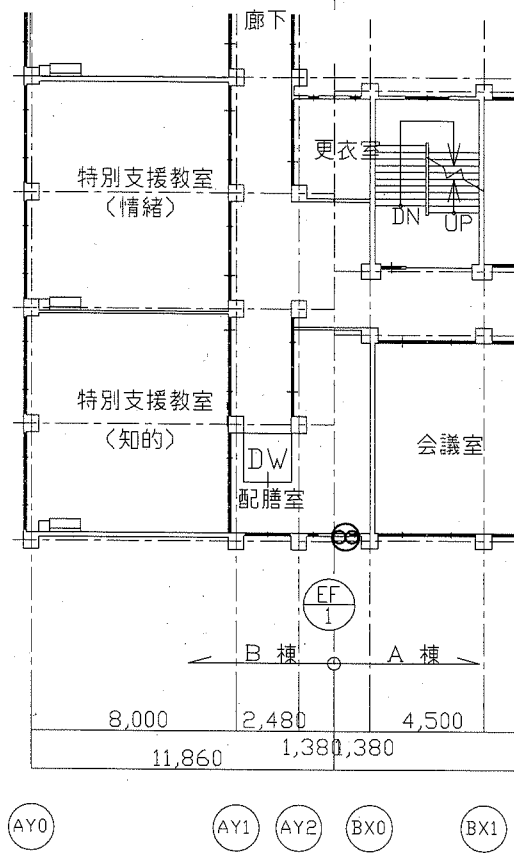
公共建築課長	主査	担当者	貝賀市 都市部 公共建築課	年月日	平成31年2月	工事名称	市立追浜中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A2 1:200	図面名称	鷹取中学校 2~4階衛生設備改修図	図番	M-07
--------	----	-----	---------------	-----	---------	------	-------------------------	----	----------	------	-------------------	----	------

機器表

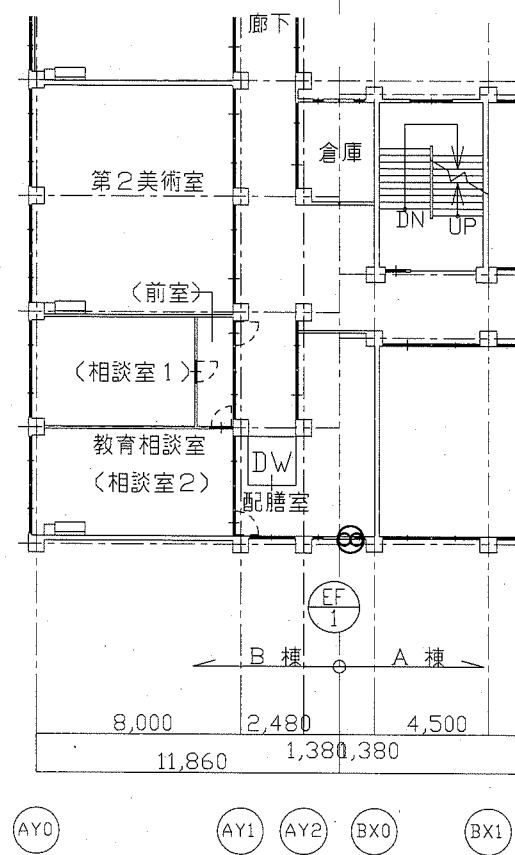
記号	機器名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考
			φ	V kW			
EF-1	換気扇	仕様 : 20cm 格子タイプ 電気式シャッター 学校改修用 能力 : 485 CMH × 10Pa 付属品 : ウェザーカバー (SUS) 防鳥網付	1	100	4	1階~4階配膳室	スイッチは電気工事



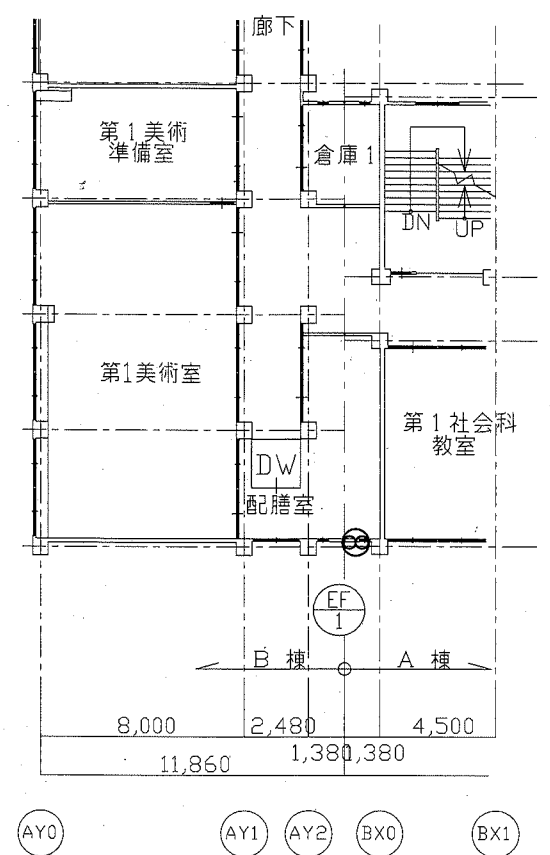
1階改修図 1/200



2階改修図 1/200



3階改修図 1/200



4階改修図 1/200

※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図参照)に設置